

平成 25 年度国土交通省補助事業

平成 25 年度 住宅市場技術基盤強化推進事業

大工・職人の実態に関するアンケート調査
報告書

平成 26 年 3 月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

大工・職人の実態に関するアンケート調査 報告書 目次

1.	目的及び概要	・・・・・・・・・・	1
1. 1	背景・目的	・・・・・・・・・・	1
1. 2	調査の実施概要	・・・・・・・・・・	2
1. 3	前回調査からの変更点	・・・・・・・・・・	5
2.	設問別調査結果	・・・・・・・・・・	6
2. 1	職種別集計	・・・・・・・・・・	6
2. 2	地域別集計	・・・・・・・・・・	34
2. 3	年齢別集計	・・・・・・・・・・	62
2. 4	経験年数別集計	・・・・・・・・・・	84
2. 5	雇用形態別集計	・・・・・・・・・・	106
2. 6	賃金別集計	・・・・・・・・・・	130
資料編	(自由記述回答)		
・	その他の職種	・・・・・・・・・・	1
・	その他の健康保険	・・・・・・・・・・	12
・	なぜ育てる予定はないのですか	・・・・・・・・・・	14
・	担い手育成についての御意見	・・・・・・・・・・	15

1 目的及び概要

1.1 背景・目的

木造住宅・建築物の施工の中核的な存在である大工の不足が危惧されている。大工数は、特に若い世代の大工就業者が少ないため高齢化が進み、年々減少傾向にある。国勢調査によれば 2005 年に 54 万人いた大工は 2010 年には 40 万人に減少している。ここ 5 年間でこれまでの最大の 14 万人の減少を招いている。

木造住宅の新築工事では、プレカットの 9 割に達する普及により施工の合理化が進み、部材の墨付けや加工といった作業は大工の手から離れ、造作を含め加工済みの部材の組立・取付が、今日の大工の主たる作業となった。しかし、増改築やリフォームの現場では、大工が構造から造作・仕上げ、工事の進捗管理と工事を担う重要な役割を演じ、本来大工が備えるべき技術が不可欠となっている。

一方、プレカットの普及により新築の現場では、熟練した技術よりパワーと早さが求められたため、高い賃金を得やすい一人親方の増加を招き、大工技術の習熟度による賃金体系を崩壊させ、特に大規模なビルダーの世界では、大工技術を持たない中堅大工が増加し、将来性が見いだせない組立工の職に嫌気をさして、多くの離職者を生み出している。

大工以外の設計者や工務店の現場監督、プレカット技術者等も、木造住宅・建築物を支える重要な技術者で、職業倫理とコンプライアンスが求められ、適切な設計や施工を遂行する上で、彼等の木造に関する知識・ノウハウ等が不可欠となっている。

これらの技術者の多くは、大学や工業高校といった教育機関における建築専門課程を経て、就職することが一般的であるが、これらの教育機関では、木造に関わる講義・実習の機会はほとんどなく、大学や工業高校等で木造建築に関わる知識やノウハウを習得することは困難な状況にある。

企業や個人の努力に負って来た木造技術や知識の習得が、業界の停滞により、急速に衰え、今後の健全な木造の生産活動が危惧される状況となっている。

木造建築を理解し、関連する専門的な職能を備えた担い手を育成しなければ、人材の空洞化は今後一層深刻になることは明らかで、健全な市場形成が危ぶまれる。木造建築の担い手のあり様や育成の枠組みを包括的に検討・提言することが求められている。

本調査では、平成 24 年度に実施した前回調査から継続して、木造技能者としての大工・職人の実態に関するアンケート調査を実施し、大工・職人の実態を明らかにし、現状を把握することを目的とする。

1.2 調査の実施概要

1.2.1 大工・職人の実態調査実施概要

1.2.1.1 概要

- ・ 調査対象
：平成 25 年度 住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会に参加した木造技能者等

- ・ 実施期間
：2013 年 7 月～2014 年 2 月

- ・ 調査場所
：全国 47 都道府県で開催の C 講習会(平成 25 年度 住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会)会場。全 510 回。

- ・ アンケート票配布及び回収方法
：C 講習会にて教材と共に配布。終了考査解答用紙と共に提出を原則義務づけ。

- ・ アンケート票回収数
：全国で 10,923 票。

1.2.1.2 アンケート調査票

大工・職人の実態調査で用いたアンケート調査票を次項に示す。

大工の実態に関するアンケート調査

現在、地域に根ざした木造住宅等の生産体制の強化に向けて、大工の実態把握に向けた調査を実施しております。お分かりの範囲内で結構ですので、ご回答をお願い致します。

※なお、お答えいただいた情報は、個人を特定できる情報として外部に公表されることはありません。

全国木造住宅生産体制推進協議会

■あなたの職業等について、お答え下さい。

- (1) 年齢 [] 歳 (2) 性別 [1. 男 2. 女]
- (3) 職種（下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください）
1. 建築大工 2. 内装大工 3. 設備組立工 4. その他[]
- (4) 上記の職種の経験年数（下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください）
1. 3年未満 2. 3～5年 3. 6～10年 4. 11～20年
5. 21～30年 6. 31～40年 7. 41～50年 8. 51年以上
- (5) あなたはこの職種においてベテランだと思いますか。（下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください）
1. ベテラン 2. ややベテラン 3. 中堅 4. やや中堅 5. 見習い

■あなたの雇用形態について、お答え下さい。

- (6) あなたの雇用形態（工務店等との）は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
1. 工務店社員 2. 外注常雇（日当制） 3. 外注常雇（坪請主体） 4. その都度契約
5. 元請として仕事 6. その他（アルバイト等）
- (7) 就業規則 [1. 有 2. 無] (8) 有給休暇 [1. 有 2. 無] (9) 年間就業日数 約[]日
- (10) 保険等について、あなたが現在加入しているものをそれぞれお選びください。
10-1) 年金 : 1. 厚生年金 2. 国民年金 3. 企業年金
10-2) 労働保険: 1. 雇用保険 2. 労災保険 3. 一人親方労災保険
10-3) 健康保険: 1. 国民健康保険 2. 組合健康保険（建設国保） 3. 組合保険（建設国保以外）
4. その他の健康保険()
- (11) 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの全てに○をつけてください。（複数選択可）
1. 手道具 2. 電動工具 3. ヲギ金物 4. 車（保険含む） 5. ガソリン 6. 全て所属する工務店等が負担
- (12) あなたのおおよその賃金（(10)、(11)の諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）をお答えください。1日あたりの平均単価が不明な場合は、総月収を労働日数で割ったおおよその額でご回答ください。
1. 8,000円未満 2. 8,000～10,000円未満 3. 10,000～15,000円未満
4. 15,000～20,000円未満 5. 20,000～25,000円未満 6. 25,000円以上

■あなたが所持の資格や技能について、お答え下さい。

- (13) 次の1～12の資格のうち、あなたが所持のもの全てに○をつけてください。
1. 1級建築士 2. 2級建築士 3. 木造建築士 4. 1級建築施工管理技士
5. 2級建築施工管理技士 6. 1級建築大工技能士 7. 2級建築大工技能士
8. 枠組壁建築技能士 9. 職業訓練指導員 10. 増改築相談員
11. 足場の組立て等作業主任者 12. 木造建築物組立て作業主任者 13. 玉掛け技能講習修了者
14. クレーン運転技能講習修了者 15. 木材加工用機械作業主任者

⇒大工職の方のみご回答ください。

(14) 次の各項目について、「はい」か「いいえ」のどちらかあてはまる方に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| ①墨付けができますか。 | [1. はい 2. いいえ] |
| ②今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。 (新築) | [1. はい 2. いいえ] |
| ③今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。 (増改築) | [1. はい 2. いいえ] |
| ④和室造作ができますか。 | [1. はい 2. いいえ] |
| ⑤2×4工法の住宅の施工ができますか。 | [1. はい 2. いいえ] |

■仕事に対する満足度や今後の意向について、お答え下さい。

- (15) あなたは現在の仕事の内容について満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
1. とても満足している 2. まあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない
- (16) あなたは現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
1. とても満足している 2. まあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない
- (17) あなたは今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
1. 60歳で引退する 2. 65歳で引退する 3. 70歳で引退する 4. 75歳で引退する
5. 仕事が出る限り続ける 6. 仕事がないため近々退職・引退する予定である

■担い手育成について、お答え下さい。

- (18) 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
1. 現在育てている 2. 過去には育てた 3. 現在は育てていないが、人材がいれば育てたい
4. 現在は育てていないし、今後も育てる予定はない

⇒「1. 現在育てている」および「2. 過去には育てた」と答えた方のみご回答ください。

(19) 育成期間の担い手の立場は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 正社員（職業訓練校） | 2. 正社員（弟子として） |
| 3. 一人親方等にあずける（職業訓練校） | 4. 一人親方等にあずける(弟子として) |

(20) 上記の育成にかかる費用負担を行っていますか [1. 有 2. 無]

⇒「4. 現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」と答えた方のみご回答ください。

(21) なぜ育てる予定はないのですか。その理由として、1～8のうちあてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|-----------------|--------------|
| 1. 育てても、一人前になると辞めてしまうため | 2. 教えるのが面倒なため | |
| 3. 費用がかかるため | 4. 言うことを聞かないため | 5. 人材がいらないため |
| 6. 育てる自信がないため | 7. 将来の保障ができないため | 8. 年齢のため |
| 9. 仕事がプレカットのため | 10. 新築が少ないため | 11. その他[] |

(22) 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|---------|
| 1. 3万円/月 | 2. 5万円/月 | 3. 10万円/月 | 4. 15万円/月 | 5. 必要ない |
|----------|----------|-----------|-----------|---------|

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたら、下欄にご自由にご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

1.3 前回調査からの変更点

平成 24 年度に実施した前回調査から、今回調査では設問、回答選択項目に下記の変更点がある。

1.3.1 設問の追加

平成 24 年度調査のアンケート設問に以下の設問を追加した。

- (7) 就業規則
- (8) 有給休暇
- (9) 年間就業日数
- (14) ②今でも手刻み加工の仕事を年 1 棟以上行っていますか。(新築)
- (14) ③今でも手刻み加工の仕事を年 1 棟以上行っていますか。(増改築)
- (19) 育成期間の担い手の立場
- (20) 育成にかかる費用負担
- (22) 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1 人/月当たりどの程度必要と考えますか

1.3.2 設問の削除

平成 24 年度調査のアンケート設問の中から、下記の設問を削除した。

- 入母屋の墨付けができますか。
- 建物を見て、その構造形式が分かりますか。

1.3.3 選択項目の追加

- (13) お持ちの資格
選択項目「6.1 級建築大工技能士」、「7.2 級建築大工技能士」、「8. 枠組壁建築技能士」を追加
- (21) なぜ育てる予定はないのですか
選択項目「8. 年齢のため」、「9. 仕事がプレカットのため」、「10. 新築が少ないため」を追加。

2 設問別調査結果

2.1 職種別集計

2.1.1 職業等について

2.1.1.1 年齢

大工全体では、平均年齢は 45.9 歳だった。

30代の割合が 27.6%と最も高く、次いで 50代が 21.4%、40代が 20.4%、60代が 17.9%だった。

前回調査（H24 年度）と比較しても、ほぼ同様の年齢構成だった。

Q1. 年齢

		合計	Q1. 年齢								平均
			10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	
全体		10923	0.5	9.5	26.5	22.5	21.6	15.3	1.7	2.3	45.5
職種	大工	5753	0.7	9.2	27.6	20.4	21.4	17.9	2.0	0.9	45.9
	設備組立工	78	1.3	6.4	29.5	29.5	12.8	19.2	1.3	0.0	45.7
	その他	4522	0.3	9.7	26.2	25.5	22.7	12.5	1.4	1.7	45.1
	無回答	605	0.8	11.7	17.5	20.0	17.2	11.6	1.0	20.2	44.3

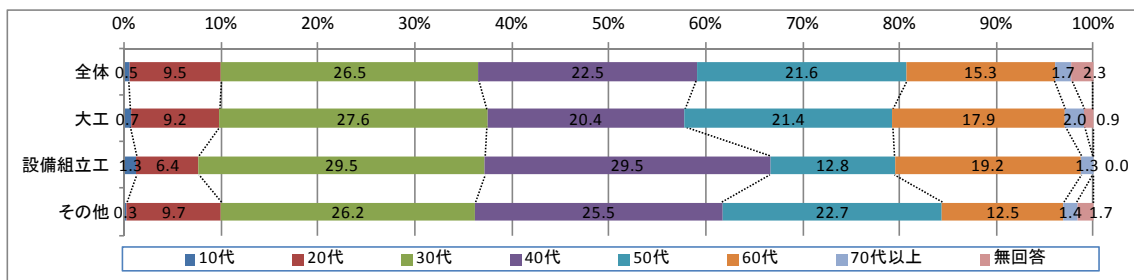


図 2.1 年齢 (H25 年度)

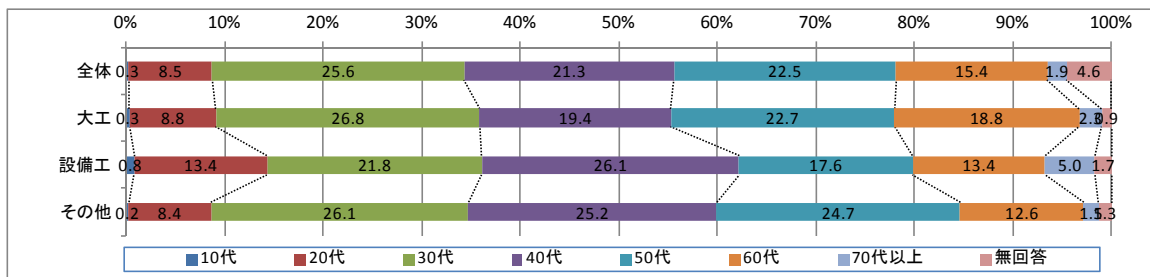


図 2.1 年齢 (H24 年度)

2.1.1.2 性別

大工全体の性別は 98.0%が男性だった。

女性の割合は 0.5%で、今回のアンケート票数の合計 5753 票に対して、28 票が女性となる。

前回調査（H24 年度）も、98.7%が男性であった。

Q2. 性別

	合計	Q2. 性別		
		男	女	無回答
全体	10923	93.5	4.3	2.2
職種				
大工	5753	98.0	0.5	1.5
設備組立工	78	100.0	0.0	0.0
その他	4522	89.7	9.3	1.0
無回答	605	78.3	3.5	18.2

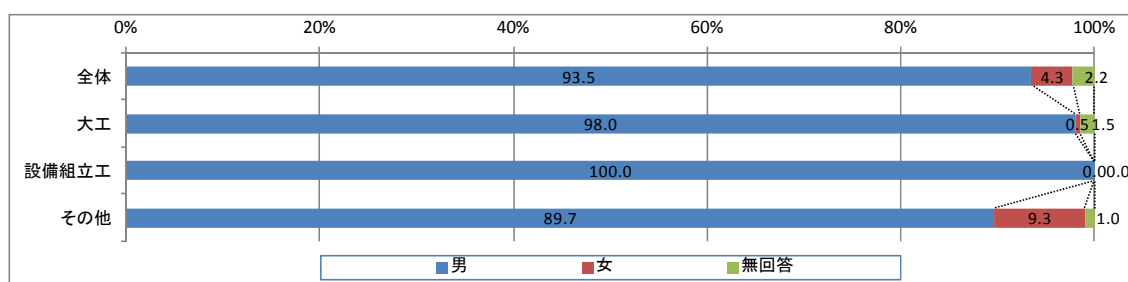


図 2.2 性別 (H25 年度)

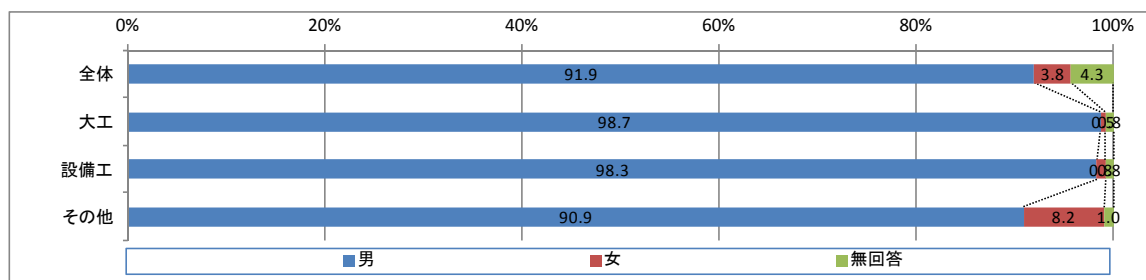


図 2.2# 性別 (H24 年度)

2.1.1.3 職種の経験年数

職種の経験年数は、「11~20年」の割合が27.6%で最も高い。次いで「31~40年」が18.9%、「21~30年」が17.4%、「41~50年」が16.1%だった。

大工の平均経験年数は24.6年だった。大工以外の職種では、設備組立工(19.4年)、その他(19.3年)、無回答(18.6年)であり、大工と比較すると約5年程度の経験年数の差が見られた。

前回調査(H24年度)と比較しても、経験年数の割合構成はほぼ同じであった。

Q4. 職種の経験年数

	合計	Q4. 職種の経験年数									平均 経験 年数
		3年未 満	3~5年	6~10 年	11~20 年	21~30 年	31~40 年	41~50 年	51年以 上	無回答	
全体	10923	6.3	4.2	10.9	26.8	17.2	16.9	10.9	1.6	5.1	22.2
職種											
大工	5753	4.2	3.2	9.5	27.6	17.4	18.9	16.1	2.3	0.7	24.6
設備組立工	78	10.3	5.1	11.5	30.8	19.2	16.7	6.4	0.0	0.0	19.4
その他	4522	9.2	5.8	13.5	27.6	18.2	16.1	5.5	0.8	3.4	19.3
無回答	605	4.8	2.6	4.8	11.6	7.8	4.5	2.8	0.5	60.7	18.6

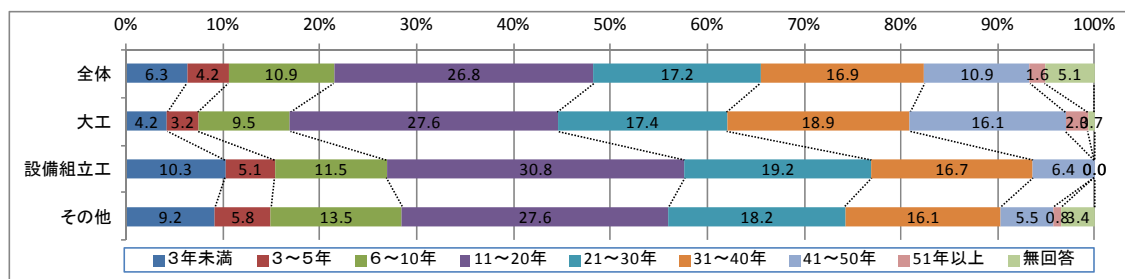


図 2.3 職種の経験年数 (H25 年度)

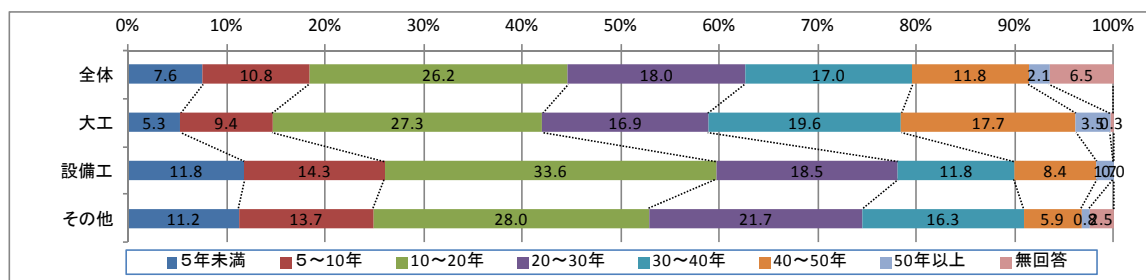


図 2.3# 職種の経験年数 (H24 年度)

2.1.1.4 職種においてベテランだと思いますか。

大工全体でみると、職種のベテラン割合は「中堅」の割合が33.5%で最も高かった。次いで、「ややベテラン」が21.6%、「ベテラン」が19.0%だった。

大工以外の職種と比較すると、大工は中堅以上のベテランの割合が大きかった。

前回調査（H24年度）も同様の割合構成だった。

Q5. あなたのベテラン度合いについて

	合計	Q5. あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	無回答
全体	10923	16.0	18.6	32.0	13.9	11.5	8.0
職種							
大工	5753	19.0	21.6	33.5	12.8	9.6	3.5
設備組立工	78	14.1	14.1	41.0	16.7	9.0	5.1
その他	4522	14.0	16.6	32.4	16.1	14.4	6.5
無回答	605	3.6	5.3	12.1	7.3	9.3	62.5

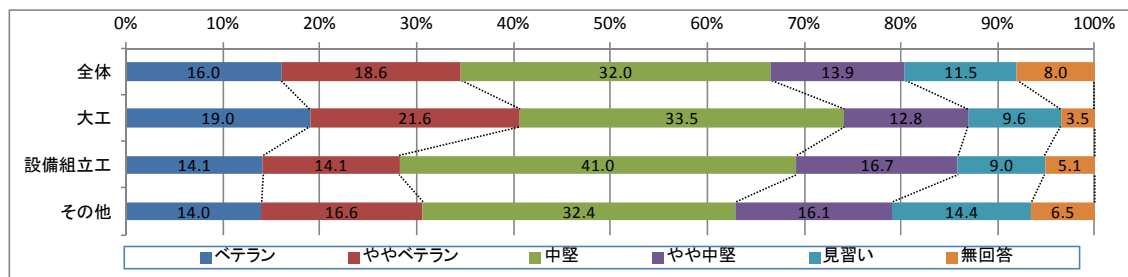


図 2.4 職種のベテラン度合 (H25 年度)

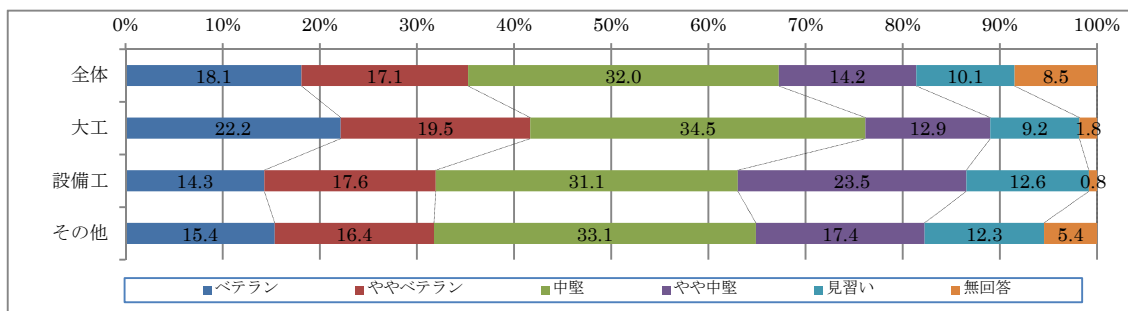


図 2.4 職種のベテラン度合 (H24 年度)

2.1.2 雇用形態について

2.1.2.1 雇用形態（工務店等との）

大工の雇用形態では、「工務店社員」の割合が34.4%、「元請として仕事」が34.3%でほぼ等しい。その他には「外注常雇（日給制）」が10.4%、「外注常雇（坪請主体）」が11.9%、「その都度契約」が4.9%、「その都度契約」が4.9%、「その他（アルバイト等）」が1.4%であった。

前回調査（H24年度）においても、雇用形態の割合の構成は同様である。

大工の雇用形態としては、「工務店社員」、「元請として仕事」、「外注（日給、坪請主体、その都度）」およびその他（アルバイト等）」の雇用形態がそれぞれ1/3ずつを占めて構成されていると考えられる。

Q6. あなたの雇用形態

	合計	Q6. あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常雇(日給制)	外注常雇(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	無回答
全体	10923	38.2	6.1	6.6	3.9	29.8	2.8	12.6
職種								
大工	5753	34.4	10.4	11.9	4.9	34.3	1.4	2.7
設備組立工	78	25.6	16.7	3.8	12.8	30.8	2.6	7.7
その他	4522	45.0	0.9	0.6	2.8	26.5	4.8	19.5
無回答	605	24.8	2.3	2.1	1.0	13.4	1.2	55.2

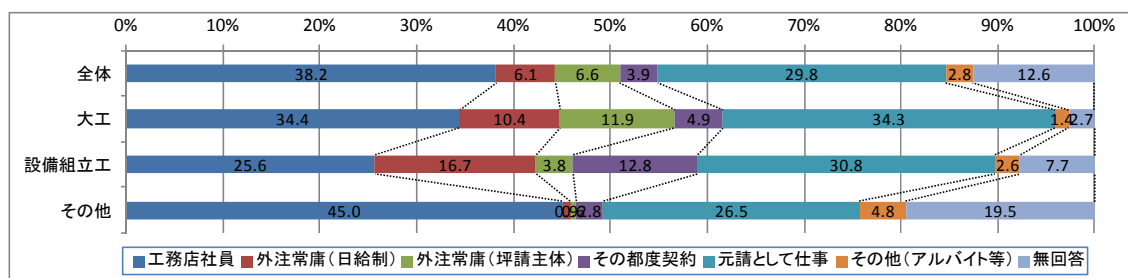


図 2.5 雇用形態（H25 年度）

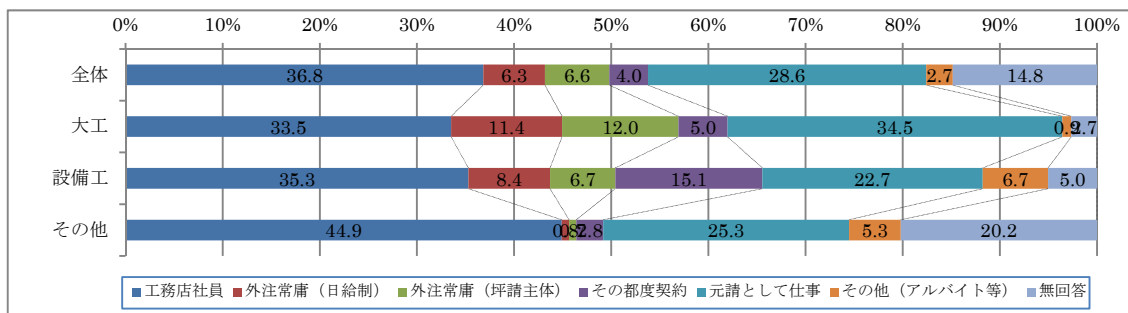


図 2.5 雇用形態（H24 年度）

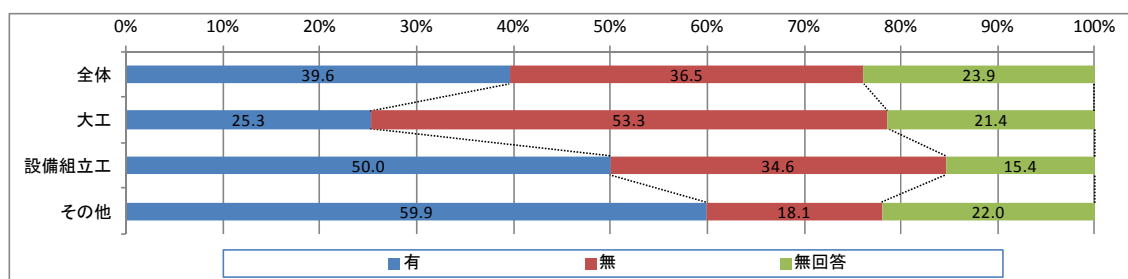
2.1.2.2 就業規則

大工の中で就業規則が「有る」と回答した割合は 25.3%。「無い」と回答した割合は 53.3%で、過半数を占めた。

大工以外の職種と比較すると、就業規則が「有る」と回答した割合は、設備組立工（50.0%）、その他（59.9%）であり、半数以上が「有る」と回答した。

Q7. 就業規則

		合計	Q7. 就業規則		
			有	無	無回答
	全体	10923	39.6	36.5	23.9
職種	大工	5753	25.3	53.3	21.4
	設備組立工	78	50.0	34.6	15.4
	その他	4522	59.9	18.1	22.0
	無回答	605	23.3	13.2	63.5



就業規則 (H25 年度)

2.1.2.3 有給休暇

大工で有給休暇が「有る」と回答した割合は 10.4%で、「無い」と回答した割合は 65.6%だった。有給休暇の無い大工が過半数を占める。

大工以外の職種で比較すると、有給休暇が「有る」と回答した割合は、設備組立工（34.6%）、その他（50.1%）であった。

Q8. 有給休暇

		合計	Q8. 有給休暇		
			有	無	無回答
	全体	10923	27.5	46.0	26.5
職種	大工	5753	10.4	65.6	24.0
	設備組立工	78	34.6	48.7	16.7
	その他	4522	50.1	25.0	24.9
	無回答	605	19.2	15.9	65.0

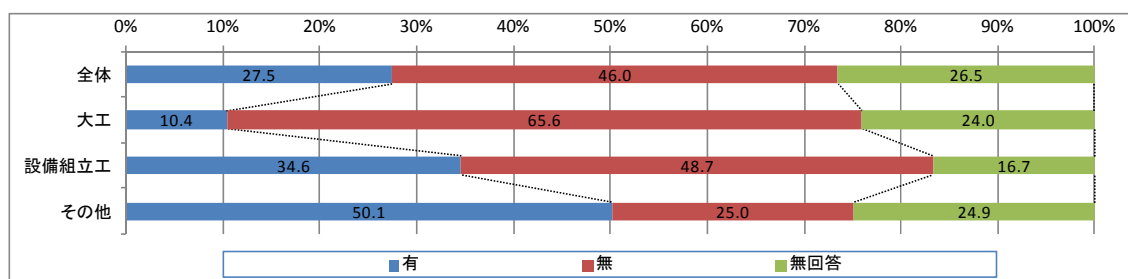


図 2.6 有給休暇 (H25 年度)

2.1.2.4 年間就業日数

大工全体の平均年間就業日数は 266.9 日だった。

大工以外の職種と平均年間就業日数を比較すると、設備組立工（261.5 日）、その他（249.6 日）であり、大工は最も平均年間就業日数が多かった。

大工の年間就業日数の割合は「300 日以上」が 27.9%で最も高く、次いで「250 日～275 日未満」が 10.3%だった。

Q9. 年間就業日数

	合計	Q9. 年間就業日数					平均
		250日未満	250日～275日未満	275日～300日未満	300日以上	無回答	
全体	10923	10.7	10.1	8.3	22.0	48.9	260.0
職種							
大工	5753	10.0	9.6	9.6	27.9	42.8	266.9
設備組立工	78	9.0	10.3	3.8	23.1	53.8	261.5
その他	4522	12.5	11.5	7.5	16.5	51.9	249.6
無回答	605	3.3	4.0	1.8	7.6	83.3	261.6

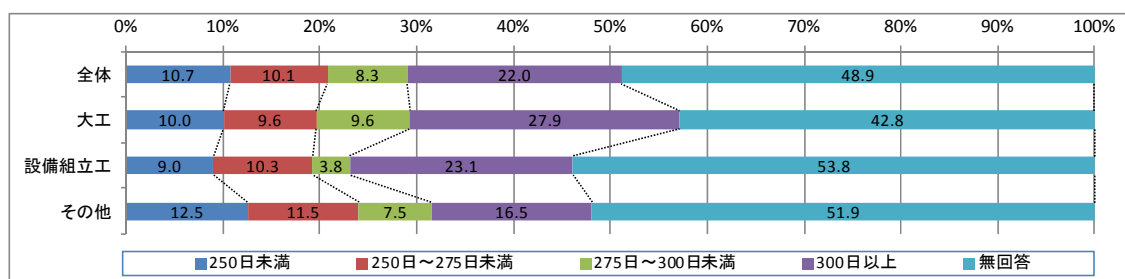


図 2.7 年間就業日数 (H25 年度)

2.1.2.5 保険等について

2.1.2.5.1 年金保険

大工全体では、「国民年金」の割合が 59.1%で、「厚生年金」が 25.4%だった。年金保険についての「無回答」は 15.7%だった。

大工以外の職種では、設備組立工（「厚生年金」 34.6%、「国民年金」 41.0%）、その他（「厚生年金」 63.7%、「国民年金」 18.9%）であった。

前回調査（H24 年度）と比較しても、大工の加入している年金保険の割合構成は、ほぼ等しかった。大工の加入している年金保険は「国民年金」が過半数で、約 6 割を占めている。

Q10-1. 加入している年金(複数回答)

職種	合計	Q10-1. 加入している年金(複数回答)			
		厚生年金	国民年金	企業年金	無回答
全体	10923	41.6	40.0	1.1	18.9
大工	5753	25.4	59.1	0.9	15.7
設備組立工	78	34.6	41.0	1.3	24.4
その他	4522	63.7	18.9	1.5	18.1
無回答	605	31.1	14.7	0.7	55.4

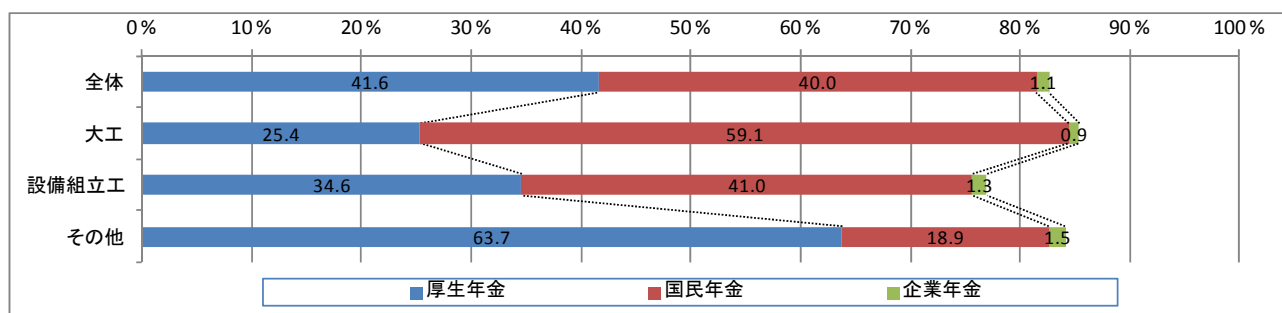


図 2.8 年金保険 (H25 年度)

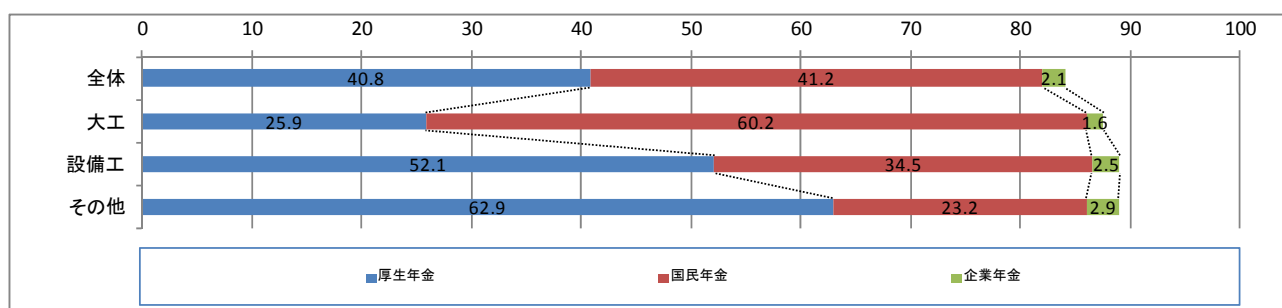


図 2.8# 年金保険 (H24 年度)

2.1.2.5.2 労働保険

大工全体では、雇用保険に加入している割合は15.0%であった。大工以外の職種と比較すると、設備組立工(28.2%)、その他(44.8%)であった。「2.1.2.1 雇用形態(工務店等との)」において「工務店社員」と回答した割合と照合してみても、大工で雇用保険に加入している割合は低い。

大工全体で、労災保険(一人親方労災保険を含む)に加入している割合は60.7%(労災保険:32.6%、一人親方労災保険:28.1%)であった。大工以外の職種では、設備組立工が34.6%(労災保険17.9%、一人親方労災保険16.7%)、その他が23.2%(労災保険18.6%、一人親方労災保険4.6%)だった。

Q10-2. 加入している労働保険(複数回答)

		Q10-2. 加入している労働保険(複数回答)				
		合計	雇用保険	労災保険	一人親方労災保険	無回答
全体		10923	27.5	25.5	17.0	36.4
職種	大工	5753	15.0	32.6	28.1	31.2
	設備組立工	78	28.2	17.9	16.7	41.0
	その他	4522	44.8	18.6	4.6	38.4
	無回答	605	17.7	11.2	4.8	68.8

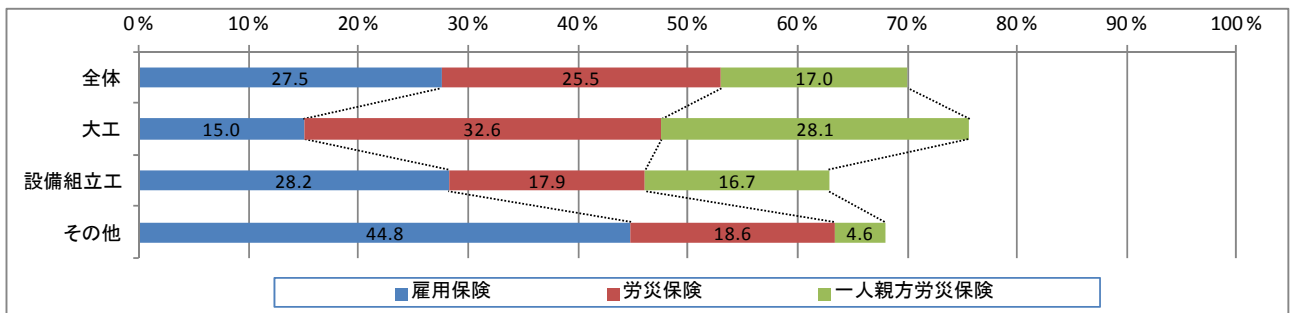


図 2.9 労働保険 (H25 年度)

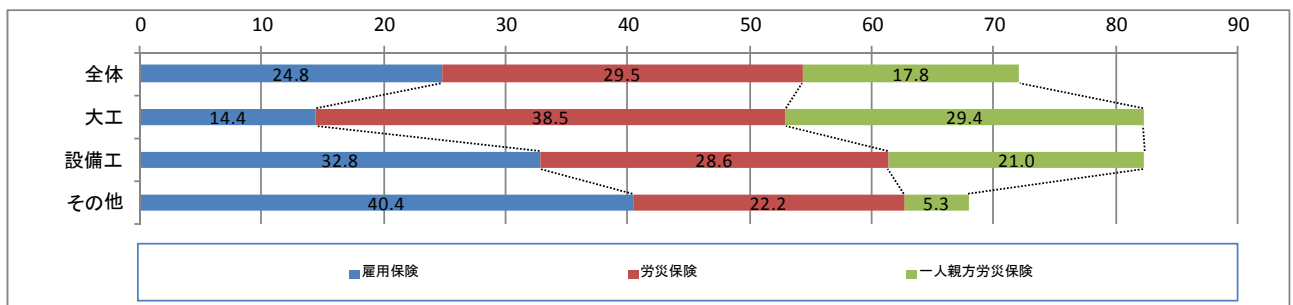


図 2.9 労働保険 (H24 年度)

2.1.2.5.3 健康保険

大工が加入している健康保険の割合は、「組合健康保険（建設国保）」が43.1%で最も高く、次いで「国民健康保険」が29.1%だった。

前回調査（H24年度）においても、加入している健康保険の割合構成はほぼ同様だった。

大工以外の職種と比較すると、「組合健康保険（建設国保）」の割合が少なく、「組合健康保険（建設国保以外）」、「その他の健康保険」と回答する割合が多くみられた。

Q10-3. 加入している健康保険(複数回答)

	合計	Q10-3. 加入している健康保険(複数回答)				
		国民健康保険	組合健康保険(建設国保)	組合健康保険(建設国保以外)	その他の健康保険	無回答
全体	10923	28.3	30.6	4.0	5.7	31.8
職種						
大工	5753	29.1	43.1	2.5	2.7	23.2
設備組立工	78	32.1	30.8	9.0	1.3	28.2
その他	4522	28.8	17.4	6.2	10.3	37.5
無回答	605	16.9	8.9	1.5	1.2	71.6

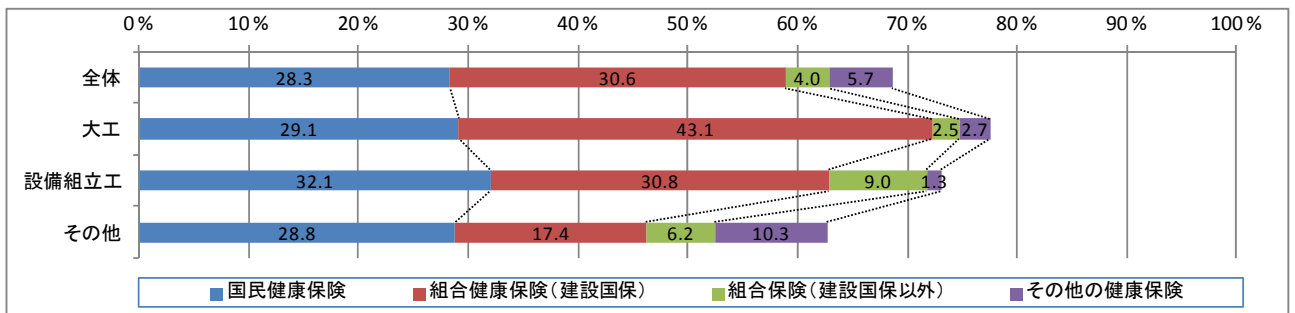


図 2.10 健康保険 (H25 年度)

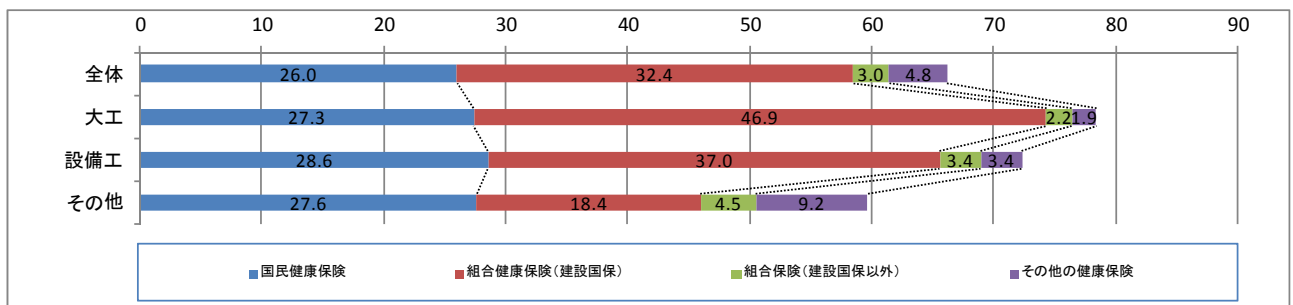


図 2.10 健康保険 (H24 年度)

2.1.2.6 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

大工で、賃金の中に含まれ、自己負担となっているものの割合の合計は、291.3%であった。大工以外の職種と比較して、自己負担となっているものの割合は最も高い。

自己負担となっているものの中で、最も割合が高いのは「手道具」が72.6%だった。次いで、「電動工具」が67.5%であった。「ガソリン」と「車（保険含む）」は、それぞれ54.8%、54.6%でほぼ同割合だった。

前回調査（H24年度）の結果もほぼ同じ割合構成となっている。

Q11. 自己負担となっているもの（複数回答）

	合計	Q11. 自己負担となっているもの（複数回答）						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	無回答
全体	10923	44.3	40.4	16.6	36.8	34.8	20.2	26.3
職種								
大工	5753	72.6	67.5	28.0	54.6	54.8	13.8	7.7
設備組立工	78	33.3	33.3	19.2	37.2	33.3	33.3	20.5
その他	4522	12.8	9.9	3.6	17.5	12.7	29.2	44.3
無回答	605	12.9	11.7	5.5	12.2	10.4	12.9	69.1

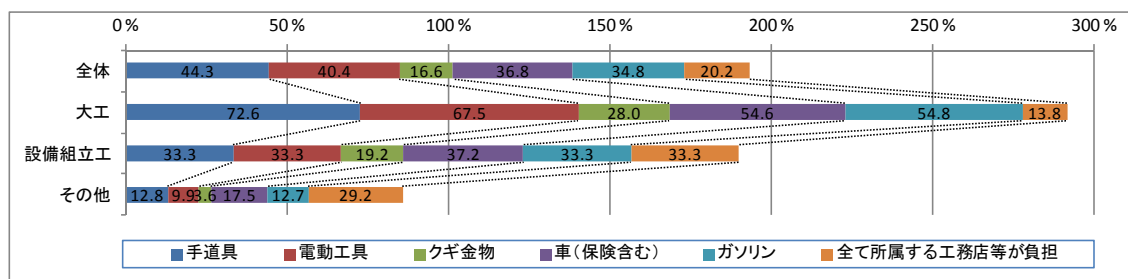


図 2.11 自己負担となっているもの（H25年度）

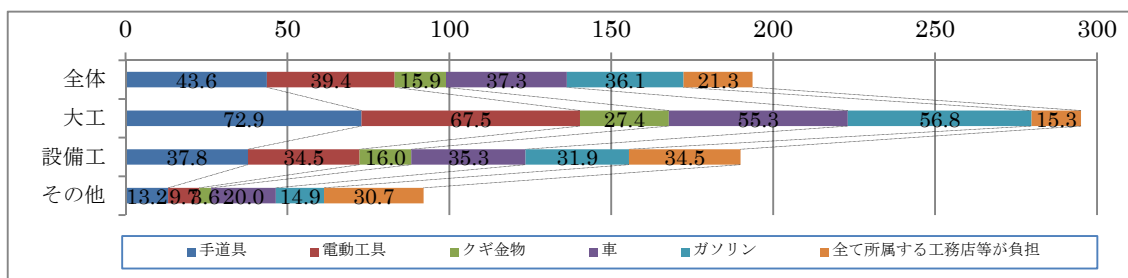


図 2.11# 自己負担となっているもの（H24年度）

2.1.2.7 おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

大工の1日あたりのおおよその賃金は14,902.5円だった。大工以外の職種と比較しても、大工の賃金の平均は500~1,000円程度高い。

大工の中では、「10,000~15,000円未満」の割合が最も高く37.9%、次いで「15,000~20,000円未満」が35.9%だった。

前回調査（H24年度）と比較して、割合の構成は殆ど同じであるが、前回調査時は「15,000~20,000円未満」と回答した割合が最も高かった。

Q12. 1日あたりのおおよその賃金

職種	合計	Q12. 1日あたりのおおよその賃金							平均賃金
		8,000円未満	8,000~10,000円未満	10,000~15,000円未満	15,000~20,000円未満	20,000~25,000円未満	25,000円以上	無回答	
全体	10923	5.7	8.9	30.5	25.4	7.3	2.7	19.5	14703.1
大工	5753	5.4	7.2	37.9	35.9	7.9	1.7	3.9	14902.5
設備組立工	78	7.7	20.5	32.1	16.7	15.4	1.3	6.4	14068.5
その他	4522	6.4	11.2	23.4	14.5	6.9	4.4	33.3	14421.4
無回答	605	2.8	6.3	12.2	9.1	2.6	0.8	66.1	13904.9

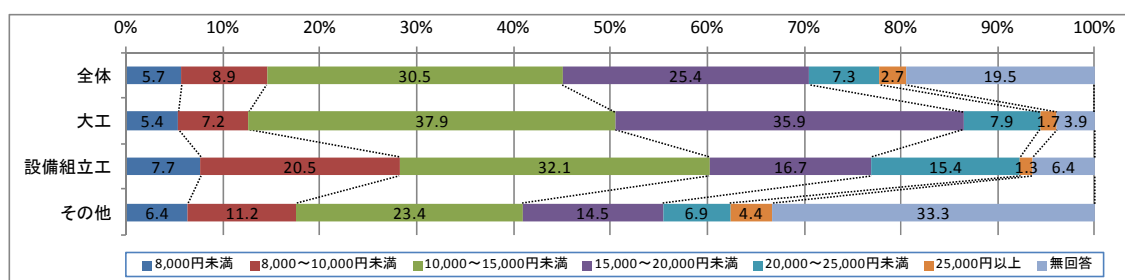


図 2.12 一日あたりのおおよその賃金（H25年度）

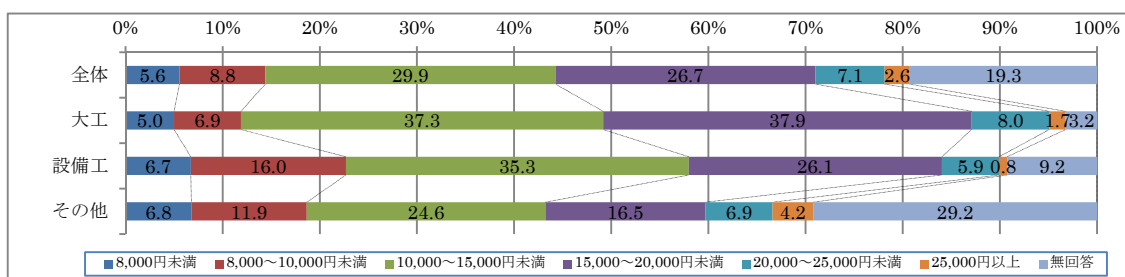


図 2.12 一日あたりのおおよその賃金（H24年度）

2.1.3 資格や技能について

2.1.3.1 持っている資格

大工では、「木造建築物組立て作業主任者」（45.5%）、「玉掛け技能講習修了者」（43.5%）、「足場の組立て等作業主任者」（39.9%）の労働安全衛生法に定められた資格の取得割合が高い。建築大工技能士は、「1級建築大工技能士」（15.7%）、「2級建築大工技能士」（12.8%）であり、2級以上を取得している大工の割合は合計して28.5%である。施工管理技士では「2級建築施工管理技士」（14.2%）、建築士では「2級建築士」（33.4%）の取得している割合が高かった。

Q13. お持ちの資格(複数回答)

職種	合計	Q13. お持ちの資格(複数回答)															
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	1級建築大工技能士	2級建築大工技能士	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	無回答
全体	10923	15.2	33.5	2.5	11.2	13.0	8.6	7.2	1.5	9.2	8.4	29.8	30.5	33.0	14.6	8.0	21.6
大工	5753	5.9	33.4	3.7	4.3	14.2	15.7	12.8	2.3	15.5	10.7	39.9	45.5	43.5	18.9	13.4	16.4
設備組立工	78	2.6	9.0	1.3	2.6	3.8	1.3	2.6	1.3	5.1	7.7	19.2	10.3	33.3	24.4	3.8	51.3
その他	4522	27.7	35.8	1.1	20.2	12.6	0.8	0.7	0.6	2.3	6.3	19.3	14.0	21.9	10.0	2.1	23.8
無回答	605	10.9	21.2	1.7	9.8	7.9	1.2	3.3	1.0	2.3	4.0	14.2	12.9	17.0	9.3	2.3	50.4

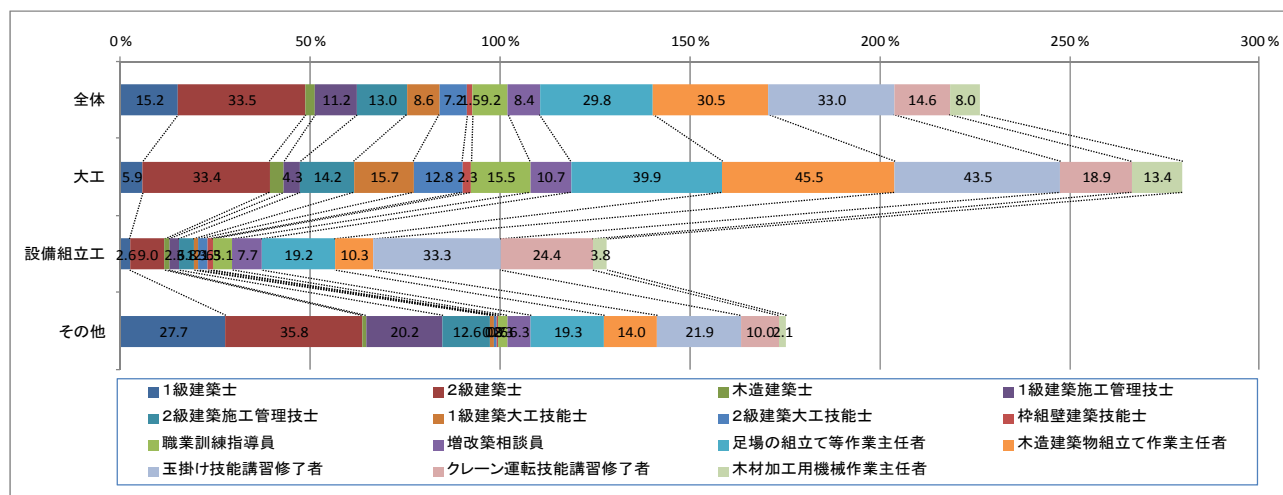


図 2.13 持っている資格 (H25 年度)

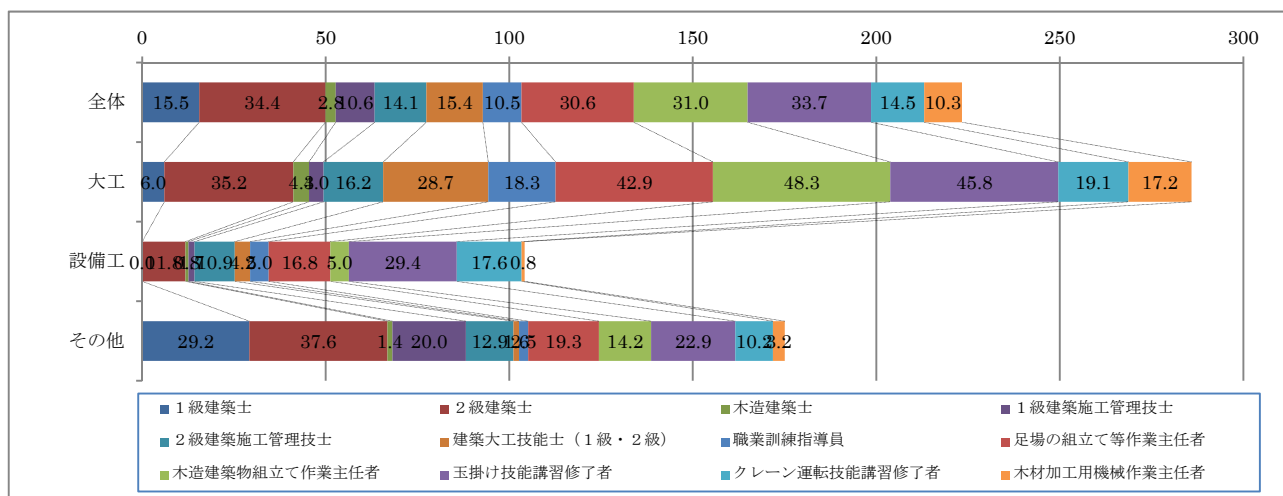


図 2.13# 持っている資格 (H24 年度)

2.1.3.2 **大工職のみ回答** 墨付けができますか。

墨付けができると回答した大工の割合は 73.7%だった。

前回調査（H24 年度）と比較して 2.6 ポイント減少している。

大工職限定		Q14①. 墨付けができますか			
職種	合計	Q14①. 墨付けができますか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	5753	73.7	15.1	11.2	
大工	5753	73.7	15.1	11.2	
設備組立工	4	75.0	0.0	25.0	
その他	31	61.3	16.1	22.6	
無回答	0	0.0	0.0	0.0	

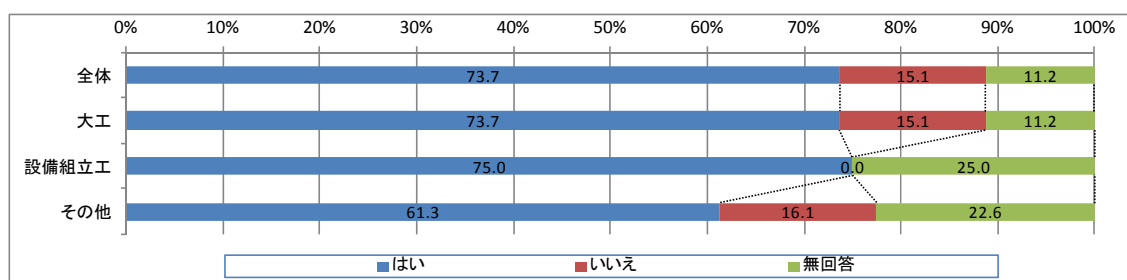


図 2.14 墨付け (H25 年度)

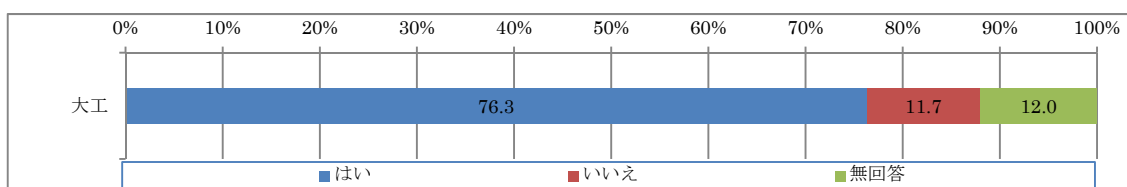


図 2.14# 墨付け (H24 年度)

2.1.3.3 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（新築）

今でも新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した大工の割合は、28.1%だった。「いいえ」と回答した大工の割合は58.7%で、半数以上の大工は新築の手刻み加工の仕事をやっていない。

前回調査（H24年度）と比較すると、「はい」と回答した割合は3.5ポイント減少しており、「いいえ」の割合は2.8ポイント増加している。

大工職限定		Q14②. 新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		合計	はい	いいえ	無回答
	全体	5753	28.1	58.7	13.2
職種	大工	5753	28.1	58.7	13.2
	設備組立工	4	50.0	25.0	25.0
	その他	31	48.4	22.6	29.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0

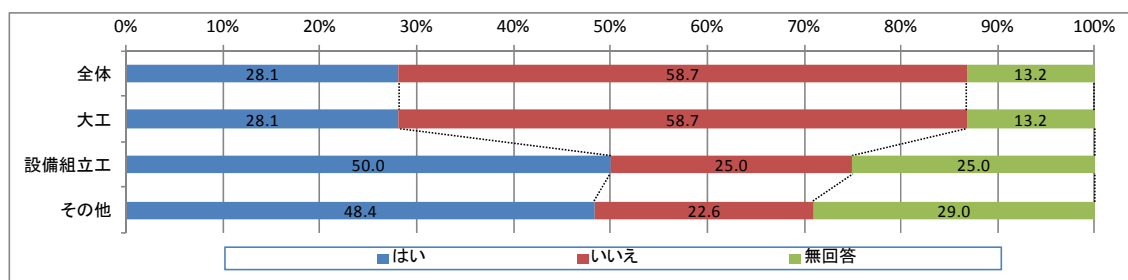


図 2.15 手刻み加工の仕事（新築）（H25年度）

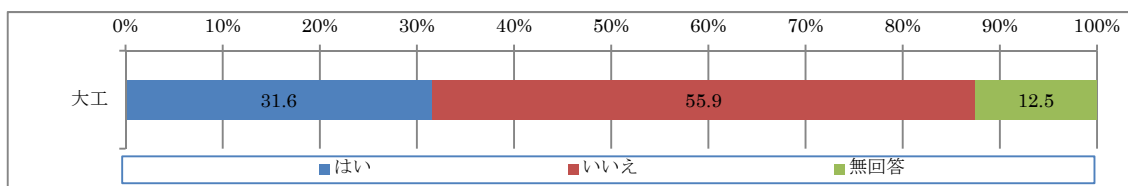


図 2.15# 手刻み加工の仕事（H24年度）

2.1.3.4 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（増改築）

今でも増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した大工の割合は、50.7%だった。「いいえ」と回答した割合は36.5%。

前設問と照合してみると、大工の仕事の実態として、新築の仕事では手刻み加工はなくなってきているが、増改築の仕事で手刻み加工を行うことの方が多い。

大工職限定
Q14③. 増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか

		合計	Q14③. 増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	無回答
	全体	5753	50.7	36.5	12.8
職種	大工	5753	50.7	36.5	12.8
	設備組立工	4	50.0	25.0	25.0
	その他	31	67.7	3.2	29.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0

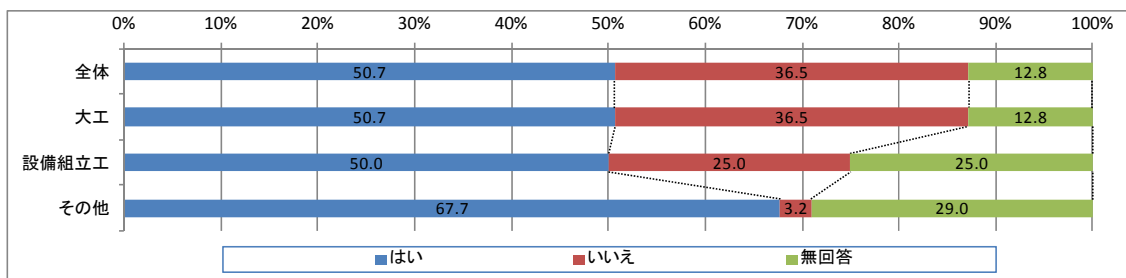


図 2.16 手刻み加工の仕事（増改築）（H25 年度）

2.1.3.5 大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作ができると回答した大工の割合は70.5%。「いいえ」と回答した割合は17.7%だった。前回調査（H24年度）と比較すると、「はい」は1.5ポイント減少、「いいえ」は2.0ポイント増加している。

		合計	Q14④. 和室造作ができますか		
			はい	いいえ	無回答
全体		5753	70.5	17.7	11.9
職種	大工	5753	70.5	17.7	11.9
	設備組立工	4	75.0	0.0	25.0
	その他	31	58.1	19.4	22.6
	無回答	0	0.0	0.0	0.0

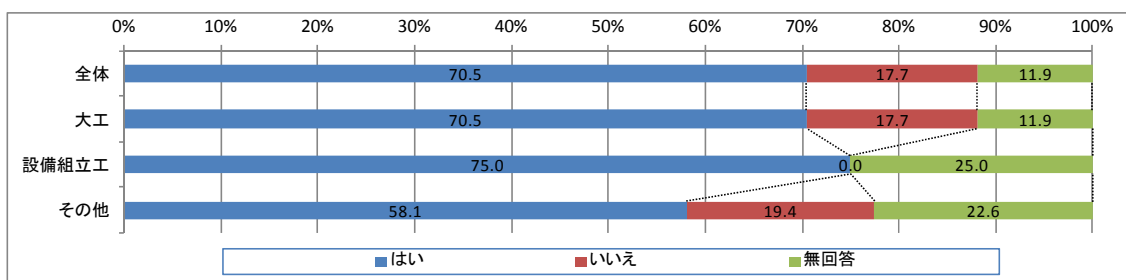


図 2.17 和室造作 (H25 年度)

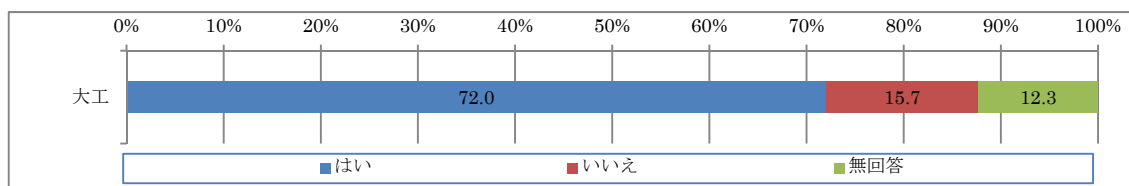


図 2.17 和室造作 (H24 年度)

2.1.3.6 **大工職のみ回答** 2×4工法の住宅の施工ができますか。

2×4工法の住宅の施工ができると回答した大工の割合は27.6%。「いいえ」と回答した割合は59.0%だった。

前回調査（H24年度）の結果とほぼ等しい。

大工職限定		Q14⑤. 2×4工法の住宅の施工ができますか			
		合計	はい	いいえ	無回答
全体		5753	27.6	59.0	13.4
職種	大工	5753	27.6	59.0	13.4
	設備組立工	4	50.0	25.0	25.0
	その他	31	32.3	41.9	25.8
	無回答	0	0.0	0.0	0.0

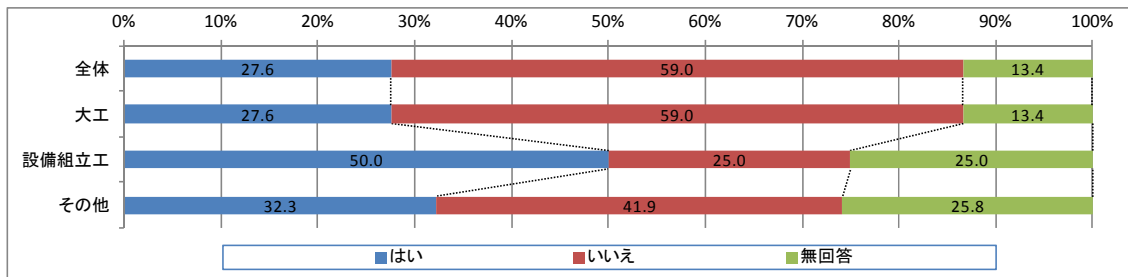


図 2.18 2×4工法の住宅の施工（H25年度）

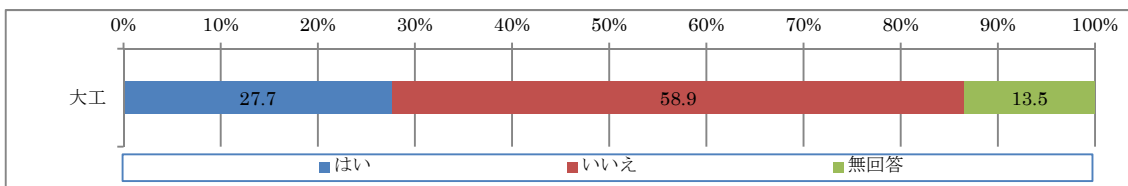


図 2.18# 2×4工法の住宅の施工（H24年度）

2.1.4 仕事に対する満足度や今後の意向について

2.1.4.1 現在の仕事の内容について満足していますか。

大工で、「とても満足している」（8.7%）、「まあ満足している」（51.1%）を合計した「満足している」割合は59.8%だった。一方で、「あまり満足していない」（24.8%）、「満足していない」（6.8%）を合計した「満足していない」割合は31.6%だった。大工の約6割が仕事の内容について満足している。

大工以外の職種と比較すると、大工は「満足していない」と回答する割合が高い。

前回調査（H24年度）においては、大工の「満足している」割合は56.7%であり、大工の満足度は3.1ポイント増加している。また「満足していない」割合は33.8%で、2.2ポイント減少した。

Q15. 現在の仕事の内容について満足度

	合計	Q15. 現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
全体	10923	8.3	48.4	20.7	5.3	17.3
職種						
大工	5753	8.7	51.1	24.8	6.8	8.6
設備組立工	78	10.3	50.0	17.9	3.8	17.9
その他	4522	8.2	47.7	16.7	3.6	23.8
無回答	605	5.3	28.3	12.1	3.5	50.9

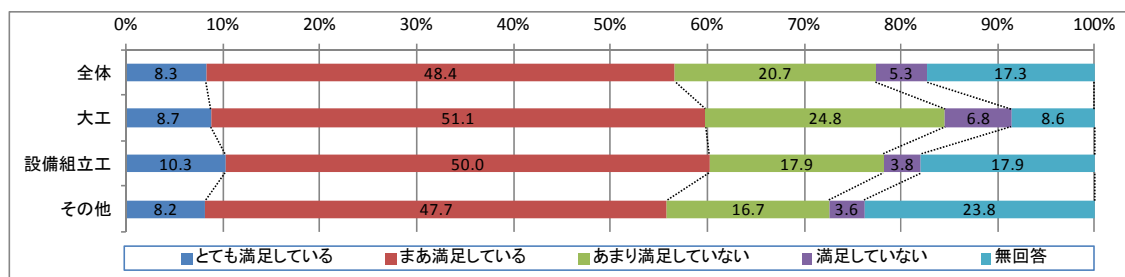


図 2.19 仕事の内容についての満足度 (H25 年度)

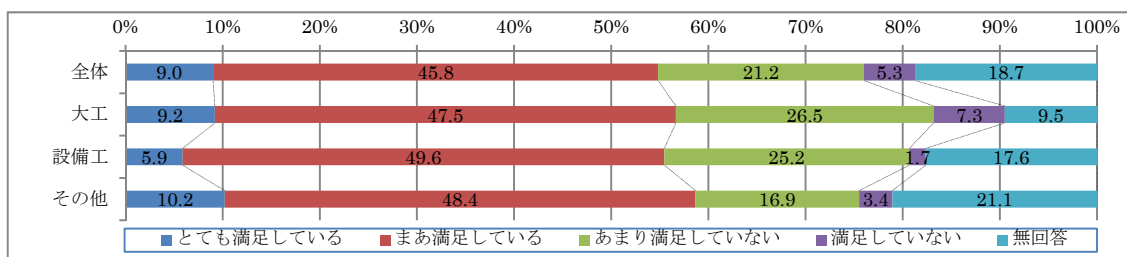


図 2.19# 仕事の内容についての満足度 (H24 年度)

2.1.4.2 現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

工で、「とても満足している」(3.1%)、「まあ満足している」(30.6%)を合計した「満足している」割合は33.7%だった。一方で、「あまり満足していない」(39.9%)、「満足していない」(17.7%)を合計した「満足していない」割合は57.6%だった。大工の約6割は、仕事で得られる収入等について満足していない。

大工以外の職種と比較すると、大工は「満足していない」と回答する割合が高い。

前回調査(H24年度)においては、大工の「満足している」割合は33.0%であり、大工の満足度は0.7ポイント増加、「満足していない」割合は57.4%で、0.2ポイント増加しているが、殆ど変化は無い。

Q16. 現在の仕事で得られる収入等について満足度

		合計	Q16. 現在の仕事で得られる収入等について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
全体		10923	2.9	30.4	34.9	14.2	17.6
職種	大工	5753	3.1	30.6	39.9	17.7	8.8
	設備組立工	78	2.6	33.3	30.8	15.4	17.9
	その他	4522	2.8	31.8	30.7	10.5	24.2
	無回答	605	2.1	18.5	20.7	7.6	51.1

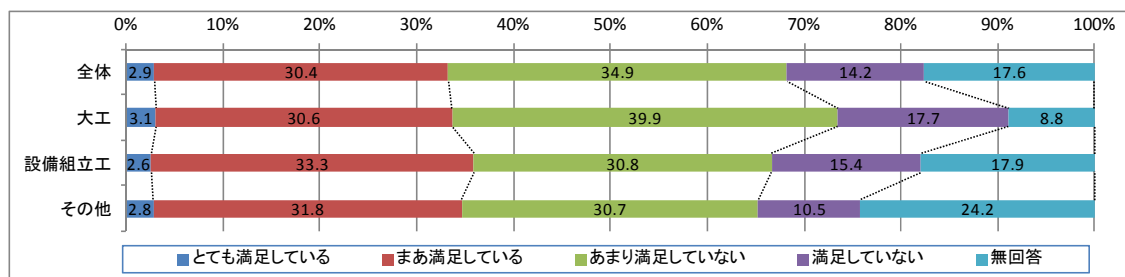


図 2.20 収入等についての満足度 (H25 年度)

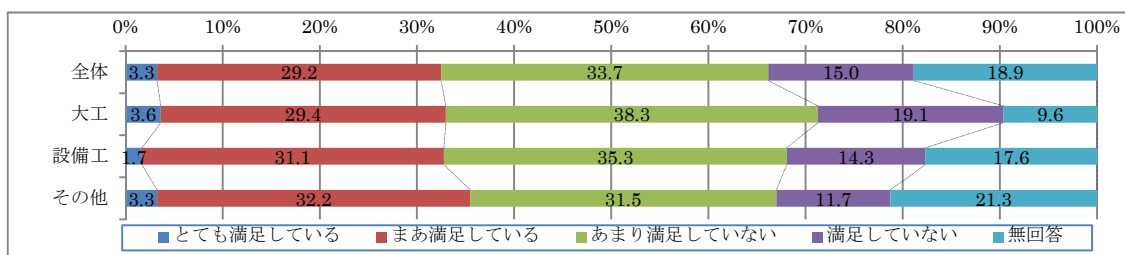


図 2.20 収入等についての満足度 (H24 年度)

2.1.4.3 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

大工では、「仕事ができる限り続ける」の割合が51.6%で最も高かった。次いで、「65歳で引退する」が15.9%だった。

大工以外の職種と比較しても、「仕事ができる限り続ける」の割合は大工が最も大きい。前回調査（H24年度）でも、大工の回答の割合構成はほぼ等しく、変化は見られなかった。

Q17. 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか

	合計	Q17. 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	無回答
全体	10923	8.8	18.4	9.1	2.4	41.8	0.9	18.6
職種								
大工	5753	7.2	15.9	11.8	3.1	51.6	0.9	9.5
設備組立工	78	10.3	24.4	7.7	0.0	38.5	0.0	19.2
その他	4522	11.2	21.9	6.5	1.5	32.4	0.8	25.7
無回答	605	6.6	14.4	3.8	2.1	20.0	1.0	52.1

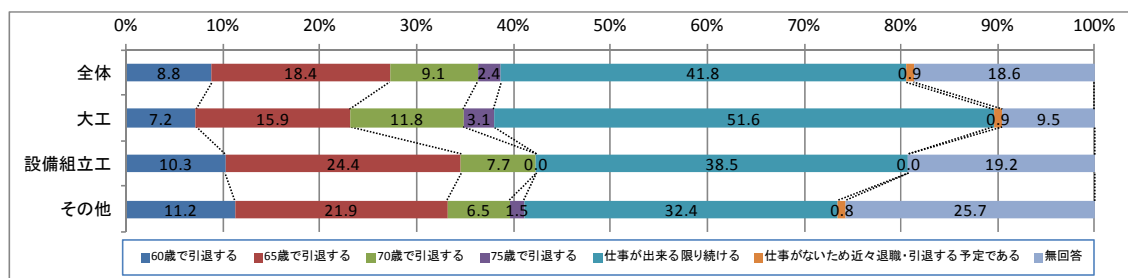


図 2.21 何歳まで仕事を続ける予定か（H25年度）

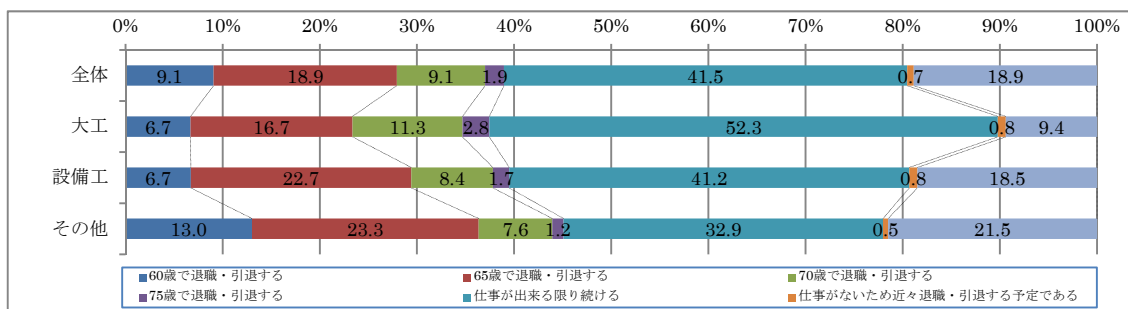


図 2.21# 何歳まで仕事を続ける予定か（H24年度）

2.1.5 担い手育成について

2.1.5.1 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

今回調査（H25年度）では、「過去には育てた」の選択項目を追加している。

「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」が32.4%で最も高く、次いで「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」が27.7%だった。「現在育てている」と回答した割合は、12.3%だった。

前回調査（H24年度）から選択項目が追加されているため、割合に多少変動が見られる。回答項目を「現在、育てている」、「現在、育てていない」の2種類に分類して比較すると、「現在、育てている」（15.8%→12.3%）で3.5ポイント減少、「現在、育てていない」（68.7%→72.5%）で3.8ポイント増加しており、担い手を育成している大工に減少が見られた。

Q18. 現在、担い手の育成を行っていますか

		Q18. 現在、担い手の育成を行っていますか				
合計		現在育てている	過去には育てた	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	無回答
全体	10923	11.6	9.0	30.2	20.8	28.3
職種						
大工	5753	12.3	12.4	32.4	27.7	15.3
設備組立工	78	15.4	12.8	30.8	16.7	24.4
その他	4522	11.3	5.4	29.5	13.5	40.2
無回答	605	6.6	4.6	15.0	11.1	62.6

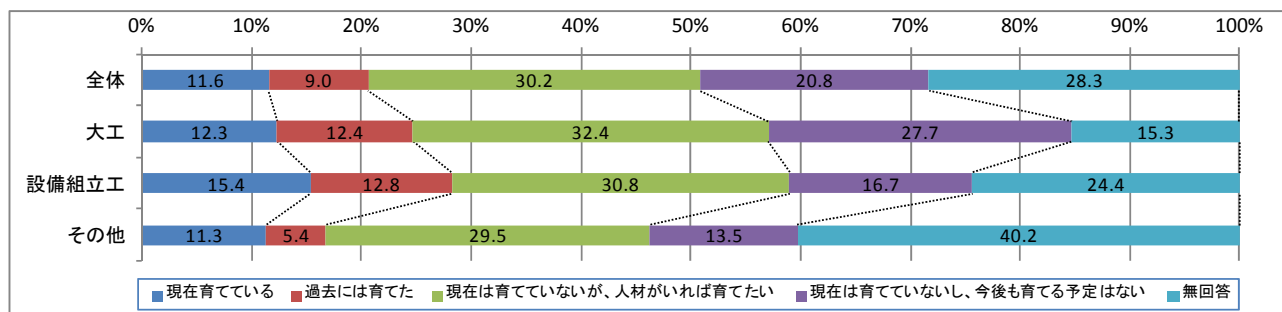


図 2.22 担い手の育成状況 (H25年度)

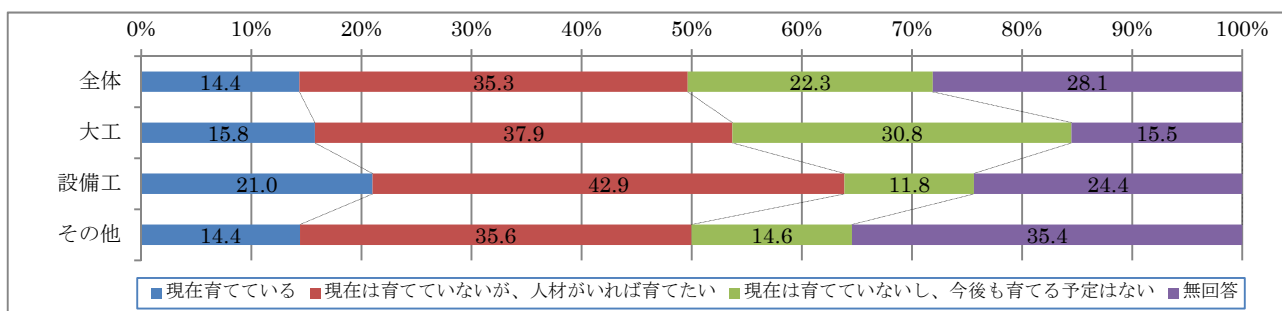


図 2.22# 担い手の育成状況 (H24年度)

2.1.5.2 2.1.5.1 「1.現在育てている」 および 「2.過去には育てた」 のみ回答

育成期間の担い手の立場

大工において、育成期間の担い手の立場としては、「正社員（弟子として）」が60.1%で最も割合が高い。次いで「一人親方等にあずける（弟子として）」が15.5%、「正社員（職業訓練校）」が12.4%だった。

大工以外の職種と比較すると、その他では「正社員（職業訓練校）」が28.9%と高い割合で見られた。

大工において、育成期間の担い手の立場としては、正社員として雇用するのが約7割である。さらに、7割の正社員の内訳としては職業訓練校へ通わせながら育成するのが1割、弟子として仕事を通じて直接育成するのが6割となった。また、直接育成せずに他の大工へ担い手を預ける形で育成するのが約2割となっている。

【Q18=1および2】

Q19. 育成期間の担い手の立場

	合計	Q19. 育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方等 にあずける(職業 訓練校)	一人親方等 にあずける(弟子 として)	無回答
全体	2251	18.2	55.9	2.8	11.6	11.5
職種						
大工	1419	12.4	60.1	3.3	15.5	8.7
設備組立工	22	18.2	36.4	0.0	22.7	22.7
その他	758	28.9	49.2	1.6	4.7	15.6
無回答	68	25.0	47.1	5.9	1.5	20.6

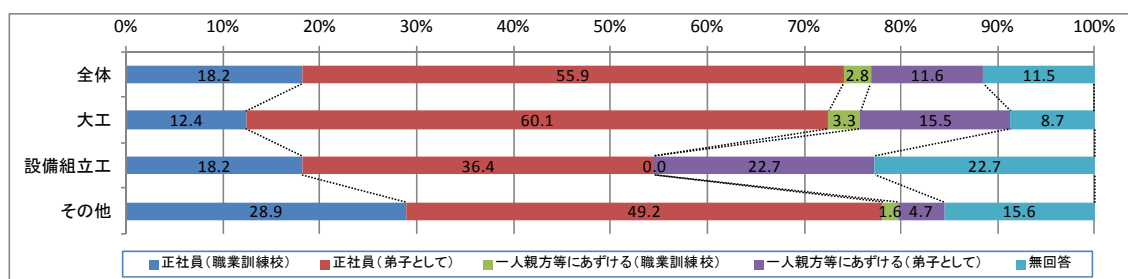


図 2.23 育成期間の担い手の立場 (H25 年度)

2.1.5.3 2.1.5.1 「1.現在育てている」 および 「2.過去には育てた」 のみ回答

育成にかかる費用負担

育成期間にかかる費用の負担について、大工で「有る」と回答した割合は 28.8%だった。「無い」の割合は 15.6%。55.6%は無回答だった。

【Q18=1および2】

Q20. 育成期間にかかる費用の負担を行っているか

	合計	Q20. 育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	無回答
全体	2251	26.7	15.6	57.6
職種				
大工	1419	28.8	15.6	55.6
設備組立工	22	18.2	18.2	63.6
その他	758	24.3	15.8	59.9
無回答	68	19.1	11.8	69.1

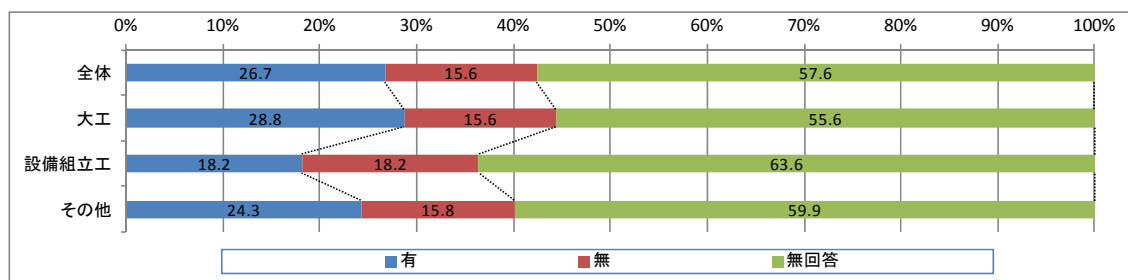


図 2.24 育成期間にかかる費用負担 (H25 年度)

2.1.5.4 2.1.5.1 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

大工の育てる予定がない理由として、「将来の保障ができないため」が41.2%で最も高い。ついで、「人材がないため」が23.1%、「費用がかかるため」が20.3%だった。

大工以外の職種では、「人材がないため」という回答の割合が高い。

前回調査（H24年度）と比較すると、今回調査では特に大工において「将来の保障ができないため」の割合が突出しており、大工自身が将来性に大きな不安を抱いていることが考えられる。

【Q18=4】

Q21. なぜ育てる予定はないのですか(複数回答)

職種	合計	Q21. なぜ育てる予定はないのですか(複数回答)											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	無回答
全体	2275	7.0	8.0	17.4	2.4	22.7	11.7	34.1	12.9	7.6	14.4	7.3	15.1
大工	1591	7.5	9.4	20.3	2.7	23.1	12.8	41.2	13.7	10.1	18.3	3.6	11.6
設備組立工	13	15.4	0.0	15.4	0.0	53.8	7.7	7.7	15.4	0.0	0.0	15.4	15.4
その他	609	4.8	4.4	9.7	1.8	21.5	8.9	16.9	12.0	1.8	5.9	17.4	22.8
無回答	67	11.9	9.0	17.9	1.5	19.4	11.9	26.9	4.5	1.5	4.5	3.0	26.9

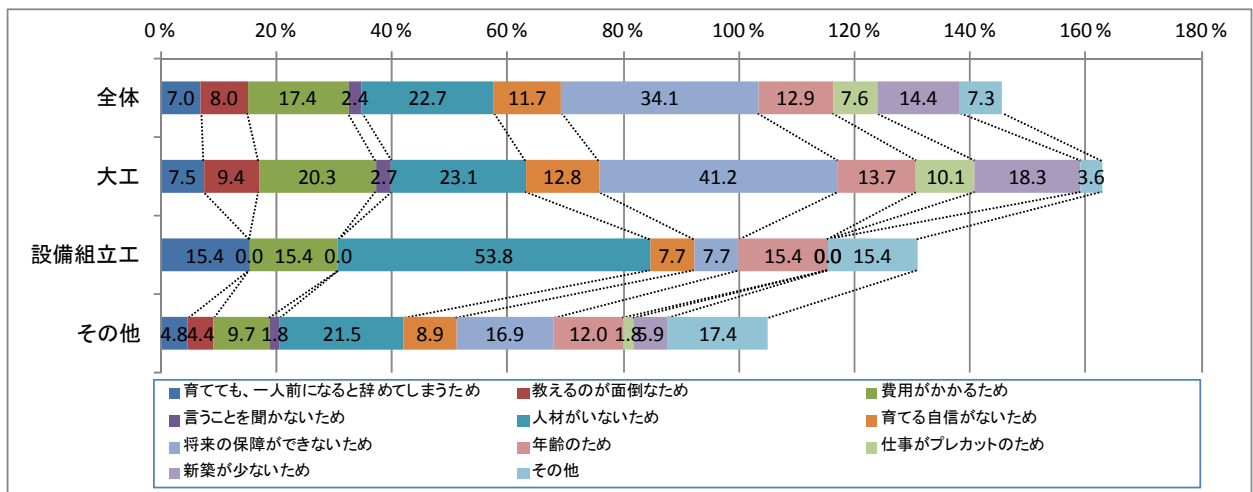


図 2.25 なぜ育てる予定はないのか（H25年度）

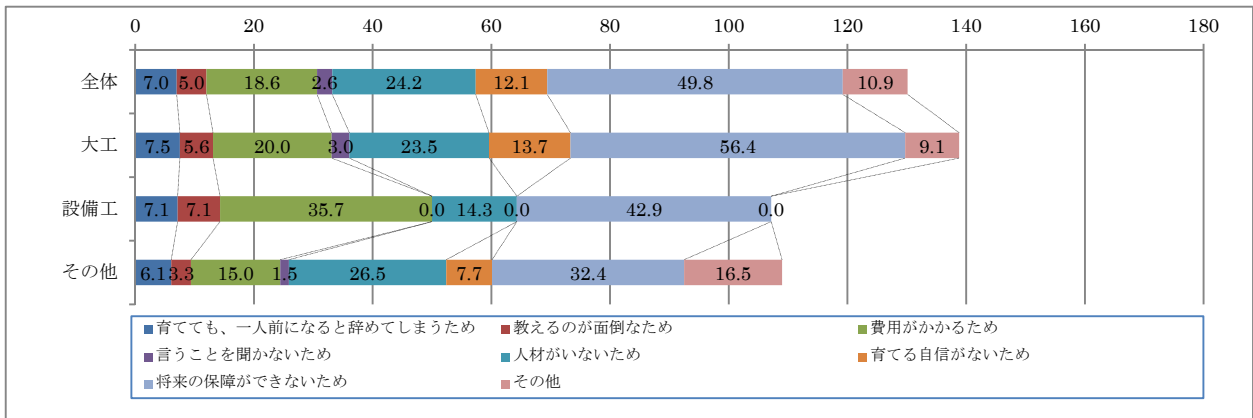


図 2.25#なぜ育てる予定はないのか（H24年度）

2.1.5.5 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

大工の回答では、「10万円/月」が28.9%で最も割合が高かった。次いで「15万円/月」が17.1%だった。

Q22. 担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か

		合計	Q22. 担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
			3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	無回答
全体		10923	3.6	12.4	23.4	13.2	3.4	44.0
職種	大工	5753	4.5	14.6	28.9	17.1	3.3	31.7
	設備組立工	78	2.6	11.5	23.1	10.3	6.4	46.2
	その他	4522	2.9	10.7	18.1	9.3	3.7	55.4
	無回答	605	1.3	4.6	10.6	6.6	1.8	75.0

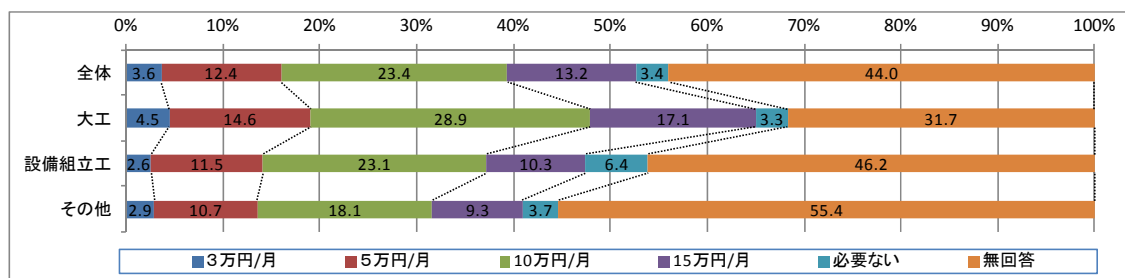


図 2.26 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か (H25 年度)

2.2. 地方別集計

2.2.1 職業等について

2.2.1.1 年齢

平均年齢は、各地域で44歳~46歳の範囲で大きな差は無い。

「四国」の平均年齢が46.9歳で最も高く、「近畿」の平均年齢が44.4歳で最も低い。

Q1. 年齢

	合計	Q1. 年齢								
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	平均
全体	5753	0.7	9.2	27.6	20.4	21.4	17.9	2.0	0.9	45.9
地域										
北海道	61	0.0	11.5	32.8	9.8	31.1	13.1	0.0	1.6	44.7
東北	744	1.2	11.4	28.0	16.7	21.4	19.0	1.9	0.5	45.4
関東	1932	0.7	8.9	25.6	23.4	19.1	18.3	3.0	1.1	46.4
北陸	341	1.5	8.8	29.3	15.2	15.5	27.6	1.5	0.6	46.4
中部	807	0.5	7.8	28.1	22.3	22.6	16.9	1.1	0.7	45.8
近畿	423	0.5	8.5	31.0	25.3	18.2	13.9	0.9	1.7	44.4
中国	633	0.2	9.6	30.6	18.3	25.0	14.1	1.6	0.6	45.3
四国	294	0.3	7.1	28.6	18.0	23.1	20.7	1.7	0.3	46.9
九州	518	0.4	10.6	24.7	15.6	28.8	16.6	1.9	1.4	46.6

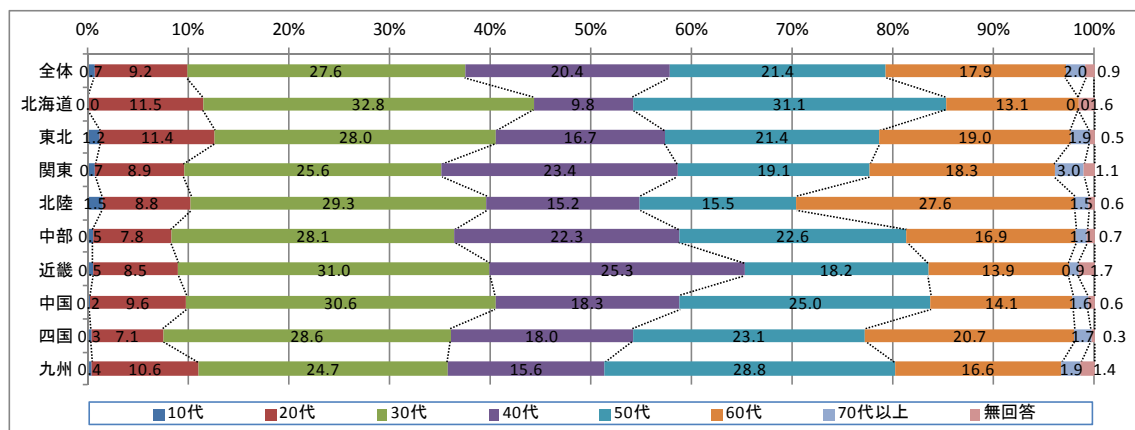


図 3.1. 年齢(H25 年度)

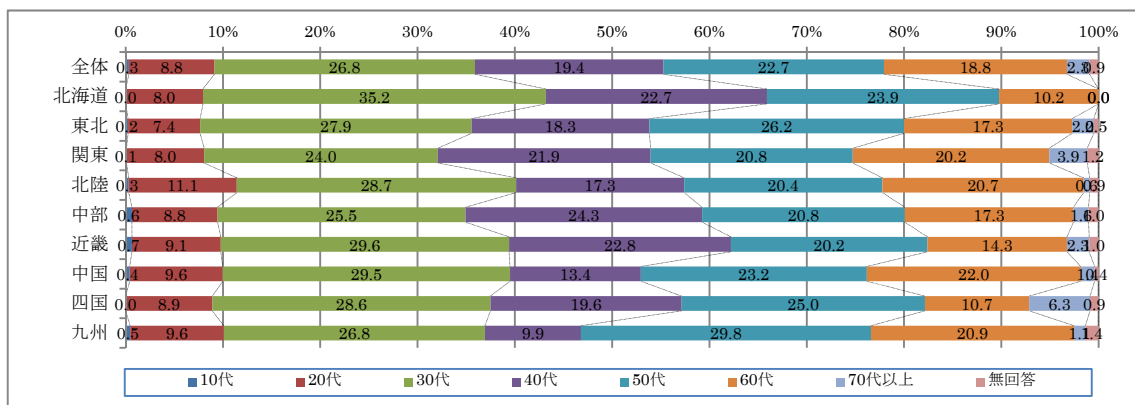


図 3.1# 年齢 (H24 年度)

2.2.1.2 性別

地域毎の女性の占める割合は「九州」が1.0%で最も高い。また、「北海道」は0.0%だった。

Q2. 性別

	合計	Q2. 性別		
		男	女	無回答
全体	5753	98.0	0.5	1.5
地域				
北海道	61	96.7	0.0	3.3
東北	744	98.1	0.9	0.9
関東	1932	97.8	0.2	2.0
北陸	341	98.5	0.3	1.2
中部	807	97.5	0.5	2.0
近畿	423	98.8	0.5	0.7
中国	633	98.9	0.5	0.6
四国	294	97.6	0.7	1.7
九州	518	97.3	1.0	1.7

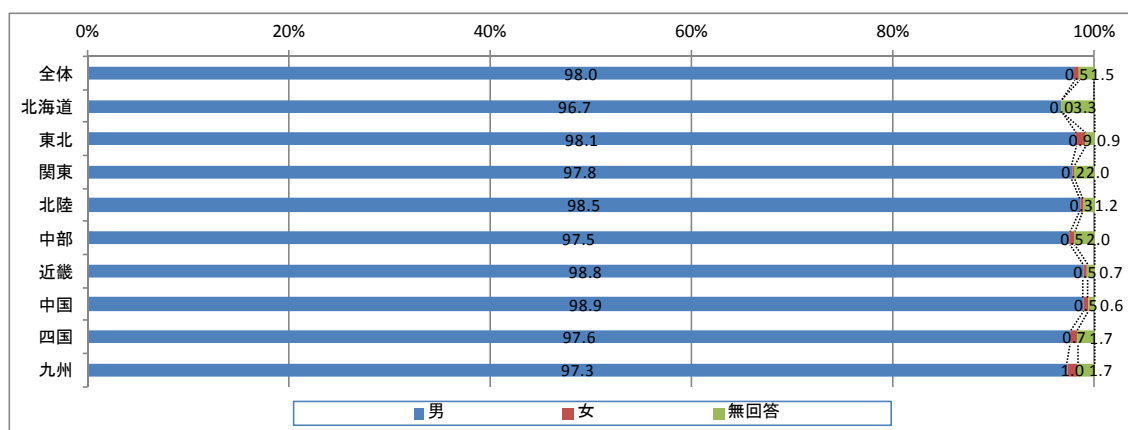


図 3.2. 性別(H25 年度)

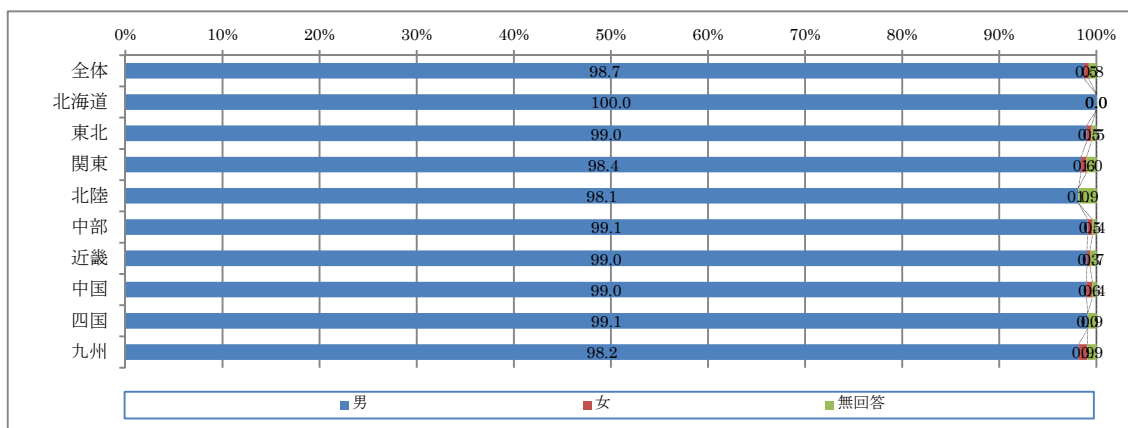


図 3.2# 性別 (H24 年度)

2.2 地方別集計

2.2.1.3 職種の経験年数

職種の平均経験年数は 24.7 年。

地域毎の平均経験年数では、「四国」が 25.7 年で最も高く、「近畿」が 23.2 年で最も低い。

Q4. 職種の経験年数

	合計	Q4. 職種の経験年数									平均 経験年 数
		3年未 満	3~5年	6~10 年	11~20 年	21~30 年	31~40 年	41~50 年	51年以 上	無回答	
全体	5753	4.2	3.2	9.5	27.6	17.4	18.9	16.1	2.3	0.7	24.7
地域											
北海道	61	1.6	6.6	11.5	29.5	14.8	21.3	14.8	0.0	0.0	23.4
東北	744	7.7	4.3	9.5	25.9	13.3	17.3	18.5	2.6	0.8	24.3
関東	1932	3.3	2.8	9.7	26.6	20.1	18.1	15.5	3.2	0.8	25.1
北陸	341	5.3	3.8	10.6	27.3	10.0	17.9	22.6	1.5	1.2	25.2
中部	807	2.9	2.6	8.9	27.4	21.3	19.8	14.5	2.1	0.5	25.0
近畿	423	3.1	3.3	9.7	32.2	21.5	15.8	12.5	1.4	0.5	23.2
中国	633	3.3	3.8	11.4	31.6	13.1	20.2	14.4	1.7	0.5	23.7
四国	294	4.4	2.7	6.1	29.3	18.0	17.3	20.4	1.7	0.0	25.7
九州	518	6.2	2.9	8.1	25.1	14.3	25.1	15.8	1.7	0.8	25.3

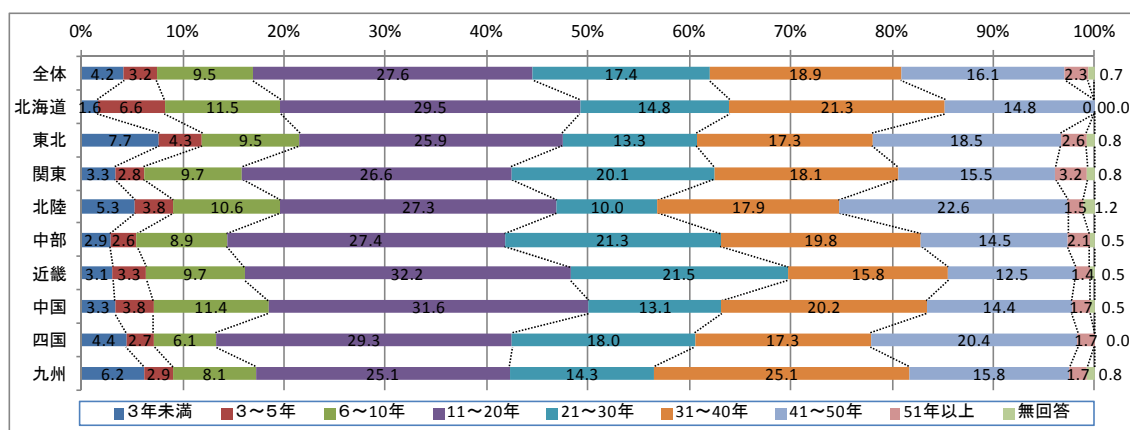


図 3.3. 職種の経験年数(H25 年度)

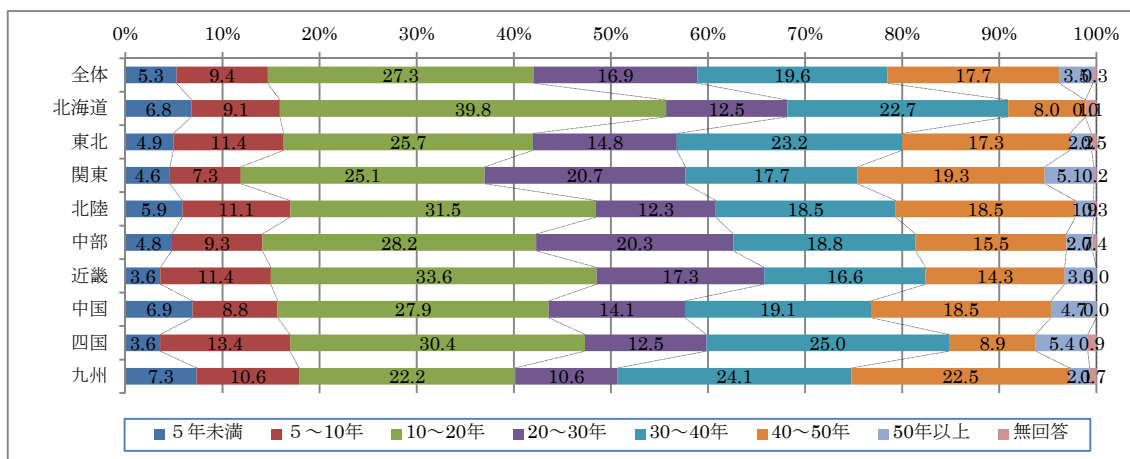


図 3.3# 職種の経験年数 (H24 年度)

2.2 地方別集計

2.2.1.4 職種においてベテランだと思いますか。

「ベテラン」、「ややベテラン」を合計し、地域毎の自己評価のベテラン度合の割合を比較すると、「九州」が26.4%で最も高い。

「中堅」、「やや中堅」の割合が高いのは、「北海道」で50.8%だった。

「見習い」の割合が高いのは、「東北」で12.4%。

Q5. あなたのベテラン度合いについて

	合計	Q5. あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	無回答
全体	5753	19.0	21.6	33.5	12.8	9.6	3.5
地域							
北海道	61	11.5	23.0	39.3	11.5	9.8	4.9
東北	744	16.5	21.1	34.4	12.6	12.4	3.0
関東	1932	18.7	21.4	35.0	12.2	9.2	3.5
北陸	341	19.9	20.8	31.4	15.0	10.0	2.9
中部	807	21.7	21.2	33.6	12.6	7.3	3.6
近畿	423	17.3	20.8	33.6	14.2	9.5	4.7
中国	633	18.5	22.3	33.2	13.6	8.7	3.8
四国	294	17.0	23.5	33.0	11.6	9.9	5.1
九州	518	23.0	23.4	27.6	12.5	11.6	1.9

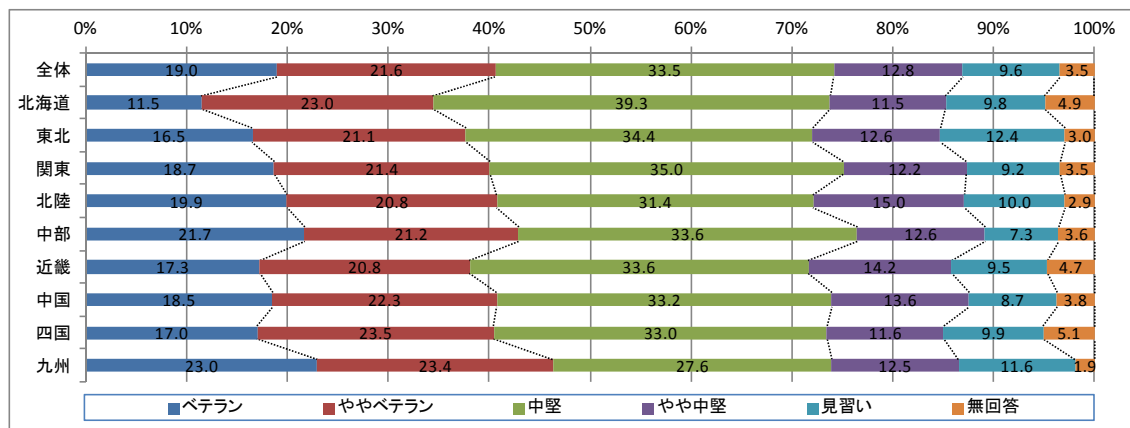


図 3.4. 職種のベテラン度合(H25年度)

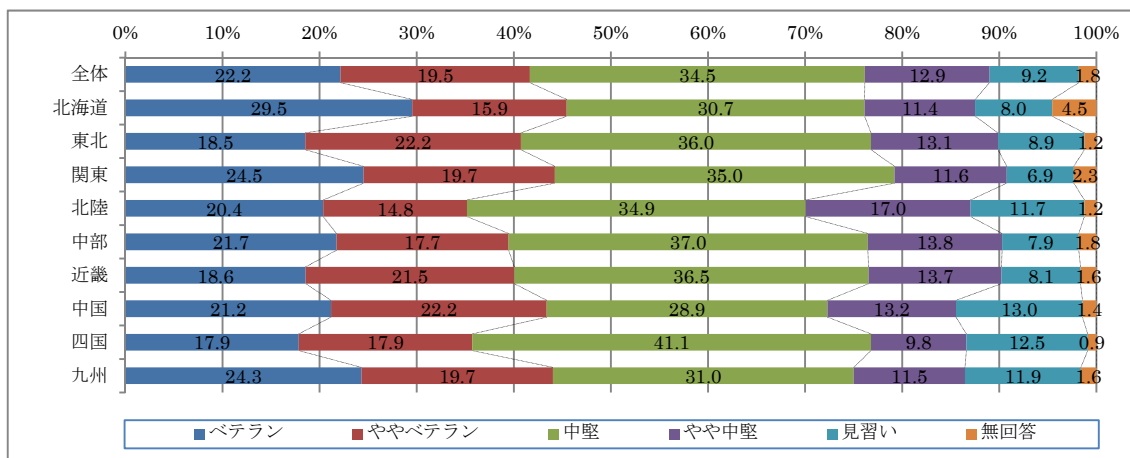


図 3.4# 職種のベテラン度合 (H24年度)

2.2.2 雇用形態について

2.2.2.1 雇用形態（工務店等との）

「工務店社員」の割合が高い地域は「東北」で50.9%。

「外注常雇（日給制）」の割合が高い地域は「中国」で14.7%。

「外注常雇（坪請主体）」の割合が高い地域は「関東」で15.7%。

「その都度契約」の割合が高い地域は「関東」で6.9%。

「元請として仕事」の割合が高い地域は「近畿」で41.8%。

Q6. あなたの雇用形態

	合計	Q6. あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常雇(日給制)	外注常雇(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	無回答
全体	5753	34.4	10.4	11.9	4.9	34.3	1.4	2.7
地域								
北海道	61	42.6	11.5	14.8	6.6	21.3	1.6	1.6
東北	744	50.9	9.1	5.1	2.3	28.9	1.2	2.4
関東	1932	30.3	8.0	15.7	6.9	33.8	1.8	3.6
北陸	341	34.6	12.3	9.1	3.2	38.4	0.6	1.8
中部	807	28.4	11.3	13.0	3.6	40.0	1.1	2.6
近畿	423	31.9	11.8	7.8	3.1	41.8	1.4	2.1
中国	633	37.3	14.7	10.1	5.4	28.3	1.6	2.7
四国	294	28.2	11.9	11.6	4.4	40.5	1.7	1.7
九州	518	36.1	11.6	12.5	5.6	31.5	1.0	1.7

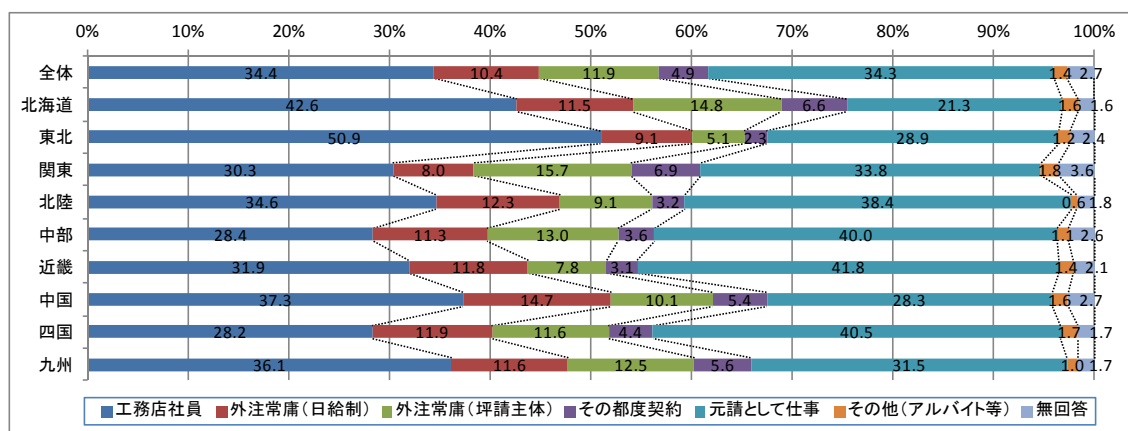


図 3.5. 雇用形態(H25 年度)

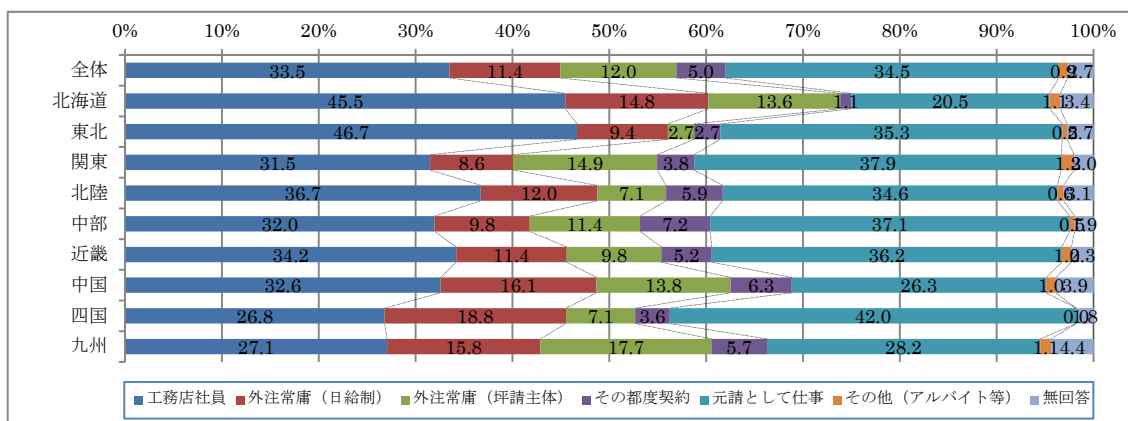


図 3.5 雇用形態 (H24 年度)

2.2 地方別集計

2.2.2.2 就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合が高い地域は「北海道」で39.3%。

「無い」と回答した割合が高い地域は「四国」および「中部」で57.5%。

Q7. 就業規則

	合計	Q7. 就業規則		
		有	無	無回答
全体	5753	25.3	53.3	21.4
地域				
北海道	61	39.3	42.6	18.0
東北	744	36.0	41.9	22.0
関東	1932	21.4	56.4	22.2
北陸	341	26.1	54.5	19.4
中部	807	23.5	57.5	19.0
近畿	423	20.6	57.2	22.2
中国	633	28.4	51.5	20.1
四国	294	20.7	57.5	21.8
九州	518	27.4	48.6	23.9

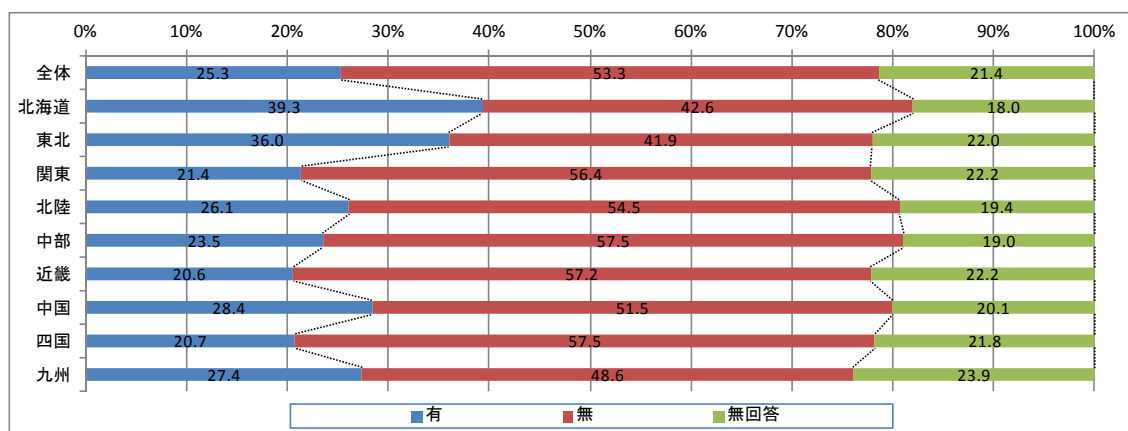


図 3.6. 就業規則(H25 年度)

2.2.2.3 有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が高い地域は「北海道」で16.4%。

有給休暇が「無い」と回答した割合が高い地域は「北陸」で69.5%。

Q8. 有給休暇

	合計	Q8. 有給休暇		
		有	無	無回答
全体	5753	10.4	65.6	24.0
地域				
北海道	61	16.4	60.7	23.0
東北	744	12.5	62.1	25.4
関東	1932	10.7	64.6	24.7
北陸	341	8.5	69.5	22.0
中部	807	8.8	68.8	22.4
近畿	423	8.7	66.0	25.3
中国	633	12.5	66.4	21.2
四国	294	8.5	65.3	26.2
九州	518	9.3	66.2	24.5

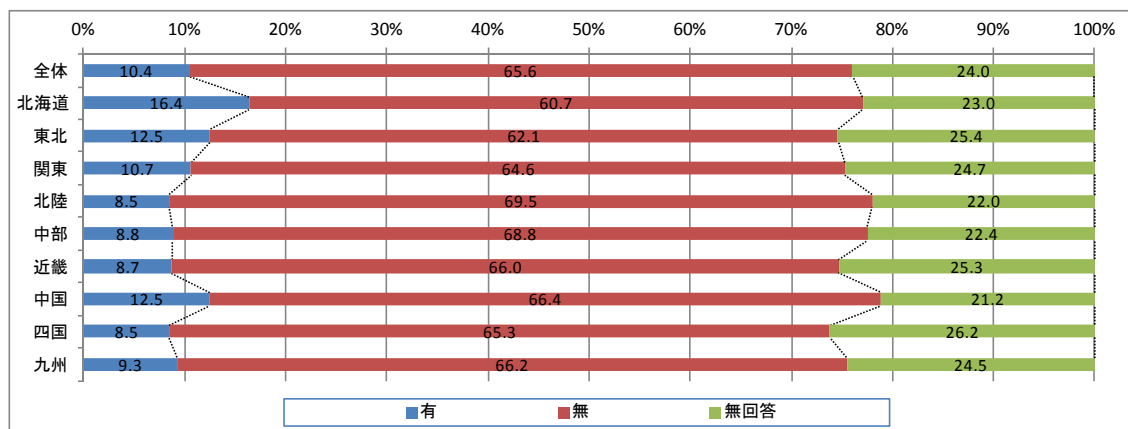


図 3.7. 有給休暇(H25 年度)

2.2.2.4 年間就業日数

平均年間就業日数が最も多い地域は「関東」で273.0日。

平均年間就業日数が最も少ない地域は「北陸」で258.2日。

Q9. 年間就業日数

	合計	Q9. 年間就業日数					平均
		250日未満	250日～275日未満	275日～300日未満	300日以上	無回答	
全体	5753	10.0	9.6	9.6	27.9	42.8	266.9
地域							
北海道	61	9.8	6.6	3.3	39.3	41.0	268.6
東北	744	10.3	13.0	11.0	19.9	45.7	260.6
関東	1932	7.2	6.7	9.1	31.4	45.5	273.0
北陸	341	15.0	17.6	11.1	21.1	35.2	258.2
中部	807	7.8	9.7	10.4	31.1	41.0	271.3
近畿	423	14.2	7.3	8.7	26.7	43.0	262.9
中国	633	12.6	11.2	10.0	26.2	40.0	262.9
四国	294	13.3	11.2	9.9	26.2	39.5	262.0
九州	518	12.0	9.1	8.7	28.8	41.5	264.6

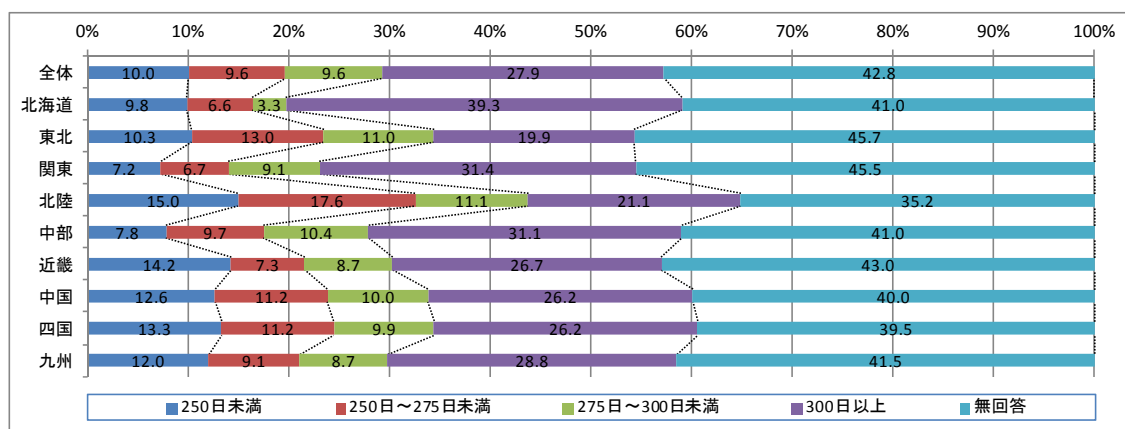


図 3.8. 年間就業日数(H25 年度)

2.2.2.5 保険等について

2.2.2.5.1 年金保険

年金保険に加入している割合の合計が最も高かったのは「東北」で 89.4%。最もすくなかったのは「関東」で 82.8%だった。

厚生年金に加入している割合が最も高かったのは「北海道」で 41.0%。

国民年金に加入している割合が最も高かったのは「中部」で 63.8%。

Q10-1. 加入している年金(複数回答)

		合計	Q10-1. 加入している年金(複数回答)			
			厚生年金	国民年金	企業年金	無回答
全体		5753	25.4	59.1	0.9	15.7
地域	北海道	61	41.0	45.9	0.0	16.4
	東北	744	30.8	57.7	0.9	11.4
	関東	1932	20.9	61.0	0.9	18.4
	北陸	341	27.3	58.9	0.0	15.0
	中部	807	23.5	63.8	0.7	12.8
	近畿	423	24.6	59.3	0.5	16.3
	中国	633	31.8	53.6	1.1	14.8
	四国	294	26.2	55.8	1.4	18.0
	九州	518	26.3	57.1	1.4	15.8

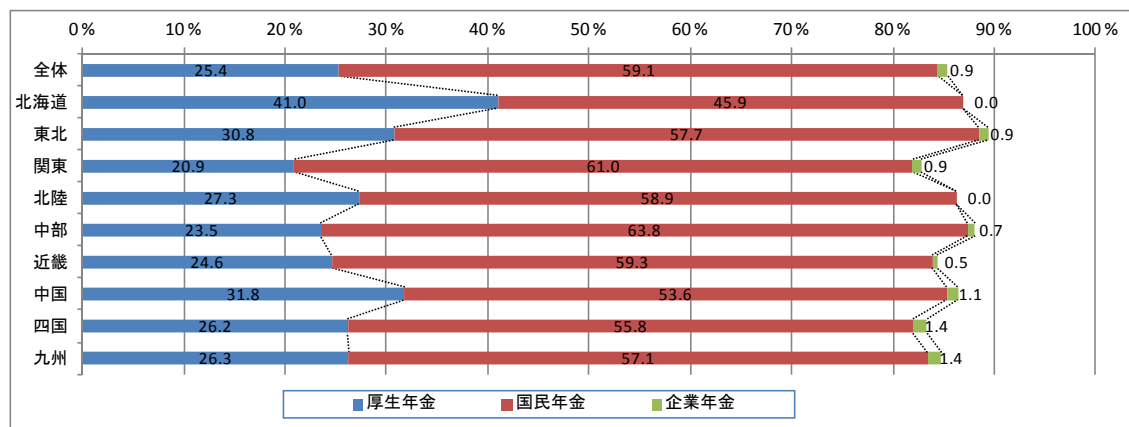


図 3.9. 年金保険(H25 年度)

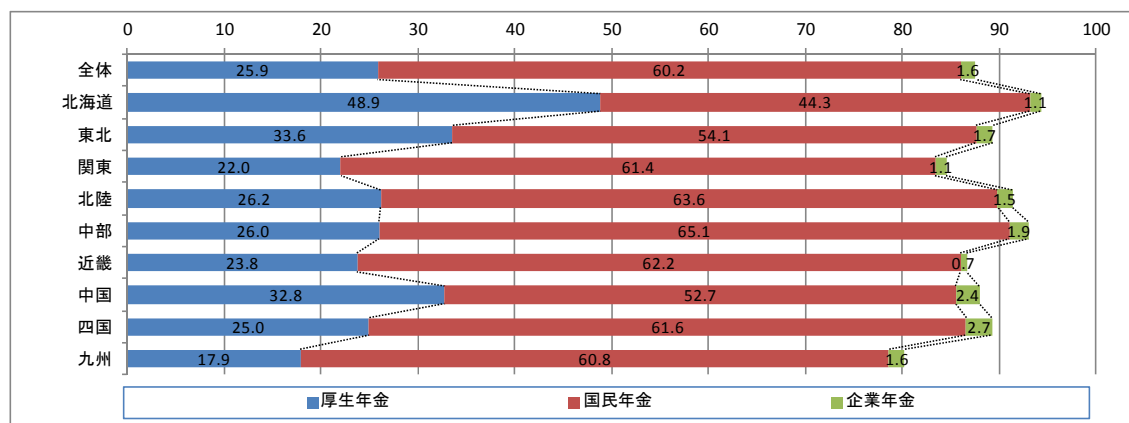


図 3.9# 年金保険 (H24 年度)

2.2.2.5.2 労働保険

雇用保険に加入している割合が最も高かったのは「北海道」で 29.5%。

労災保険および一人親方労災保険に加入している割合が最も高かったのは「中部」で 69.0%。最も低かったのは「北海道」で 44.3%。

「労災保険」の加入している割合が高かったのは「東北」で 35.5%。

「一人親方労災保険」に加入している割合が高かったのは「中部」で 37.4%。

Q10-2. 加入している労働保険(複数回答)

		合計	Q10-2. 加入している労働保険(複数回答)			
			雇用保険	労災保険	一人親方労災保険	無回答
全体		5753	15.0	32.6	28.1	31.2
地域	北海道	61	29.5	24.6	19.7	34.4
	東北	744	26.7	35.5	16.0	30.9
	関東	1932	9.5	34.4	28.4	34.4
	北陸	341	19.6	34.9	26.7	24.6
	中部	807	11.9	31.6	37.4	26.5
	近畿	423	12.5	33.6	25.1	34.8
	中国	633	17.5	29.1	32.5	26.9
	四国	294	14.3	28.6	36.1	28.2
	九州	518	18.0	28.4	23.9	35.3

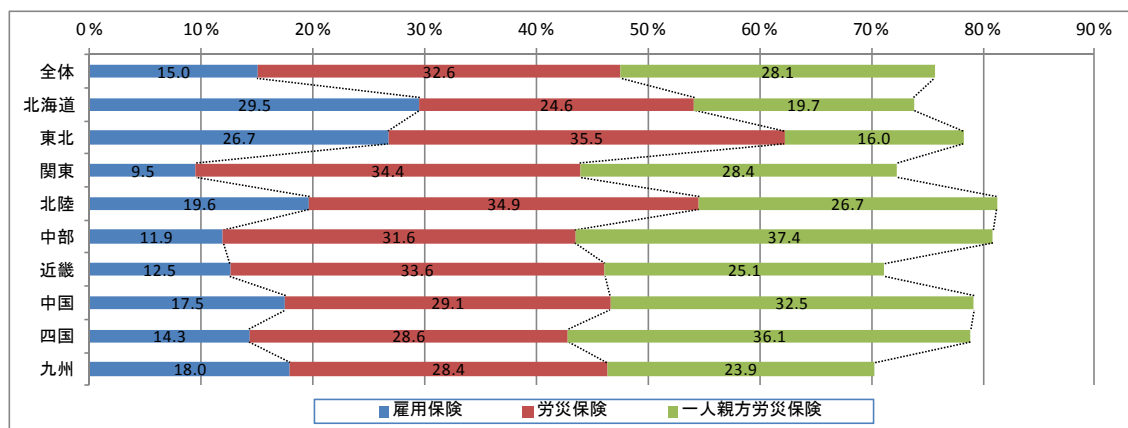


図 3.10. 労働保険(H25年度)

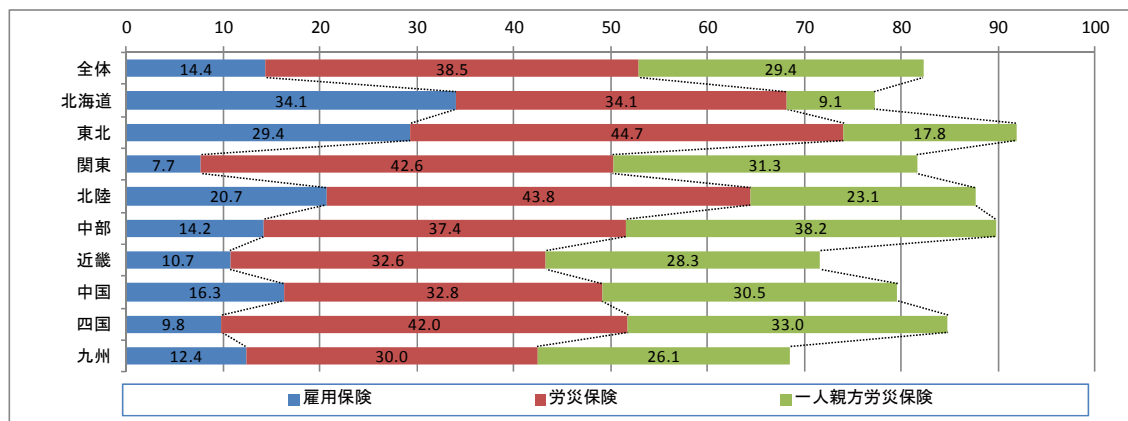


図 3.10 労働保険 (H24年度)

2.2.2.5.3 健康保険

健康保険の加入していると回答した割合の合計が最も高かったのは「北陸」で 83.0%。最も低かったのは「北海道」で 70.5%。

「国民健康保険」の加入している割合が最も高かったのは、「関東」で 35.7%。

「組合健康保険（建設国保）」の割合が最も高かったのは「北陸」で 60.7%。

「組合健康保険（建設国保以外）」の割合が最も高かったのは「北陸」で 4.7%。

Q10-3. 加入している健康保険(複数回答)

	合計	Q10-3. 加入している健康保険(複数回答)				
		国民健康保険	組合健康保険(建設国保)	組合健康保険(建設国保以外)	その他の健康保険	無回答
全体	5753	29.1	43.1	2.5	2.7	23.2
地域						
北海道	61	32.8	32.8	1.6	3.3	29.5
東北	744	30.8	35.6	2.3	4.3	27.3
関東	1932	35.7	36.3	2.4	2.1	24.6
北陸	341	15.8	60.7	4.7	1.8	17.0
中部	807	27.6	50.3	2.0	2.0	19.0
近畿	423	32.2	41.6	4.0	4.0	18.9
中国	633	17.7	56.6	1.7	3.0	21.6
四国	294	16.0	57.5	2.4	1.0	23.8
九州	518	31.9	34.6	2.5	4.4	27.0

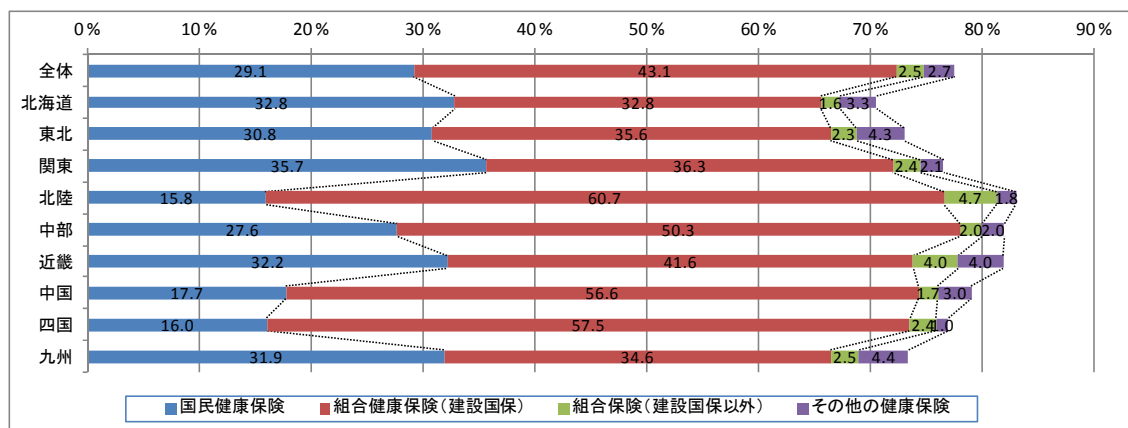


図 3.11. 健康保険(H25 年度)

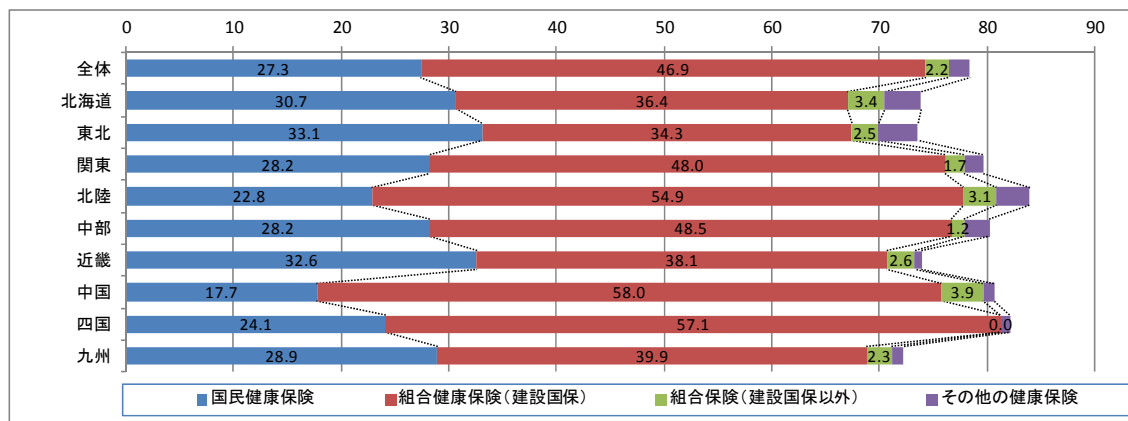


図 3.11 健康保険 (H24 年度)

2.2.2.6 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

自己負担の割合の合計が最も高かったのは「四国」で 310.2%。

自己負担の割合の合計が最も低かったのは「東北」で 248.9%。

Q11. 自己負担となっているもの(複数回答)

		Q11. 自己負担となっているもの(複数回答)							
		合計	手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	無回答
	全体	5753	72.6	67.5	28.0	54.6	54.8	13.8	7.7
地域	北海道	61	78.7	68.9	11.5	54.1	54.1	11.5	6.6
	東北	744	73.9	66.3	12.1	47.3	49.3	11.6	7.7
	関東	1932	69.0	65.4	37.3	55.1	55.6	17.4	7.4
	北陸	341	74.5	66.3	22.9	54.3	51.3	10.3	9.4
	中部	807	73.4	68.4	28.9	55.0	55.1	13.8	8.2
	近畿	423	67.4	63.4	26.7	51.8	47.8	18.4	7.6
	中国	633	77.9	73.3	26.5	55.5	55.8	9.3	7.4
	四国	294	77.6	75.5	25.9	65.6	65.6	10.5	5.8
	九州	518	75.7	68.5	24.7	58.3	59.5	10.0	8.3

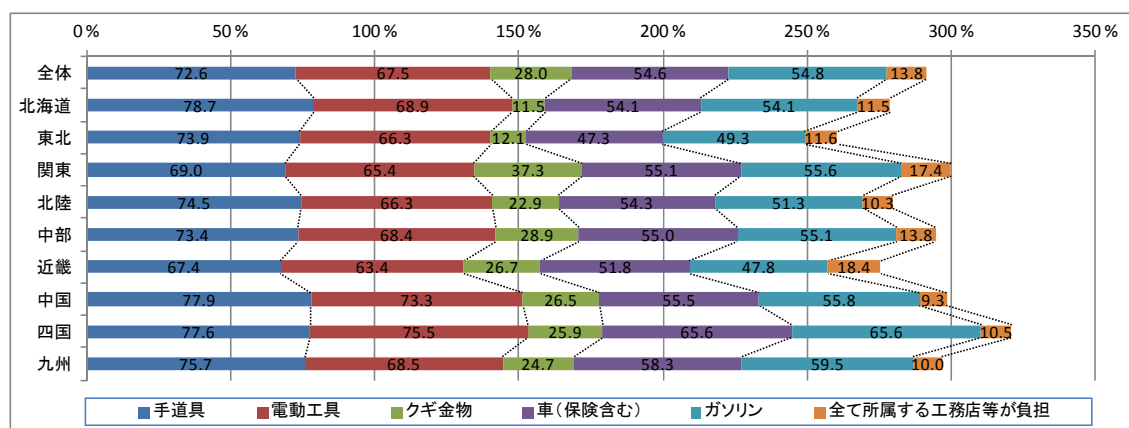


図 3.12. 自己負担となっているもの(H25年度)

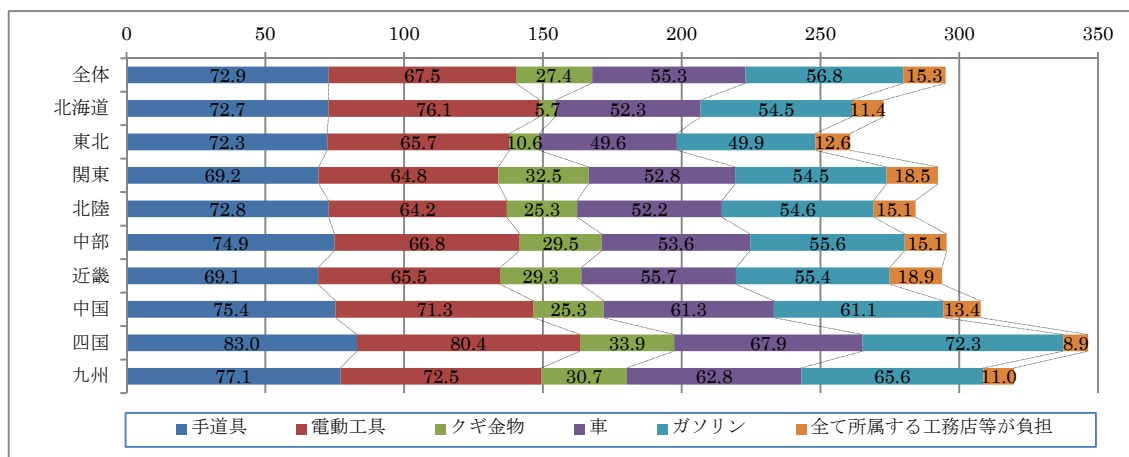


図 3.12# 自己負担となっているもの (H24年度)

2.2.2.7 おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

平均賃金が最も高かった地域は「関東」で15861.2円。

平均賃金が最も引くかった地域は「東北」で12903.3円。

Q12. 1日あたりのおおよその賃金

	合計	Q12. 1日あたりのおおよその賃金							平均賃金
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	無回答	
全体	5753	5.4	7.2	37.9	35.9	7.9	1.7	3.9	14902.5
地域									
北海道	61	4.9	14.8	45.9	29.5	1.6	0.0	3.3	13432.2
東北	744	7.9	12.4	57.4	14.8	3.2	0.9	3.4	12903.3
関東	1932	4.9	5.8	28.6	41.1	12.4	2.7	4.5	15861.2
北陸	341	5.0	7.3	41.1	37.2	5.6	0.3	3.5	14547.1
中部	807	4.1	5.1	28.4	46.7	9.5	2.2	4.0	15839.4
近畿	423	3.5	6.9	23.4	47.0	11.3	2.4	5.4	16077.5
中国	633	4.9	5.7	39.3	40.8	5.8	0.9	2.5	14881.7
四国	294	7.5	8.5	56.8	23.5	0.7	1.0	2.0	13250.0
九州	518	7.3	8.7	55.8	22.0	1.5	0.6	4.1	13222.3

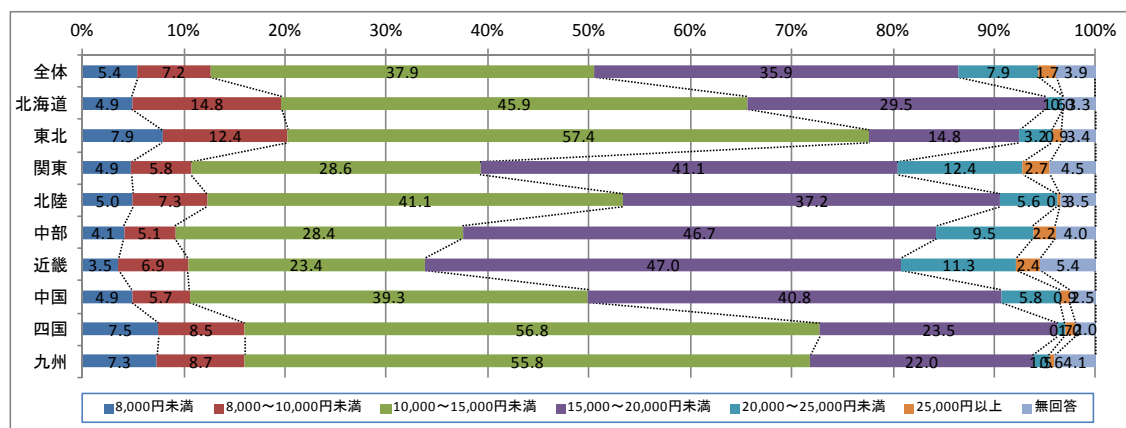


図 3.13. 1日あたりのおおよその賃金(H25年度)

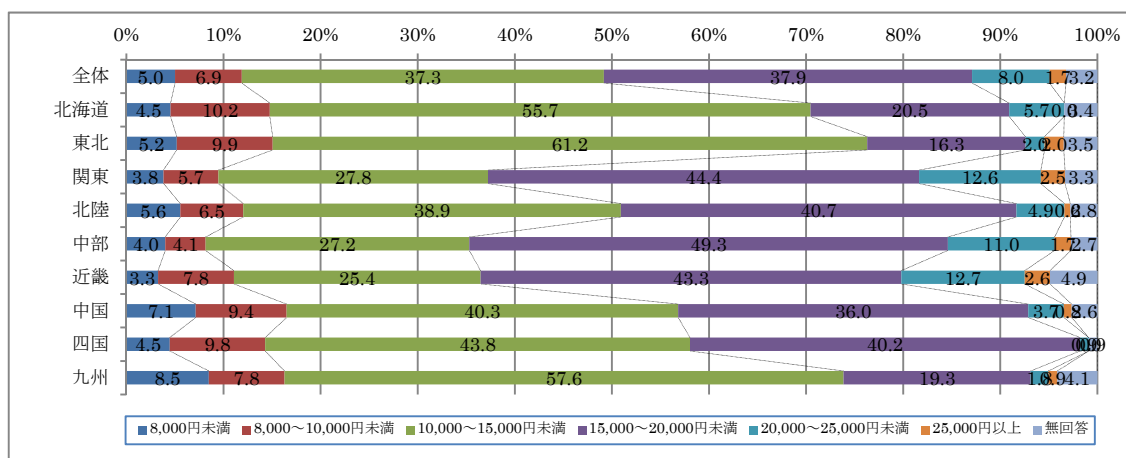


図 3.13# 1日あたりのおおよその賃金 (H24年度)

2.2.3 資格や技能について

2.2.3.1 持っている資格

持っている資格の割合の合計が最も高かったのは「北陸」で、368.0%。最も低かった地域は「四国」で223.5%。

前回調査（H24年度）でも「北陸」は資格の取得している割合の合計が高かった。

「北陸」では、他地域と比較して「木材加工用機械作業主任者」の割合が高い。

Q13. お持ちの資格(複数回答)

地域	合計	Q13. お持ちの資格(複数回答)														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	1級建築大工技能士	2級建築大工技能士	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者
全体	5753	5.9	33.4	3.3	14.2	15.7	12.8	31.5	10.7	39.9	45.5	43.5	18.9	13.4	16.4	
北海道	61	9.8	24.6	0.9	14.8	21.3	27.9	8.2	27.9	6.6	34.4	31.1	55.7	41.0	14.8	13.1
東北	744	5.2	34.8	3.4	14.8	18.8	17.3	2.8	20.6	9.7	36.0	51.9	49.2	23.8	10.3	13.4
関東	1932	5.8	28.7	2.5	3.3	12.7	11.7	13.3	1.8	14.0	10.2	41.3	42.5	35.7	15.7	11.6
北陸	341	7.0	45.7	7.6	4.7	12.9	23.2	13.2	1.5	20.2	9.7	46.3	55.7	64.2	25.2	30.8
中部	807	6.2	32.3	4.2	4.0	15.1	17.3	12.3	2.9	21.1	13.4	45.5	50.1	53.4	24.7	21.9
近畿	423	8.5	34.0	4.3	5.4	17.7	14.4	8.3	2.4	10.4	12.1	28.6	32.4	31.2	12.5	9.5
中国	633	5.2	33.2	5.4	4.9	14.7	18.2	12.6	2.5	12.5	11.1	47.1	56.6	56.1	21.8	16.3
四国	294	6.5	48.0	1.0	5.1	7.5	13.9	2.0	1.7	5.4	6.1	34.7	38.1	33.0	11.9	8.5
九州	518	4.1	34.4	5.6	18.1	17.6	13.7	2.3	14.3	11.6	31.5	36.9	34.4	13.3	2.1	17.6

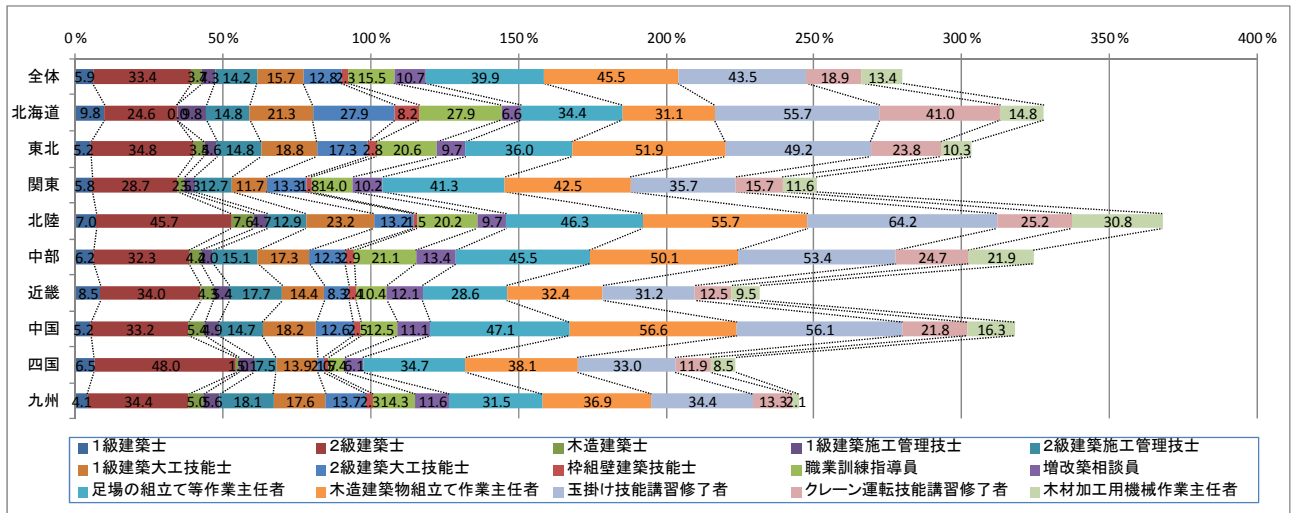


図 3.14. 持っている資格(H25年度)

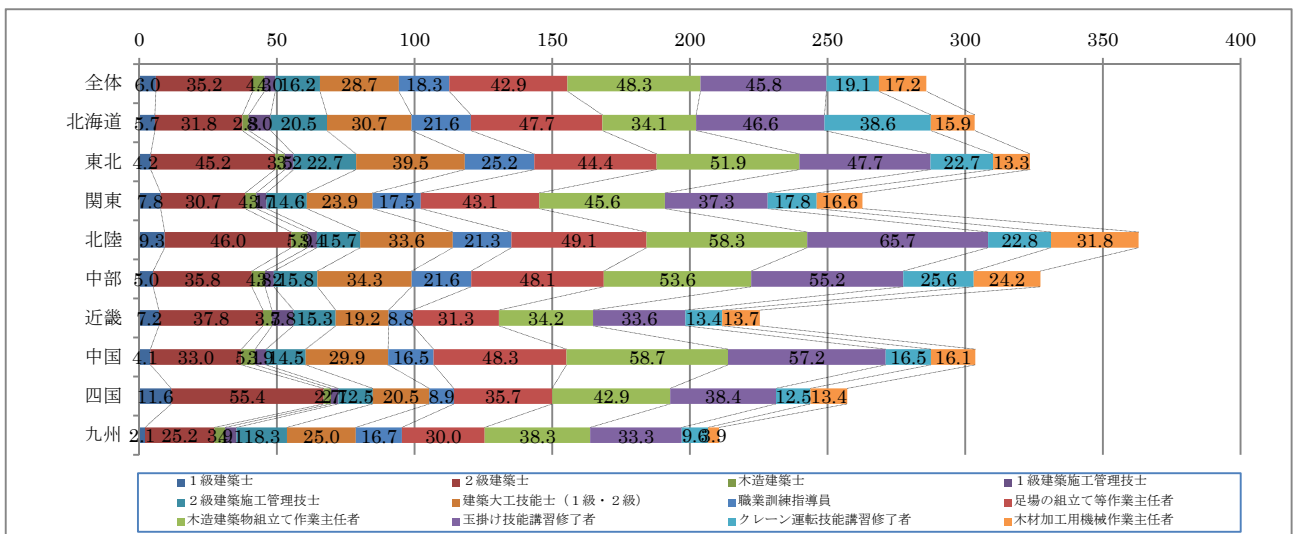


図 3.14# 持っている資格 (H24年度)

2.2 地方別集計

2.2.3.2 **大工職のみ回答** 墨付けができますか。

手刻み加工ができると回答した割合が最も高かった地域は、「中部」で78.4%。

大工職限定		Q14①. 墨付けができますか		
地域	合計	Q14①. 墨付けができますか		
		はい	いいえ	無回答
全体	5753	73.7	15.1	11.2
北海道	61	70.5	19.7	9.8
東北	744	71.8	17.7	10.5
関東	1932	71.5	16.9	11.6
北陸	341	76.5	14.4	9.1
中部	807	78.4	11.9	9.7
近畿	423	73.3	13.2	13.5
中国	633	73.8	16.6	9.6
四国	294	76.5	9.9	13.6
九州	518	74.1	12.4	13.5

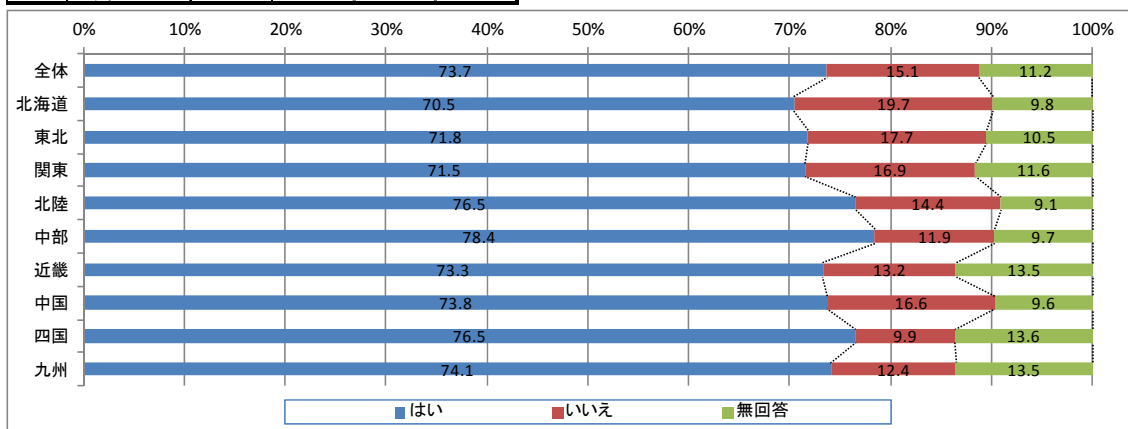


図 3.15. 墨付け(H25年度)

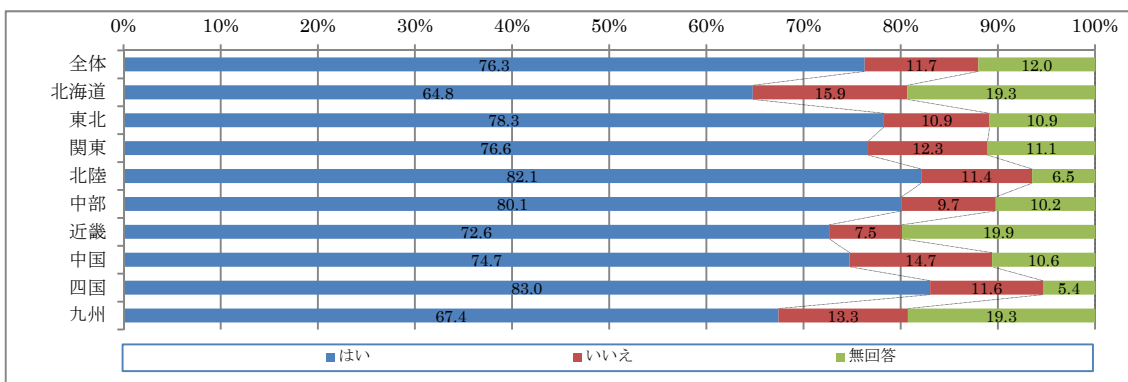


図 3.15# 墨付け (H24年度)

2.2.3.3 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（新築）

新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っている割合が最も高かったのは「東北」で39.5%。最も低かったのは「近畿」で23.2%。

前回調査（H24年度）でも「東北」が最も割合が高かった。

大工職限定

Q14②. 新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか

	合計	Q14②. 新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	無回答
全体	5753	28.1	58.7	13.2
地域				
北海道	61	14.8	72.1	13.1
東北	744	39.5	48.4	12.1
関東	1932	23.8	63.3	13.0
北陸	341	30.8	57.5	11.7
中部	807	26.9	61.6	11.5
近畿	423	23.2	60.5	16.3
中国	633	28.6	57.7	13.7
四国	294	35.4	50.7	13.9
九州	518	29.3	55.2	15.4

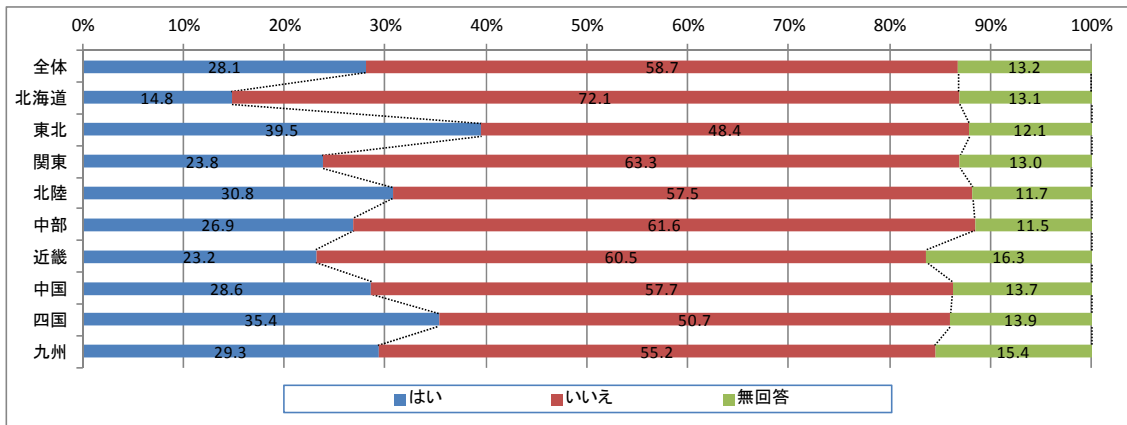


図 3.16. 手刻み加工の仕事（新築）（H25年度）

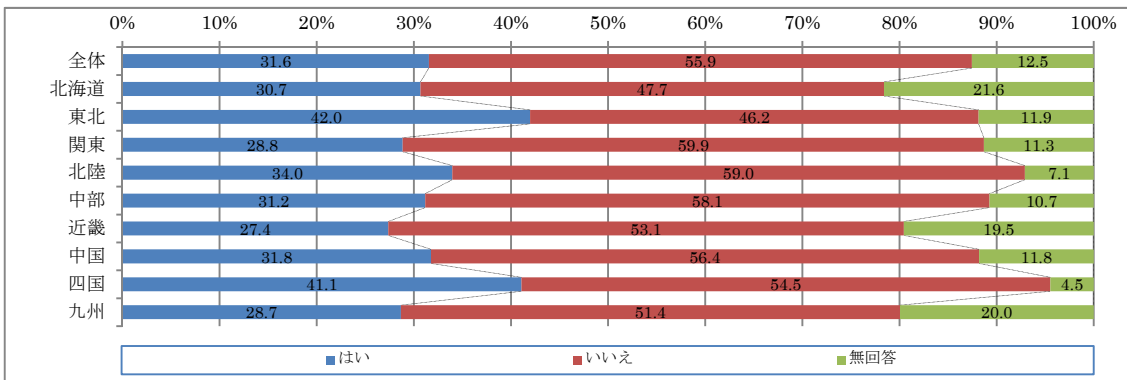


図 3.16# 手刻み加工の仕事（H24年度）

2.2.3.4 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（増改築）

増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っている割合が最も高かったのは「東北」で62.1%。最も低かったのは「北海道」で37.7%。

大工職限定

Q14③. 増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか

	合計	Q14③. 増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	無回答
全体	5753	50.7	36.5	12.8
地域				
北海道	61	37.7	49.2	13.1
東北	744	62.1	25.5	12.4
関東	1932	42.8	44.5	12.7
北陸	341	57.2	32.0	10.9
中部	807	50.7	37.4	11.9
近畿	423	51.8	31.2	17.0
中国	633	56.9	32.2	10.9
四国	294	49.3	35.7	15.0
九州	518	53.5	32.0	14.5

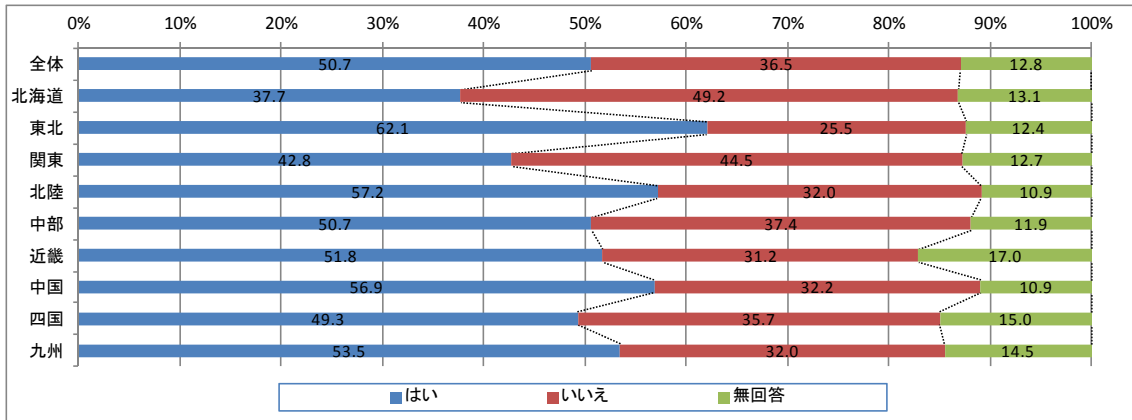


図 3.17. 手刻み加工の仕事（増改築）（H25 年度）

2.2.3.5 大工職のみ回答 和室造作が出来ますか。

和室造作ができると回答した割合が最も高かったのは「中部」で75.6%。最も低かったのは「北海道」で59.0%。

大工職限定

Q14④. 和室造作が出来ますか

	合計	Q14④. 和室造作が出来ますか		
		はい	いいえ	無回答
全体	5753	70.5	17.7	11.9
地域				
北海道	61	59.0	29.5	11.5
東北	744	65.3	23.1	11.6
関東	1932	69.0	19.2	11.9
北陸	341	72.1	17.6	10.3
中部	807	75.6	14.3	10.2
近畿	423	69.0	15.6	15.4
中国	633	74.1	15.6	10.3
四国	294	72.8	13.3	13.9
九州	518	71.0	14.9	14.1

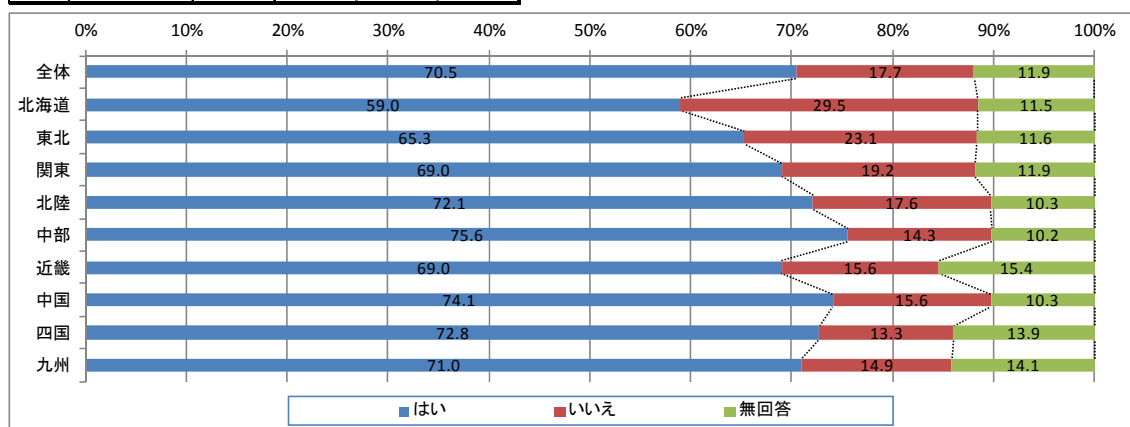


図 3.18. 和室造作(H25年度)

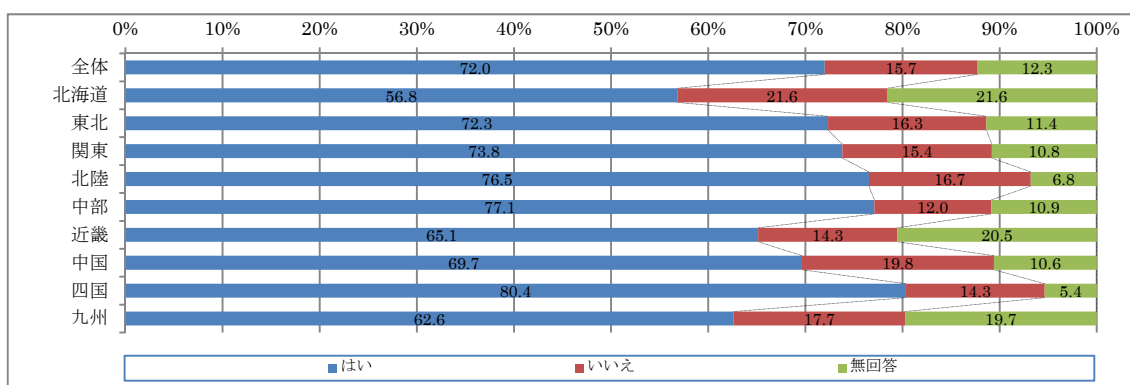


図 3.18# 和室造作 (H24年度)

2.2.3.6 **大工職のみ回答** 2×4工法の住宅の施工ができますか。

2×4工法の住宅の施工ができると回答した割合は「北海道」が最も高く49.2%だった。前回調査（H24年度）においても「北海道」が最も割合が高かった。

大工職限定

Q14⑤. 2×4工法の住宅の施工ができますか

	合計	Q14⑤. 2×4工法の住宅の施工ができますか		
		はい	いいえ	無回答
全体	5753	27.6	59.0	13.4
地域				
北海道	61	49.2	37.7	13.1
東北	744	30.5	56.6	12.9
関東	1932	25.4	60.7	13.9
北陸	341	22.9	65.4	11.7
中部	807	31.1	57.7	11.2
近畿	423	24.1	59.8	16.1
中国	633	33.2	54.8	12.0
四国	294	22.4	61.2	16.3
九州	518	25.5	59.7	14.9

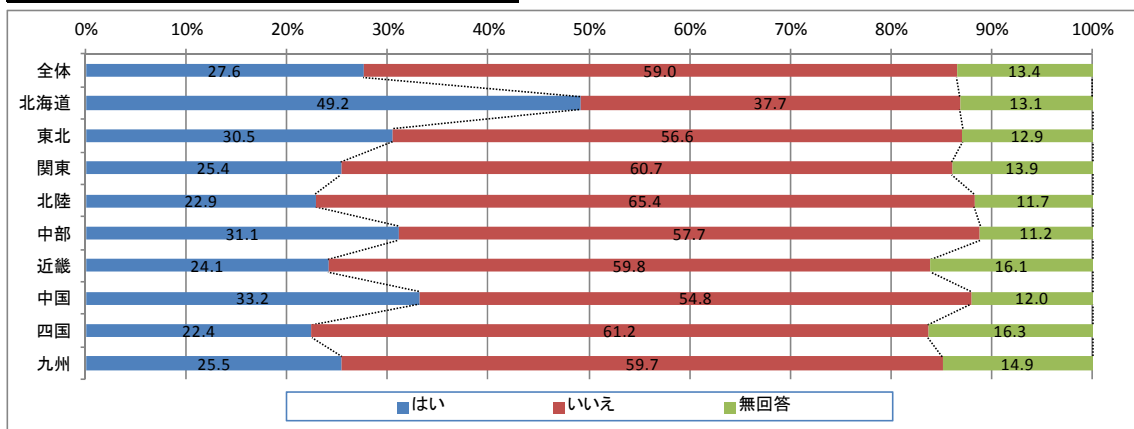


図 3.19. 2×4工法の住宅の施工(H25年度)

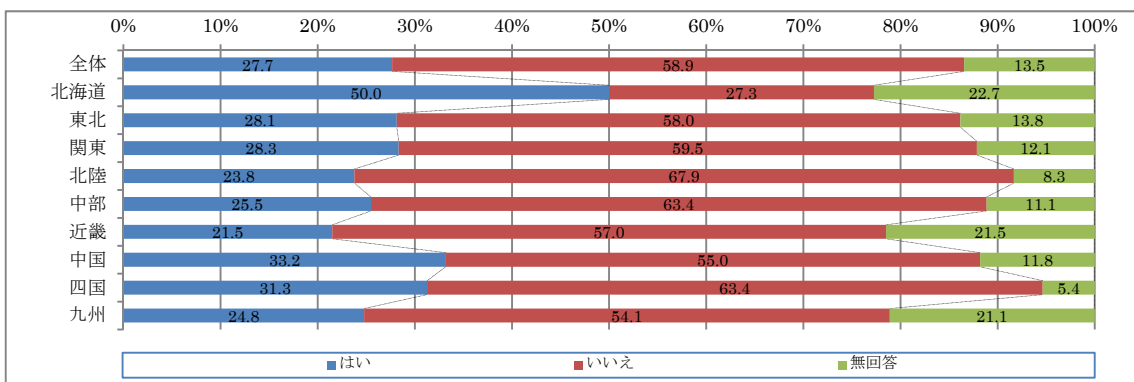


図 3.19# 2×4工法の住宅の施工 (H24年度)

2.2.4 仕事に対する満足度や今後の意向について

2.2.4.1 現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」割合が最も高かったのは「東北」で66.6%だった。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」割合が最も高かったのは「北陸」で35.8%だった。

Q15. 現在の仕事の内容について満足度

		Q15. 現在の仕事の内容について満足度					
合計		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	
全体	5753	8.7	51.1	24.8	6.8	8.6	
地域	北海道	61	14.8	50.8	19.7	6.6	8.2
	東北	744	9.9	56.7	19.9	5.0	8.5
	関東	1932	8.2	48.0	25.5	8.8	9.5
	北陸	341	5.3	51.3	30.8	5.0	7.6
	中部	807	8.1	50.8	28.0	5.9	7.2
	近畿	423	9.9	52.5	22.2	5.7	9.7
	中国	633	9.3	50.6	27.2	6.2	6.8
	四国	294	5.8	58.2	18.7	7.1	10.2
	九州	518	11.6	50.4	23.2	6.4	8.5

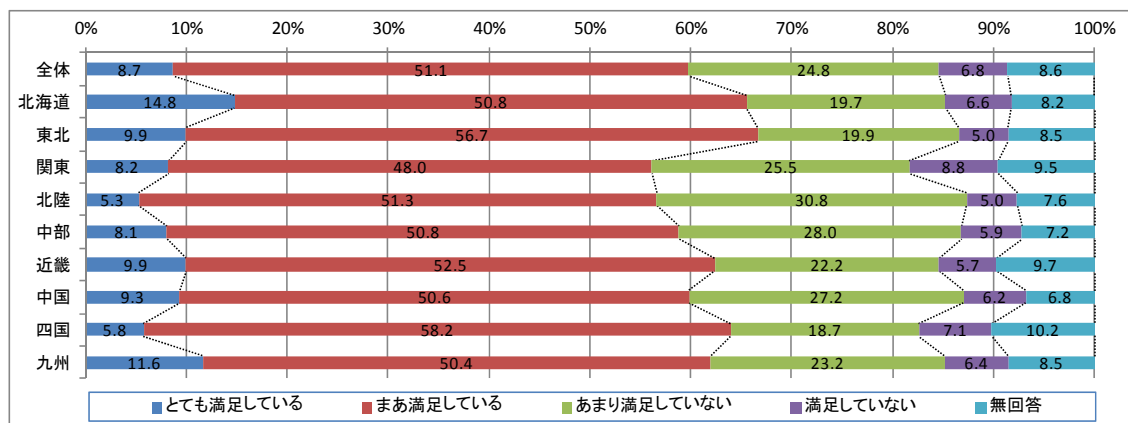


図 3.20. 仕事の内容についての満足度(H25 年度)

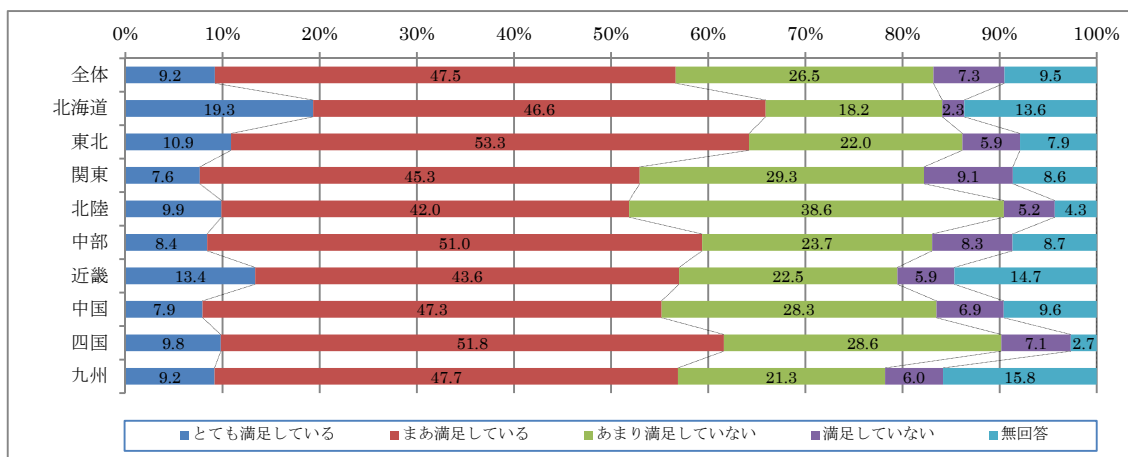


図 3.20# 仕事の内容についての満足度 (H24 年度)

2.2.4.2 現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」割合が最も高かったのは「北海道」で47.6%だった。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」割合が最も高かったのは「北陸」で66.0%だった。

Q16. 現在の仕事で得られる収入等について満足度

	合計	Q16. 現在の仕事で得られる収入等について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
全体	5753	3.1	30.6	39.9	17.7	8.8
地域						
北海道	61	3.3	44.3	34.4	9.8	8.2
東北	744	3.5	36.7	36.6	14.9	8.3
関東	1932	3.1	28.5	39.8	19.2	9.6
北陸	341	2.9	22.6	44.6	21.4	8.5
中部	807	2.5	31.1	41.1	18.0	7.3
近畿	423	2.4	31.0	41.1	15.6	9.9
中国	633	3.5	27.8	43.0	18.3	7.4
四国	294	2.4	32.7	36.4	17.0	11.6
九州	518	4.1	34.2	37.6	15.3	8.9

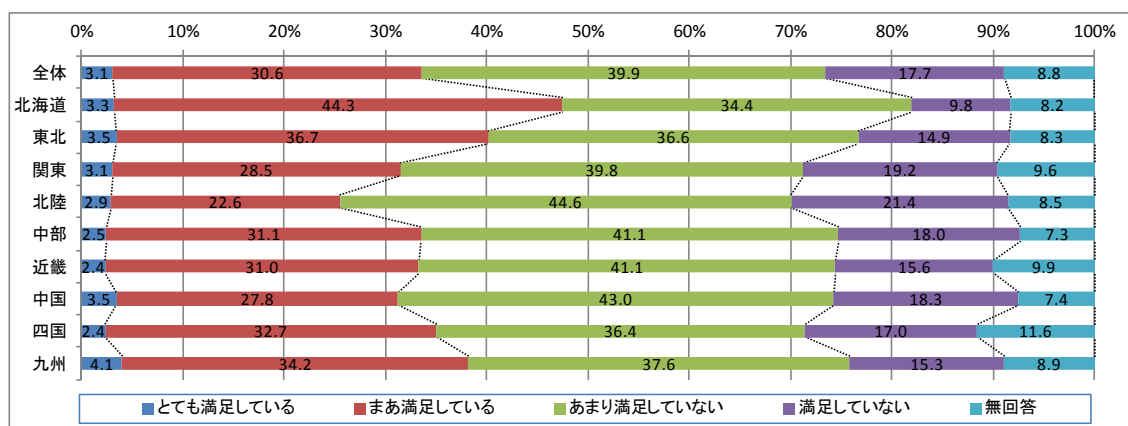


図 3.21. 収入等についての満足度(H25 年度)

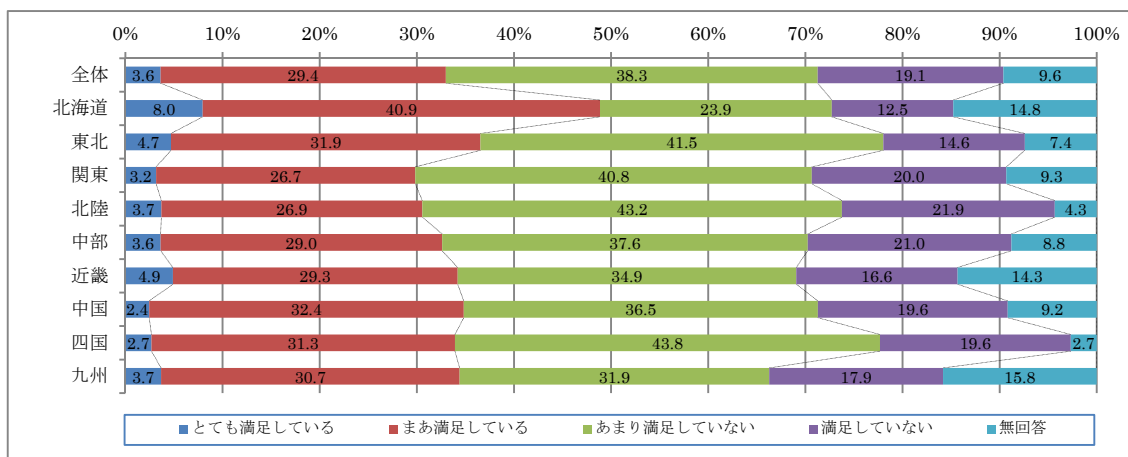


図 3.21# 収入等についての満足度 (H24 年度)

2.2 地方別集計

2.2.4.3 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高かったのは、「四国」で53.7%。最も低かったのは「北海道」で45.9%。

「北海道」では「65歳で引退する」が19.7%で「仕事ができる限り続ける」に次いで割合が高かった。

Q17. 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか

	合計	Q17. 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	無回答
全体	5753	7.2	15.9	11.8	3.1	51.6	0.9	9.5
地域								
北海道	61	9.8	19.7	11.5	3.3	45.9	3.3	6.6
東北	744	7.8	19.1	9.9	2.6	50.5	0.7	9.4
関東	1932	6.7	13.7	12.2	3.7	52.1	1.3	10.4
北陸	341	5.0	20.2	14.4	2.6	48.7	1.2	7.9
中部	807	7.7	15.6	11.9	2.9	53.2	1.0	7.8
近畿	423	8.5	12.8	10.9	2.4	53.4	0.7	11.3
中国	633	9.3	15.2	12.2	3.2	51.7	0.8	7.7
四国	294	4.1	16.0	10.9	3.4	53.7	0.3	11.6
九州	518	6.4	20.1	11.8	3.1	48.5	0.2	10.0

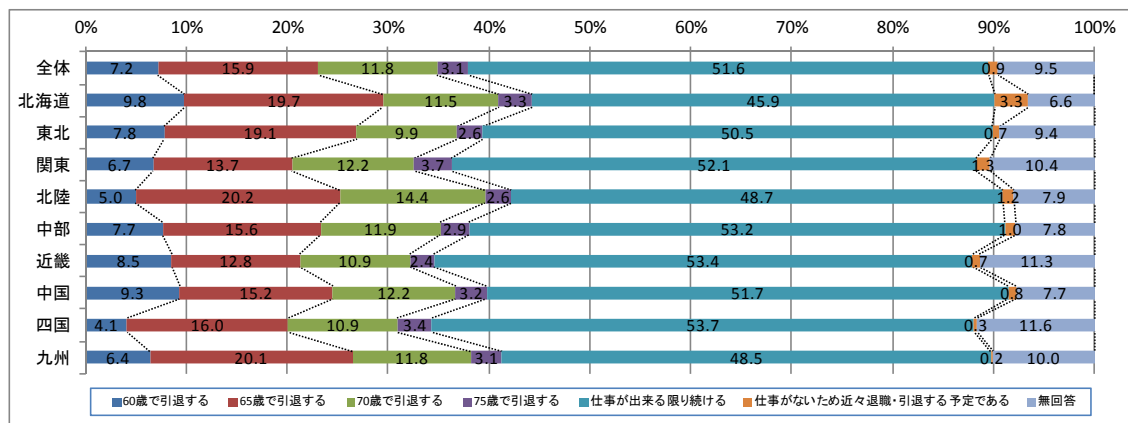


図 3.22. 何歳まで仕事を続ける予定か(H25年度)

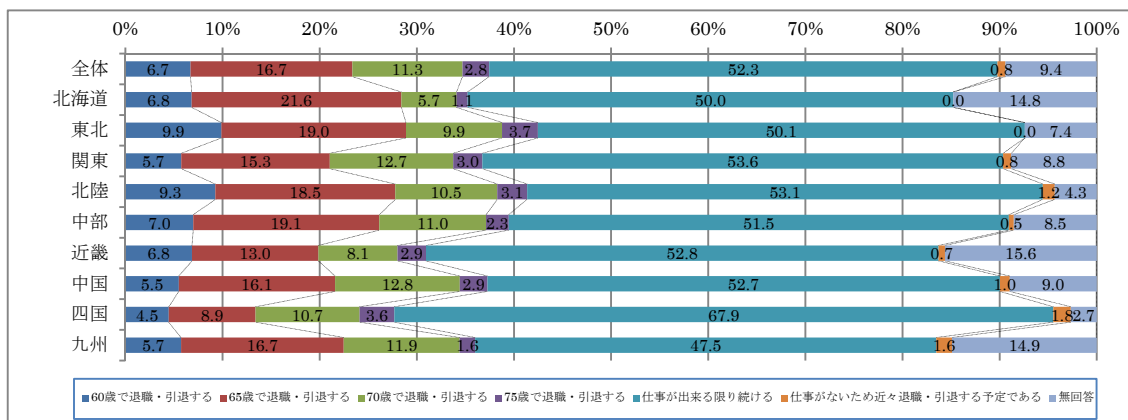


図 3.22# 何歳まで仕事を続ける予定か (H24年度)

2.2.5 担い手育成について

2.2.5.1 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」の割合が最も高かった地域は「北海道」で16.4%。最も低かった地域は「関東」で11.0%。「北海道」では「過去には育てた」の割合も高かった。

「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」と回答した割合が最も高かったのは「関東」で30.7%。最も低かったのは「北海道」で16.4%だった

Q18. 現在、担い手の育成を行っていますか

	合計	Q18. 現在、担い手の育成を行っていますか				
		現在育てている	過去には育てた	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	無回答
全体	5753	12.3	12.4	32.4	27.7	15.3
地域						
北海道	61	16.4	21.3	36.1	16.4	9.8
東北	744	15.3	10.5	33.9	21.4	19.0
関東	1932	11.0	13.2	30.8	30.7	14.3
北陸	341	12.9	12.0	34.0	27.3	13.8
中部	807	12.4	10.2	35.1	28.5	13.9
近畿	423	11.3	13.9	34.5	25.1	15.1
中国	633	12.5	12.3	33.6	28.0	13.6
四国	294	11.2	11.2	28.2	30.6	18.7
九州	518	13.1	13.9	29.7	25.7	17.6

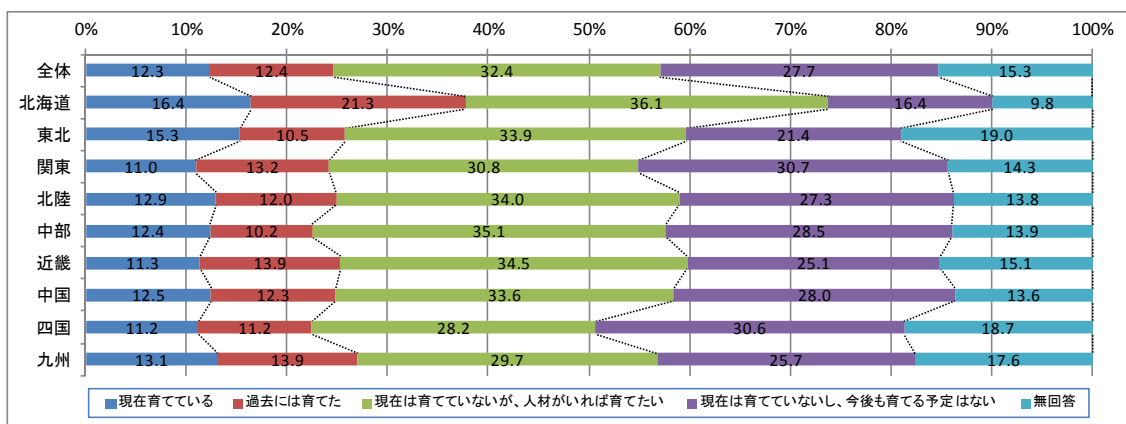


図 3.23. 担い手の育成状況(H25 年度)

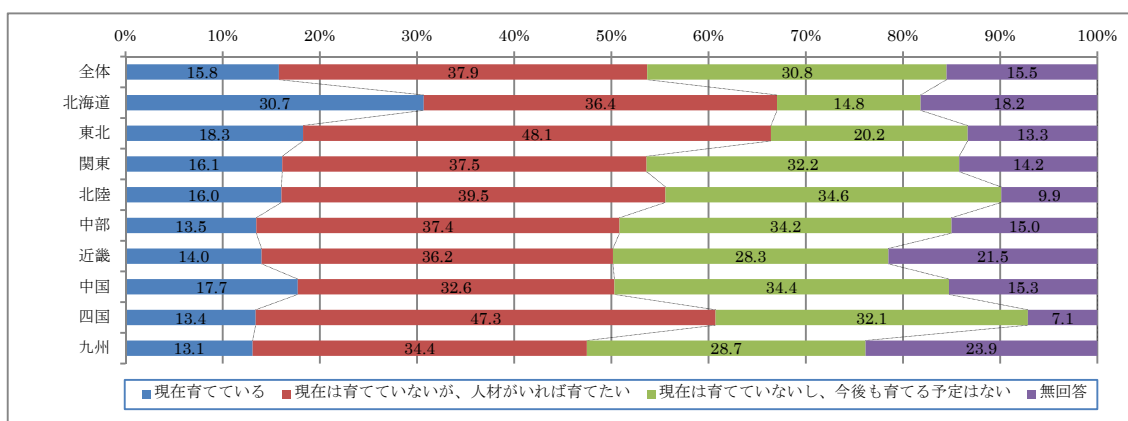


図 3.23# 担い手の育成状況 (H24 年度)

2.2.5.2 2.2.5.1 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

担い手の立場が「正社員（職業訓練校および弟子として）」の割合が最も高かった地域は「北陸」で83.5%。

「一人親方にあずける（職業訓練校および弟子として）」の割合が最も高かった地域は「四国」で24.2%だった。

「職業訓練校（正社員および一人親方にあずける）」の割合は、「北海道」が21.7%で最も高かった。

【Q18=1および2】

Q19. 育成期間の担い手の立場

		合計	Q19. 育成期間の担い手の立場				
			正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方等 にあずける (職業訓練校)	一人親方等 にあずける (弟子として)	無回答
全体		1419	12.4	60.1	3.3	15.5	8.7
地域	北海道	23	17.4	52.2	4.3	17.4	8.7
	東北	192	19.3	59.4	1.6	7.8	12.0
	関東	467	12.6	57.2	3.9	18.2	8.1
	北陸	85	10.6	72.9	3.5	8.2	4.7
	中部	182	11.0	59.9	3.8	18.1	7.1
	近畿	107	5.6	60.7	4.7	15.0	14.0
	中国	157	15.9	62.4	2.5	14.0	5.1
	四国	66	1.5	63.6	0.0	24.2	10.6
	九州	140	10.7	60.0	4.3	15.7	9.3

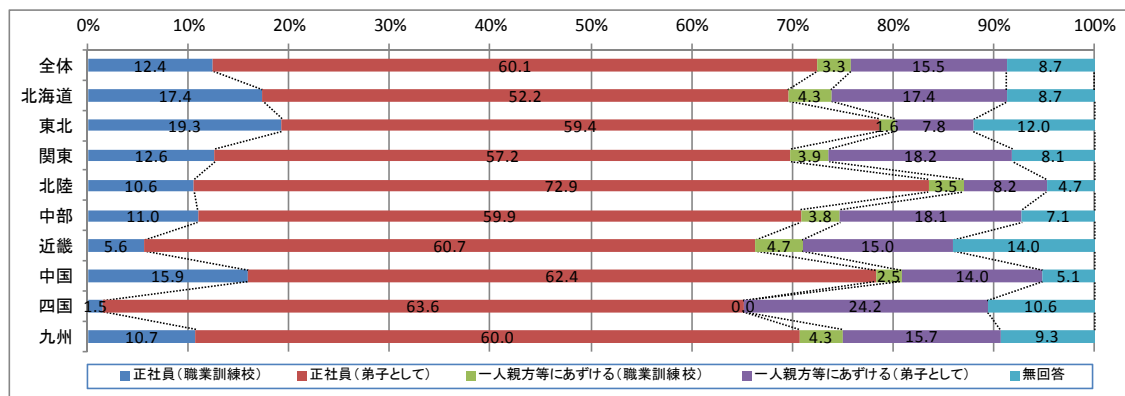


図 3.24. 育成期間の担い手の立場(H25 年度)

2.2.5.3 2.2.5.1 「1.現在育てている」 および 「2.過去には育てた」 のみ回答

育成にかかる費用負担

育成にかかる費用負担が「有る」と回答した割合が最も高かった地域は「北陸」で 31.8%。
「無い」と回答した割合が最も高かった地域は「四国」で 22.7%。

【Q18=1および2】

Q20. 育成期間にかかる費用の負担を行っているか

	合計	Q20. 育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	無回答
全体	1419	28.8	15.6	55.6
地域				
北海道	23	26.1	4.3	69.6
東北	192	28.6	12.0	59.4
関東	467	28.1	13.9	58.0
北陸	85	31.8	15.3	52.9
中部	182	24.7	16.5	58.8
近畿	107	30.8	18.7	50.5
中国	157	32.5	20.4	47.1
四国	66	22.7	22.7	54.5
九州	140	32.1	16.4	51.4

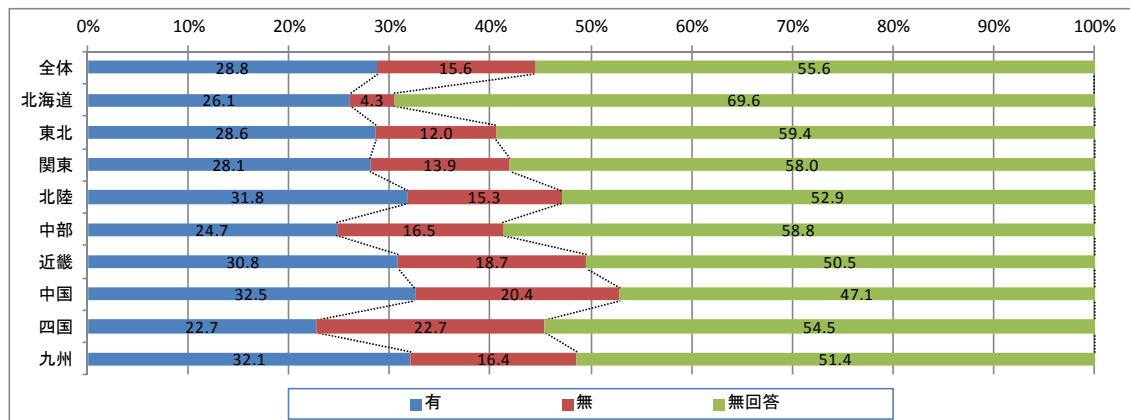


図 3.25. 育成期間にかかる費用負担(H25年度)

2.2.5.4 2.2.5.1 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

育てる予定はない理由では、「北海道」で最も多く回答が見られた。特に「人材がいないため」が60.0%で他の地域よりも高い割合だった。

【Q18=4】

Q21. なぜ育てる予定はないのですか(複数回答)

	合計	Q21. なぜ育てる予定はないのですか(複数回答)											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がいないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	無回答
全体	1591	7.5	9.4	20.3	2.7	23.1	12.8	41.2	13.7	10.1	18.3	3.6	11.6
地域													
北海道	10	10.0	10.0	0.0	0.0	60.0	10.0	50.0	30.0	10.0	20.0	0.0	10.0
東北	159	8.8	3.8	7.5	1.3	31.4	11.3	42.8	20.1	8.2	17.0	4.4	8.2
関東	593	8.4	13.7	26.0	4.0	20.2	12.6	37.8	10.3	9.4	15.5	3.2	11.5
北陸	93	1.1	6.5	20.4	0.0	19.4	20.4	47.3	20.4	14.0	19.4	2.2	10.8
中部	230	8.7	9.1	20.9	1.7	24.8	10.9	43.9	14.8	10.0	18.3	4.8	9.6
近畿	106	4.7	5.7	17.9	2.8	17.0	15.1	46.2	11.3	13.2	20.8	4.7	14.2
中国	177	5.1	8.5	18.1	5.1	26.0	13.0	41.8	14.7	4.5	16.9	4.0	11.9
四国	90	11.1	6.7	17.8	0.0	23.3	13.3	45.6	17.8	15.6	26.7	5.6	10.0
九州	133	7.5	6.0	17.3	0.8	24.1	10.5	36.8	11.3	13.5	25.6	1.5	19.5

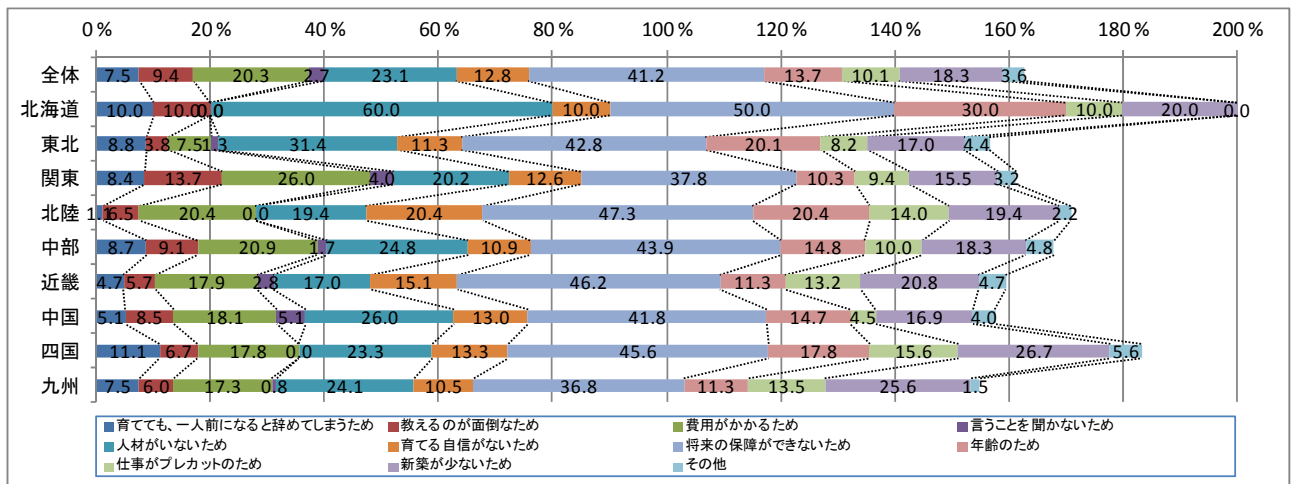


図 3.26. なぜ育てる予定はないのか(H25年度)

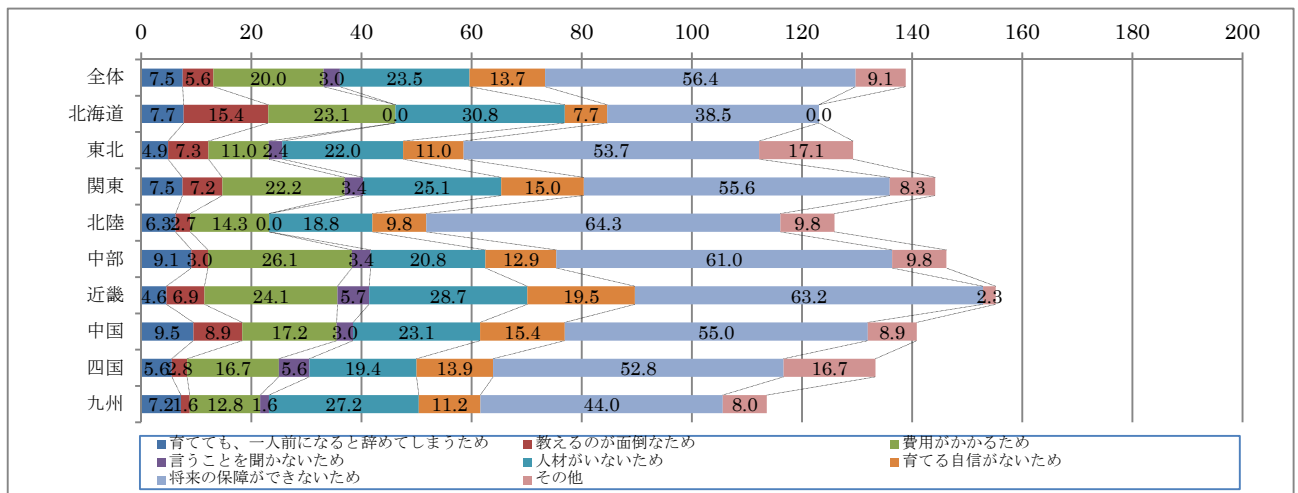


図 3.26# なぜ育てる予定はないのか (H24年度)

2.2.5.5 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

担い手の育成にかかる費用の公的補助については、「10万円/月」が全地域で共通して高い割合となった。

Q22. 担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か

		合計	Q22. 担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					無回答
			3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	
全体		5753	4.5	14.6	28.9	17.1	3.3	31.7
地域	北海道	61	4.9	14.8	26.2	13.1	9.8	31.1
	東北	744	4.8	14.9	26.7	14.1	3.8	35.6
	関東	1932	4.0	12.5	30.7	20.1	2.4	30.3
	北陸	341	6.5	15.8	29.3	15.2	1.8	31.4
	中部	807	3.7	15.0	29.6	17.3	3.2	31.1
	近畿	423	3.3	18.0	29.8	15.8	4.5	28.6
	中国	633	5.8	15.5	26.1	16.3	5.4	31.0
	四国	294	2.7	18.7	28.9	13.6	3.7	32.3
	九州	518	5.8	14.1	27.0	15.3	2.3	35.5

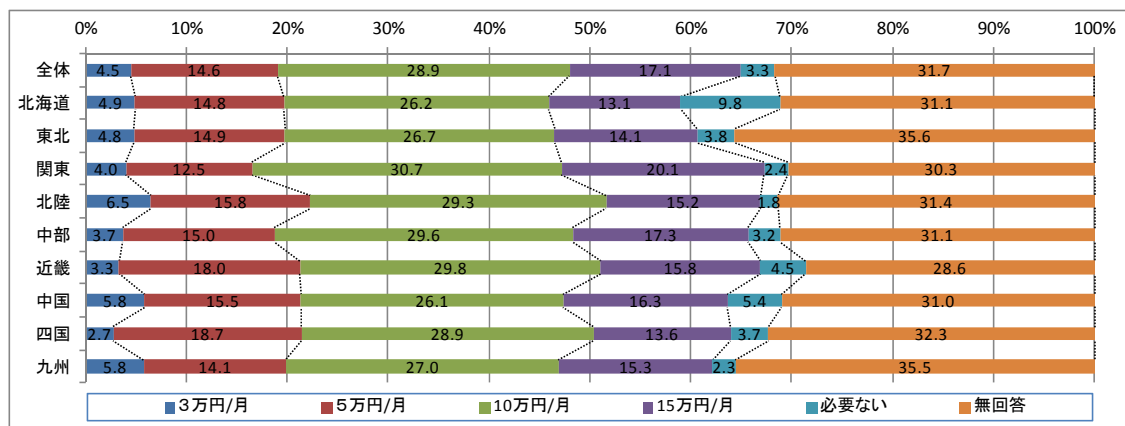


図 3.27. 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か(H25年度)

2.3 年齢別集計

2.3.1 職業等について

2.3.1.1 職種の経験年数

「20代」の大工では、前回調査（H24年度）では「5年未満」が40.7%、今回調査では「3年未満」および「3～5年」の合計が51.0%だった。前回調査と比較して、「20代」の大工の経験年数は減少した。20代前半の若年層が多いこと、または入職年齢が高いことが考えられる。

Q4. 職種の経験年数

		合計	Q4. 職種の経験年数								
			3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	無回答
全体		5753	4.2	3.2	9.5	27.6	17.4	18.9	16.1	2.3	0.7
年齢	10代	38	92.1	0.0	5.3	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0
	20代	529	27.6	23.4	40.8	6.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.6
	30代	1587	2.8	2.6	16.7	71.3	5.7	0.5	0.0	0.0	0.3
	40代	1171	0.9	0.8	4.0	31.0	56.5	5.5	0.3	0.1	0.9
	50代	1234	0.2	0.2	0.6	3.6	16.9	62.9	14.3	0.9	0.4
	60代	1027	0.1	0.3	0.4	0.6	2.8	20.8	69.0	4.9	1.1
	70代以上	114	0.0	1.8	1.8	0.9	3.5	9.6	21.9	59.6	0.9
	無回答	53	1.9	5.7	3.8	15.1	17.0	18.9	24.5	5.7	7.5

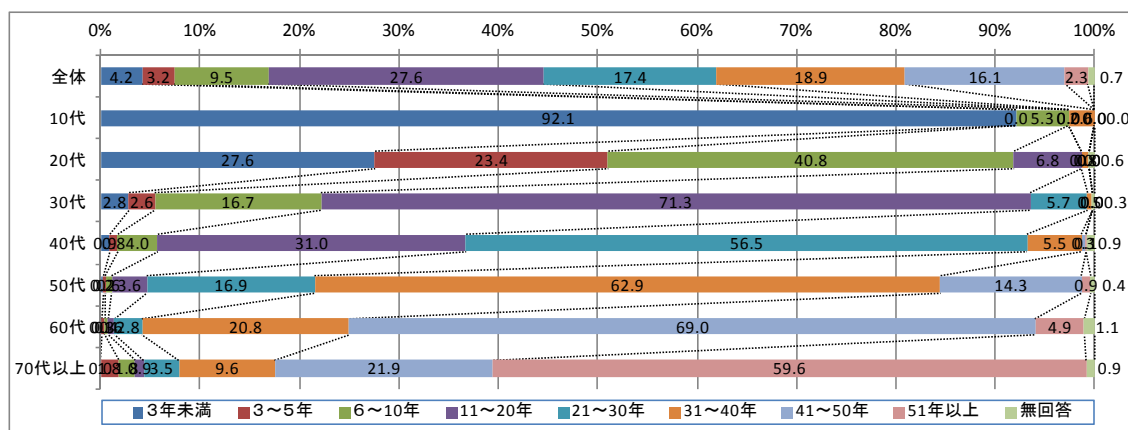


図 4.1. 職種の経験年数 (H25 年度)

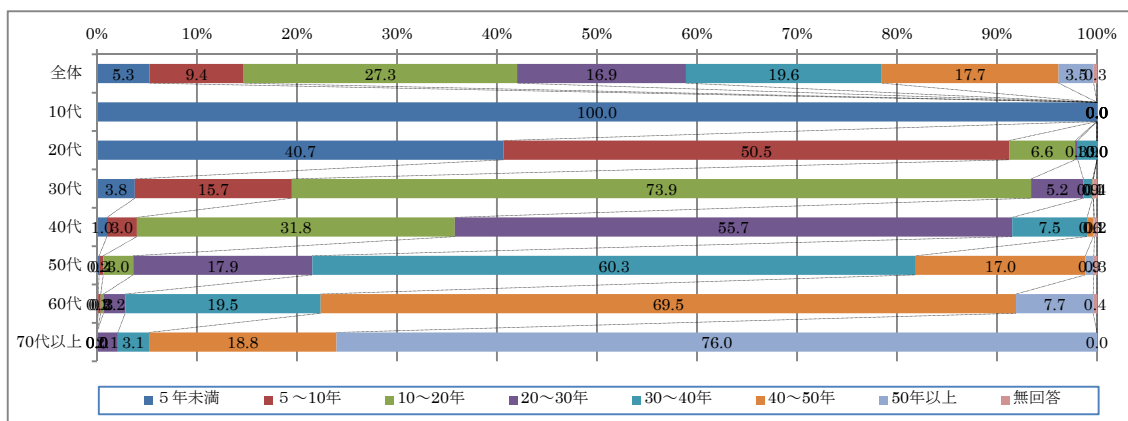


図 4.1# 職種の経験年数 (H24 年度)

2.3.1.2 職種においてベテランだと思いますか。

「20代」の大工は53.3%が「見習い」だと自己評価している。

「30代」、「40代」では半数以上が「中堅（「やや中堅」を含む）」と自己評価している。

「50代」で過半数の66.5%が「ベテラン（「ややベテラン」を含む）」と自己評価している。

Q5. あなたのベテラン度合いについて

		合計	Q5. あなたのベテラン度合いについて					無回答
			ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	
全体		5753	19.0	21.6	33.5	12.8	9.6	3.5
年齢	10代	38	0.0	2.6	0.0	0.0	97.4	0.0
	20代	529	0.9	3.2	15.5	24.2	53.3	2.8
	30代	1587	4.1	9.4	47.8	24.8	10.1	3.8
	40代	1171	12.0	23.8	46.8	10.9	3.4	3.0
	50代	1234	30.3	36.2	25.4	3.7	1.7	2.6
	60代	1027	43.8	30.3	18.3	2.5	0.9	4.2
	70代以上	114	39.5	25.4	21.1	2.6	1.8	9.6
	無回答	53	24.5	22.6	24.5	18.9	3.8	5.7

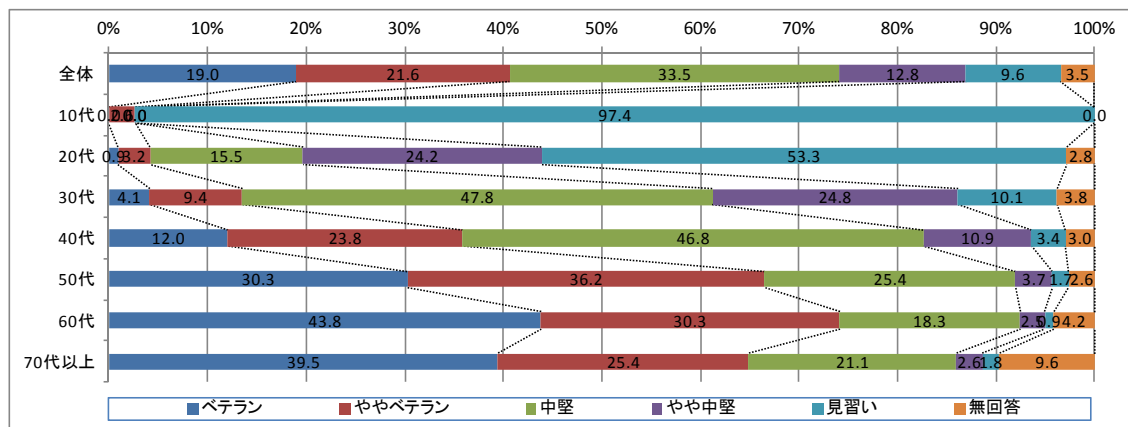


図 4.2. 職種のベテラン度合 (H25 年度)

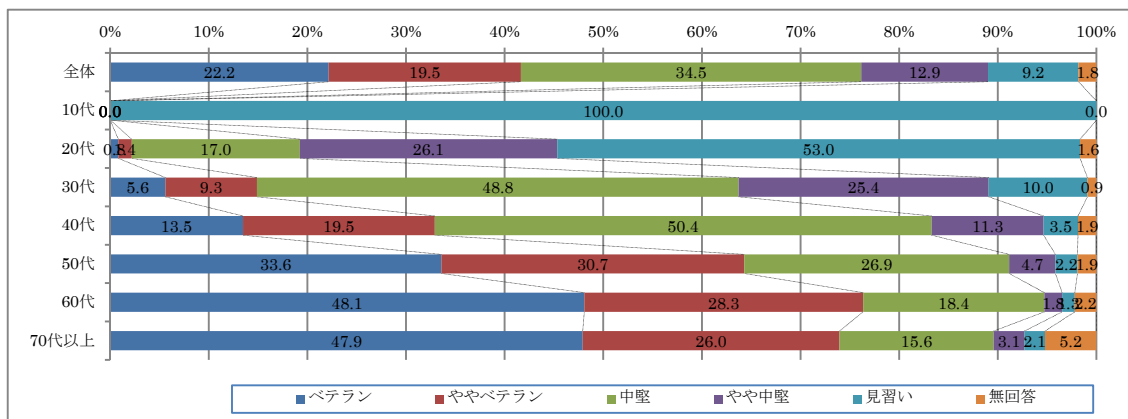


図 4.2# 職種のベテラン度合 (H24 年度)

2.3 年齢別集計

2.3.2 雇用形態について

2.3.2.1 雇用形態（工務店等との）

大工の雇用形態は、「10代」、「20代」、「30代」までは「工務店社員」の割合が最も高い。

「元請として仕事」は「30代」で21.2%。年齢層が上がるにつれて割合は高くなり、「40代」以上では大工の雇用形態で最も割合が高くなった。

前回調査（H24年度）においても同様の割合構成が見られた。今回調査（H25年度）では、「10代」の大工で「工務店社員」以外の割合が大きくなった。

Q6. あなたの雇用形態

	合計	Q6. あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常雇(日給制)	外注常雇(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	無回答
全体	5753	34.4	10.4	11.9	4.9	34.3	1.4	2.7
年齢								
10代	38	52.6	13.2	0.0	0.0	10.5	18.4	5.3
20代	529	70.7	11.3	1.9	2.5	5.9	4.5	3.2
30代	1587	49.6	10.8	10.6	4.2	21.2	1.6	2.0
40代	1171	29.9	8.9	12.9	6.4	38.3	0.9	2.7
50代	1234	22.9	11.4	15.2	5.7	41.8	0.5	2.4
60代	1027	12.6	10.0	14.2	5.4	54.5	0.5	2.8
70代以上	114	16.7	7.9	14.0	2.6	50.9	1.8	6.1
無回答	53	32.1	11.3	5.7	1.9	35.8	1.9	11.3

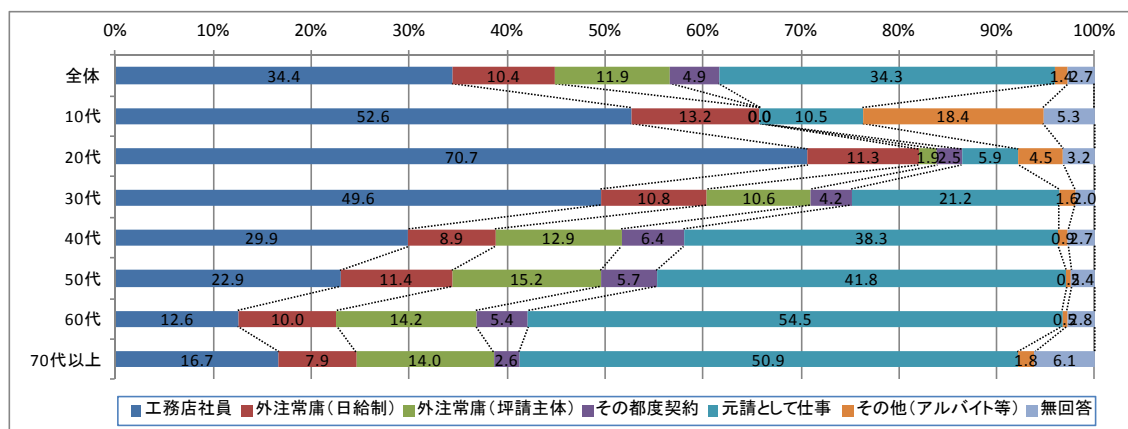


図 4.3. 雇用形態 (H25年度)

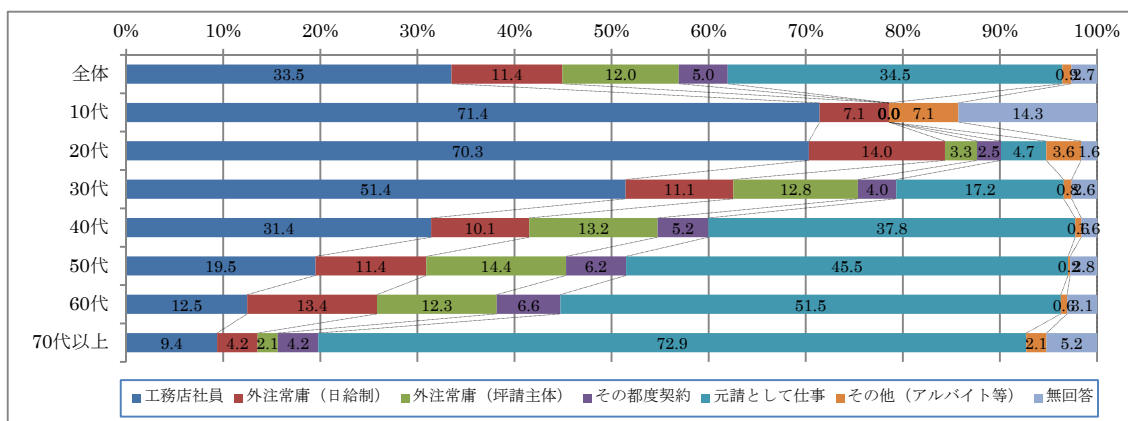


図 4.3# 雇用形態 (H24年度)

2.3 年齢別集計

～ 64 ～

2.3.2.2 就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合が最も高いのは「20代」で40.5%。

「無い」と回答した割合が最も高いのは「40代」で59.6%だった。

Q7. 就業規則

		合計	Q7. 就業規則		
			有	無	無回答
全体		5753	25.3	53.3	21.4
年齢	10代	38	26.3	36.8	36.8
	20代	529	40.5	39.1	20.4
	30代	1587	26.8	54.4	18.8
	40代	1171	24.3	59.6	16.1
	50代	1234	21.0	57.9	21.1
	60代	1027	21.9	50.9	27.2
	70代以上	114	22.8	29.8	47.4
	無回答	53	18.9	22.6	58.5

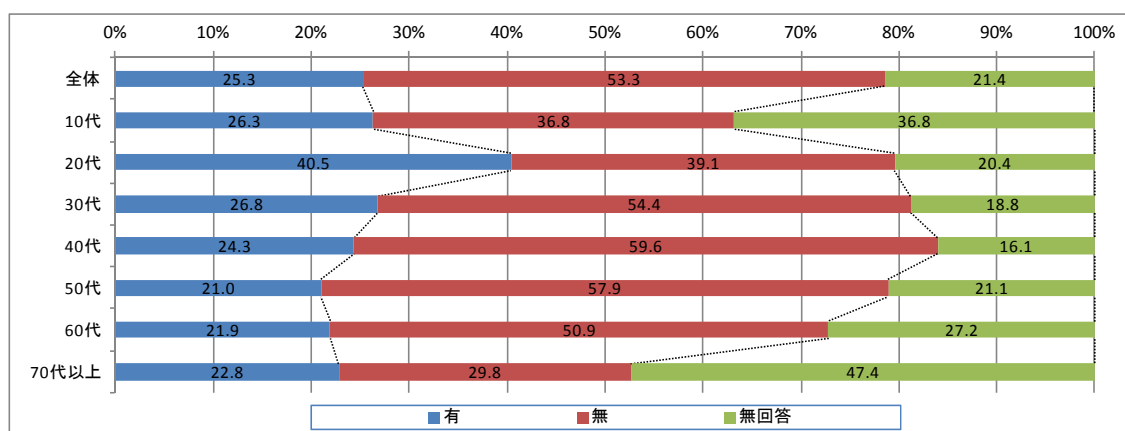


図 4.4. 就業規則 (H25 年度)

2.3.2.3 有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高いのは「20代」で22.9%。

「無い」と回答した割合が最も高いのは「30代」で73.2%。

Q8. 有給休暇

		合計	Q8. 有給休暇		
			有	無	無回答
全体		5753	10.4	65.6	24.0
年齢	10代	38	13.2	57.9	28.9
	20代	529	22.9	61.1	16.1
	30代	1587	11.6	73.2	15.2
	40代	1171	9.6	73.1	17.3
	50代	1234	7.4	66.3	26.3
	60代	1027	6.7	52.8	40.5
	70代以上	114	10.5	28.1	61.4
	無回答	53	5.7	35.8	58.5

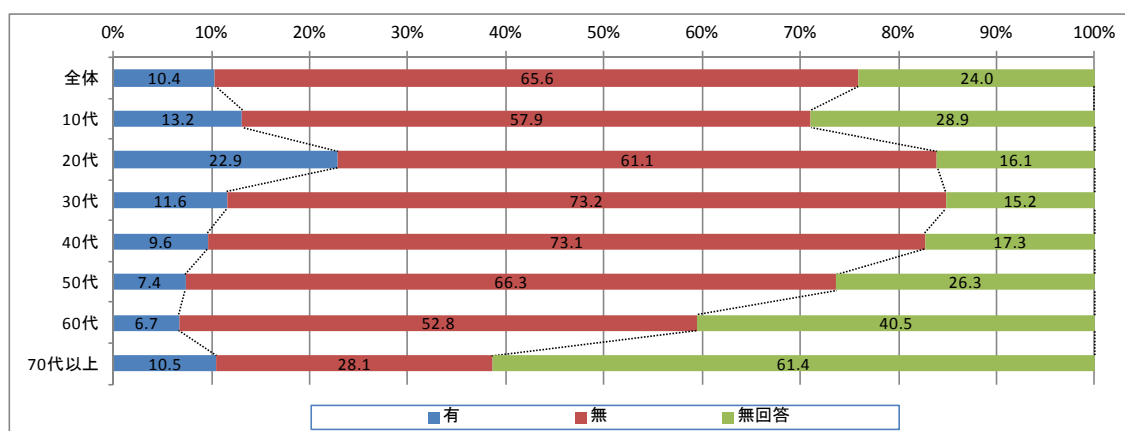


図 4.5. 有給休暇 (H25 年度)

2.3.2.4 年間就業日数

平均年間就業日数が最も多かったのは、「40代」で276.3日だった。
最も少なかったのは、「10代」で220.6日。

Q9. 年間就業日数

		合計	Q9. 年間就業日数					平均
			250日未 満	250日～ 275日未 満	275日～ 300日未 満	300日以 上	無回答	
全体		5753	10.0	9.6	9.6	27.9	42.8	266.9
年齢	10代	38	18.4	0.0	7.9	18.4	55.3	220.6
	20代	529	5.9	7.9	9.8	28.4	48.0	272.6
	30代	1587	7.4	7.6	10.4	35.0	39.6	274.0
	40代	1171	7.6	6.8	9.3	35.6	40.6	276.3
	50代	1234	10.4	13.0	11.3	25.5	39.8	265.5
	60代	1027	17.4	13.2	8.1	14.2	47.0	246.6
	70代以上	114	20.2	7.9	3.5	8.8	59.6	232.6
	無回答	53	7.5	3.8	0.0	11.3	77.4	235.8

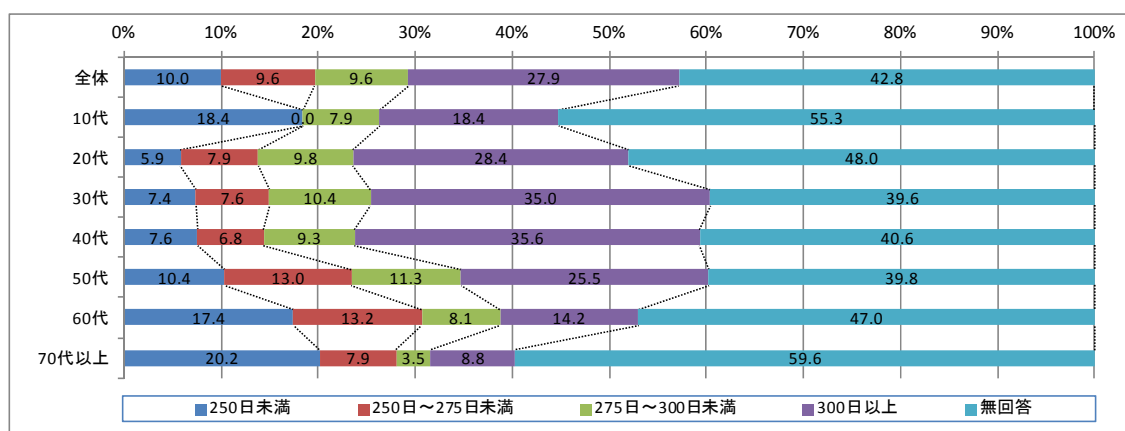


図 4.6. 年間就業日数 (H25 年度)

2.3.2.5 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

自己負担となっているものの割合の合計が最も高かったのは「50代」で 301.9%。
最も少なかったのは「10代」で 147.4%。

Q11. 自己負担となっているもの(複数回答)

		Q11. 自己負担となっているもの(複数回答)							
		合計	手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	無回答
全体		5753	72.6	67.5	28.0	54.6	54.8	13.8	7.7
年齢	10代	38	52.6	31.6	5.3	26.3	31.6	7.9	23.7
	20代	529	72.8	61.6	13.6	45.9	42.5	13.6	5.5
	30代	1587	73.8	67.8	25.5	52.4	53.0	15.6	4.7
	40代	1171	70.5	65.7	28.9	54.1	53.2	18.1	6.1
	50代	1234	75.9	72.5	31.8	59.7	61.9	11.3	7.8
	60代	1027	71.6	69.2	34.3	59.2	58.8	10.2	12.6
	70代以上	114	62.3	56.1	34.2	50.9	50.0	8.8	17.5
	無回答	53	58.5	62.3	24.5	43.4	45.3	9.4	20.8

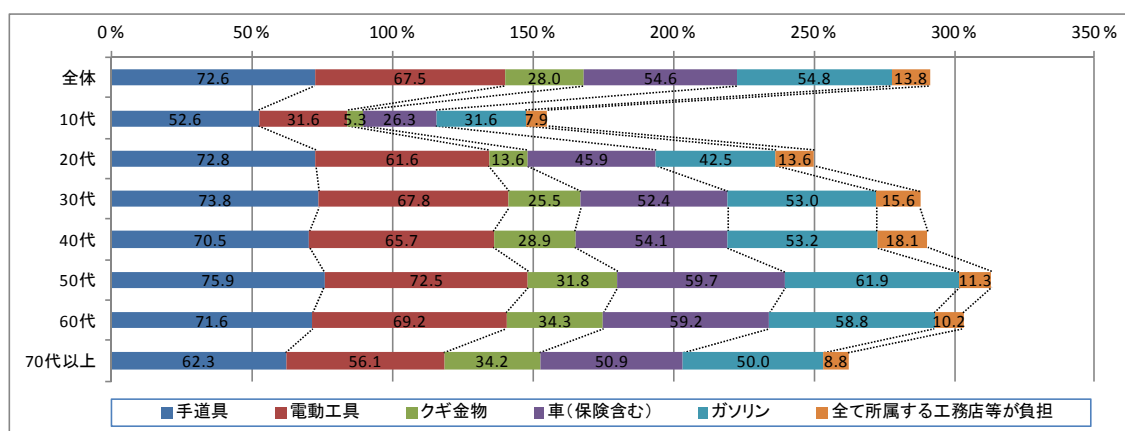


図 4.7. 自己負担となっているもの (H25 年度)

2.3.2.6 おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

平均賃金が最も高かったのは「50代」で15714.3円。

平均賃金が最も低かったのは「10代」で8128.6円。

Q12. 1日あたりのおおよその賃金

		合計	Q12. 1日あたりのおおよその賃金							平均賃金
			8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	無回答	
年齢	全体	5753	5.4	7.2	37.9	35.9	7.9	1.7	3.9	14902.5
	10代	38	89.5	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	7.9	8128.6
	20代	529	24.0	21.7	34.4	9.5	1.9	1.7	6.8	11462.5
	30代	1587	3.5	9.5	43.6	30.9	7.2	1.8	3.6	14576.8
	40代	1171	2.5	5.0	34.8	42.4	10.0	2.0	3.3	15699.2
	50代	1234	2.1	3.5	36.8	43.4	9.4	1.8	3.0	15714.3
	60代	1027	2.8	3.8	38.2	41.7	8.3	1.5	3.8	15445.9
	70代以上	114	6.1	6.1	30.7	42.1	8.8	0.9	5.3	15245.4
	無回答	53	9.4	5.7	32.1	32.1	5.7	1.9	13.2	14554.3

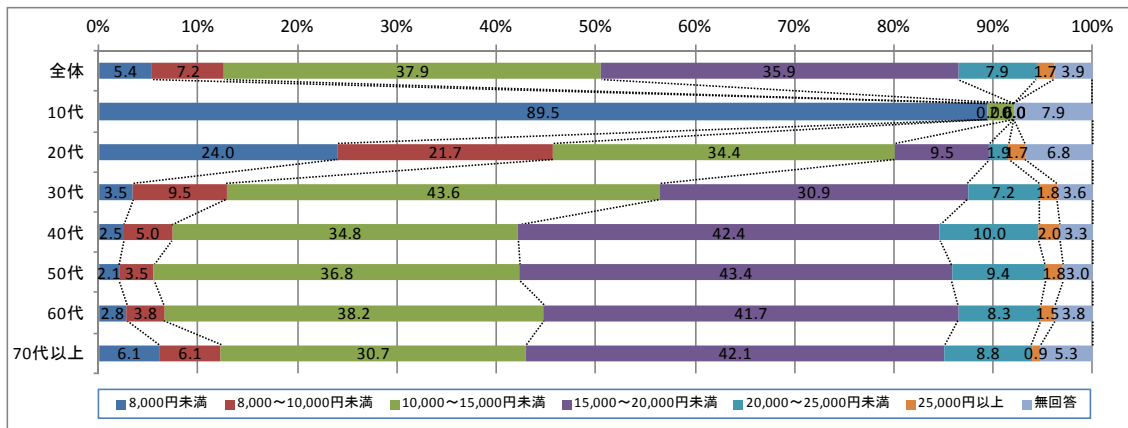


図 4.8. 1日あたりのおおよその賃金（H25年度）

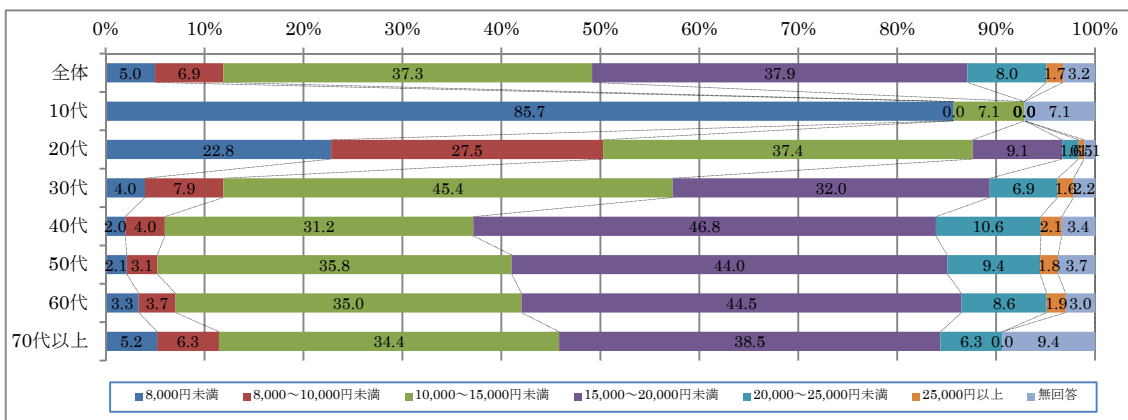


図 4.8# 1日あたりのおおよその賃金（H24年度）

2.3.3 資格や技能について

2.3.3.1 持っている資格

資格の割合の合計が最も高かったのは「70代以上」で393.9%。最も低かったのは「10代」で34.2%。年齢層が上がるほど、資格の取得している割合は高くなる。

高齢の大工で割合が高い資格としては「2級建築士」、「1級建築大工技能士」、「職業訓練指導員」、「増改築相談員」、「足場の組立て等作業主任者」、「木造建築物組立て作業主任者」等が挙げられる。その他の資格は「30代」、「40代」以上になると大きく変化しない。

Q13. お持ちの資格(複数回答)

年齢	合計	Q13. お持ちの資格(複数回答)															
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	1級建築大工技能士	2級建築大工技能士	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	無回答
全体	5753	5.9	33.4	3.7	4.3	14.2	15.7	12.8	2.3	15.5	10.7	39.9	45.5	43.5	18.9	13.4	16.4
10代	38	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	15.8	7.9	0.0	84.2
20代	529	0.4	13.2	1.7	0.2	4.7	7.8	20.0	0.6	2.6	0.6	20.0	21.2	42.5	14.9	2.5	35.9
30代	1587	4.1	31.8	1.3	2.6	8.4	15.0	15.1	0.9	6.9	4.9	34.7	40.7	44.7	16.4	8.2	17.1
40代	1171	8.7	41.7	1.2	7.9	13.3	11.8	9.4	1.5	10.2	12.3	40.2	45.2	43.6	21.0	11.5	14.5
50代	1234	9.9	35.4	6.4	5.8	20.9	15.5	12.4	2.8	17.8	12.0	43.5	51.9	42.6	20.9	14.3	10.9
60代	1027	4.5	34.9	7.9	3.2	20.4	24.3	11.6	4.9	35.3	19.6	53.6	59.4	45.6	20.8	27.6	10.8
70代以上	114	1.8	43.0	7.0	6.1	21.1	36.8	6.1	7.9	51.8	30.7	54.4	52.6	32.5	16.7	25.4	16.7
無回答	53	3.8	24.5	7.5	7.5	18.9	9.4	5.7	3.8	13.2	11.3	34.0	35.8	35.8	11.3	9.4	26.4

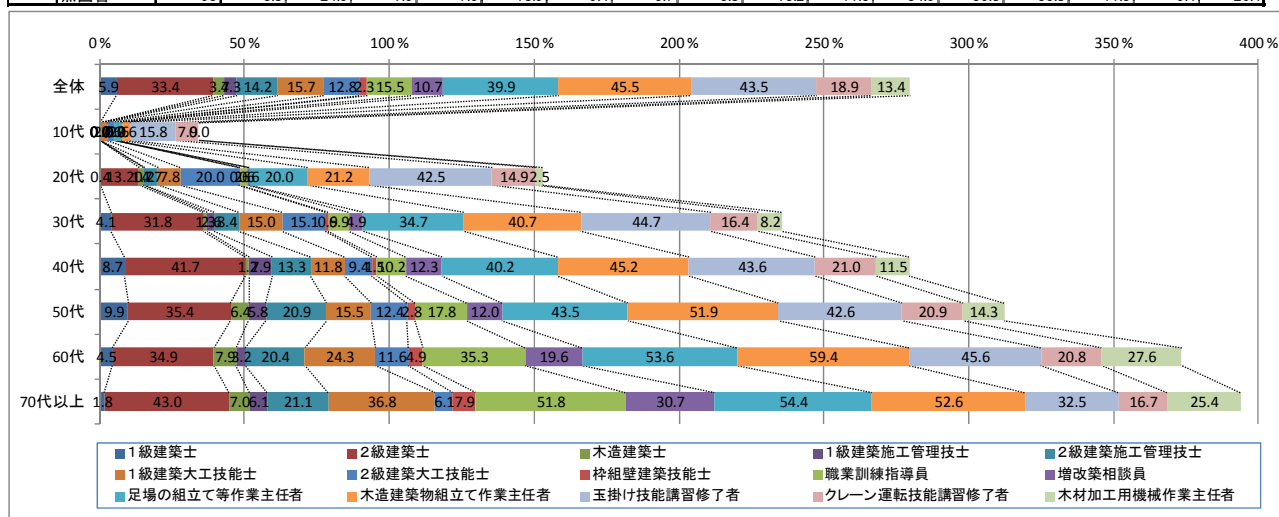


図 4.9. 持っている資格 (H25 年度)

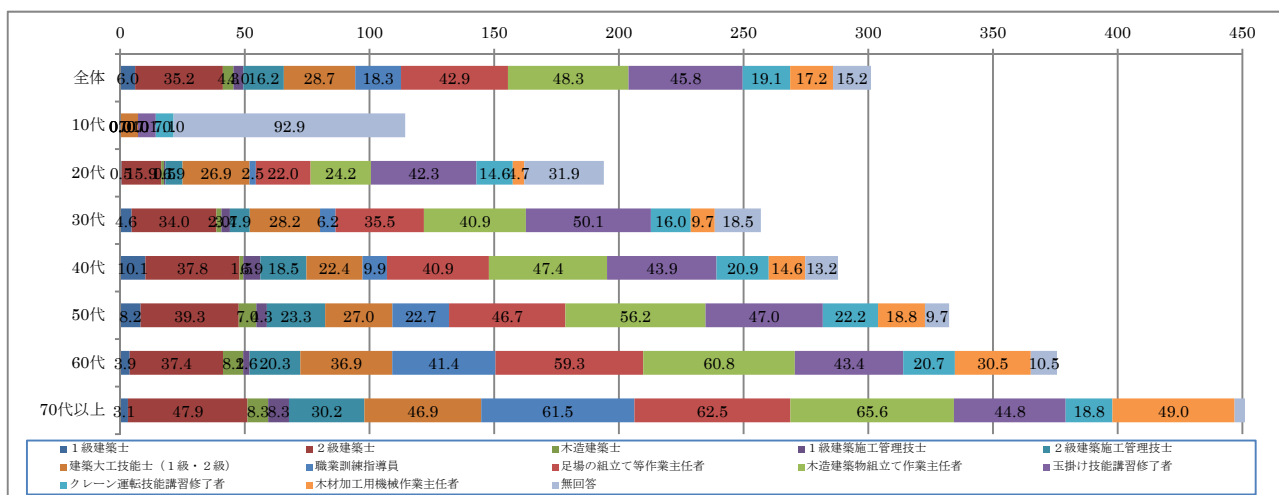


図 4.9# 持っている資格 (H24 年度)

2.3 年齢別集計

2.3.3.2 大工職のみ回答 墨付けができますか。

墨付けができると回答した割合は、「20代」以下では半数に満たない。

「30代」以上の大工で約7割ができると回答しており、「20代」と「30代」で技能のレベルに大きな差がみられる。

前回調査（H24年度）においても、同様の傾向がみられた。

大工職限定

Q14①. 墨付けができますか

	合計	Q14①. 墨付けができますか		
		はい	いいえ	無回答
全体	5753	73.7	15.1	11.2
年齢				
10代	38	21.1	52.6	26.3
20代	529	40.8	49.5	9.6
30代	1587	68.4	22.4	9.3
40代	1171	75.4	13.8	10.8
50代	1234	84.8	3.9	11.3
60代	1027	85.0	1.5	13.5
70代以上	114	79.8	3.5	16.7
無回答	53	69.8	5.7	24.5

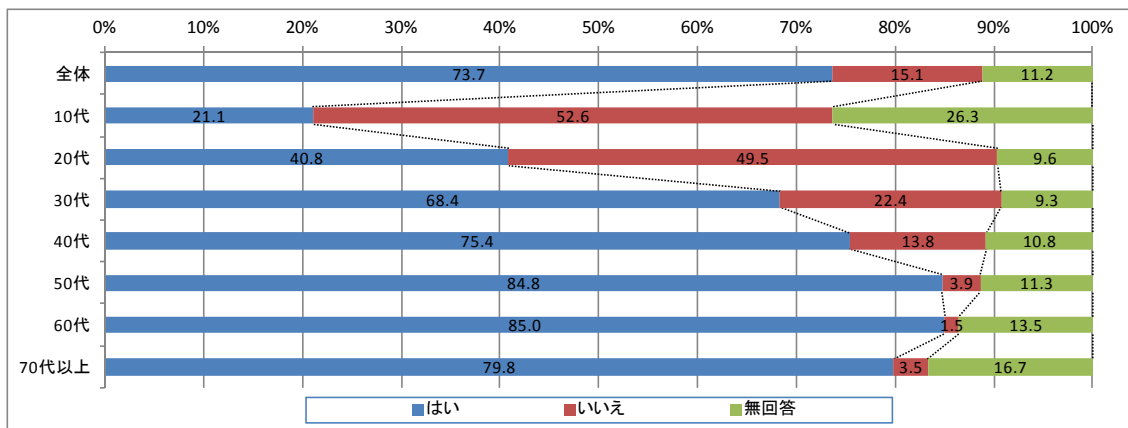


図 4.10. 墨付け (H25 年度)

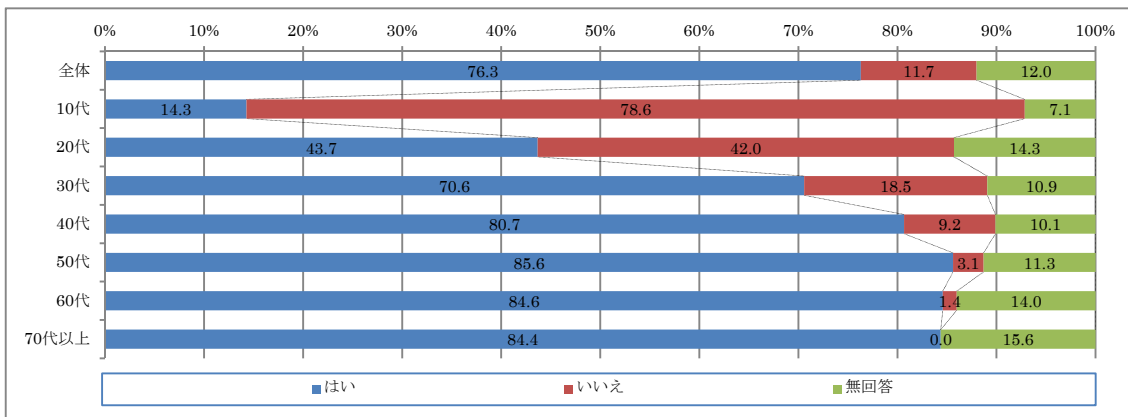


図 4.10# 墨付け (H24 年度)

2.3.3.3 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っている割合が最も高かったのは「70代以上」で39.5%だった。次いで「60代」が35.8%だった。最も低いのは「10代」で13.2%、次いで「40代」で22.0%だった。

前回調査(H24年度)では、若年の大工ほど手刻み加工の仕事をやっていなかったが、今回の調査では、「30代」、「40代」で手刻み加工の仕事をやっている割合が「20代」と比較して低くなった。

大工職限定

Q14②. 新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか

	合計	Q14②. 新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	5753	28.1	58.7	13.2	
年齢	10代	38	13.2	57.9	28.9
	20代	529	28.5	61.4	10.0
	30代	1587	26.8	63.6	9.6
	40代	1171	22.0	66.7	11.3
	50代	1234	28.8	57.3	13.9
	60代	1027	35.8	45.6	18.6
	70代以上	114	39.5	35.1	25.4
	無回答	53	22.6	43.4	34.0

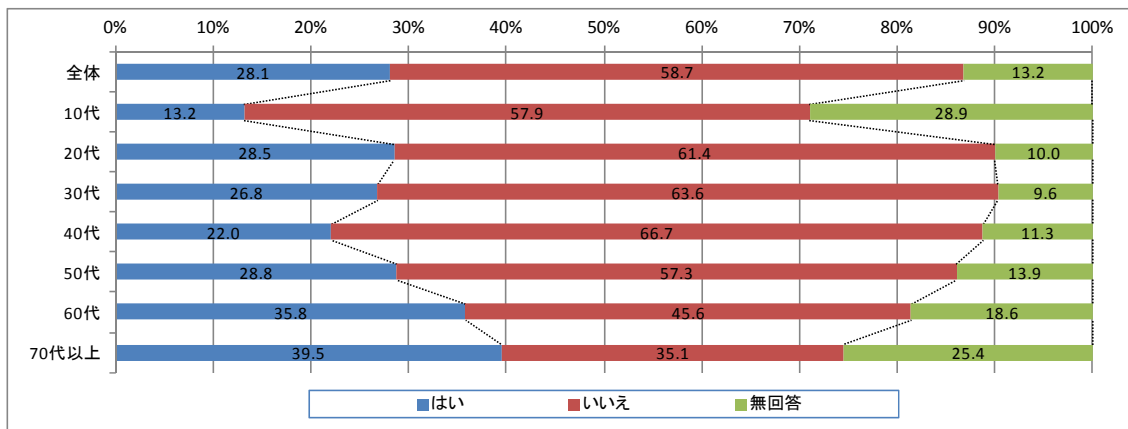


図 4.11. 手刻み加工の仕事（新築）（H25年度）

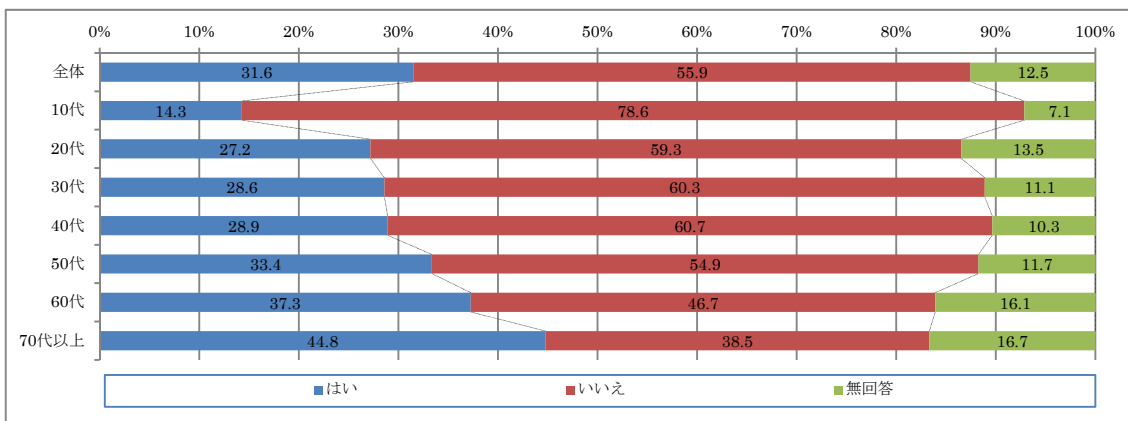


図 4.11# 手刻み加工の仕事（H24年度）

2.3.3.4 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した割合が最も高かったのは「60代」で54.5%。最も低かったのは「10代」で7.9%。

「20代」より年齢が上がると4割以上が増改築で手刻み加工の仕事を年1棟以上行っている。

大工職限定

Q14③. 増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか

	合計	Q14③. 増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	5753	50.7	36.5	12.8	
年齢	10代	38	7.9	63.2	28.9
	20代	529	42.5	47.4	10.0
	30代	1587	49.8	40.2	10.0
	40代	1171	50.0	38.4	11.6
	50代	1234	54.2	32.5	13.3
	60代	1027	54.5	28.3	17.1
	70代以上	114	53.5	26.3	20.2
	無回答	53	43.4	24.5	32.1

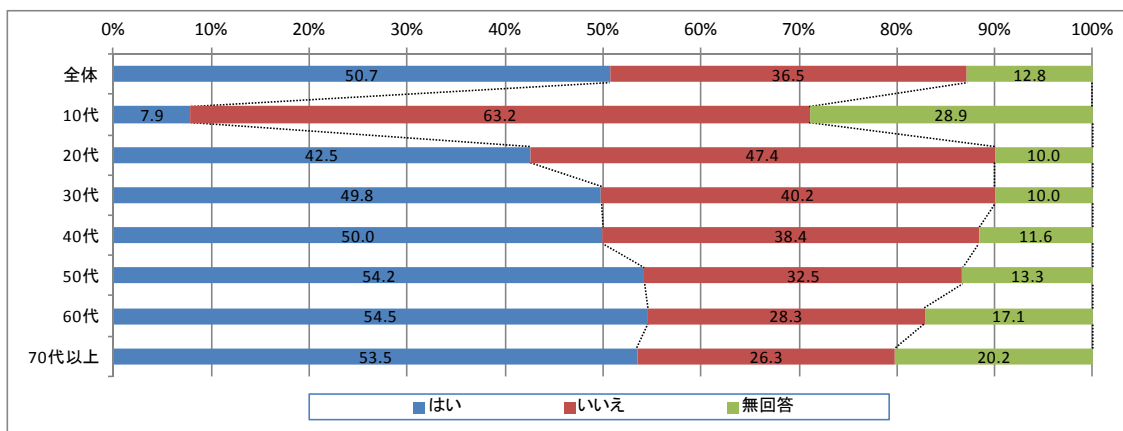


図 4.12. 手刻み加工の仕事（増改築）（H25 年度）

2.3.3.5 大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作ができると回答した割合は「50代」が最も高く 83.3%。最も低かったのは「10代」で 2.6%だった。

「30代」より年齢層が上がると半数が以上ができると回答しているが、「20代」では半数に満たない。「20代」と「30代」には 39.4 ポイントの差が見られた。

大工職限定		Q14④. 和室造作ができますか		
年齢	合計	Q14④. 和室造作ができますか		
		はい	いいえ	無回答
全体	5753	70.5	17.7	11.9
10代	38	2.6	71.1	26.3
20代	529	26.8	62.8	10.4
30代	1587	65.2	25.1	9.8
40代	1171	75.1	14.0	10.9
50代	1234	83.3	4.8	11.9
60代	1027	83.2	2.1	14.7
70代以上	114	73.7	7.9	18.4
無回答	53	60.4	9.4	30.2

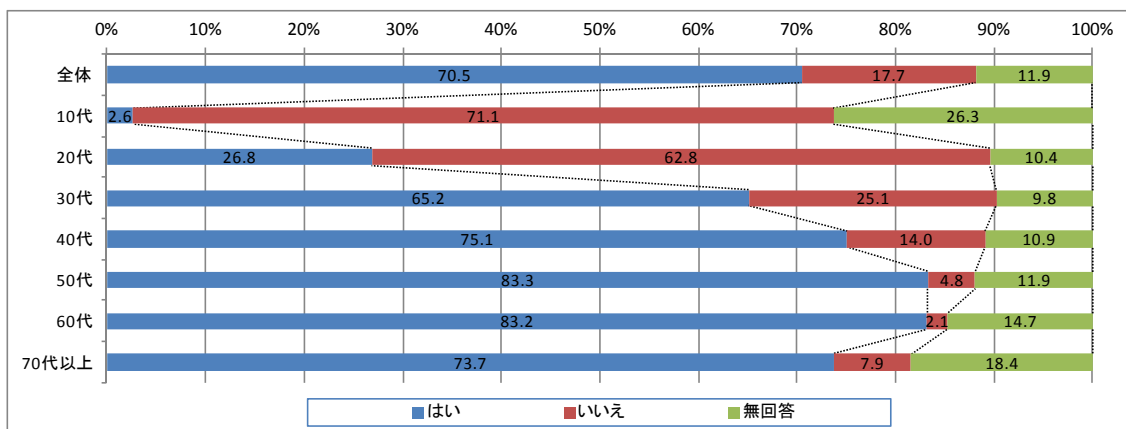


図 4.13. 和室造作 (H25 年度)

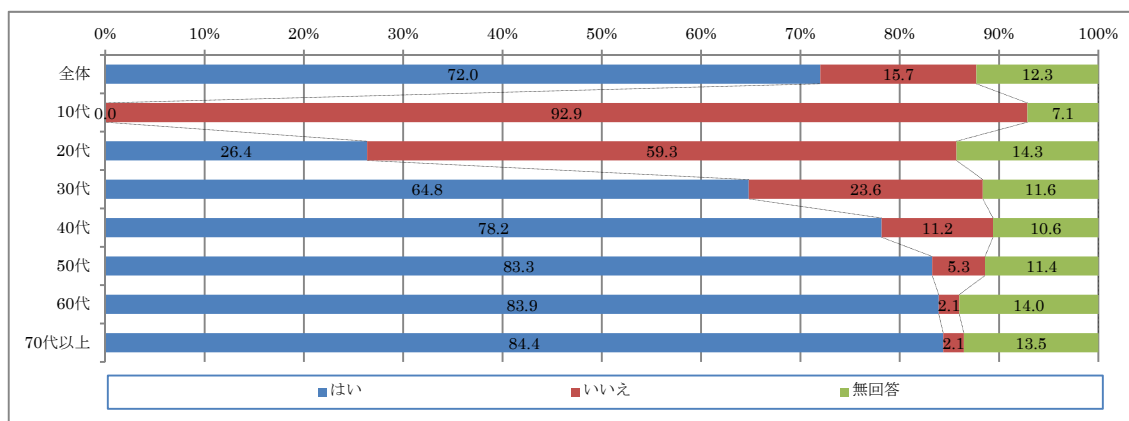


図 4.13# 和室造作 (H24 年度)

2.3 年齢別集計

2.3.3.6 **大工職のみ回答** 2×4工法の住宅の施工ができますか。

2×4工法の住宅の施工ができると回答した割合が最も高かったのは「70代以上」で35.1%。最も低かったのは、「10代」で2.6%だった。

大工職限定				
Q14⑤. 2×4工法の住宅の施工ができますか				
	合計	Q14⑤. 2×4工法の住宅の施工ができますか		
		はい	いいえ	無回答
全体	5753	27.6	59.0	13.4
年齢				
10代	38	2.6	71.1	26.3
20代	529	14.6	74.9	10.6
30代	1587	25.6	64.2	10.1
40代	1171	27.9	59.7	12.4
50代	1234	29.7	56.7	13.5
60代	1027	34.2	47.2	18.6
70代以上	114	35.1	43.0	21.9
無回答	53	30.2	37.7	32.1

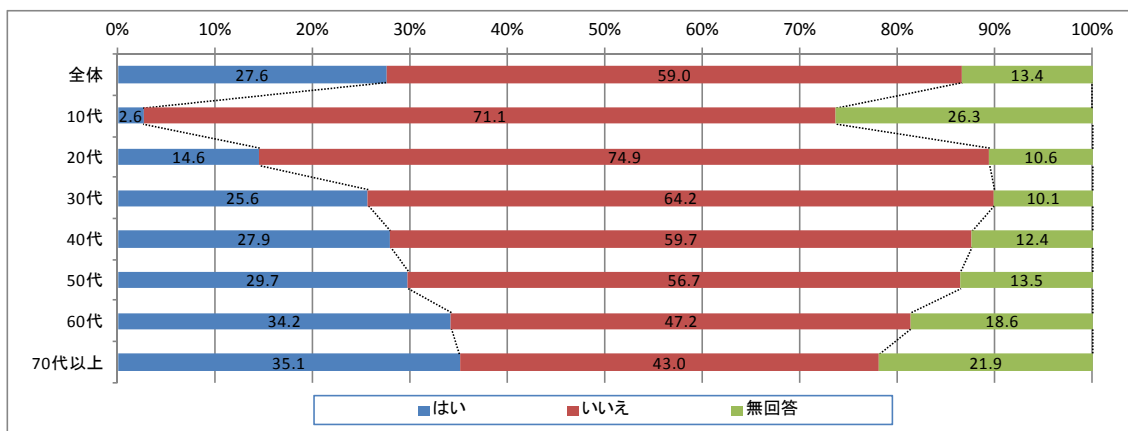


図 4.14. 2×4工法の住宅の施工 (H25年度)

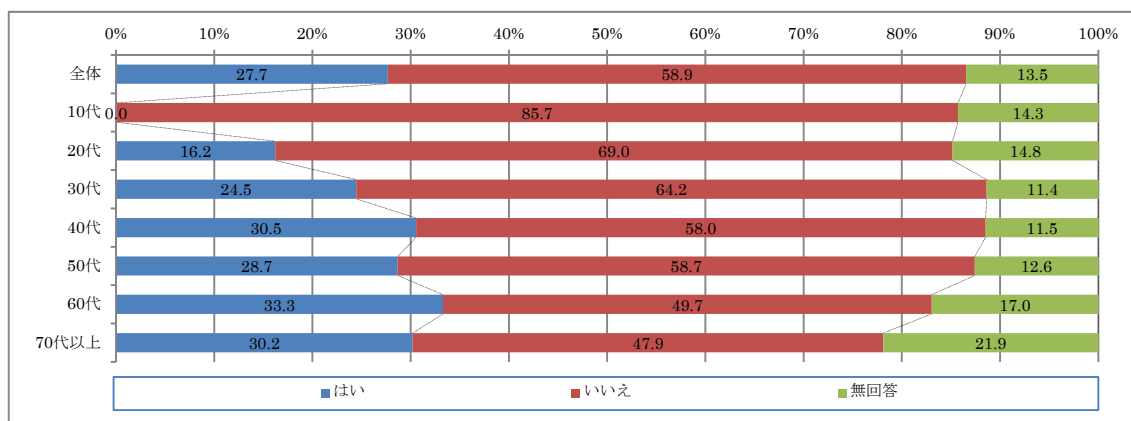


図 4.14# 2×4工法の住宅の施工 (H24年度)

2.3.4 仕事に対する満足度や今後の意向について

2.3.4.1 現在の仕事の内容について満足していますか。

仕事の内容に満足していると回答した割合が最も高かったのは「10代」で65.8%。

満足している割合が最も低かったのは「40代」で56.9%だった。

前回調査（H24年度）においても同様に、「40代」、「50代」で満足している割合が低下する傾向がみられた。

Q15. 現在の仕事の内容について満足度

		合計	Q15. 現在の仕事の内容について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
全体		5753	8.7	51.1	24.8	6.8	8.6
年齢	10代	38	23.7	42.1	15.8	2.6	15.8
	20代	529	11.2	51.6	22.3	7.0	7.9
	30代	1587	8.8	54.5	24.3	6.0	6.4
	40代	1171	7.5	49.4	28.7	7.3	7.1
	50代	1234	7.2	50.6	25.9	7.7	8.6
	60代	1027	9.4	49.3	22.3	6.6	12.4
	70代以上	114	13.2	51.8	15.8	5.3	14.0
	無回答	53	9.4	34.0	24.5	7.5	24.5

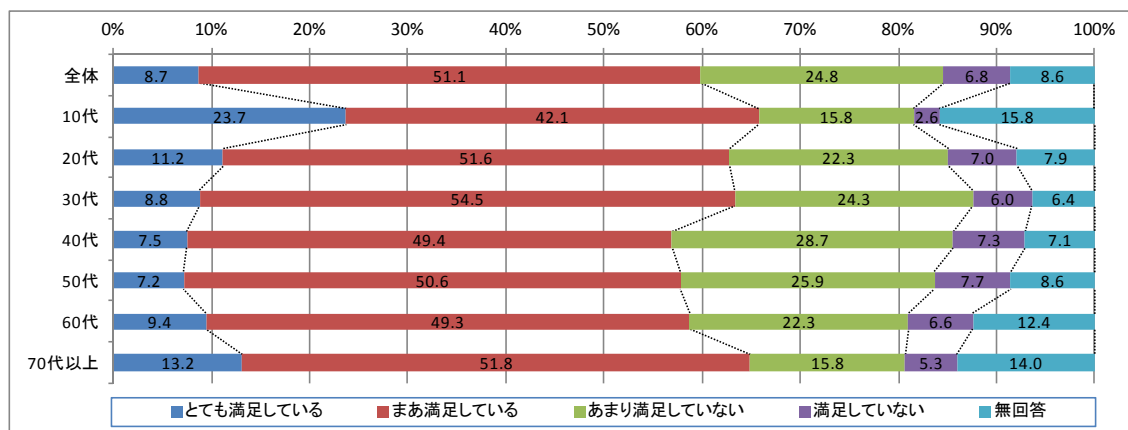


図 4.15. 仕事の内容についての満足度 (H25 年度)

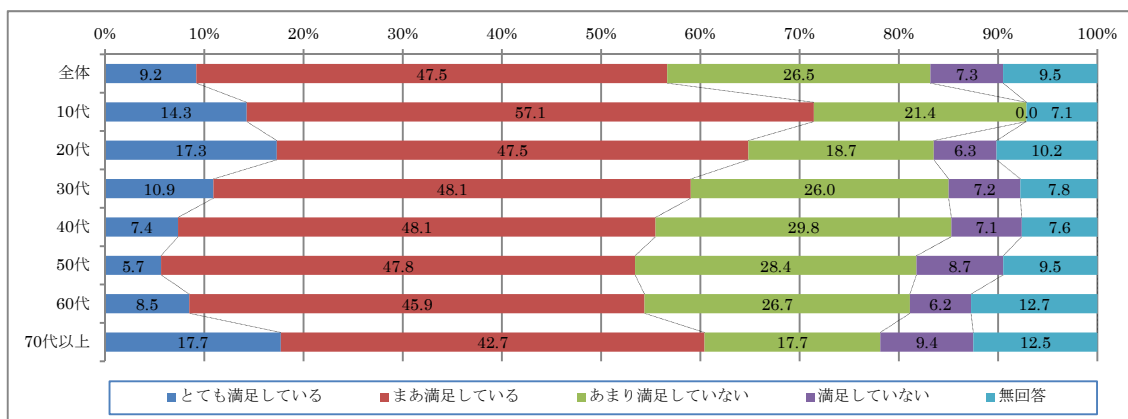


図 4.15# 仕事の内容についての満足度 (H24 年度)

2.3.4.2 現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

仕事で得られる収入等について満足していると回答した割合が最も高かったのは「10代」で57.9%だった。満足している割合が最も低かったのは「40代」で29.3%だった。

前回調査（H24年度）においても同様に、「40代」、「50代」で満足している割合が低下する傾向がみられた。

Q16. 現在の仕事で得られる収入等について満足度

		合計	Q16. 現在の仕事で得られる収入等について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
全体		5753	3.1	30.6	39.9	17.7	8.8
年齢	10代	38	15.8	42.1	13.2	13.2	15.8
	20代	529	5.5	36.9	31.6	16.4	9.6
	30代	1587	3.0	33.6	38.7	18.4	6.4
	40代	1171	2.8	26.5	44.4	19.0	7.3
	50代	1234	1.9	28.1	42.6	18.6	8.8
	60代	1027	3.5	29.2	39.5	15.3	12.5
	70代以上	114	2.6	36.8	31.6	13.2	15.8
	無回答	53	0.0	28.3	35.8	13.2	22.6

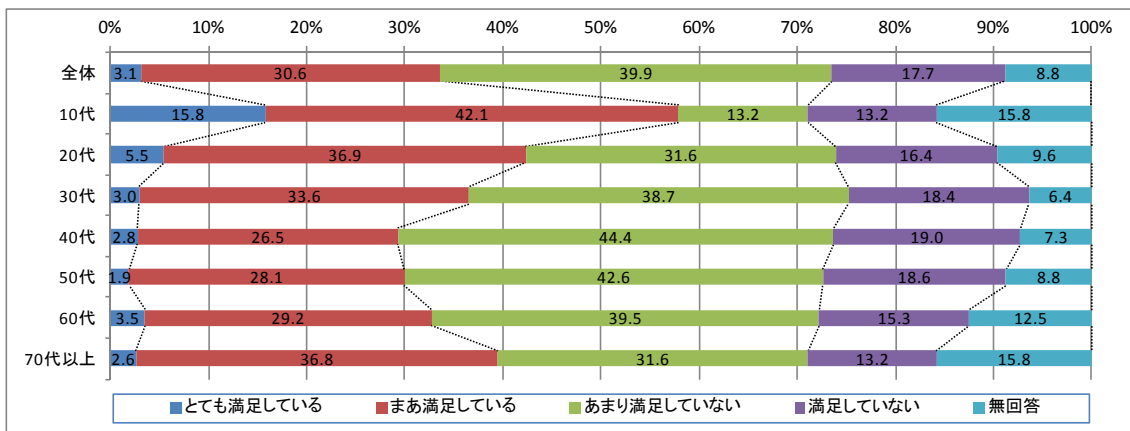


図 4.16. 収入等についての満足度 (H25年度)

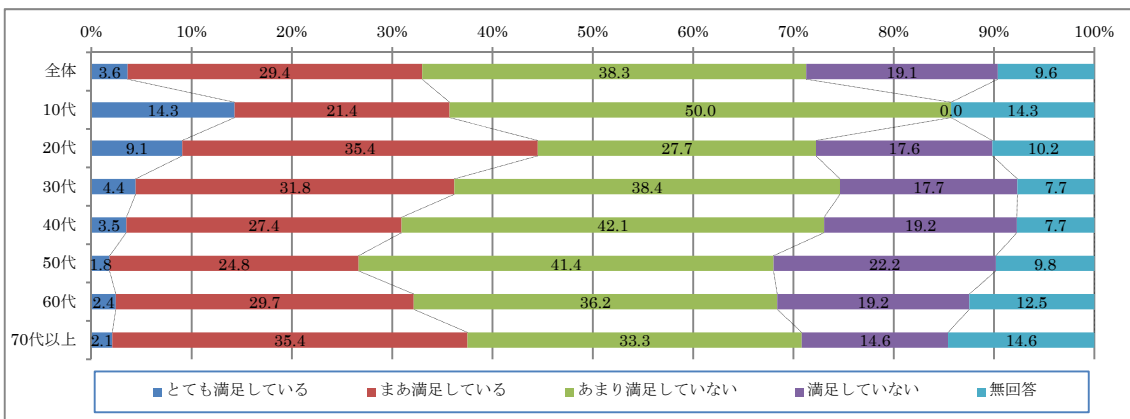


図 4.16# 収入等についての満足度 (H24年度)

2.3.4.3 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事ができる限り続ける」と回答した割合は、「20代」が最も高く66.9%だった。次いで高いのは「70代以上」で64.0%だった。「20代」よりも上の年齢層では、「仕事ができる限り続ける」という回答は減少し、「60代」で最も低く37.6%となった。

「50代」では「65歳で引退する」の割合が25.4%で高くなり、「60代」では「70歳で引退する」の割合が29.5%で高くなった。

Q17. 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか

		Q17. 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか							
		合計	60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	無回答
全体		5753	7.2	15.9	11.8	3.1	51.6	0.9	9.5
年齢	10代	38	7.9	2.6	2.6	0.0	60.5	2.6	23.7
	20代	529	9.1	8.7	2.6	0.8	66.9	1.9	10.0
	30代	1587	10.6	14.7	5.0	1.3	59.5	1.3	7.5
	40代	1171	10.9	16.6	7.1	0.8	55.2	1.3	8.2
	50代	1234	4.8	25.4	15.0	3.1	42.0	0.2	9.6
	60代	1027	0.5	11.8	29.5	8.7	37.6	0.2	11.8
	70代以上	114	0.0	0.0	0.9	14.0	64.0	2.6	18.4
	無回答	53	1.9	9.4	20.8	7.5	41.5	0.0	18.9

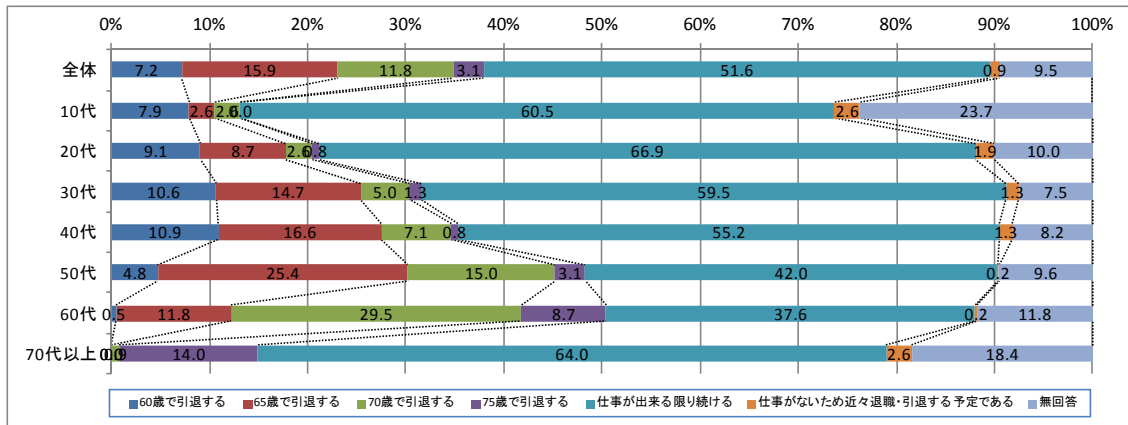


図 4.17. 何歳まで仕事を続ける予定か (H25 年度)

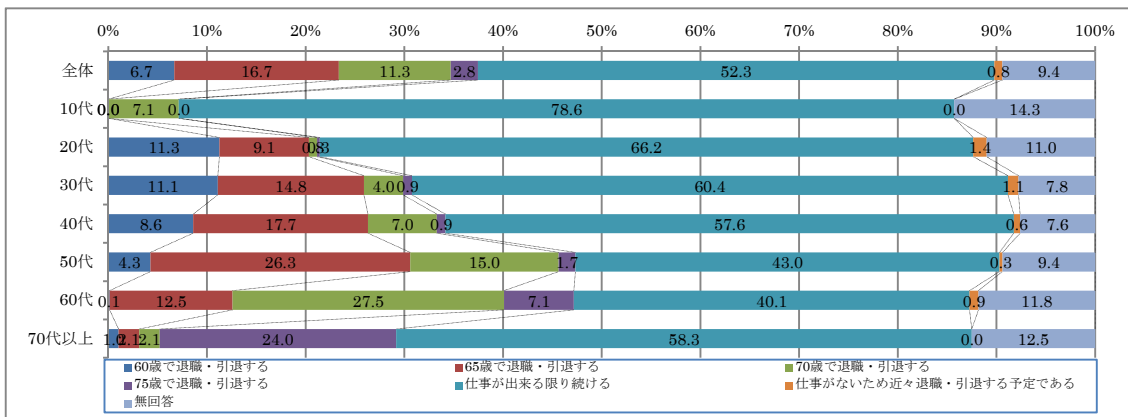


図 4.17# 何歳まで仕事を続ける予定か (H24 年度)

2.3.5 担い手育成について

2.3.5.1 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」の割合が最も高かったのは「60代」で16.1%だった。

「過去には育てた」の割合は「70代以上」で最も高く、36.0%だった。

「人材がいれば育てたい」の割合は、「30代」が最も高く45.0%だった。

「育てる予定はない」の割合は、「50代」で最も高く30.6%だった。

Q18. 現在、担い手の育成を行っていますか

		Q18. 現在、担い手の育成を行っていますか					
		合計	現在育てている	過去には育てた	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	無回答
全体		5753	12.3	12.4	32.4	27.7	15.3
年齢	10代	38	0.0	2.6	21.1	13.2	63.2
	20代	529	7.0	1.3	32.9	25.7	33.1
	30代	1587	10.6	4.4	45.0	26.3	13.7
	40代	1171	12.6	9.9	40.4	27.7	9.5
	50代	1234	13.9	17.7	25.4	30.6	12.5
	60代	1027	16.1	24.1	16.2	27.8	15.9
	70代以上	114	14.0	36.0	7.9	26.3	15.8
	無回答	53	7.5	18.9	11.3	30.2	32.1

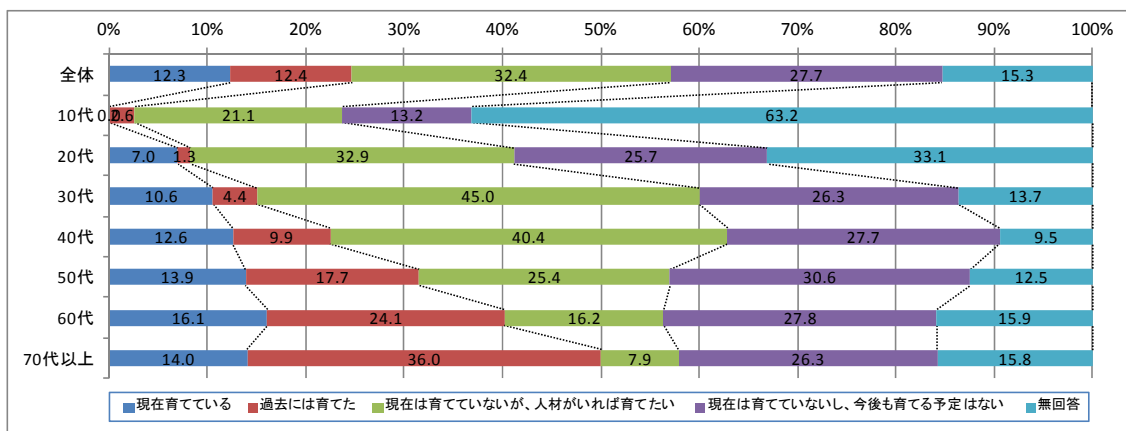


図 4.18. 担い手の育成状況 (H25 年度)

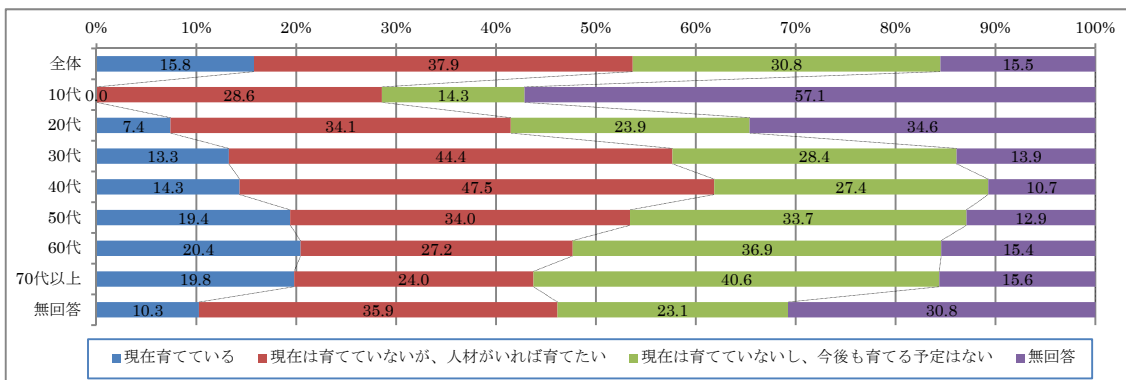


図 4.18# 担い手の育成状況 (H24 年度)

2.3.5.2 2.3.5.1 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

育成期間の担い手の立場では、「20代」より上の年齢層では「正社員（職業訓練校）」が約10~20%、「正社員（弟子として）」が約60%、「一人親方等にあずける（職業訓練校）」が約0~5%、「一人親方等にあずける（弟子として）」が約15%という割合構成だった。

【Q18=1および2】

Q19. 育成期間の担い手の立場

		Q19. 育成期間の担い手の立場					
		合計	正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方等 にあずける(職業 訓練校)	一人親方等 にあずける(弟子 として)	無回答
全体		1419	12.4	60.1	3.3	15.5	8.7
年齢	10代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20代	44	18.2	61.4	0.0	6.8	13.6
	30代	238	16.4	60.1	2.1	15.1	6.3
	40代	263	11.4	62.0	1.9	17.5	7.2
	50代	389	12.1	58.1	4.4	15.9	9.5
	60代	413	9.7	61.0	4.6	16.0	8.7
	70代以上	57	15.8	59.6	1.8	10.5	12.3
	無回答	14	21.4	50.0	0.0	7.1	21.4

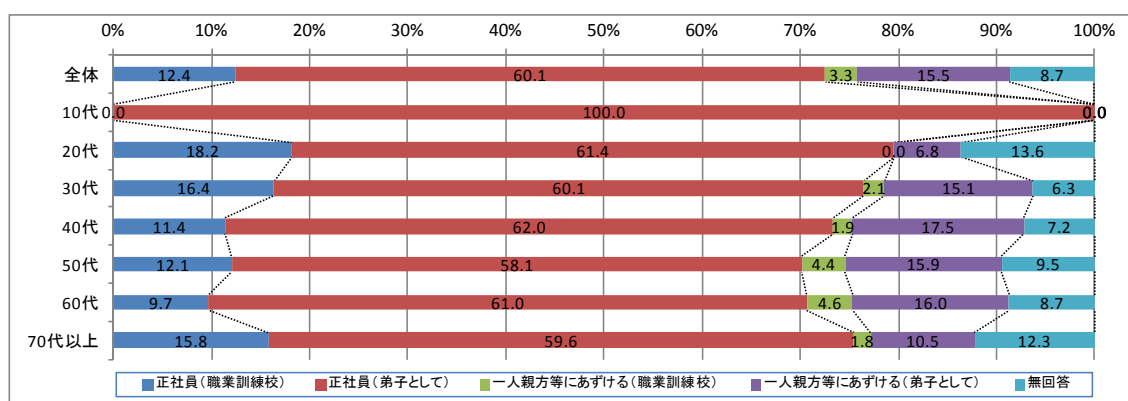


図 4.19. 育成期間の担い手の立場 (H25 年度)

2.3.5.3 2.3.5.1 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

育成期間にかかる費用の負担が「有る」と回答した割合が最も高かったのは「30代」で35.7%
「無い」と回答した割合が最も高かったのは「20代」で36.4%。

【Q18=1および2】

Q20. 育成期間にかかる費用の負担を行っているか

		合計	Q20. 育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
			有	無	無回答
全体		1419	28.8	15.6	55.6
年齢	10代	1	0.0	0.0	100.0
	20代	44	15.9	36.4	47.7
	30代	238	35.7	15.5	48.7
	40代	263	32.7	18.6	48.7
	50代	389	28.5	15.9	55.5
	60代	413	23.7	12.8	63.4
	70代以上	57	35.1	8.8	56.1
	無回答	14	7.1	0.0	92.9

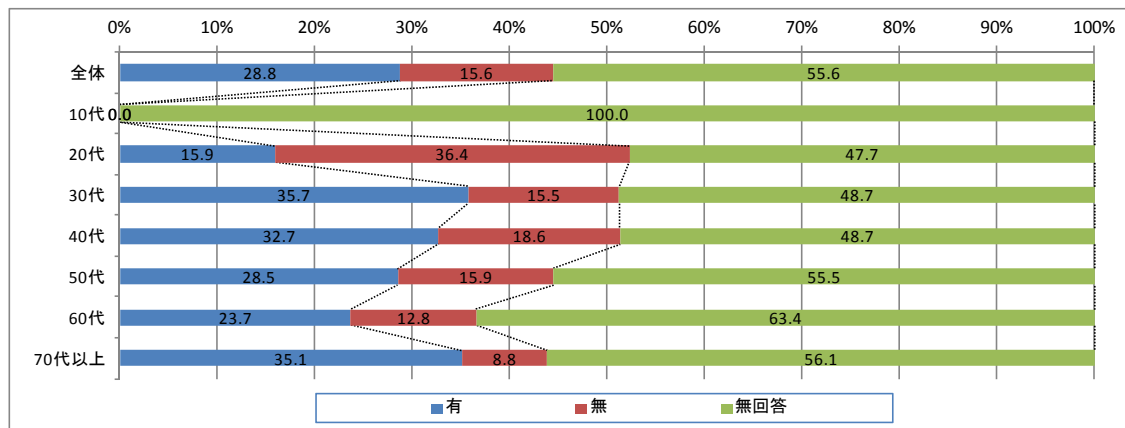


図 4.20. 育成期間にかかる費用負担 (H25年度)

2.3.5.4 2.3.5.1 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答
なぜ育てる予定はないのか。

「将来の保障ができないため」と回答した割合が最も高かったのは「50代」で49.9%。

「年齢のため」の割合は「60代」より上で高くなった。

「費用がかかるため」の割合は「40代」で30.6%と最も高くなった。

【Q18=4】

Q21. なぜ育てる予定はないのですか(複数回答)

	合計	Q21. なぜ育てる予定はないのですか(複数回答)											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	無回答
全体	1591	7.5	9.4	20.3	2.7	23.1	12.8	41.2	13.7	10.1	18.3	3.6	11.6
年齢													
10代	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	40.0
20代	136	5.1	13.2	10.3	1.5	18.4	19.9	13.2	15.4	5.1	5.9	10.3	17.6
30代	418	7.7	13.6	24.2	2.6	20.1	16.5	40.9	3.3	8.6	13.6	4.1	10.3
40代	324	9.3	10.8	30.6	3.1	21.9	14.2	46.3	1.5	8.3	18.5	2.8	12.0
50代	377	8.2	5.8	17.5	3.2	29.4	9.5	49.9	14.3	12.7	27.3	2.1	10.9
60代	285	5.6	4.2	14.0	2.1	24.2	7.4	42.1	37.2	13.3	20.7	2.5	9.8
70代以上	30	10.0	13.3	6.7	6.7	13.3	3.3	16.7	46.7	10.0	10.0	3.3	23.3
無回答	16	6.3	12.5	6.3	0.0	25.0	12.5	18.8	18.8	6.3	6.3	0.0	6.3

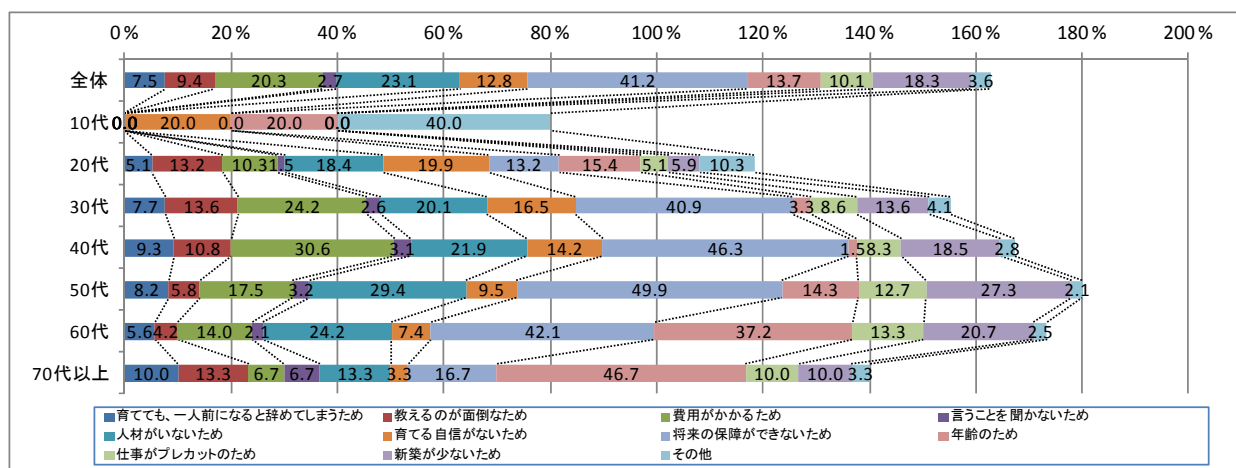


図 4.21. なぜ育てる予定はないのか (H25 年度)

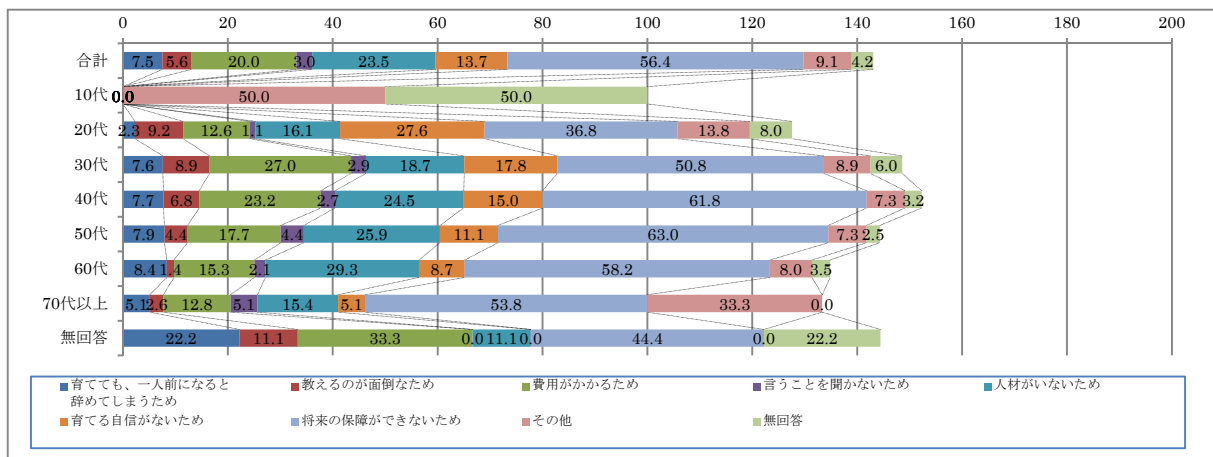


図 4.21# なぜ育てる予定はないのか (H24 年度)

2.3.5.5 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人／月当たりどの程度必要と考えますか。

「5万円／月」の割合が最も高いのは「60代」で16.9%。

「10万円／月」の割合が最も高いのは「40代」で34.8%。

「15万円／月」の割合が最も高いのは「40代」で21.2%。

Q22. 担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か

		合計	Q22. 担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
			3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	無回答
全体		5753	4.5	14.6	28.9	17.1	3.3	31.7
年齢	10代	38	0.0	7.9	7.9	2.6	2.6	78.9
	20代	529	5.3	14.2	16.8	14.2	3.2	46.3
	30代	1587	4.0	16.0	30.1	20.1	3.9	26.0
	40代	1171	3.1	14.1	34.8	21.2	2.7	24.1
	50代	1234	5.3	12.2	31.3	15.6	4.0	31.7
	60代	1027	5.0	16.9	25.9	11.8	2.4	38.0
	70代以上	114	8.8	14.0	19.3	16.7	0.9	40.4
	無回答	53	5.7	3.8	22.6	13.2	1.9	52.8

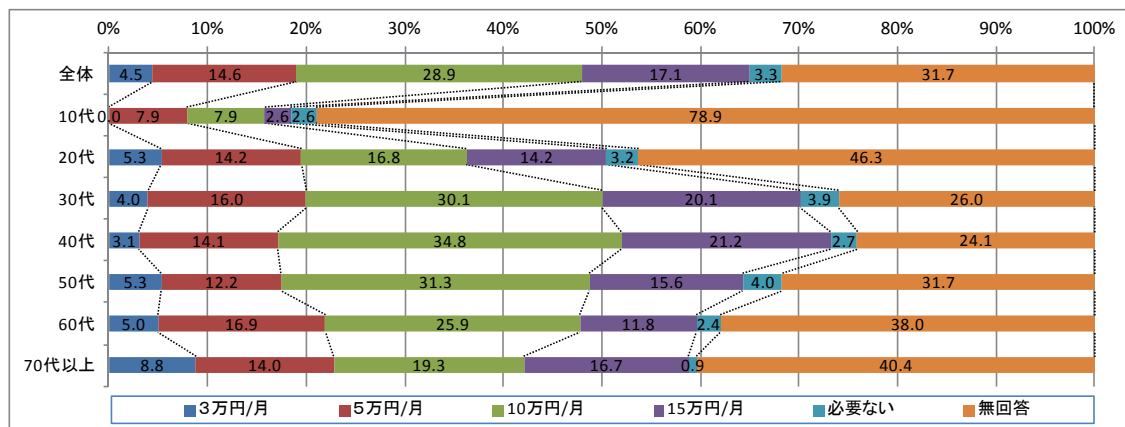


図 4.22. 公的補助について、1人／月当たりどの程度必要か（H25年度）

2.4 経験年数別集計

2.4.1 職業等について

2.4.1.1 職種においてベテランだと思いますか。

「見習い」の割合は「3年未満」が94.2%で最も割合が高い。

「中堅（「やや中堅」を含む）は「11~15年」で74.3%と割合が最も高い。

「ベテラン（「ややベテラン」を含む）は「41~50年」が77.1%で割合が最も高い。

Q5. あなたのベテラン度合いについて

	合計	Q5. あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	無回答
全体	5753	19.0	21.6	33.5	12.8	9.6	3.5
職種の経験年数							
3年未満	242	0.8	0.8	0.4	2.9	94.2	0.8
3~5年	186	0.5	2.7	7.5	34.4	54.3	0.5
6~10年	546	1.5	4.4	30.2	40.3	19.8	3.8
11~20年	1590	4.2	12.5	54.1	20.2	4.5	4.5
21~30年	1003	15.7	28.2	45.4	6.5	2.0	2.3
31~40年	1088	32.8	37.0	23.9	2.8	1.0	2.4
41~50年	927	46.1	31.0	15.9	2.0	1.1	4.0
51年以上	133	48.9	26.3	14.3	2.3	0.0	8.3
無回答	38	23.7	18.4	15.8	13.2	10.5	18.4

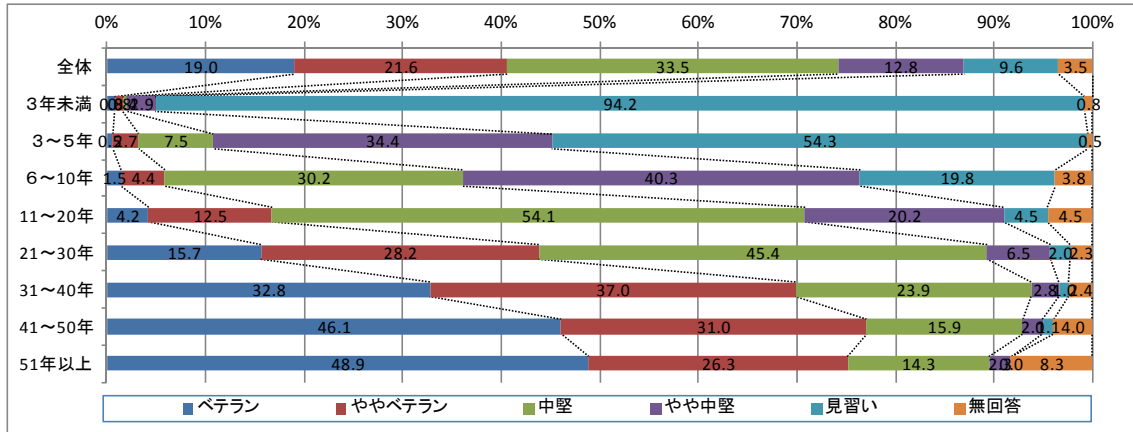


図 5.1. 職種のベテラン度合 (H25 年度)

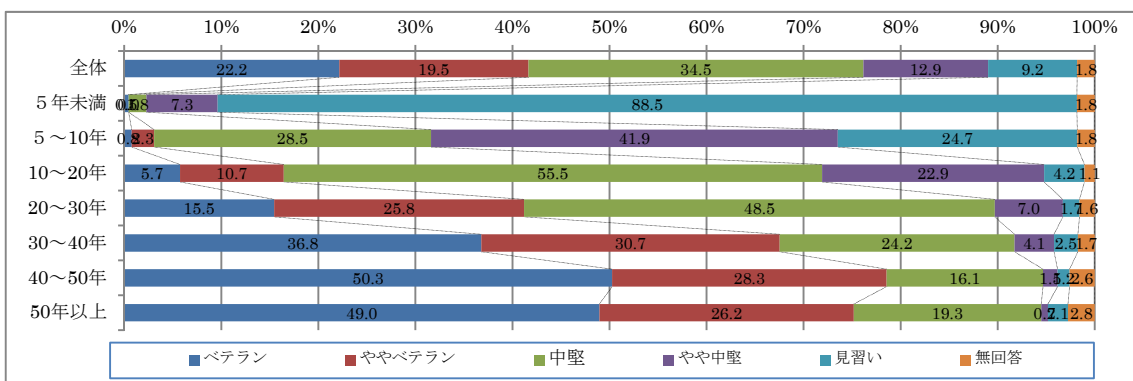


図 5.1# 職種のベテラン度合 (H24 年度)

2.4.2 雇用形態について

2.4.2.1 雇用形態（工務店等との）

「工務店社員」は「3年未満」が70.2%で割合が最も高い。

「外注常雇（日給制）」、「外注常雇（坪請主体）」、「その都度契約」を合計した「外注」の大工は「31~40年」が33.0%で割合が最も高い。

「元請として仕事」は「51年以上」で65.4%で割合が最も高い。

Q6. あなたの雇用形態

	合計	Q6. あなたの雇用形態							
		工務店社員	外注常雇(日給制)	外注常雇(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	無回答	
全体	5753	34.4	10.4	11.9	4.9	34.3	1.4	2.7	
職種の経験年数	3年未満	242	70.2	6.6	0.4	1.2	5.8	11.6	4.1
	3~5年	186	67.7	12.4	2.2	3.2	10.2	2.7	1.6
	6~10年	546	62.6	13.6	5.3	2.7	11.7	1.5	2.6
	11~20年	1590	44.7	10.5	11.6	4.7	25.4	1.4	1.7
	21~30年	1003	25.2	7.9	14.2	7.0	41.4	0.9	3.5
	31~40年	1088	21.4	11.9	15.1	6.0	43.0	0.1	2.6
	41~50年	927	13.2	10.6	15.1	4.9	53.0	0.5	2.8
	51年以上	133	9.0	8.3	9.8	1.5	65.4	0.8	5.3
	無回答	38	28.9	7.9	13.2	5.3	28.9	2.6	13.2

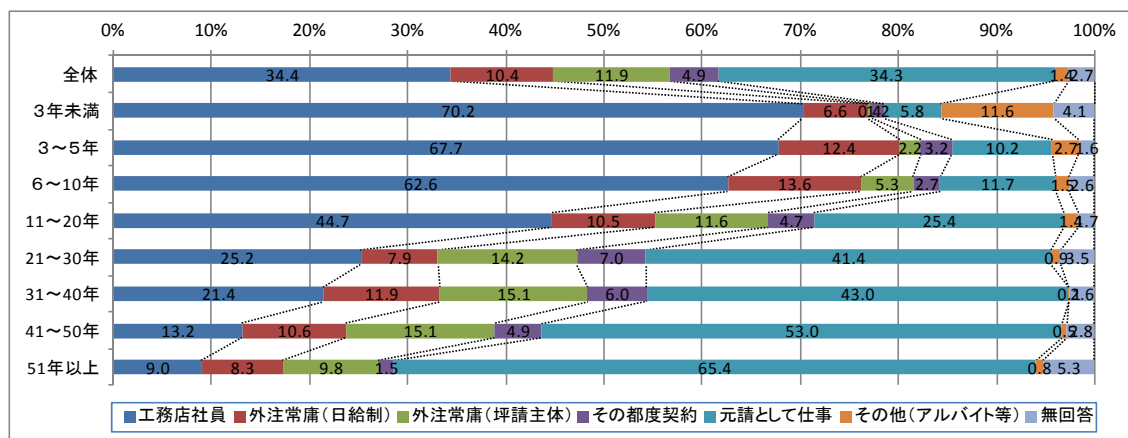


図 5.2. 雇用形態 (H25 年度)

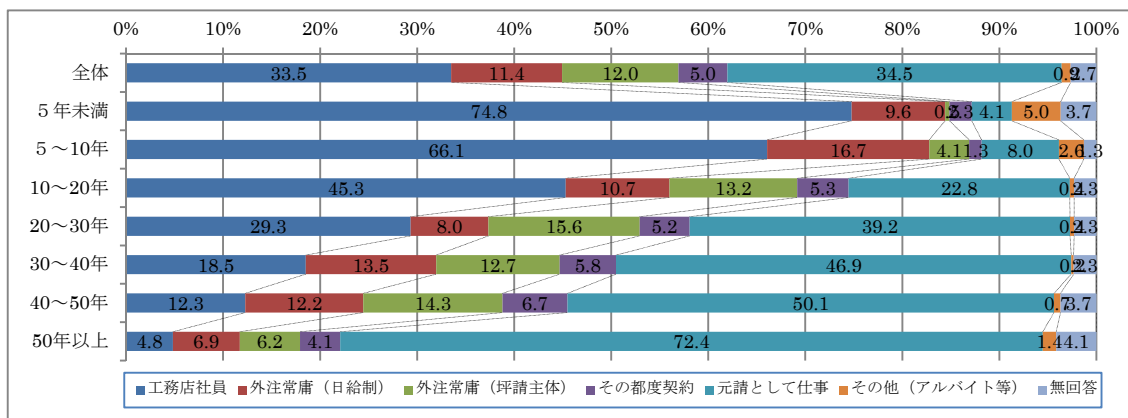


図 5.2 井 雇用形態 (H24 年度)

2.4 経験年数別集計

2.4.2.2 就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合は「3年未満」が40.5%で最も高い。

「無い」と回答した割合は「21~30年」が61.3%で最も高い。

Q7. 就業規則

		合計	Q7. 就業規則		
			有	無	無回答
全体		5753	25.3	53.3	21.4
職種の 経験 年数	3年未満	242	40.5	33.5	26.0
	3~5年	186	37.1	41.4	21.5
	6~10年	546	35.0	45.1	20.0
	11~20年	1590	26.5	56.1	17.4
	21~30年	1003	20.3	61.3	18.3
	31~40年	1088	20.9	56.8	22.3
	41~50年	927	21.7	50.8	27.5
	51年以上	133	24.1	37.6	38.3
無回答		38	26.3	44.7	28.9

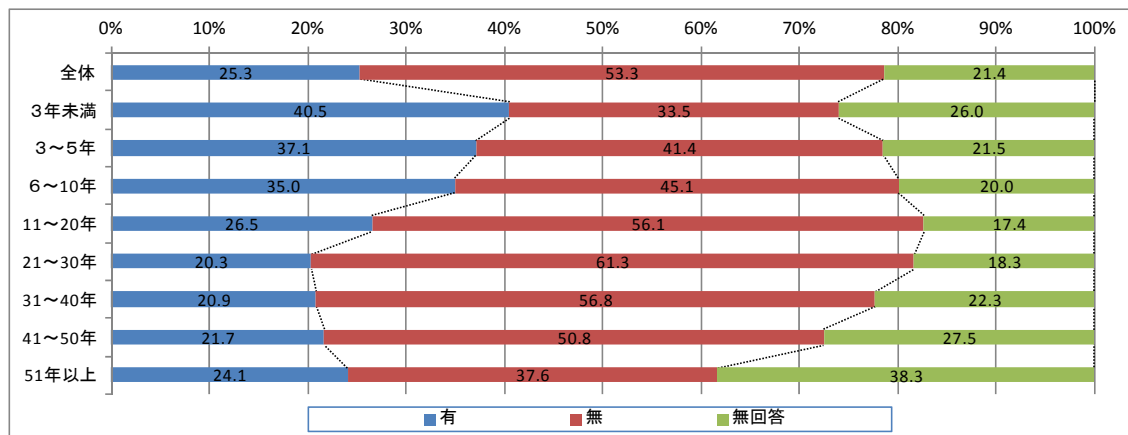


図 5.3. 就業規則 (H25年度)

2.4.2.3 有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合は「3年未満」が22.7%で最も高い。

「無い」と回答した割合は「11~20年」が73.5%で最も高い。

Q8. 有給休暇

	合計	Q8. 有給休暇			
		有	無	無回答	
全体	5753	10.4	65.6	24.0	
職種の 経験 年数	3年未満	242	22.7	55.4	21.9
	3~5年	186	21.0	61.3	17.7
	6~10年	546	16.3	67.6	16.1
	11~20年	1590	11.1	73.5	15.3
	21~30年	1003	8.0	72.1	19.9
	31~40年	1088	7.1	64.1	28.9
	41~50年	927	6.8	53.7	39.5
	51年以上	133	10.5	36.8	52.6
	無回答	38	10.5	55.3	34.2

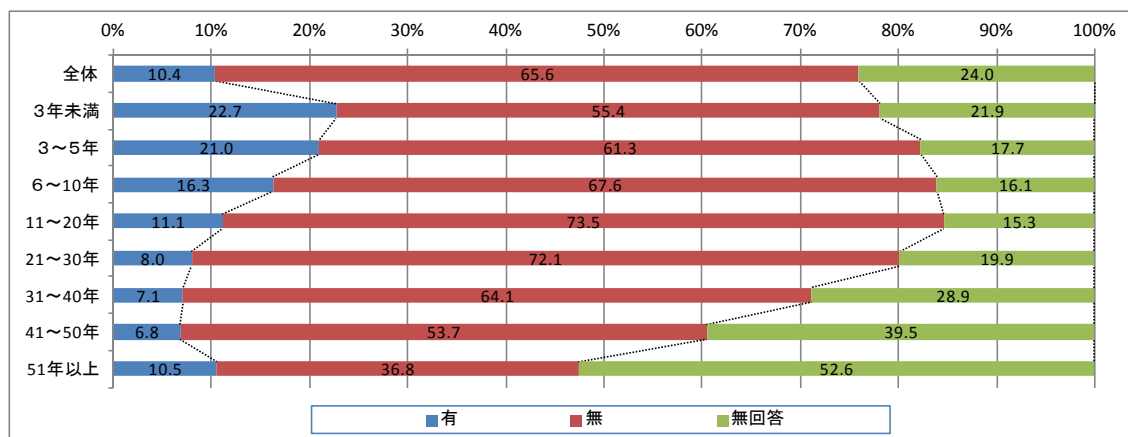


図 5.4. 有給休暇 (H25 年度)

2.4.2.4 年間就業日数

平均年間就業日数が最も多いのは「21~30年」で277.3日。
平均年間就業日数が最も少ないのは「3年未満」で238.6日。

Q9. 年間就業日数

		合計	Q9. 年間就業日数					平均
			250日未満	250日~275日未満	275日~300日未満	300日以上	無回答	
全体		5753	10.0	9.6	9.6	27.9	42.8	266.9
職種の経験年数	3年未満	242	12.0	7.4	8.7	16.9	55.0	238.6
	3~5年	186	9.1	4.8	8.6	28.5	48.9	266.3
	6~10年	546	7.1	8.8	9.9	31.5	42.7	272.4
	11~20年	1590	7.1	7.5	10.3	35.8	39.2	275.1
	21~30年	1003	8.1	7.1	9.5	35.7	39.7	277.3
	31~40年	1088	11.4	13.0	10.0	23.8	41.8	261.5
	41~50年	927	16.0	13.7	9.1	14.3	46.9	251.3
	51年以上	133	18.8	10.5	6.8	11.3	52.6	240.3
無回答		38	5.3	7.9	7.9	18.4	60.5	269.3

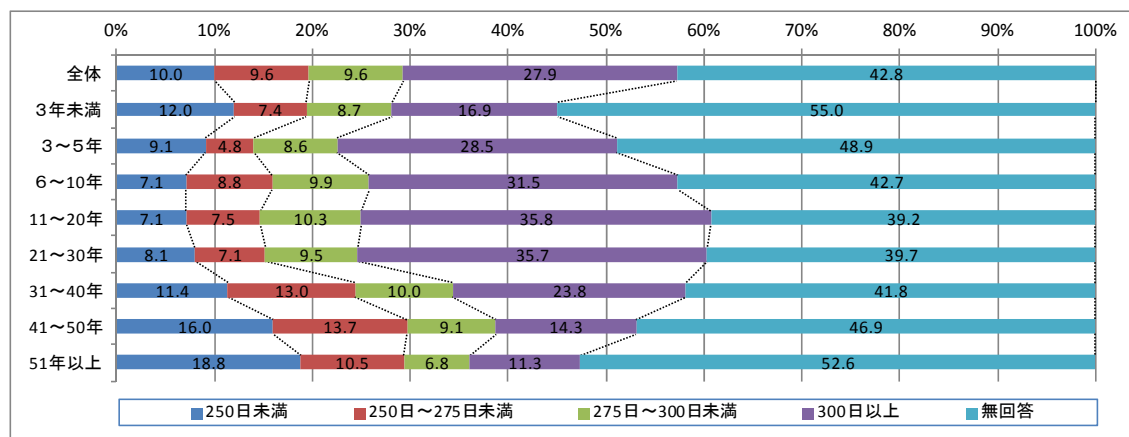


図 5.5. 年間就業日数 (H25 年度)

2.4.2.5 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

賃金の中に含まれ、自己負担となっているものの割合の合計が最も高いのは「41~50年」で303.3%。最も低いのは「3年未満」で177.3%。

Q11. 自己負担となっているもの(複数回答)

		Q11. 自己負担となっているもの(複数回答)							
		合計	手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	無回答
全体		5753	72.6	67.5	28.0	54.6	54.8	13.8	7.7
職種の経験年数	3年未満	242	59.1	43.0	5.0	35.1	35.1	19.8	10.3
	3~5年	186	72.6	61.3	14.0	44.1	40.3	14.5	5.4
	6~10年	546	72.3	64.3	17.9	48.4	46.5	15.4	4.9
	11~20年	1590	72.5	67.5	26.0	52.4	52.8	16.4	4.8
	21~30年	1003	71.7	68.6	33.8	58.2	57.4	15.7	7.2
	31~40年	1088	75.9	71.9	32.1	59.3	61.5	11.3	8.5
	41~50年	927	74.5	72.1	34.7	61.2	60.8	8.7	11.3
	51年以上	133	66.2	61.7	36.1	49.6	52.6	8.3	18.0
無回答		38	68.4	60.5	15.8	47.4	44.7	7.9	23.7

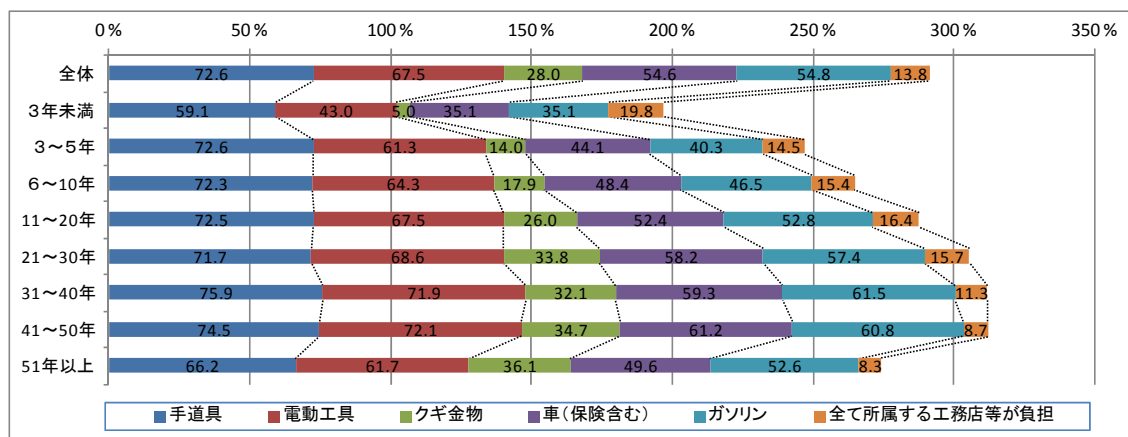


図 5.6. 自己負担となっているもの (H25 年度)

2.4.2.6 おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

平均賃金が最も高かったのは「21～30年」で16089.5円。

平均賃金が最も低かったのは「3年未満」で9477.5円。

Q12. 1日あたりのおおよその賃金

	合計	Q12. 1日あたりのおおよその賃金							平均賃金
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	無回答	
全体	5753	5.4	7.2	37.9	35.9	7.9	1.7	3.9	14902.5
職種の経験年数									
3年未満	242	52.1	20.2	15.7	2.5	0.0	1.2	8.3	9477.5
3～5年	186	17.7	32.8	31.7	9.1	1.6	1.1	5.9	11231.4
6～10年	546	5.9	18.7	48.4	18.9	3.3	1.3	3.7	13035.2
11～20年	1590	2.5	6.1	43.4	35.0	7.7	1.8	3.6	14998.7
21～30年	1003	2.4	3.7	31.3	45.1	11.7	2.2	3.7	16089.5
31～40年	1088	2.1	2.7	36.9	43.4	9.9	1.8	3.2	15809.6
41～50年	927	2.4	3.5	39.1	42.5	7.9	1.7	3.0	15491.1
51年以上	133	6.0	4.5	26.3	44.4	9.0	0.8	9.0	15562.0
無回答	38	10.5	5.3	44.7	18.4	7.9	2.6	10.5	14044.1

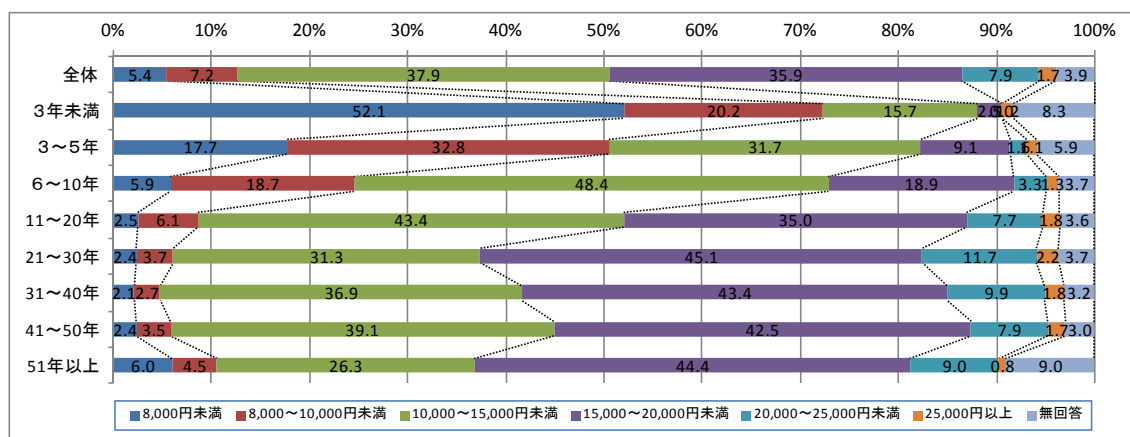


図 5.7. 1日あたりのおおよその賃金（H25年度）

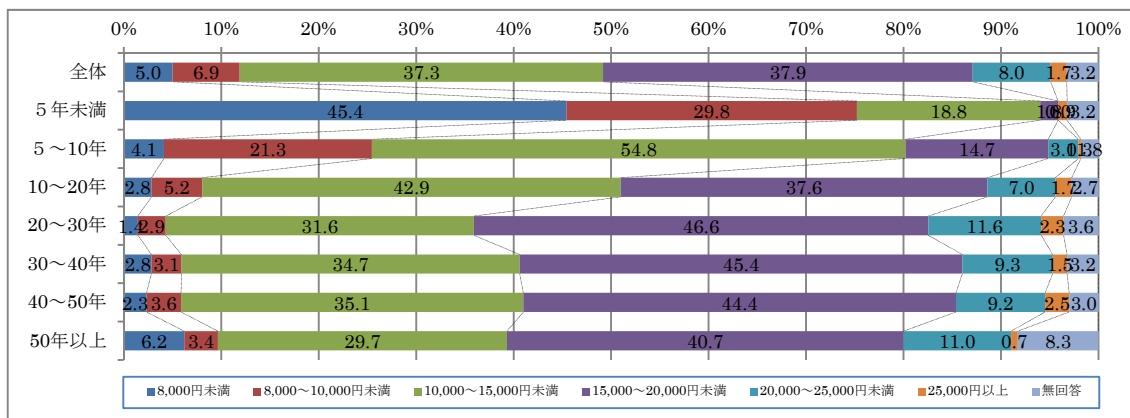


図 5.7# 1日あたりのおおよその賃金（H24年度）

2.4 経験年数別集計

2.4.3 資格や技能について

2.4.3.1 持っている資格

持っている資格の割合の合計が最も高いのは「51年以上」で410.5%。

持っている資格の割合の合計が最も低いのは「3年未満」で78.9%。

Q13. お持ちの資格(複数回答)

職種 の 経験 年数	合計	Q13. お持ちの資格(複数回答)															
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	1級建築大工技能士	2級建築大工技能士	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	無回答
全体	5753	5.9	33.4	3.7	4.3	14.2	15.7	12.8	2.3	15.5	10.7	39.9	45.5	43.5	18.9	13.4	16.4
3年未満	242	0.8	7.4	1.7	1.7	4.5	0.8	9.5	0.4	1.2	2.1	4.5	3.3	27.7	12.8	0.4	58.3
3～5年	186	5.9	17.7	2.2	3.2	7.5	2.7	16.7	0.5	0.5	1.1	16.7	17.7	37.6	15.1	0.5	38.2
6～10年	546	2.9	20.9	1.3	3.1	8.1	11.4	16.7	0.7	4.2	2.4	31.3	31.0	45.6	15.4	5.7	23.4
11～20年	1590	6.0	35.5	1.3	4.3	8.4	14.5	13.4	0.9	6.9	6.3	37.0	42.9	45.7	17.5	9.3	14.7
21～30年	1003	8.7	41.9	1.8	6.4	15.4	13.0	9.6	2.2	11.4	13.7	39.2	46.1	41.4	19.9	10.7	13.5
31～40年	1088	8.5	32.5	6.9	5.9	20.9	17.1	13.7	3.1	19.0	12.9	44.8	53.4	44.1	21.8	15.3	11.7
41～50年	927	3.3	37.4	8.2	1.8	21.3	25.6	12.7	4.4	38.2	19.0	56.0	64.7	46.6	21.1	29.4	9.2
51年以上	133	4.5	41.4	7.5	6.8	21.1	36.8	10.5	8.3	53.4	27.1	58.6	52.6	36.1	18.8	27.1	9.0
無回答	38	0.0	34.2	0.0	2.6	18.4	10.5	7.9	7.9	23.7	13.2	42.1	34.2	39.5	15.8	21.1	23.7

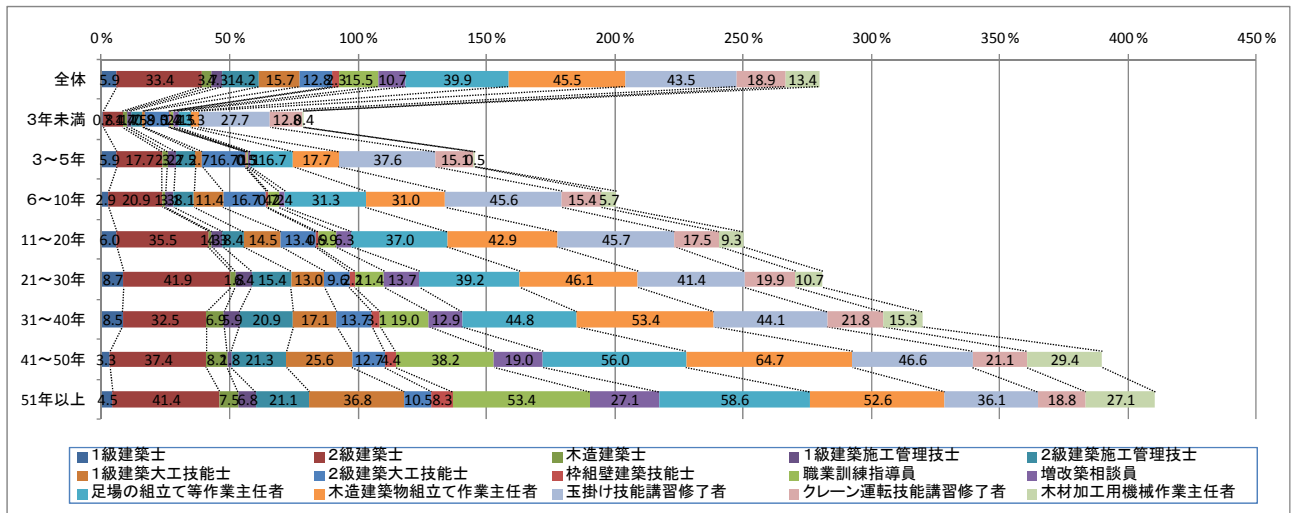


図 5.8. 持っている資格 (H25 年度)

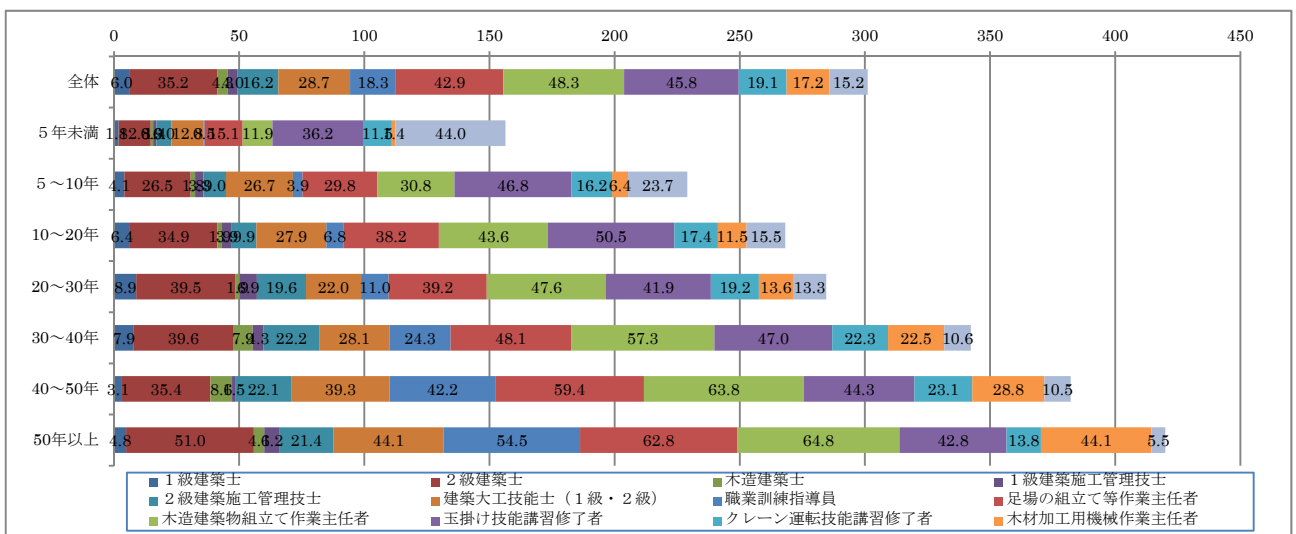


図 5.8# 持っている資格 (H24 年度)

2.4 経験年数別集計

2.4.3.2 大工職のみ回答 墨付けができますか。

墨付けができると回答した割合は、経験年数の階級が上がるほど高くなり、「41～50年」で最も高くなり 88.1%。

「3年未満」では 24.4%ができると回答した。

大工職限定		Q14①. 墨付けができますか		
職種の経験年数	合計	Q14①. 墨付けができますか		
		はい	いいえ	無回答
全体	5753	73.7	15.1	11.2
3年未満	242	24.4	58.3	17.4
3～5年	186	36.6	50.5	12.9
6～10年	546	51.1	39.2	9.7
11～20年	1590	71.4	18.6	10.0
21～30年	1003	80.6	8.5	11.0
31～40年	1088	87.2	2.6	10.2
41～50年	927	88.1	0.4	11.4
51年以上	133	78.2	2.3	19.5
無回答	38	52.6	10.5	36.8

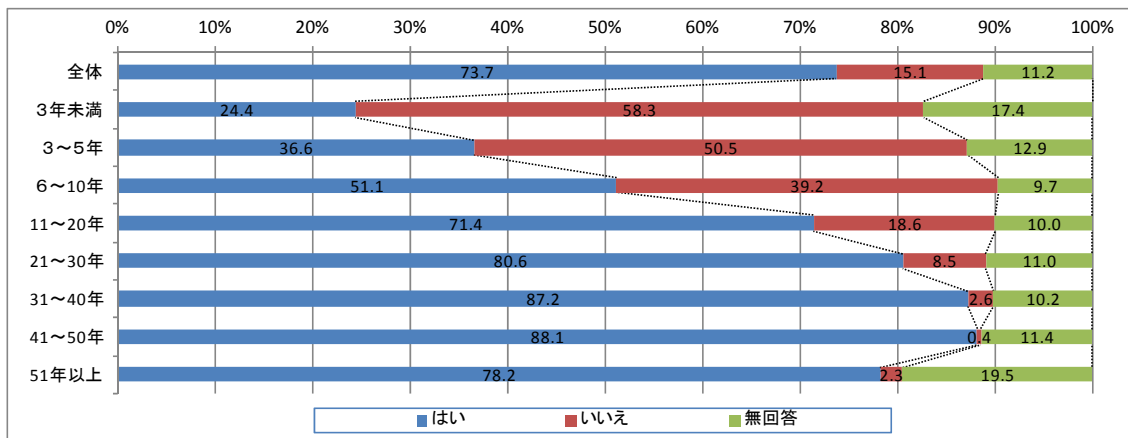


図 5.9. 墨付け (H25 年度)

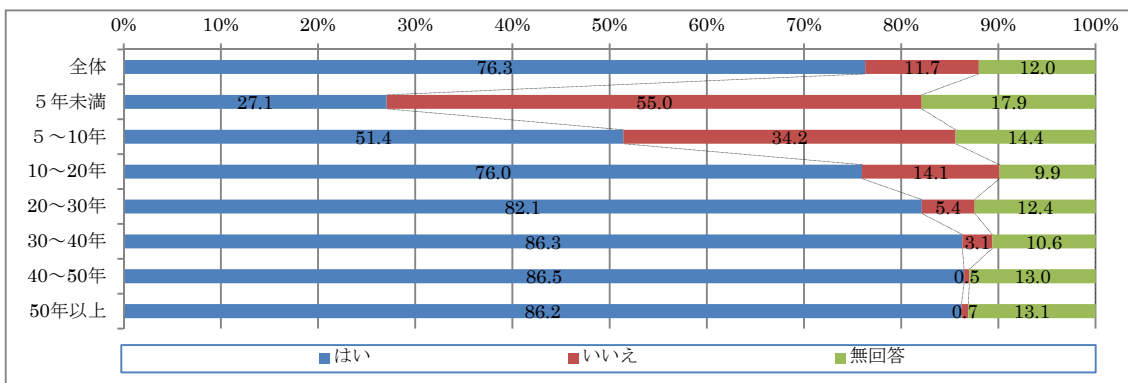


図 5.9# 墨付け (H24 年度)

2.4 経験年数別集計

2.4.3.3 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（新築）

新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した割合が最も高いのは「41～50年」で37.1%。次いで、「31～40年」が30.8%。

手刻み加工の仕事をを行っている割合が最も低いのは、「3年未満」で22.3%、次いで「21～30年」で22.9%。

大工職限定

Q14②. 新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか

	合計	Q14②. 新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	無回答
全体	5753	28.1	58.7	13.2
職種の経験年数				
3年未満	242	22.3	59.1	18.6
3～5年	186	30.1	56.5	13.4
6～10年	546	26.2	62.8	11.0
11～20年	1590	25.2	64.6	10.2
21～30年	1003	22.9	65.1	12.0
31～40年	1088	30.8	56.3	13.0
41～50年	927	37.1	46.4	16.5
51年以上	133	33.8	38.3	27.8
無回答	38	28.9	28.9	42.1

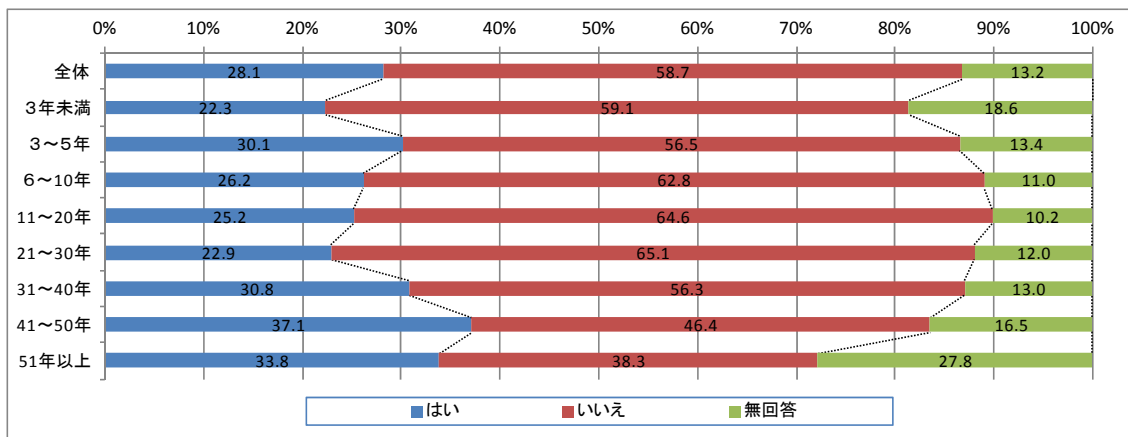


図 5.10. 手刻み加工の仕事（新築）（H25 年度）

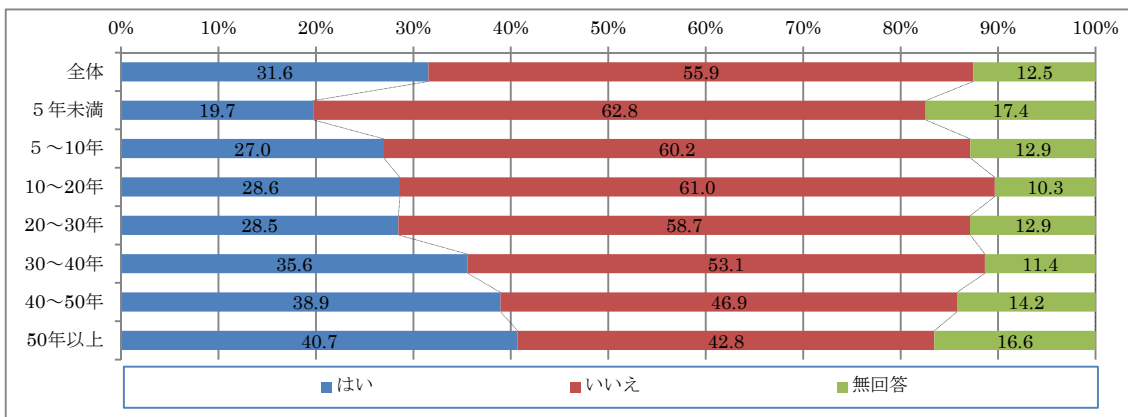


図 5.10# 手刻み加工の仕事（H24 年度）

2.4.3.4 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（増改築）

増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っている割合が最も高かったのは「41～50年」で57.7%、次いで、「51年以上」で57.1%。

手刻み加工の仕事をを行っている割合が最も低かったのは「3年未満」で26.0%、次いで「3～5年」で40.9%。

大工職限定		Q14③. 増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
職種 の 経 験 年 数	合計	Q14③. 増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	5753	50.7	36.5	12.8	
3年未満	242	26.0	55.8	18.2	
3～5年	186	40.9	46.2	12.9	
6～10年	546	46.5	42.3	11.2	
11～20年	1590	51.0	38.6	10.4	
21～30年	1003	49.1	38.1	12.9	
31～40年	1088	54.6	33.3	12.1	
41～50年	927	57.7	27.6	14.7	
51年以上	133	57.1	18.0	24.8	
無回答	38	39.5	23.7	36.8	

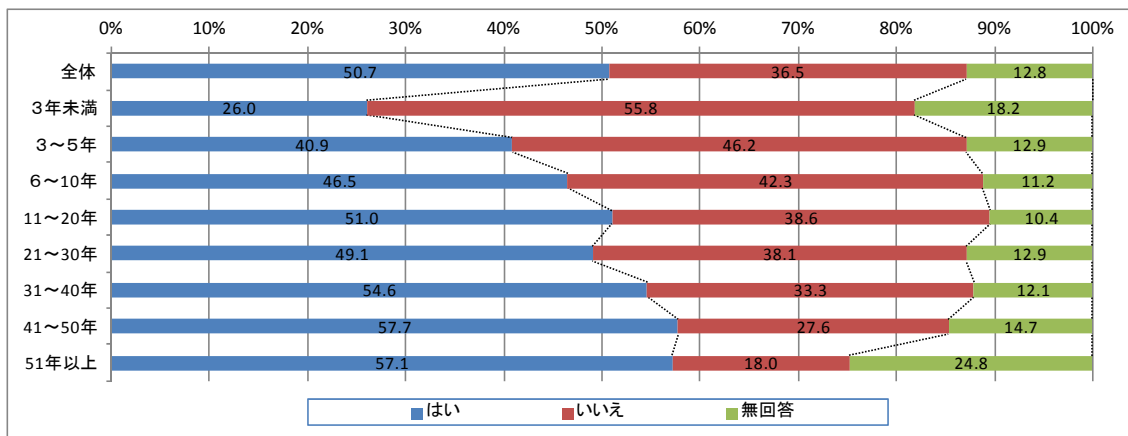


図 5.11. 手刻み加工の仕事（増改築）（H25 年度）

2.4.3.5 大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作ができると回答した割合が最も高かったのは「41～50年」で86.5%、次いで「31～40年」で86.2%。

できると回答した割合が最も低いのは「3年未満」で2.5%、次いで「3～5年」で19.4%。

「6～10年」から「11～20年」の間では、32.3ポイントの差が見られた。

大工職限定

Q14④. 和室造作ができますか

	合計	Q14④. 和室造作ができますか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	5753	70.5	17.7	11.9	
職種の 経験 年数	3年未満	2.5	80.2	17.4	
	3～5年	186	19.4	67.2	13.4
	6～10年	546	38.8	50.2	11.0
	11～20年	1590	71.1	18.6	10.3
	21～30年	1003	80.7	7.7	11.7
	31～40年	1088	86.2	3.1	10.7
	41～50年	927	86.5	0.9	12.6
	51年以上	133	77.4	2.3	20.3
	無回答	38	44.7	15.8	39.5

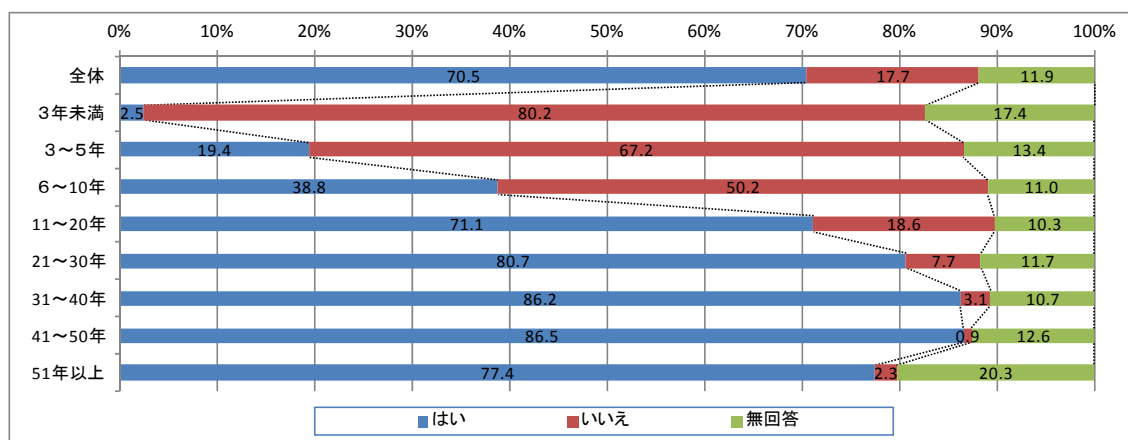


図 5.12. 和室造作 (H25 年度)

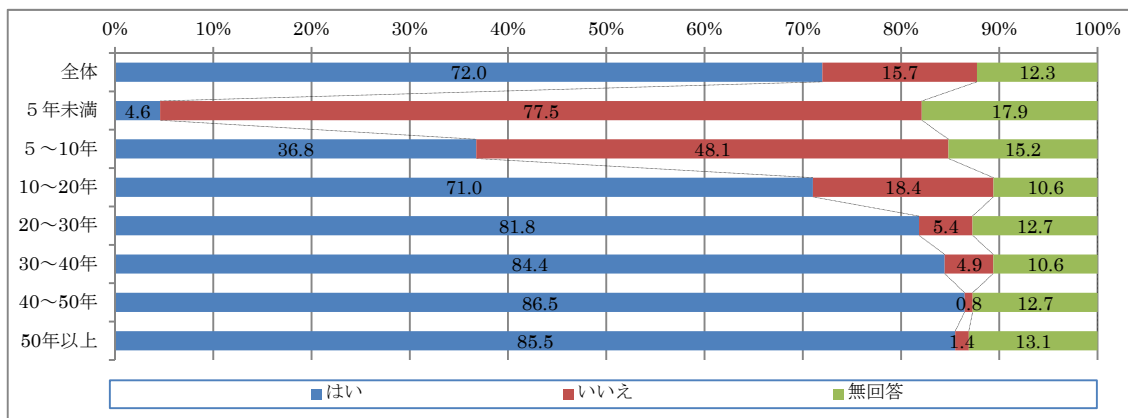


図 5.12# 和室造作 (H24 年度)

2.4 経験年数別集計

2.4.3.6 大工職のみ回答 2×4工法の住宅の施工ができますか

2×4工法の住宅の施工ができると回答した割合が最も高いのは「41～50年」で36.2%。経験年数の階級が上がるほどできる割合は高くなった。

できると回答した割合が最も低いのは「3年未満」で5.4%。

大工職限定

Q14⑤. 2×4工法の住宅の施工ができますか

	合計	Q14⑤. 2×4工法の住宅の施工ができますか		
		はい	いいえ	無回答
全体	5753	27.6	59.0	13.4
職種の経験年数				
3年未満	242	5.4	76.9	17.8
3～5年	186	14.5	71.0	14.5
6～10年	546	20.3	69.6	10.1
11～20年	1590	26.0	62.8	11.1
21～30年	1003	30.4	56.4	13.2
31～40年	1088	30.4	56.8	12.8
41～50年	927	36.2	47.9	15.9
51年以上	133	32.3	40.6	27.1
無回答	38	15.8	42.1	42.1

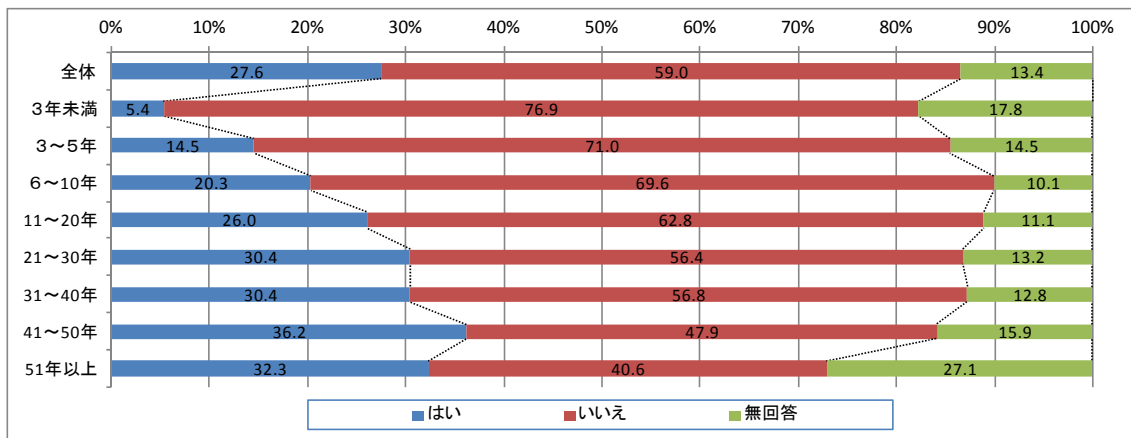


図 5.13. 2×4工法の住宅の施工 (H25年度)

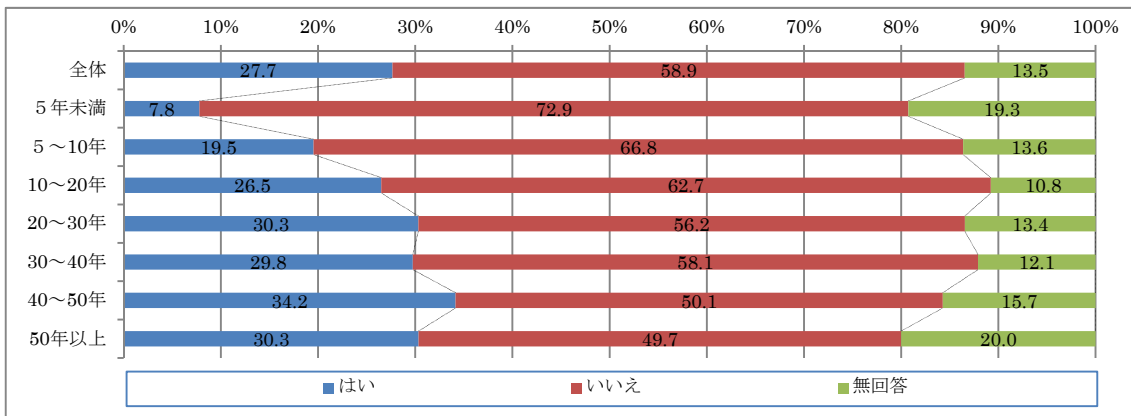


図 5.13# 2×4工法の住宅の施工 (H24年度)

2.4 経験年数別集計

2.4.4 仕事に対する満足度や今後の意向について

2.4.4.1 現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した満足している割合が最も高いのは「3年未満」で68.6%。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した満足していない割合が最も高いのは「6~10年」の36.2%。

Q15. 現在の仕事の内容について満足度

	合計	Q15. 現在の仕事の内容について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	
全体	5753	8.7	51.1	24.8	6.8	8.6	
職種の経験年数	3年未満	242	16.9	51.7	17.4	4.5	9.5
	3~5年	186	11.8	52.7	19.9	7.0	8.6
	6~10年	546	7.7	48.9	29.1	7.1	7.1
	11~20年	1590	8.4	53.5	24.4	6.6	7.0
	21~30年	1003	7.1	50.9	27.0	7.0	8.0
	31~40年	1088	7.0	52.3	26.4	6.4	7.9
	41~50年	927	10.2	48.3	22.4	7.9	11.1
	51年以上	133	14.3	42.1	18.0	7.5	18.0
	無回答	38	5.3	36.8	23.7	5.3	28.9

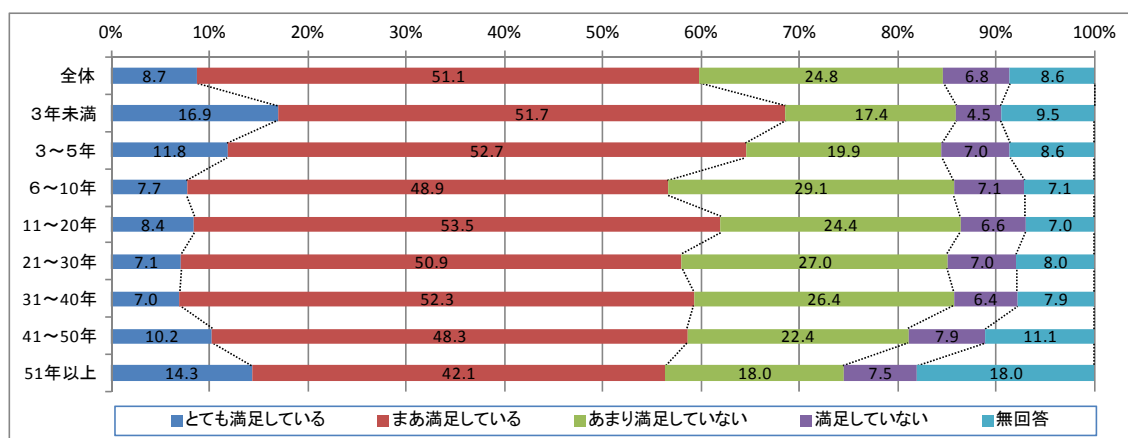


図 5.14. 仕事の内容についての満足度 (H25 年度)

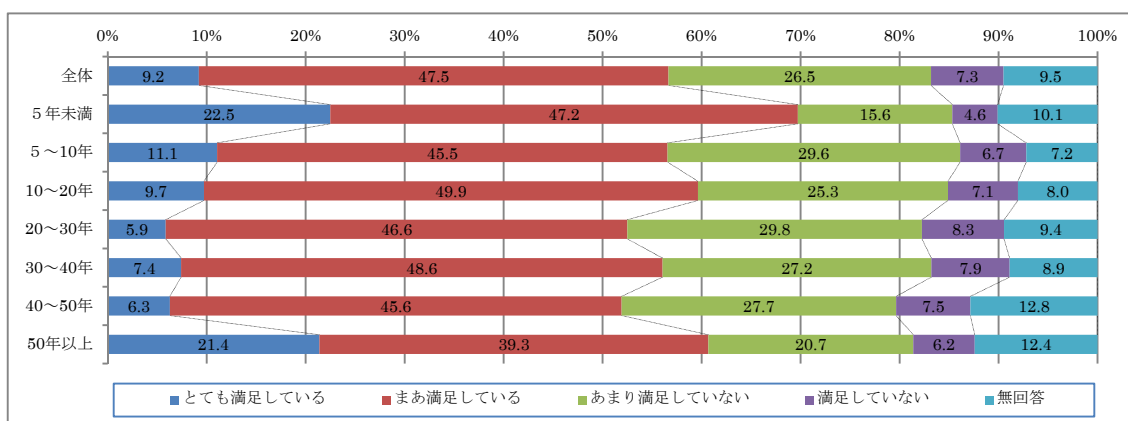


図 5.14# 仕事の内容についての満足度 (H24 年度)

2.4.4.2 現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した満足している割合が最も高いのは「3～5年」で50.5%。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した満足していない割合が最も高いのは「31～40年」の62.1%。

Q16. 現在の仕事で得られる収入等について満足度

	合計	Q16. 現在の仕事で得られる収入等について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	
全体	5753	3.1	30.6	39.9	17.7	8.8	
職種の 経験年数	3年未満	7.9	38.8	25.6	16.9	10.7	
	3～5年	5.9	44.6	29.6	10.2	9.7	
	6～10年	3.3	33.3	39.4	16.3	7.7	
	11～20年	3.0	31.8	40.1	18.2	7.0	
	21～30年	2.3	27.5	42.3	19.7	8.2	
	31～40年	1088	2.5	27.3	44.5	17.6	8.2
	41～50年	927	2.8	28.4	39.6	17.7	11.5
	51年以上	133	3.8	33.1	30.8	14.3	18.0
無回答	38	2.6	34.2	21.1	15.8	26.3	

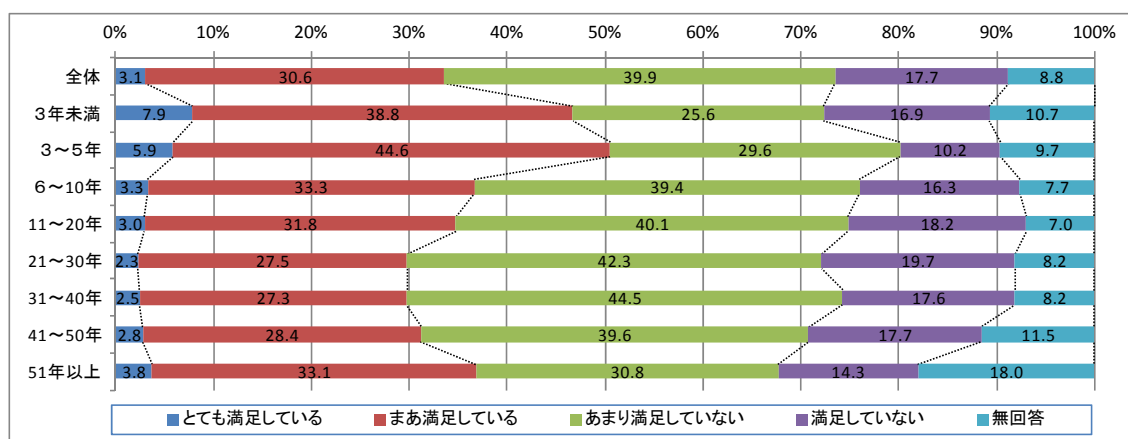


図 5.15. 収入等についての満足度 (H25 年度)

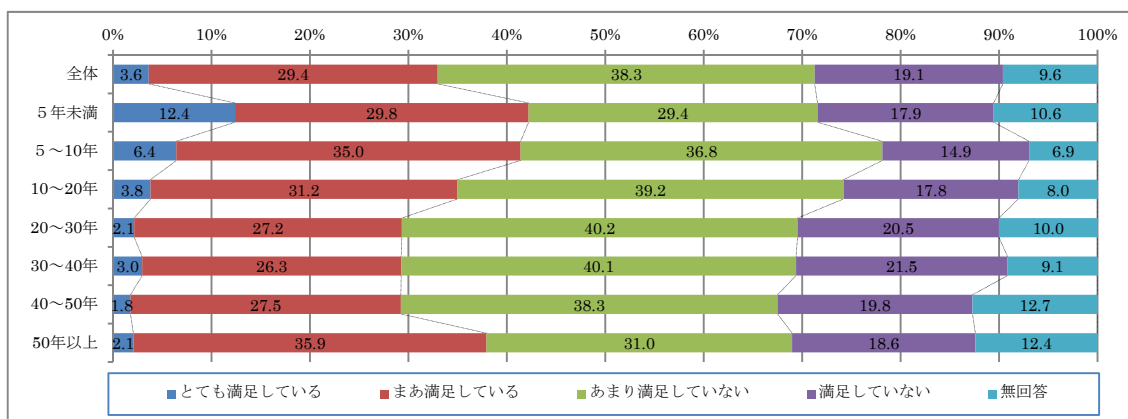


図 5.15 収入等についての満足度 (H24 年度)

2.4.4.3 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高いのは「3年未満」で69.4%だった。

「65歳で引退する」の割合が最も高いのは「31~40年」で22.8%だった。

「70歳で引退する」の割合が最も高いのは「41~50年」で27.2%だった。

Q17. 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか

	合計	Q17. 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	無回答
全体	5753	7.2	15.9	11.8	3.1	51.6	0.9	9.5
職種の経験年数								
3年未満	242	5.8	6.2	3.3	0.8	69.4	1.2	13.2
3~5年	186	12.9	10.2	5.4	1.1	59.7	1.6	9.1
6~10年	546	9.2	12.6	4.2	0.7	63.6	1.5	8.2
11~20年	1590	11.1	16.1	5.6	1.3	56.4	1.4	8.0
21~30年	1003	9.8	17.6	8.2	1.6	52.3	0.9	9.6
31~40年	1088	3.8	22.8	17.7	4.6	42.4	0.3	8.5
41~50年	927	0.6	13.3	27.2	7.4	40.5	0.2	10.8
51年以上	133	0.0	4.5	12.8	12.0	48.1	1.5	21.1
無回答	38	7.9	5.3	7.9	0.0	50.0	2.6	26.3

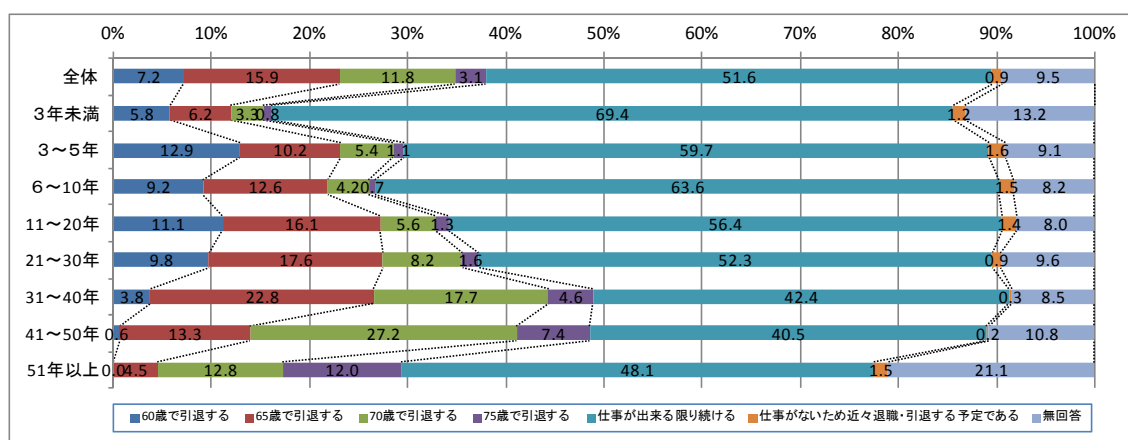


図 5.16. 何歳まで仕事を続ける予定か (H25 年度)

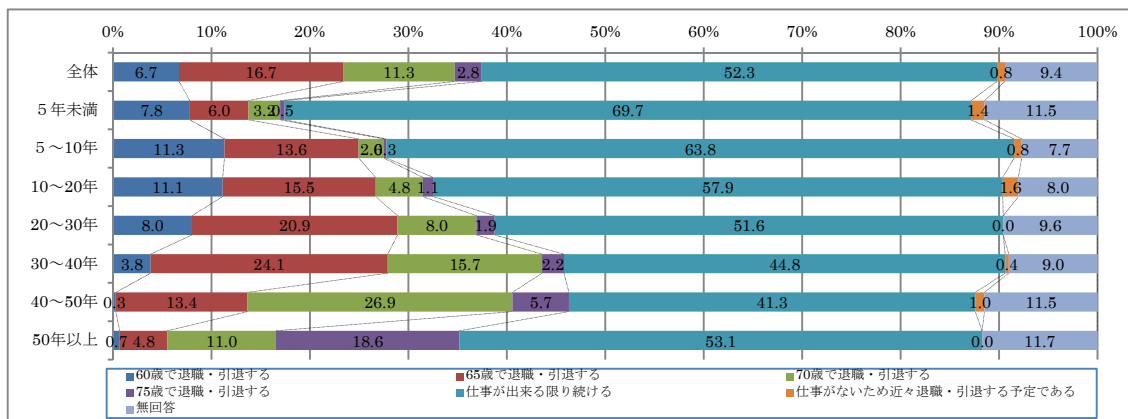


図 5.16# 何歳まで仕事を続ける予定か (H24 年度)

2.4 経験年数別集計

2.4.5 担い手育成について

2.4.5.1 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」の割合が最も高いのは「41～50年」で16.7%。

「過去には育てた」の割合が最も高いのは「51年以上」で36.1%。

「人材がいれば育てたい」の割合が最も高いのは「11～20年」で44.4%。

「育てる予定はない」の割合が最も高いのは「6～10年」で30.4%。

Q18. 現在、担い手の育成を行っていますか

	合計	Q18. 現在、担い手の育成を行っていますか				
		現在育てている	過去には育てた	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後とも育てる予定はない	無回答
全体	5753	12.3	12.4	32.4	27.7	15.3
職種の経験年数						
3年未満	242	3.7	0.8	22.3	18.2	55.0
3～5年	186	8.1	1.6	33.3	23.7	33.3
6～10年	546	7.5	2.9	42.1	30.4	17.0
11～20年	1590	10.6	4.8	44.4	28.6	11.6
21～30年	1003	13.5	12.9	37.3	25.5	10.9
31～40年	1088	14.9	18.4	25.1	29.4	12.2
41～50年	927	16.7	24.9	15.9	29.2	13.3
51年以上	133	13.5	36.1	9.0	21.8	19.5
無回答	38	13.2	13.2	15.8	18.4	39.5

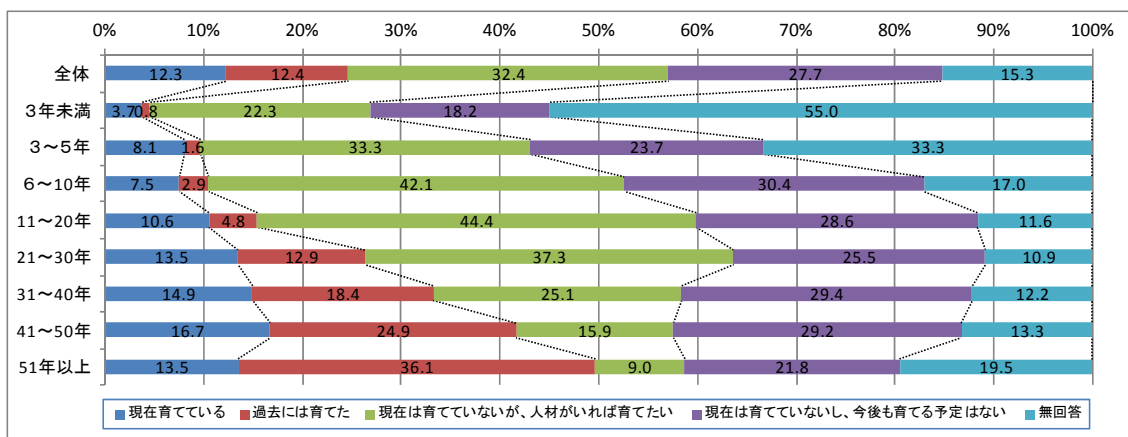


図 5.17. 担い手の育成状況 (H25 年度)

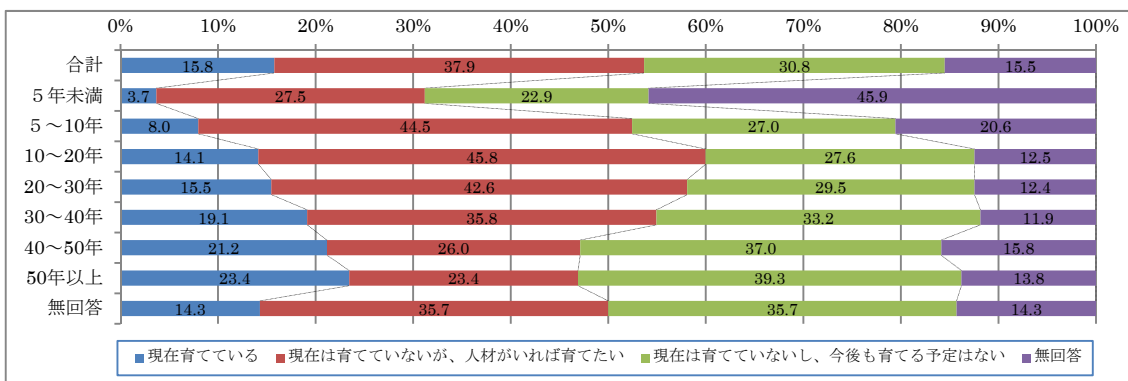


図 5.17# 担い手の育成状況 (H24 年度)

2.4.5.2 2.4.5.1 「1.現在育てている」 および 「2.過去には育てた」 のみ回答

育成期間の担い手の立場

「正社員（職業訓練校）」の割合が最も高いのは「3年未満」で36.4%。

「正社員（弟子として）」の割合が最も高いのは「11~20年」で64.1%。

「一人親方にあずける（職業訓練校）」の割合が最も高いのは「51年以上」で6.1%。

「一人親方にあずける（弟子として）」の割合が最も高いのは「31~40年」で17.7%。

【Q18=1および2】

Q19. 育成期間の担い手の立場

		Q19. 育成期間の担い手の立場					
合計		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方等 にあずける (職業訓練校)	一人親方等 にあずける (弟子として)	無回答	
全体		12.4	60.1	3.3	15.5	8.7	
職 種 の 経 験 年 数	3年未満	11	36.4	36.4	0.0	9.1	18.2
	3~5年	18	27.8	50.0	5.6	5.6	11.1
	6~10年	57	19.3	52.6	3.5	12.3	12.3
	11~20年	245	14.3	64.1	2.0	14.7	4.9
	21~30年	264	12.9	59.1	2.7	17.4	8.0
	31~40年	362	8.6	59.1	3.3	17.7	11.3
	41~50年	386	12.4	61.1	4.1	15.5	6.7
	51年以上	66	9.1	59.1	6.1	7.6	18.2
無回答		10	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0

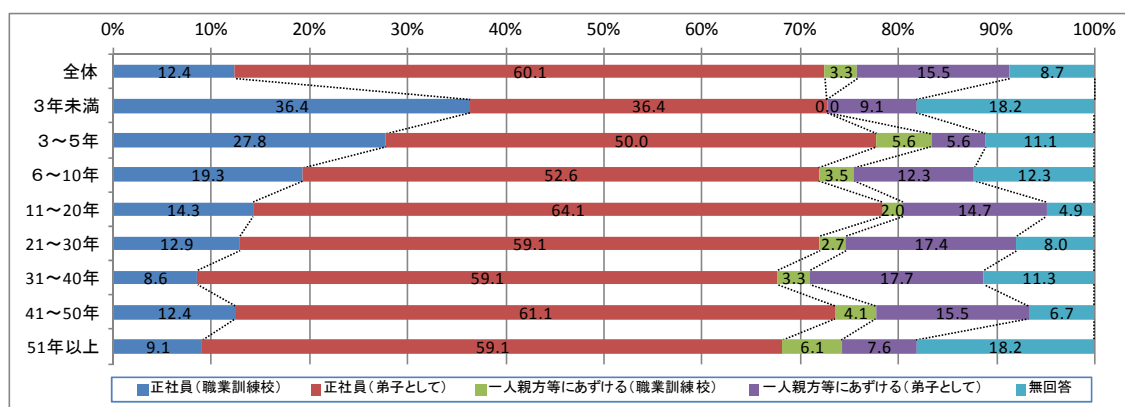


図 5.18. 育成期間の担い手の立場 (H25 年度)

2.4.5.3 2.4.5.1 「1.現在育てている」 および 「2.過去には育てた」 のみ回答

育成にかかる費用負担

費用負担が「有る」と回答した割合が最も高いのは「11~20年」で34.3%。

「無い」と回答した割合が最も高いのは「6~10年」で28.1%。

【Q18=1および2】

Q20. 育成期間にかかる費用の負担を行っているか

	合計	Q20. 育成期間にかかる費用の負担を行っているか			
		有	無	無回答	
全体	1419	28.8	15.6	55.6	
職種の経験年数	3年未満	11	18.2	9.1	72.7
	3~5年	18	22.2	16.7	61.1
	6~10年	57	22.8	28.1	49.1
	11~20年	245	34.3	19.6	46.1
	21~30年	264	33.0	14.0	53.0
	31~40年	362	28.7	14.6	56.6
	41~50年	386	25.9	13.7	60.4
	51年以上	66	21.2	12.1	66.7
無回答	10	0.0	30.0	70.0	

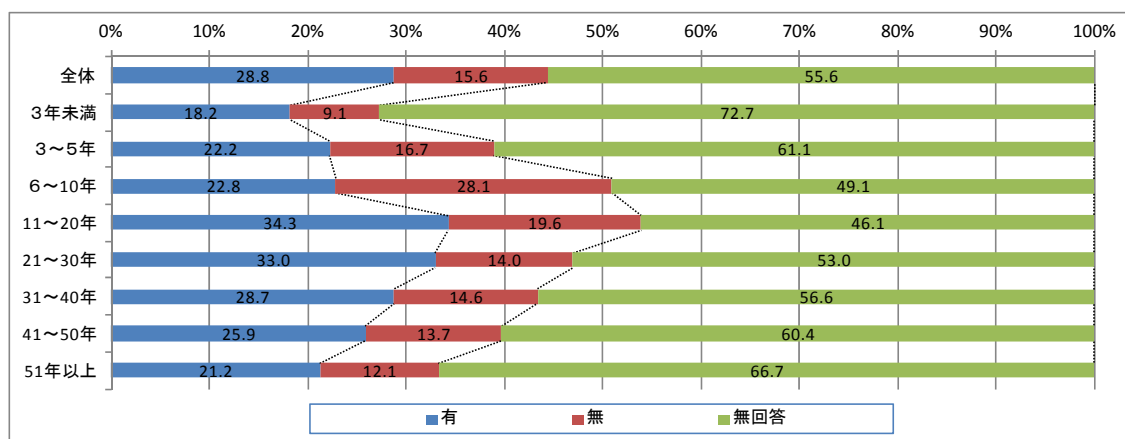


図 5.19. 育成期間にかかる費用負担 (H25 年度)

2.4.5.4 2.4.5.1 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答
なぜ育てる予定はないのか。

「将来の保障ができないため」の割合が最も高いのは「21~30年」で48.2%。

「費用がかかるため」の割合が最も高いのは「21~30年」で30.1%。

「人材がないため」の割合が最も高いのは「31~40年」で27.8%。

【Q18=4】

Q21. なぜ育てる予定はないのですか(複数回答)

	合計	Q21. なぜ育てる予定はないのですか(複数回答)											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	無回答
全体	1591	7.5	9.4	20.3	2.7	23.1	12.8	41.2	13.7	10.1	18.3	3.6	11.6
職種の経験年数													
3年未満	44	2.3	6.8	4.5	0.0	9.1	27.3	4.5	11.4	2.3	0.0	27.3	18.2
3~5年	44	4.5	9.1	18.2	0.0	13.6	15.9	15.9	15.9	6.8	2.3	11.4	15.9
6~10年	166	7.8	10.8	11.4	1.8	22.9	17.5	21.7	11.4	5.4	9.6	6.0	16.9
11~20年	454	7.9	15.0	26.4	3.1	22.0	15.0	44.5	2.6	8.8	15.4	2.4	10.1
21~30年	256	9.4	9.8	30.1	2.3	19.5	12.9	49.2	3.5	10.2	20.3	2.0	9.8
31~40年	320	6.6	5.3	20.3	4.7	27.8	10.6	47.8	15.3	11.6	25.6	2.5	10.6
41~50年	271	7.0	5.5	11.4	1.8	27.7	6.3	43.9	37.6	14.4	23.2	2.2	11.4
51年以上	29	13.8	0.0	3.4	0.0	10.3	6.9	27.6	44.8	17.2	20.7	0.0	17.2
無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	14.3	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3

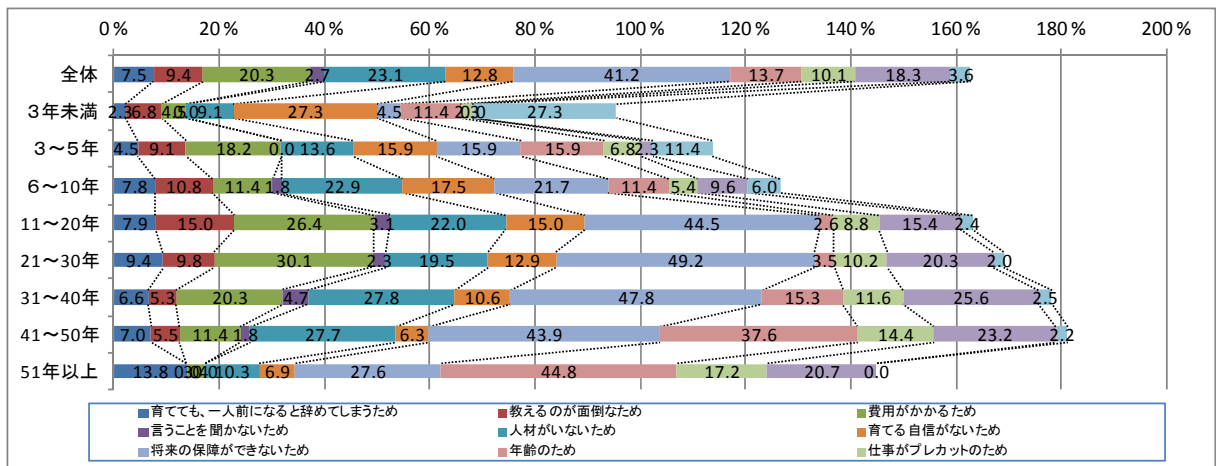


図 5.20. なぜ育てる予定はないのか (H25 年度)

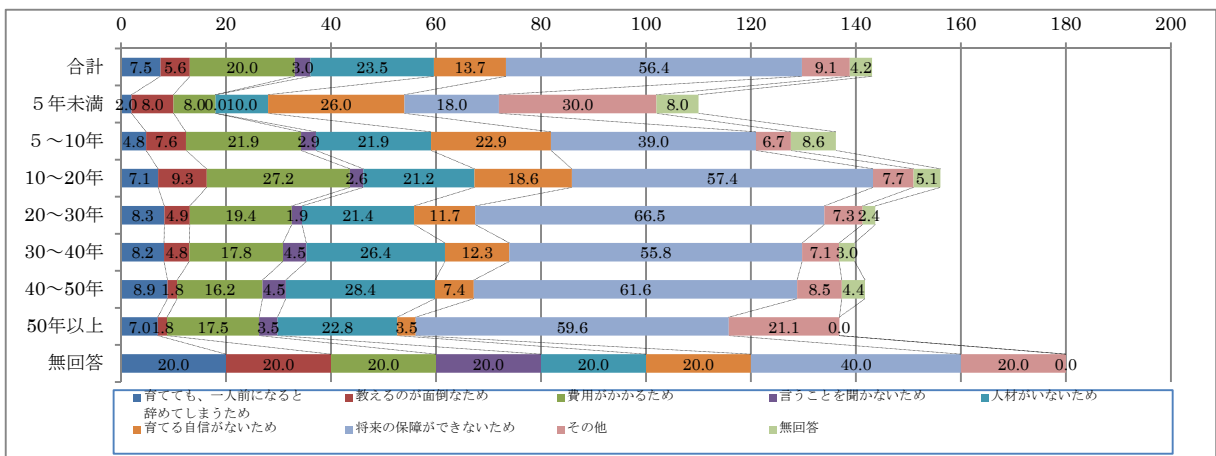


図 5.20# なぜ育てる予定はないのか (H24 年度)

2.4 経験年数別集計

2.4.5.5 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

「3万円/月」の割合が最も高いのは「51年以上」で8.3%。

「5万円/月」の割合が最も高いのは「3~5年」、「6~10年」で16.7%。

「10万円/月」の割合が最も高いのは「21~30年」で34.1%。

「15万円/月」の割合が最も高いのは「21~30年」で21.9%。

Q22. 担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か

	合計	Q22. 担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か						
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	無回答	
全体	5753	4.5	14.6	28.9	17.1	3.3	31.7	
職種の経験年数	3年未満	242	5.0	10.7	10.3	5.8	4.1	64.0
	3~5年	186	5.9	16.7	18.8	9.1	3.8	45.7
	6~10年	546	3.8	16.7	26.2	16.8	4.4	32.1
	11~20年	1590	3.6	15.2	31.8	20.8	3.5	25.0
	21~30年	1003	2.8	13.2	34.1	21.9	2.7	25.3
	31~40年	1088	6.1	12.6	30.4	16.4	3.1	31.4
	41~50年	927	5.2	16.4	27.0	11.5	3.2	36.7
	51年以上	133	8.3	15.0	18.0	15.0	0.8	42.9
無回答	38	5.3	21.1	18.4	7.9	0.0	47.4	

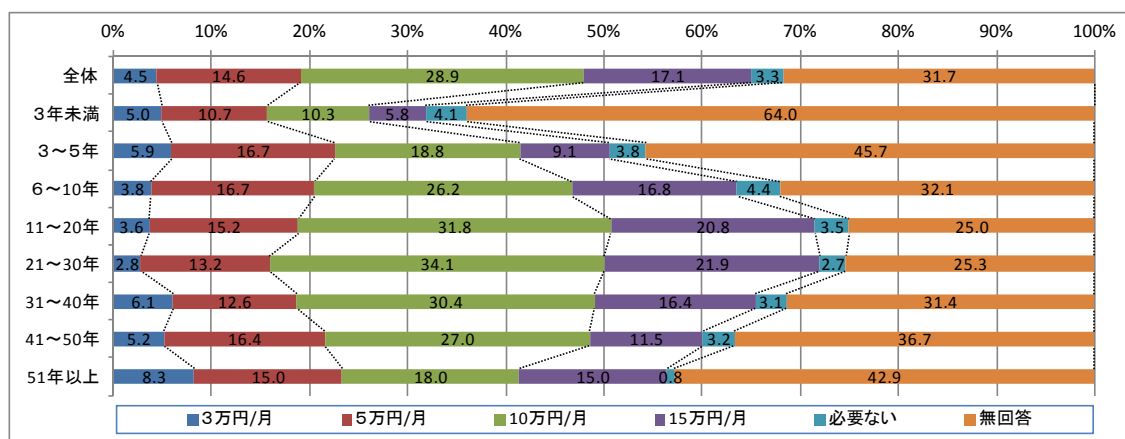


図 5.21. 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か (H25 年度)

2.5 雇用形態別集計

2.5.1 職業等について

2.5.1.1 職種においてベテランだと思いませんか。

「見習い」の割合は「その他（アルバイト等）」が46.9%で最も高い。

「中堅（「やや中堅」を含む）」の割合は「工務店社員」で54.5%で最も高い。

「ベテラン（「ややベテラン」を含む）」の割合は「元請として仕事」が55.8%で最も高い。

Q5. あなたのベテラン度合いについて

	合計	Q5. あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	無回答
全体	5753	19.0	21.6	33.5	12.8	9.6	3.5
あなたの雇用形態							
工務店社員	1979	10.2	15.2	35.7	18.8	17.1	3.0
外注常雇(日給制)	600	13.5	22.2	36.0	15.5	9.7	3.2
外注常雇(坪請主体)	682	22.9	25.2	36.4	8.4	3.5	3.7
その都度契約	283	19.1	24.4	35.0	13.1	5.3	3.2
元請として仕事	1973	28.8	27.0	30.6	7.2	2.9	3.4
その他(アルバイト等)	81	4.9	11.1	13.6	16.0	46.9	7.4
無回答	155	18.1	18.7	27.1	12.9	13.5	9.7

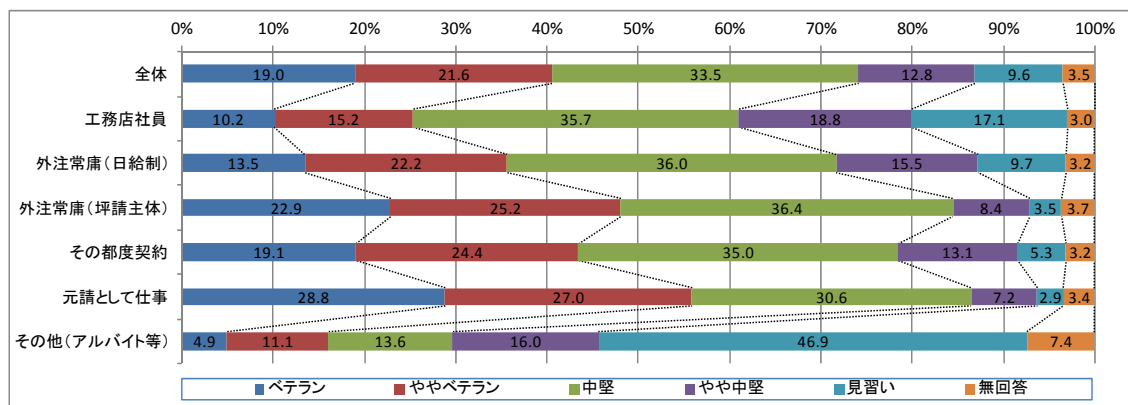


図 6.1 職種のベテラン度合 (H25 年度)

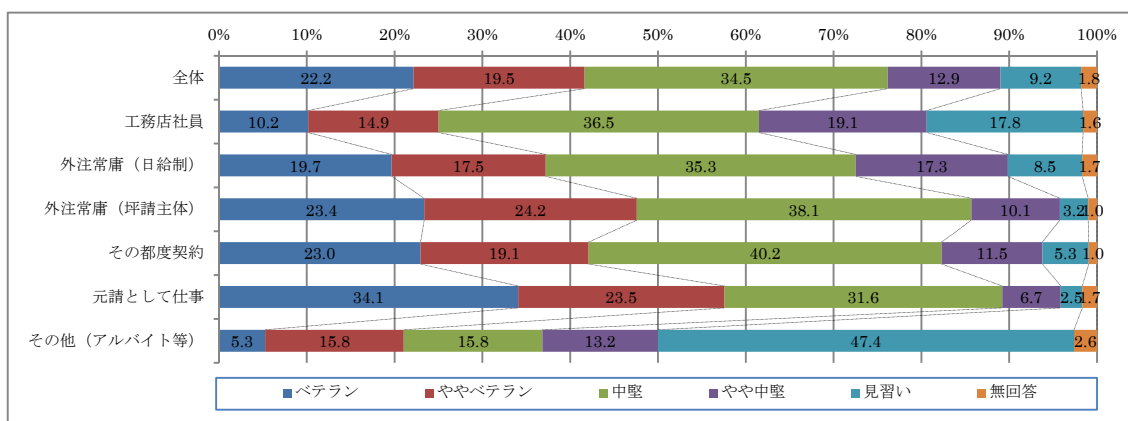


図 6.1# 年齢 (H24 年度)

2.5.2 雇用形態について

2.5.2.1 就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合は「工務店社員」が40.0%で最も高い。
「無い」と回答した割合は「外注常雇（坪請主体）」が69.6%で最も高い。

Q7. 就業規則

	合計	Q7. 就業規則			
		有	無	無回答	
全体	5753	25.3	53.3	21.4	
あなたの雇用形態	工務店社員	1979	40.0	36.6	23.4
	外注常雇(日給制)	600	17.2	62.2	20.7
	外注常雇(坪請主体)	682	11.1	69.6	19.2
	その都度契約	283	9.9	68.9	21.2
	元請として仕事	1973	21.4	61.0	17.6
	その他(アルバイト等)	81	22.2	61.7	16.0
	無回答	155	9.7	30.3	60.0

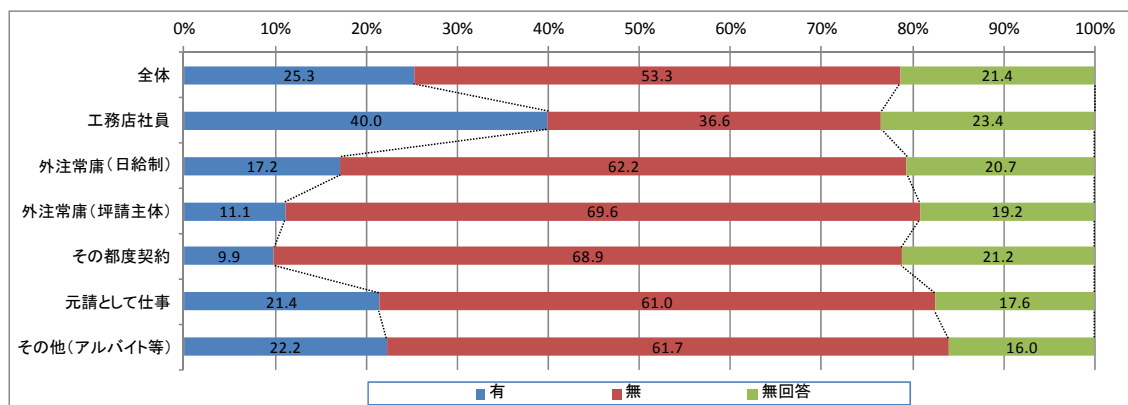


図 6.2 就業規則 (H25 年度)

2.5.2.2 有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高いのは「工務店社員」で19.3%。

「無い」と回答した割合が最も高いのは「その他（アルバイト等）」で75.3%。

Q8. 有給休暇

	合計	Q8. 有給休暇		
		有	無	無回答
全体	5753	10.4	65.6	24.0
あなたの雇用形態				
工務店社員	1979	19.3	58.7	22.0
外注常雇(日給制)	600	3.2	73.2	23.7
外注常雇(坪請主体)	682	2.2	74.0	23.8
その都度契約	283	3.5	72.4	24.0
元請として仕事	1973	7.8	68.4	23.8
その他(アルバイト等)	81	8.6	75.3	16.0
無回答	155	7.7	33.5	58.7

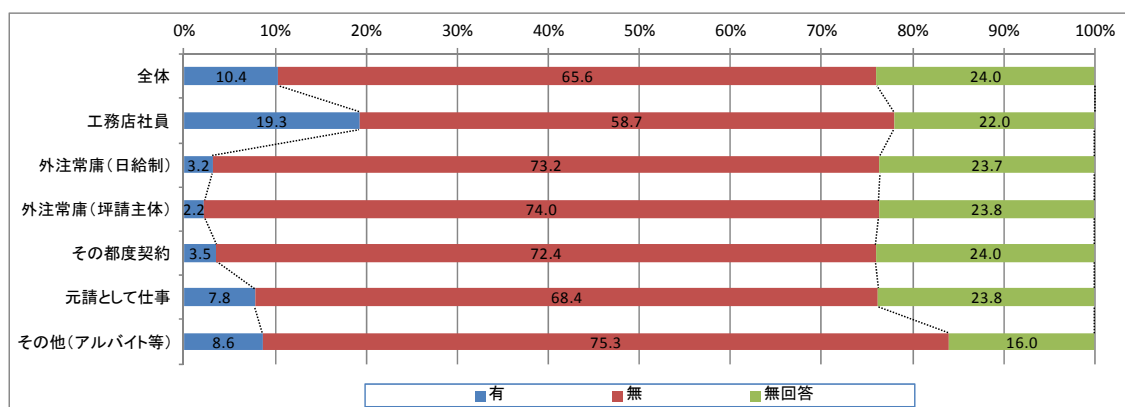


図 6.3 有給休暇 (H25 年度)

2.5.2.3 年間就業日数

平均年間就業日数が最も高いのは「その都度契約」で 279.3 日。

平均年間就業日数が最も低いのは「その他（アルバイト等）」で 245.8 日。

Q9. 年間就業日数

	合計	Q9. 年間就業日数					平均	
		250日未満	250日～275日未満	275日～300日未満	300日以上	無回答		
全体	5753	10.0	9.6	9.6	27.9	42.8	266.9	
あなたの雇用形態	工務店社員	1979	7.7	9.0	10.5	25.7	47.1	268.2
	外注常雇(日給制)	600	13.0	11.7	10.0	23.5	41.8	260.0
	外注常雇(坪請主体)	682	7.6	7.8	8.1	40.5	36.1	276.6
	その都度契約	283	8.5	7.1	9.2	38.2	37.1	279.3
	元請として仕事	1973	12.7	11.1	9.7	27.8	38.7	263.6
	その他(アルバイト等)	81	14.8	6.2	7.4	14.8	56.8	245.8
	無回答	155	6.5	3.9	5.2	8.4	76.1	251.2

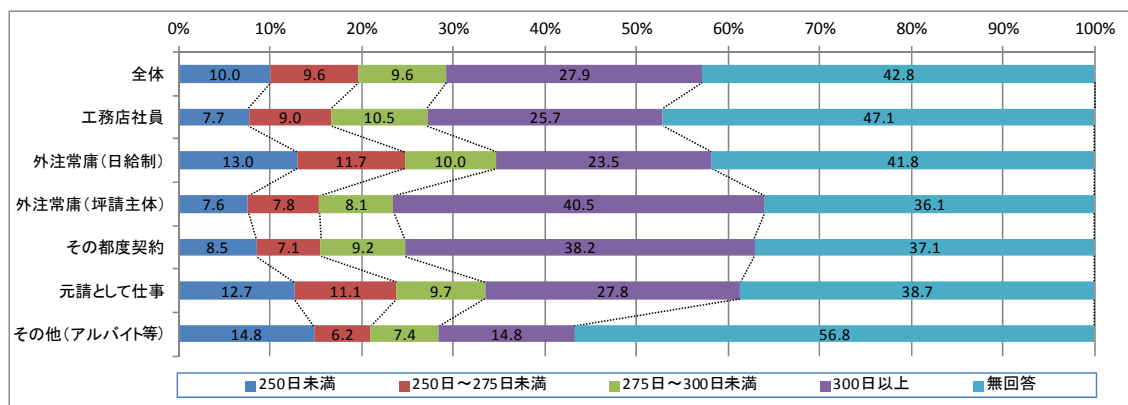


図 6.4 年間就業日数 (H25 年度)

2.5.2.1 保険等について

2.5.2.1.1 年金保険

「厚生年金」の加入している割合は「工務店社員」が最も高く 45.4%。

「国民年金」の加入している割合は「外注常雇（日給制）」が最も高く 75.3%。

「企業年金」の加入している割合は「外注常雇（坪請主体）」が最も高く 1.0%。

Q10-1. 加入している年金(複数回答)

	合計	Q10-1. 加入している年金(複数回答)			
		厚生年金	国民年金	企業年金	無回答
全体	5753	25.4	59.1	0.9	15.7
あなたの雇用形態					
工務店社員	1979	45.4	42.6	0.6	12.5
外注常雇(日給制)	600	5.0	75.3	0.7	19.0
外注常雇(坪請主体)	682	2.9	73.9	1.0	22.7
その都度契約	283	4.9	74.6	0.7	20.1
元請として仕事	1973	23.0	64.9	1.3	12.4
その他(アルバイト等)	81	14.8	44.4	0.0	43.2
無回答	155	19.4	48.4	0.6	32.3

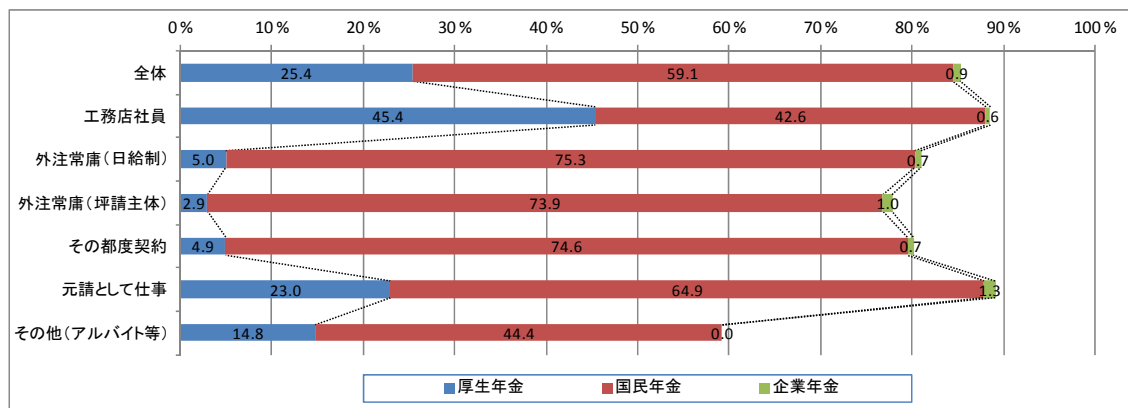


図 6.5 年金保険 (H25 年度)

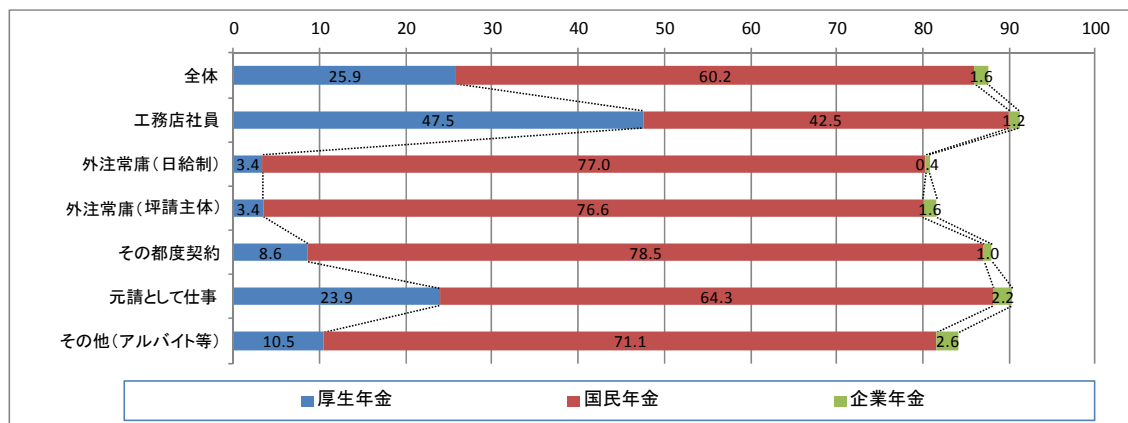


図 6.5 井 年金保険 (H24 年度)

2.5.2.1.2 労働保険

「雇用保険」の割合が最も高いのは「工務店社員」で31.8%。

「労災保険」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で44.2%。

「一人親方労災保険」の割合が最も高いのは「外注常雇（坪請主体）」で51.5%。

Q10-2. 加入している労働保険(複数回答)

	合計	Q10-2. 加入している労働保険(複数回答)			
		雇用保険	労災保険	一人親方労災保険	無回答
全体	5753	15.0	32.6	28.1	31.2
あなたの雇用形態					
工務店社員	1979	31.8	32.9	7.5	34.1
外注常雇(日給制)	600	6.2	20.3	38.2	38.3
外注常雇(坪請主体)	682	1.2	19.4	51.5	30.9
その都度契約	283	2.8	17.3	50.2	32.5
元請として仕事	1973	8.3	44.2	34.8	23.8
その他(アルバイト等)	81	2.5	19.8	18.5	61.7
無回答	155	9.7	20.0	27.7	45.8

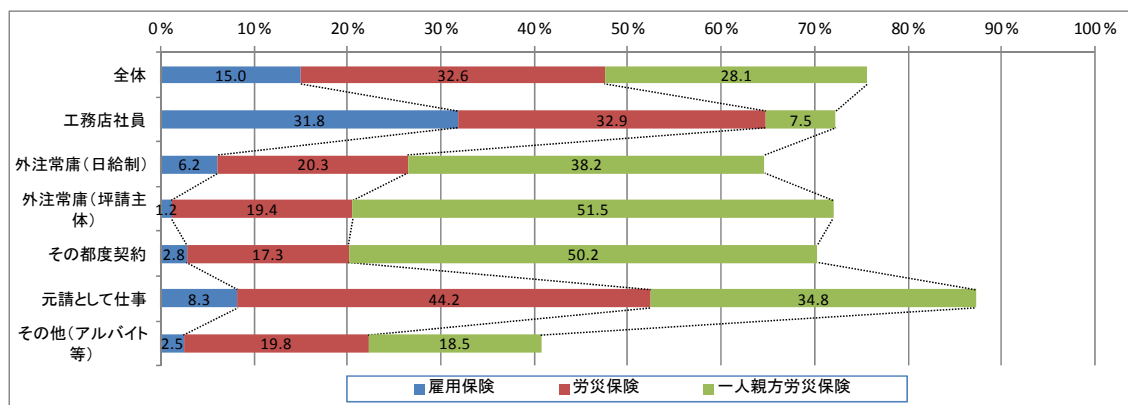


図 6.6 労働保険 (H25 年度)

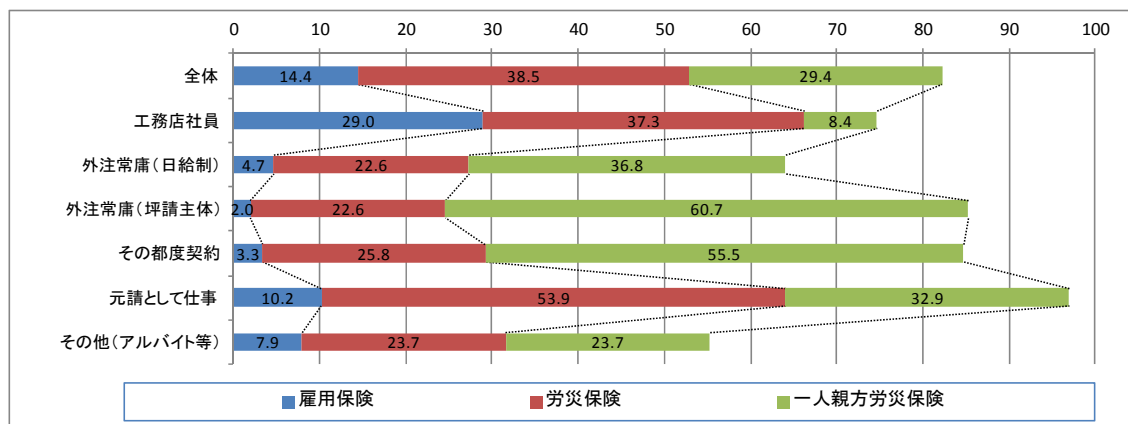


図 6.6 労働保険 (H24 年度)

2.5.2.1.3 健康保険

「国民健康保険」の割合が最も高いのは「その他（アルバイト等）」で37.0%。

「組合健康保険（建設国保）」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で52.3%。

「組合健康保険（建設国保以外）」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で3.2%。

「その他の健康保険」の割合が最も高いのは「工務店社員」で4.1%。

Q10-3. 加入している健康保険(複数回答)

	合計	Q10-3. 加入している健康保険(複数回答)					
		国民健康保険	組合健康保険(建設国保)	組合健康保険(建設国保以外)	その他の健康保険	無回答	
全体	5753	29.1	43.1	2.5	2.7	23.2	
あなたの雇用形態	工務店社員	1979	31.6	33.3	2.6	4.1	29.1
	外注常雇(日給制)	600	33.8	46.0	1.5	1.2	18.3
	外注常雇(坪請主体)	682	29.0	48.1	1.5	1.2	20.5
	その都度契約	283	33.9	42.8	2.5	0.7	20.5
	元請として仕事	1973	24.3	52.3	3.2	2.7	18.3
	その他(アルバイト等)	81	37.0	19.8	2.5	2.5	38.3
	無回答	155	27.7	31.6	1.9	1.9	37.4

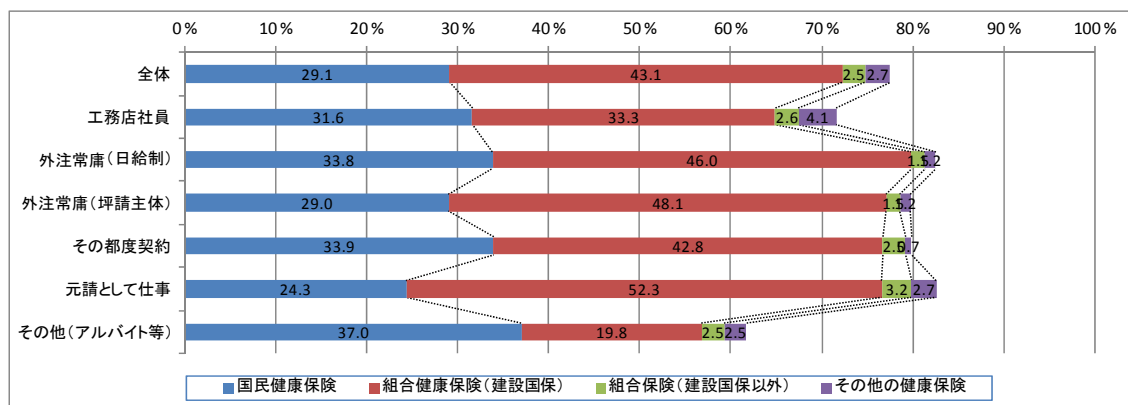


図 6.7 健康保険 (H25 年度)

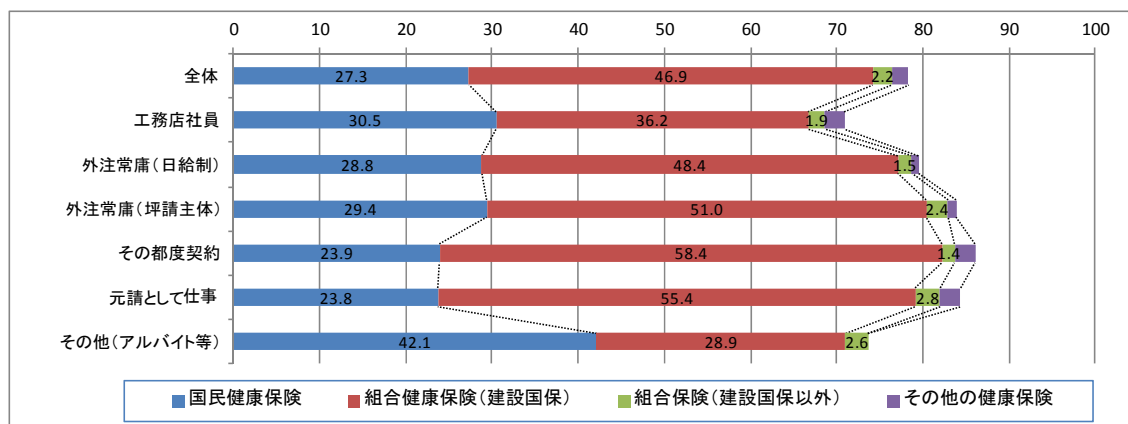


図 6.7 健康保険 (H24 年度)

2.5.2.2 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

自己負担となっているものの割合の合計が最も高いのは「外注常雇（坪請主体）」で432.8%。最も低いのは「工務店社員」で198.7%。

Q11. 自己負担となっているもの（複数回答）

	合計	Q11. 自己負担となっているもの（複数回答）						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	無回答
全体	5753	72.6	67.5	28.0	54.6	54.8	13.8	7.7
あなたの雇用形態								
工務店社員	1979	67.2	56.3	7.3	34.4	33.5	18.8	5.9
外注常雇(日給制)	600	91.2	89.7	18.5	78.5	78.2	1.5	2.3
外注常雇(坪請主体)	682	91.5	92.5	68.5	89.9	90.5	2.1	2.9
その都度契約	283	87.3	85.2	58.7	82.0	82.0	6.4	3.2
元請として仕事	1973	65.1	61.9	32.9	52.2	53.1	18.1	11.8
その他(アルバイト等)	81	58.0	53.1	29.6	49.4	54.3	13.6	17.3
無回答	155	62.6	62.6	33.5	50.3	49.7	8.4	21.9

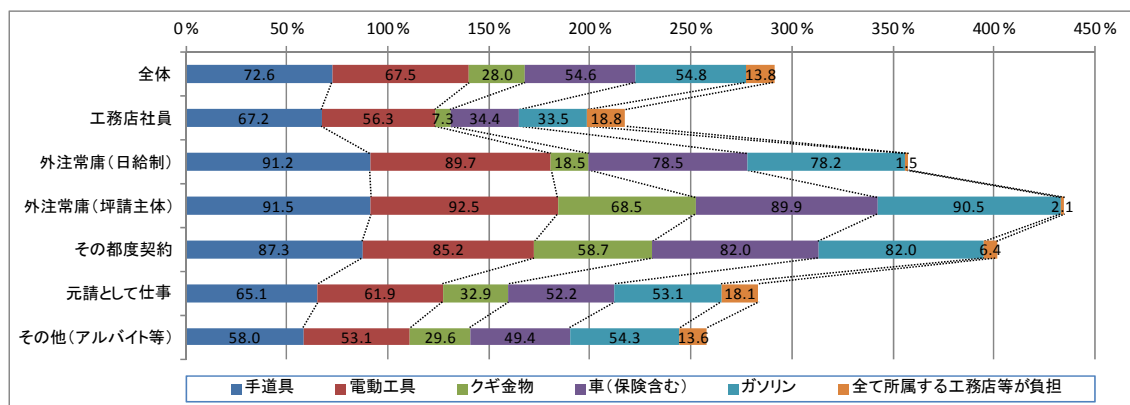


図 6.8 自己負担となっているもの（H25年度）

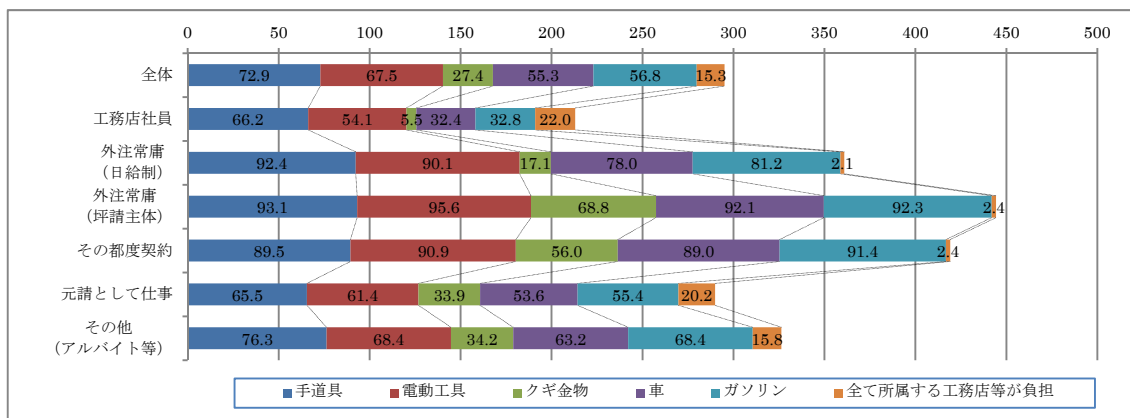


図 6.8# 自己負担となっているもの（H24年度）

2.5.2.3 おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

平均賃金が最も高いのは「元請として仕事」で16,300.8円。

平均賃金が最も低いのは「その他（アルバイト等）」で12,077.5円、

Q12. 1日あたりのおおよその賃金

	合計	Q12. 1日あたりのおおよその賃金							平均賃金	
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	無回答		
全体	5753	5.4	7.2	37.9	35.9	7.9	1.7	3.9	14902.5	
あなたの雇用形態	工務店社員	1979	8.5	14.1	46.9	20.8	4.0	1.0	4.6	13220.6
	外注常雇(日給制)	600	5.0	5.7	49.8	34.7	3.7	0.2	1.0	14214.6
	外注常雇(坪請主体)	682	3.4	2.9	31.4	46.9	11.6	2.1	1.8	16069.4
	その都度契約	283	3.5	3.9	32.2	47.0	7.8	2.8	2.8	15778.2
	元請として仕事	1973	2.5	2.9	29.3	47.4	11.9	2.7	3.2	16300.8
	その他(アルバイト等)	81	30.9	12.3	25.9	9.9	4.9	3.7	12.3	12077.5
	無回答	155	3.2	1.9	30.3	32.3	9.0	1.3	21.9	15657.0

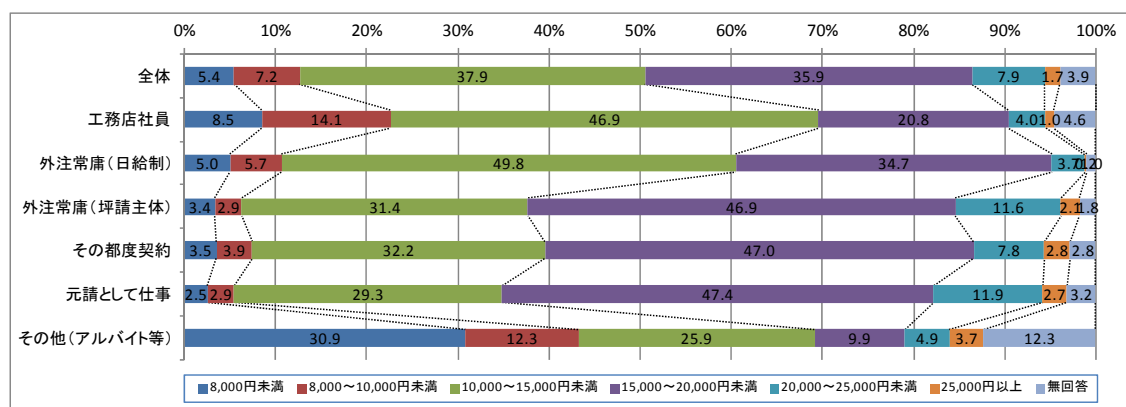


図 6.9 1日あたりのおおよその賃金（H25年度）

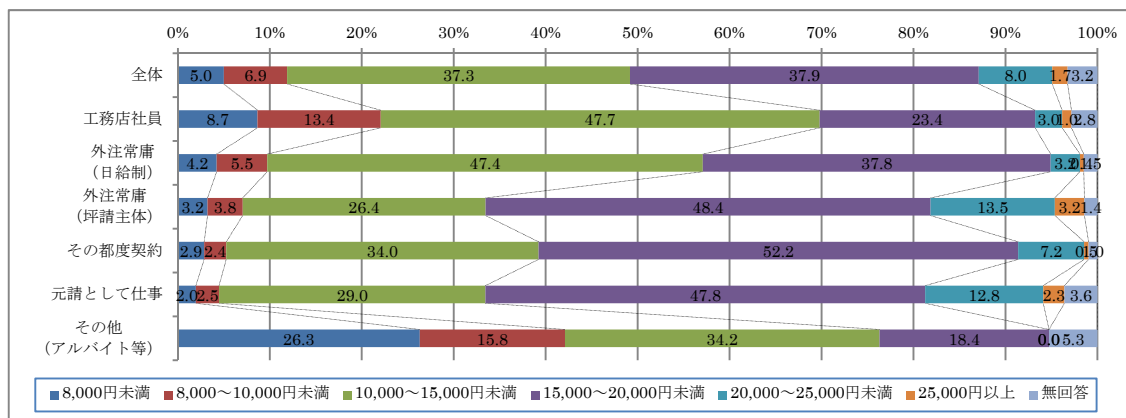


図 6.9 1日あたりのおおよその賃金（H24年度）

2.5 雇用形態別集計

2.5.3 資格や技能について

2.5.3.1 持っている資格

持っている資格の割合の合計が最も高いのは「元請として仕事」で371.4%。

持っている資格の割合の合計が最も低いのは「その他（アルバイト等）」で190.1%。

Q13. お持ちの資格(複数回答)

	合計	Q13. お持ちの資格(複数回答)															
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	1級建築大工技能士	2級建築大工技能士	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	無回答
全体	5753	5.9	33.4	3.7	4.3	14.2	15.7	12.8	2.3	15.5	10.7	39.9	45.5	43.5	18.9	13.4	16.4
あなたの雇用形態																	
工務店社員	1979	5.8	28.2	2.4	5.2	11.1	13.3	15.2	1.4	9.8	5.6	33.1	35.9	43.6	18.5	9.4	20.8
外注常雇(日給制)	600	1.5	23.3	1.8	0.7	8.0	16.7	13.3	2.2	13.5	3.8	29.7	40.5	37.2	13.3	11.2	26.5
外注常雇(坪請主体)	682	1.3	22.9	3.4	1.0	6.0	12.2	11.6	2.1	13.3	5.6	35.9	52.8	41.6	15.2	8.8	18.9
その都度契約	283	1.4	29.3	4.6	1.4	10.2	11.0	11.0	1.8	8.5	7.1	40.3	43.5	37.8	9.5	5.3	18.4
元請として仕事	1973	10.1	47.3	5.8	6.5	23.0	20.6	11.3	3.3	23.8	20.6	51.3	55.4	47.4	23.6	21.2	6.1
その他(アルバイト等)	81	1.2	18.5	1.2	1.2	7.4	8.6	9.9	3.7	9.9	2.5	35.8	32.1	33.3	12.3	12.3	38.3
無回答	155	2.6	20.6	3.2	1.3	11.6	9.0	11.0	2.6	16.8	9.0	39.4	40.0	40.6	20.0	9.7	25.2

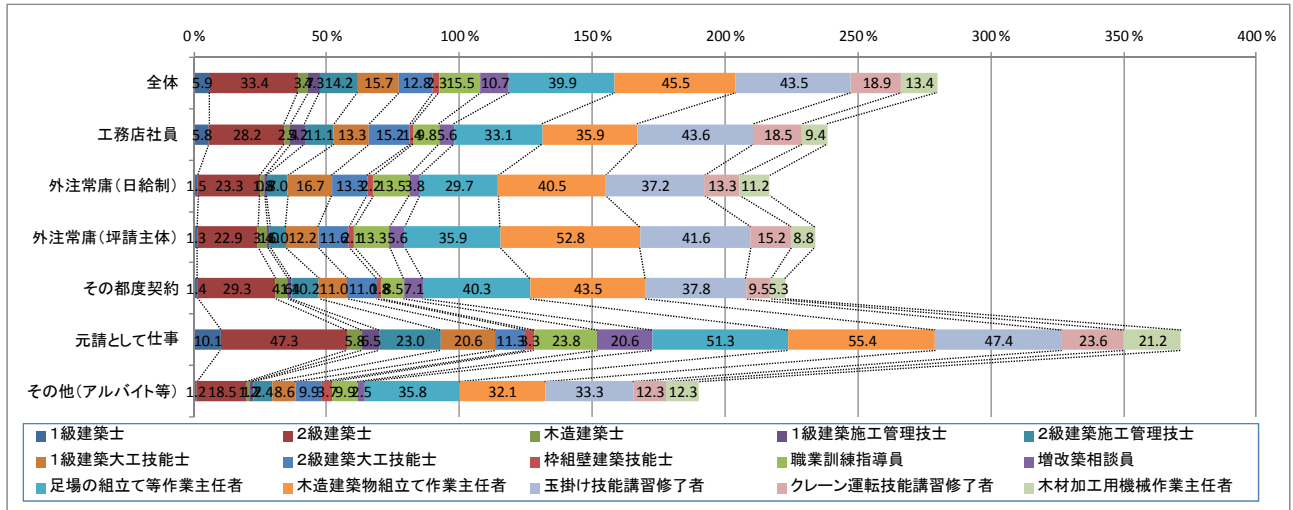


図 6.10 持っている資格 (H25 年度)

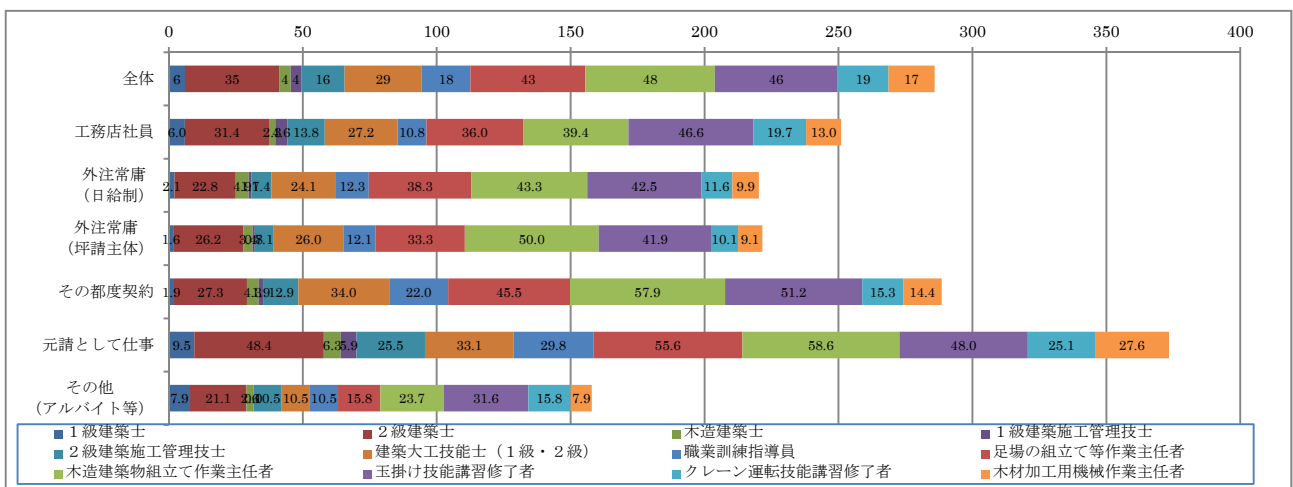


図 6.10# 持っている資格 (H24 年度)

2.5.3.2 大工職のみ回答 墨付けができますか。

墨付けができると回答した割合が最も高いのは「元請として仕事」で 81.9%。
できると回答した割合が最も低いのは「その他（アルバイト等）」で 42.0%。

大工職限定		Q14①. 墨付けができますか			
	合計	Q14①. 墨付けができますか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	5753	73.7	15.1	11.2	
あなたの雇用形態	工務店社員	1979	64.4	24.2	11.5
	外注常雇(日給制)	600	76.8	14.3	8.8
	外注常雇(坪請主体)	682	80.2	11.1	8.7
	その都度契約	283	70.3	17.7	12.0
	元請として仕事	1973	81.9	6.3	11.8
	その他(アルバイト等)	81	42.0	40.7	17.3
	無回答	155	69.7	14.2	16.1

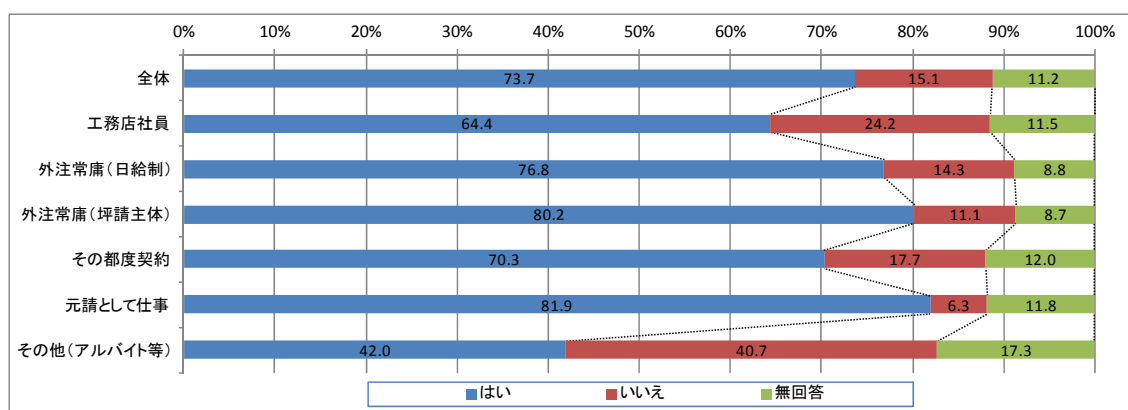


図 6.11 墨付け (H25 年度)

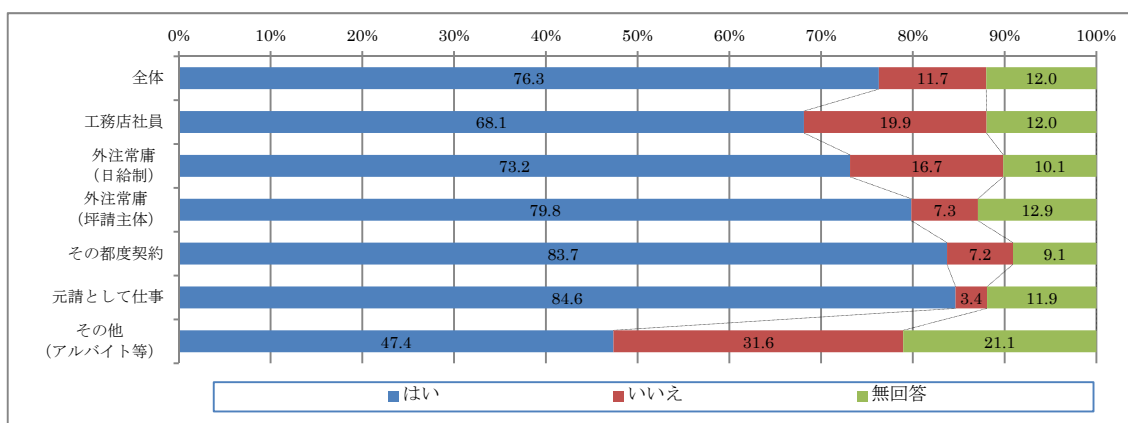


図 6.11# 墨付け (H24 年度)

2.5.3.3 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

新築の手刻み加工の仕事をを行っている割合が最も高いのは「工務店社員」で31.3%、次いで「元請として仕事」で30.4%。

「いいえ」と回答した割合が最も高いのは「外注常庸（坪請主体）」で69.4%、次いで「その都度契約」で67.1%。

大工職限定		Q14②. 新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
	合計	Q14②. 新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	無回答
全体	5753	28.1	58.7	13.2
あなたの雇用形態				
工務店社員	1979	31.3	56.2	12.5
外注常庸(日給制)	600	25.2	63.5	11.3
外注常庸(坪請主体)	682	20.1	69.4	10.6
その都度契約	283	19.4	67.1	13.4
元請として仕事	1973	30.4	55.2	14.4
その他(アルバイト等)	81	17.3	64.2	18.5
無回答	155	27.7	50.3	21.9

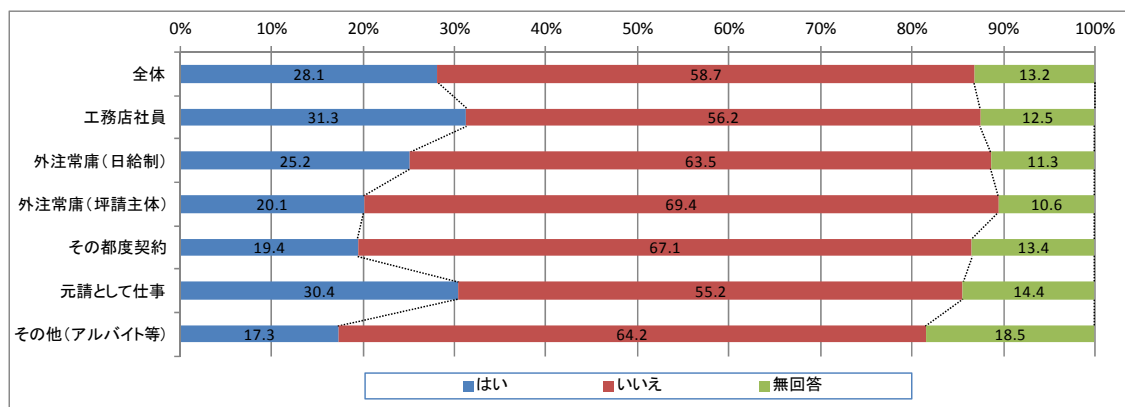


図 6.12 手刻み加工の仕事（新築）（H25 年度）

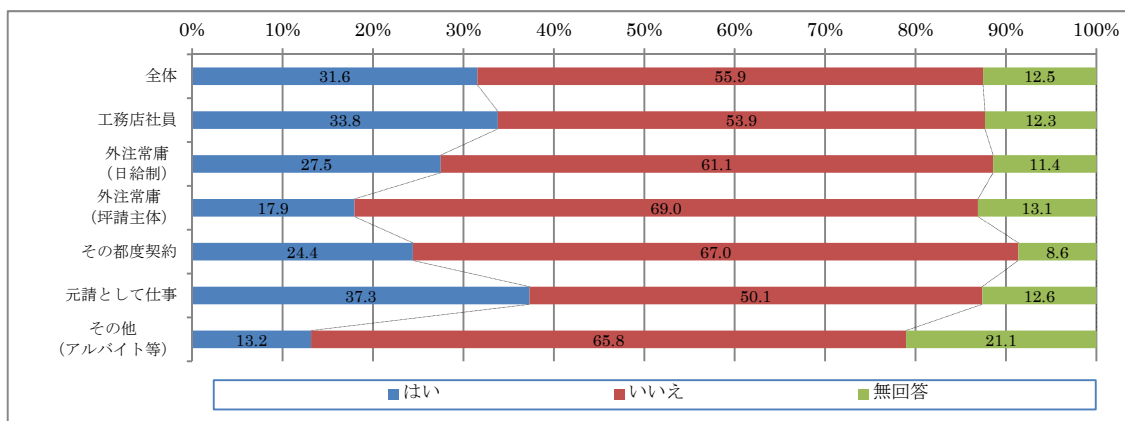


図 6.12# 手刻み加工の仕事（H24 年度）

2.5.3.4 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（増改築）

増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っている割合が最も高いのは「元請として仕事」で60.6%、次いで「工務店社員」で52.0%。

「いいえ」と回答した割合が最も高いのは「その他（アルバイト等）」で61.7%、次いで「外注常雇（坪請主体）」で56.7%。

大工職限定		Q14③. 増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
	合計	Q14③. 増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	5753	50.7	36.5	12.8	
あなたの雇用形態	工務店社員	1979	52.0	35.5	12.5
	外注常雇(日給制)	600	49.0	40.2	10.8
	外注常雇(坪請主体)	682	31.4	56.7	11.9
	その都度契約	283	38.2	48.4	13.4
	元請として仕事	1973	60.6	26.4	13.1
	その他(アルバイト等)	81	19.8	61.7	18.5
	無回答	155	38.1	39.4	22.6

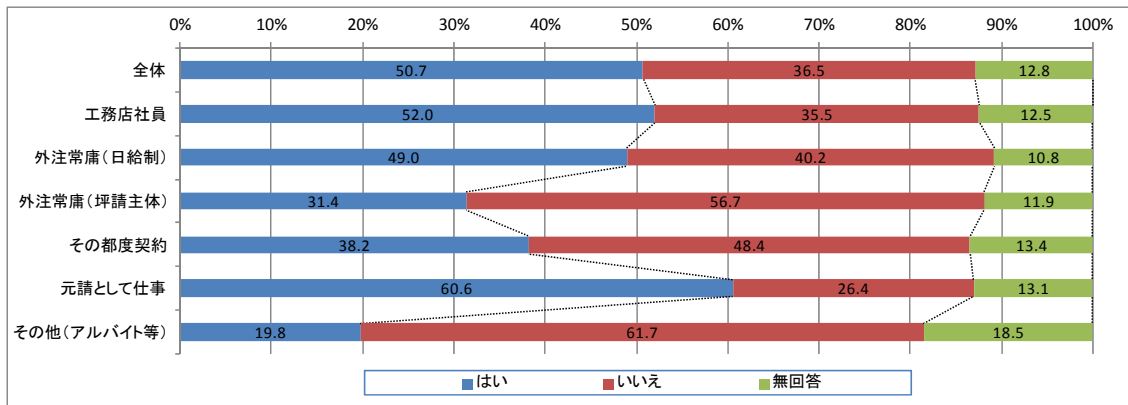


図 6.13 手刻み加工の仕事（増改築）（H25 年度）

2.5.3.5 大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作ができると回答した割合が最も高かったのは「外注常雇（坪請主体）」で83.4%、次いで「元請として仕事」で80.5%。

「いいえ」と回答した割合が最も高かったのは「その他（アルバイト等）」で50.6%、次いで「工務店社員」で31.1%。

大工職限定

Q14④. 和室造作ができますか

	合計	Q14④. 和室造作ができますか		
		はい	いいえ	無回答
全体	5753	70.5	17.7	11.9
あなたの雇用形態				
工務店社員	1979	56.6	31.1	12.3
外注常雇(日給制)	600	72.5	17.0	10.5
外注常雇(坪請主体)	682	83.4	7.3	9.2
その都度契約	283	75.3	11.7	13.1
元請として仕事	1973	80.5	7.7	11.9
その他(アルバイト等)	81	32.1	50.6	17.3
無回答	155	65.8	15.5	18.7

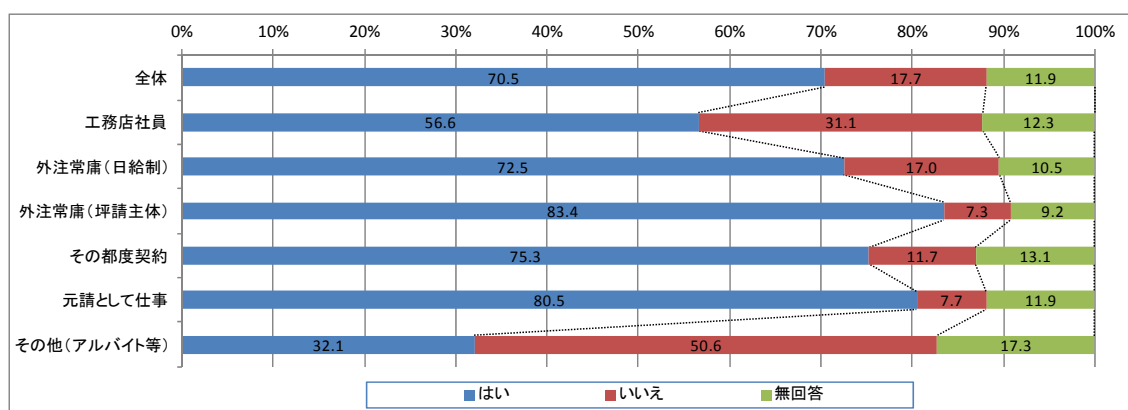


図 6.14 和室造作 (H25年度)

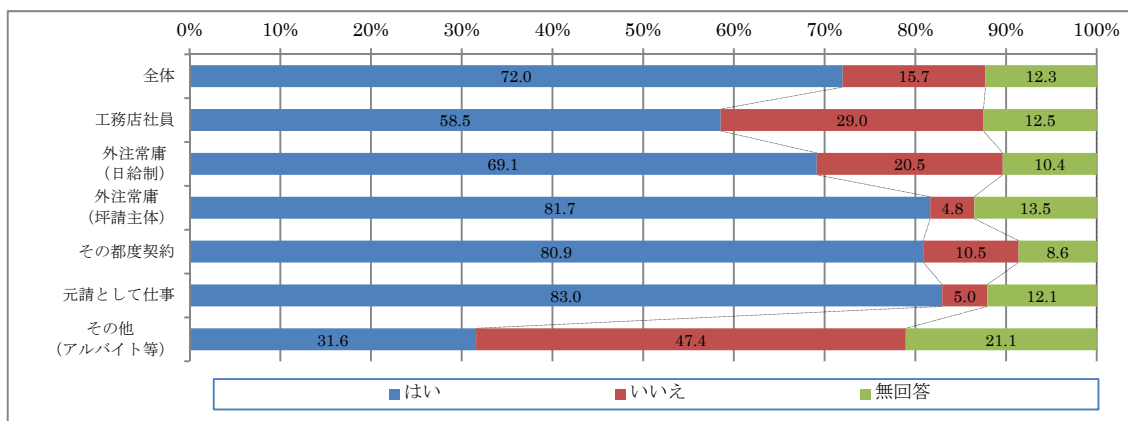


図 6.14 和室造作 (H24年度)

2.5.3.6 大工職のみ回答 2×4工法の住宅の施工ができますか。

2×4工法の住宅の施工ができると回答した割合が最も高かったのは「外注常庸（坪請主体）」で40.3%、次いで「その都度契約」で34.6%。

「いいえ」と回答した割合が最も高かったのは「工務店社員」で64.7%、次いで「その他（アルバイト等）」で64.2%。

大工職限定		Q14⑤. 2×4工法の住宅の施工ができますか			
	合計	Q14⑤. 2×4工法の住宅の施工ができますか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	5753	27.6	59.0	13.4	
あなたの雇用形態	工務店社員	1979	22.2	64.7	13.1
	外注常庸(日給制)	600	29.5	58.3	12.2
	外注常庸(坪請主体)	682	40.3	48.8	10.9
	その都度契約	283	34.6	49.8	15.5
	元請として仕事	1973	27.6	58.7	13.7
	その他(アルバイト等)	81	18.5	64.2	17.3
	無回答	155	24.5	51.6	23.9

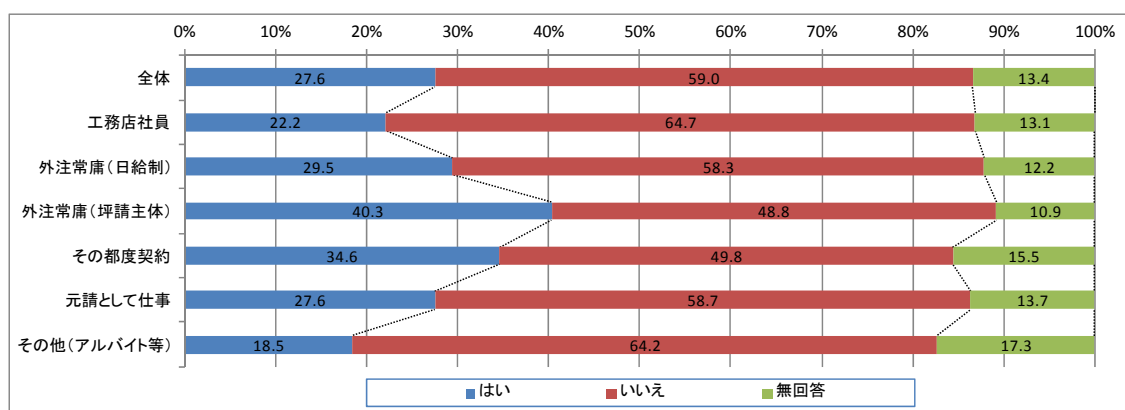


図 6.15 2×4工法の住宅の施工 (H25年度)

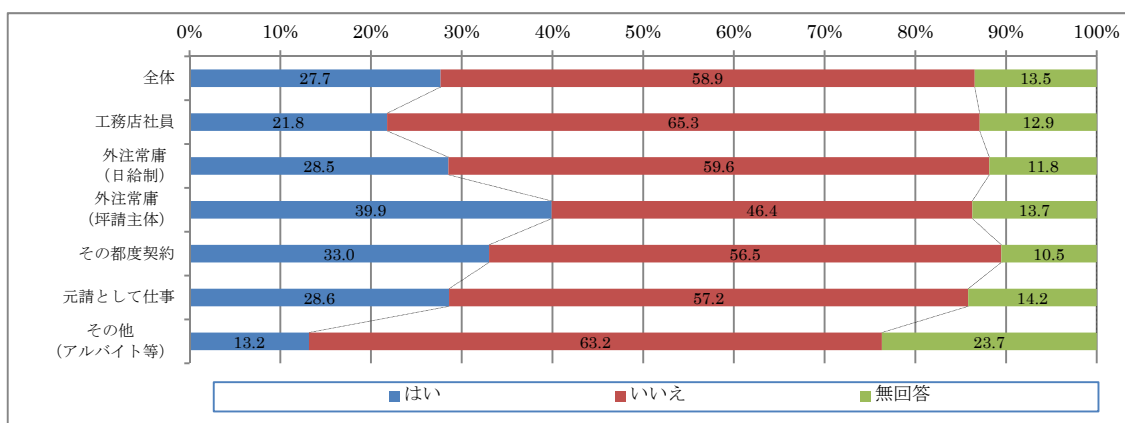


図 6.15# 2×4工法の住宅の施工 (H24年度)

2.5.4 仕事に対する満足度や今後の意向について

2.5.4.1 現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」の割合を合計した満足している割合が最も高いのは「工務店社員」で65.1%、次いで「外注常雇（日給制）」で60.8%。

「あまり満足していない」、「満足していない」の割合を合計した満足していない割合が最も高いのは「その都度契約」で44.2%、次いで「外注常雇（坪請主体）」で43.4%。

Q15. 現在の仕事の内容について満足度

	合計	Q15. 現在の仕事の内容について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	
全体	5753	8.7	51.1	24.8	6.8	8.6	
あなたの雇用形態	工務店社員	1979	10.5	54.6	22.6	4.5	7.9
	外注常雇(日給制)	600	5.0	55.8	24.5	8.0	6.7
	外注常雇(坪請主体)	682	3.8	46.3	32.3	11.1	6.5
	その都度契約	283	3.9	42.0	32.2	12.0	9.9
	元請として仕事	1973	10.3	50.0	23.9	6.3	9.5
	その他(アルバイト等)	81	11.1	43.2	24.7	4.9	16.0
	無回答	155	9.7	43.9	18.7	11.6	16.1

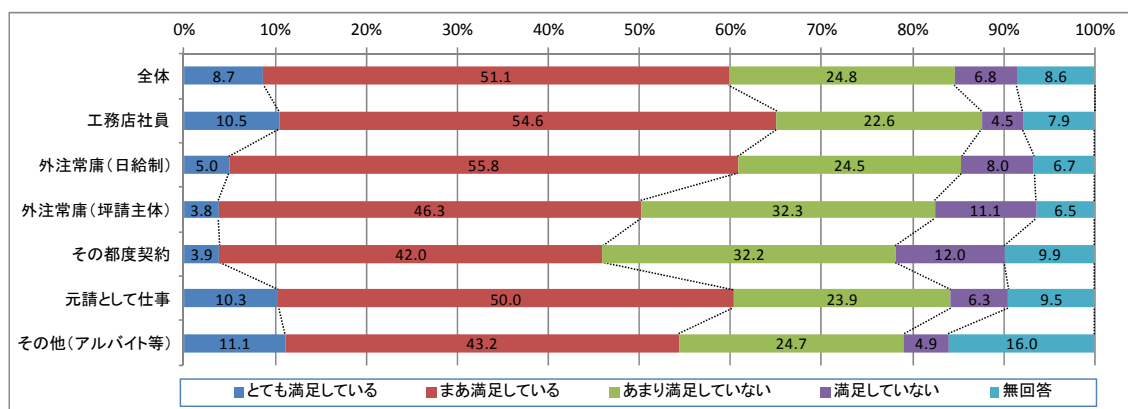


図 6.16 仕事の内容についての満足度 (H25 年度)

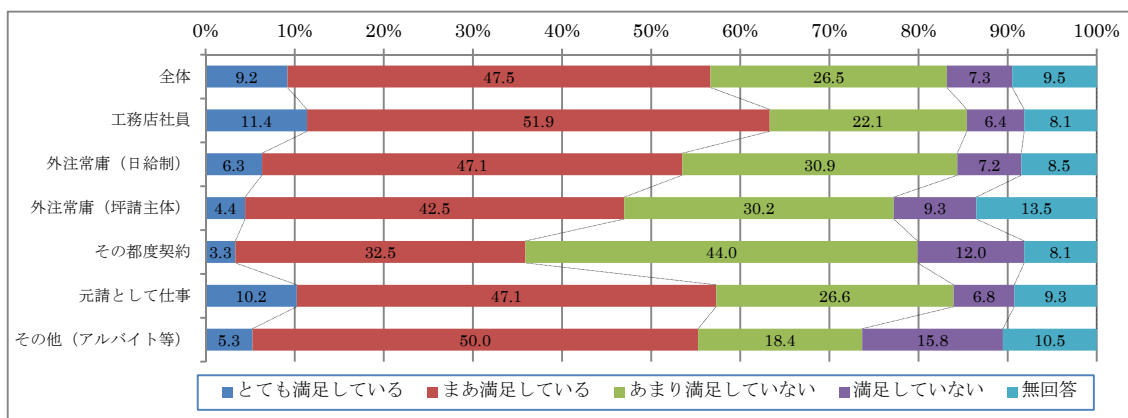


図 6.16# 仕事の内容についての満足度 (H24 年度)

2.5.4.2 現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」の割合を合計した満足している割合が最も高いのは「工務店社員」で40.2%、次いで「その他（アルバイト等）」で38.3%。

「あまり満足していない」、「満足していない」の割合を合計した満足していない割合が最も高いのは「外注常雇（坪請主体）」で69.9%、次いで「その都度契約」で69.9%。

Q16. 現在の仕事で得られる収入等について満足度

	合計	Q16. 現在の仕事で得られる収入等について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	
全体	5753	3.1	30.6	39.9	17.7	8.8	
あなたの雇用形態	工務店社員	1979	4.9	35.3	37.1	14.5	8.2
	外注常雇(日給制)	600	1.5	30.8	42.7	18.0	7.0
	外注常雇(坪請主体)	682	1.0	21.0	46.6	24.8	6.6
	その都度契約	283	0.7	20.5	44.5	25.4	8.8
	元請として仕事	1973	2.6	30.8	39.6	17.2	9.8
	その他(アルバイト等)	81	6.2	32.1	24.7	18.5	18.5
	無回答	155	4.5	26.5	36.8	16.1	16.1

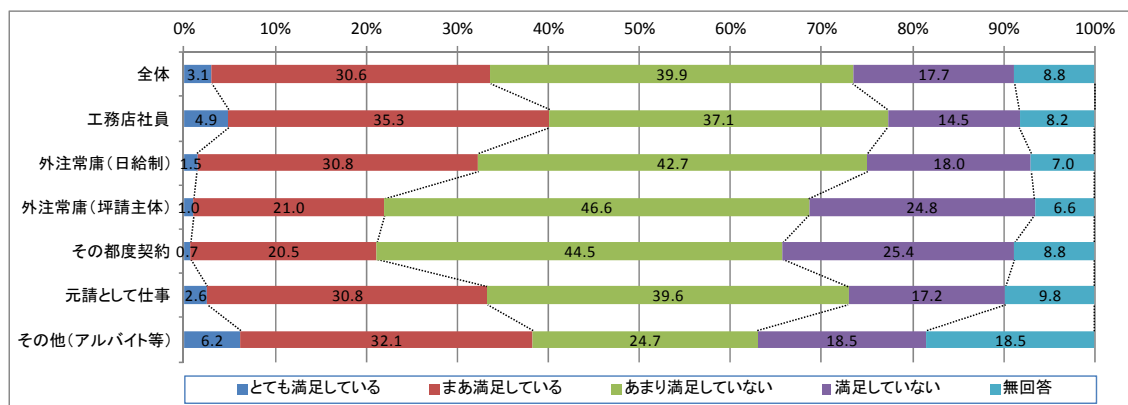


図 6.17 収入等についての満足度 (H25 年度)

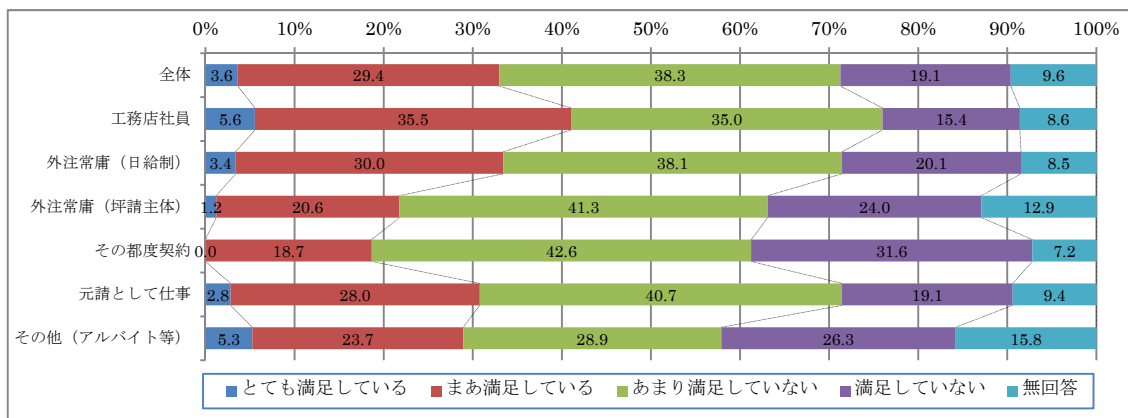


図 6.17# 収入等についての満足度 (H24 年度)

2.5.4.3 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事ができる限り続ける」の割合が最も高いのは「その他（アルバイト等）」で56.8%。最も低いのは「元請として仕事」で46.5%。

「65歳で引退する」の割合が最も高いのは「工務店社員」で17.4%。

「70歳で引退する」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で15.7%。

Q17. 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか

	合計	Q17. 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	無回答
全体	5753	7.2	15.9	11.8	3.1	51.6	0.9	9.5
あなたの雇用形態								
工務店社員	1979	8.8	17.4	6.8	1.6	54.8	1.0	9.7
外注常雇(日給制)	600	3.8	14.5	13.0	3.7	56.2	1.7	7.2
外注常雇(坪請主体)	682	6.2	16.1	13.9	2.9	53.1	0.6	7.2
その都度契約	283	6.0	14.1	13.4	2.8	52.7	0.7	10.2
元請として仕事	1973	7.0	15.8	15.7	4.5	46.5	0.6	9.9
その他(アルバイト等)	81	8.6	4.9	3.7	2.5	56.8	4.9	18.5
無回答	155	7.1	11.6	12.9	4.5	46.5	1.9	15.5

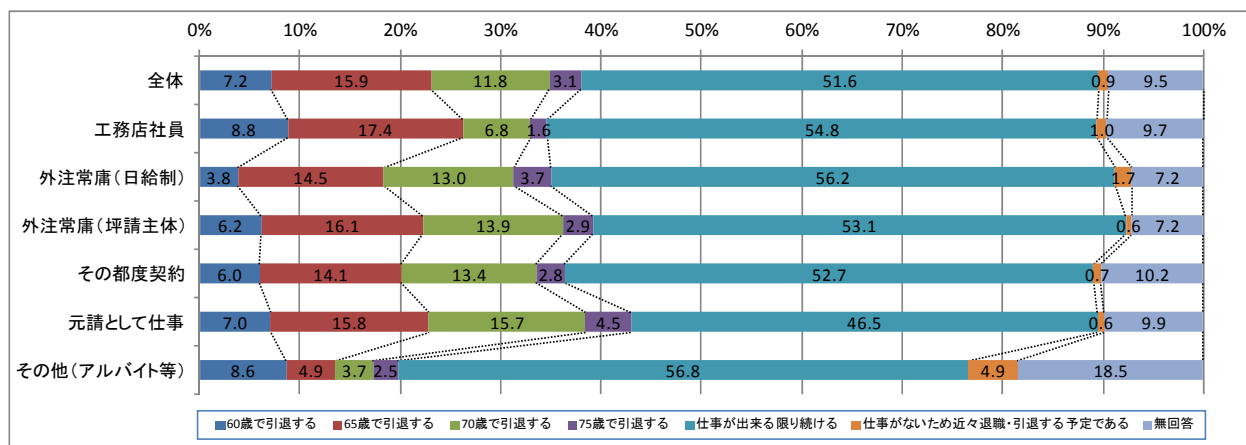


図 6.18 何歳まで仕事を続ける予定か（H25年度）

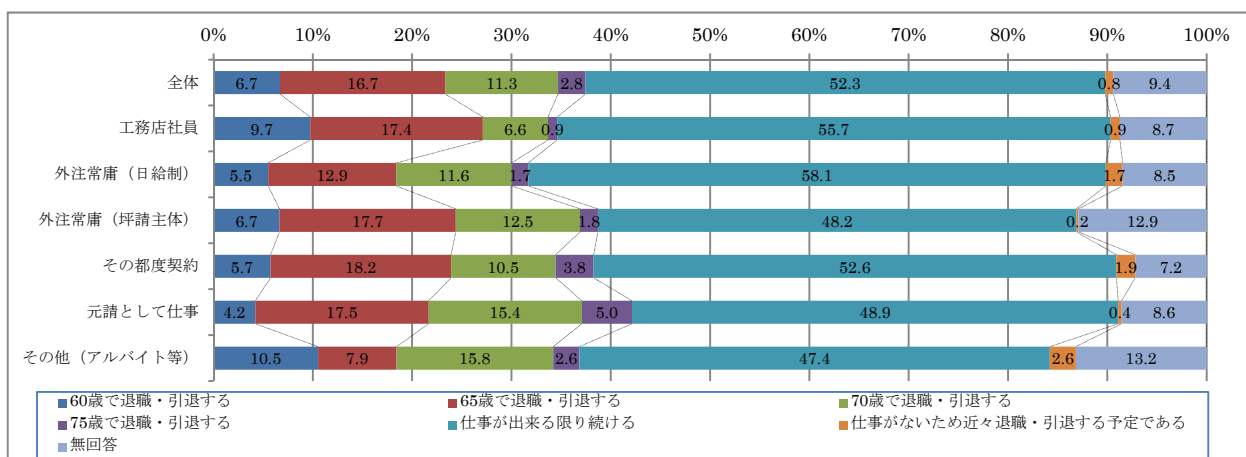


図 6.18 何歳まで仕事を続ける予定か（H24年度）

2.5.5 担い手育成について

2.5.5.1 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で17.8%。

「過去には育てた」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で17.9%。

「人材がいれば育てたい」の割合が最も高いのは「工務店社員」で37.8%。

「育てる予定はない」の割合が最も高いのは「外注常雇（日給制）」で43.0%。

Q18. 現在、担い手の育成を行っていますか

	合計	Q18. 現在、担い手の育成を行っていますか				
		現在育てている	過去には育てた	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	無回答
全体	5753	12.3	12.4	32.4	27.7	15.3
あなたの雇用形態						
工務店社員	1979	11.1	7.1	37.8	23.1	20.9
外注常雇(日給制)	600	4.0	8.0	29.5	43.0	15.5
外注常雇(坪請主体)	682	9.4	15.7	32.3	34.3	8.4
その都度契約	283	10.6	13.1	30.0	33.6	12.7
元請として仕事	1973	17.8	17.9	29.4	24.3	10.5
その他(アルバイト等)	81	6.2	7.4	22.2	25.9	38.3
無回答	155	9.0	12.9	22.6	29.7	25.8

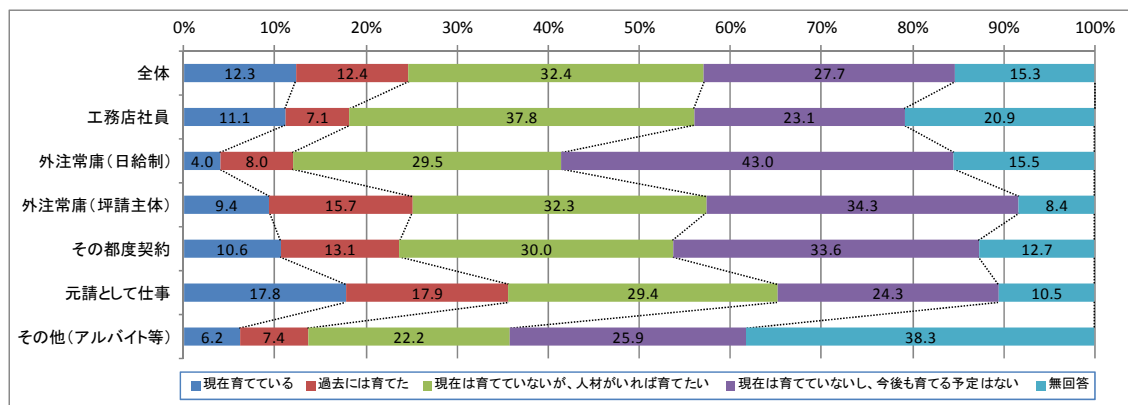


図 6.19 担い手の育成状況 (H25 年度)

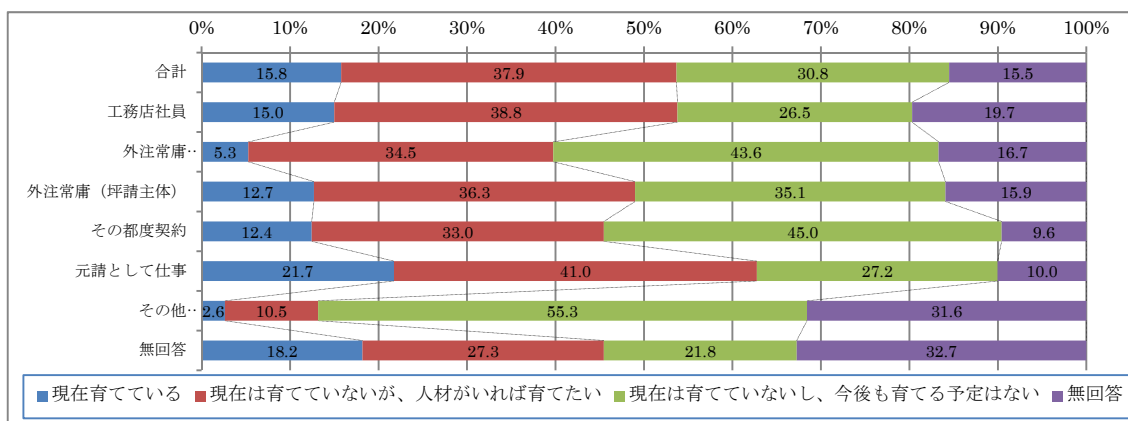


図 6.19# 担い手の育成状況 (H24 年度)

2.5.5.2 2.5.5.1 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

「正社員（職業訓練校）」の割合が最も高いのは「その他（アルバイト等）」で 36.4%。

「正社員（弟子として）」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で 66.2%。

「一人親方にあずける（職業訓練校）」の割合が最も高いのは「その都度契約」で 6.0%。

「一人親方にあずける（弟子として）」の割合が最も高いのは「外注常雇（日給制）」で 34.7%。

【Q18=1および2】

Q19. 育成期間の担い手の立場

	合計	Q19. 育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方等 にあずける (職業訓練校)	一人親方等 にあずける (弟子として)	無回答
全体	1419	12.4	60.1	3.3	15.5	8.7
あなたの雇用形態						
工務店社員	360	20.3	59.4	2.2	7.5	10.6
外注常雇(日給制)	72	5.6	40.3	5.6	34.7	13.9
外注常雇(坪請主体)	171	2.9	55.0	2.9	33.3	5.8
その都度契約	67	3.0	46.3	6.0	34.3	10.4
元請として仕事	704	11.6	66.2	3.6	11.4	7.2
その他(アルバイト等)	11	36.4	45.5	0.0	9.1	9.1
無回答	34	17.6	41.2	2.9	20.6	17.6

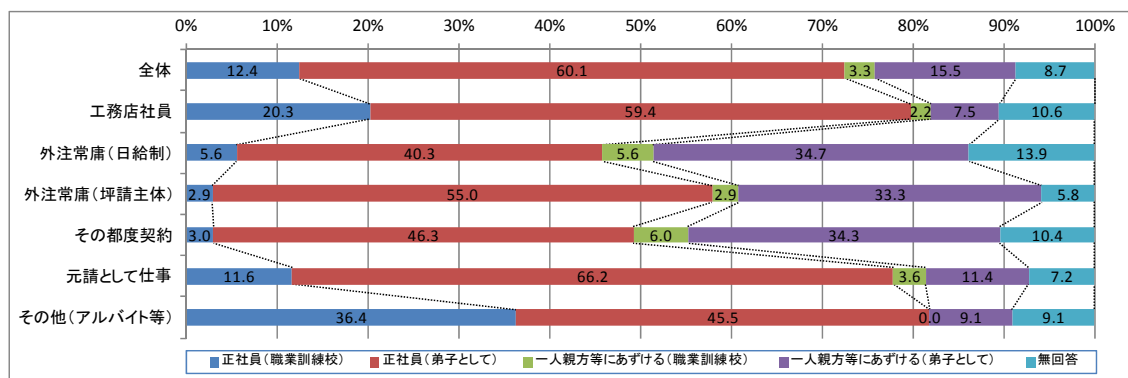


図 6.20 育成期間の担い手の立場 (H25 年度)

2.5.5.3 2.5.5.1 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

育成にかかる費用負担が「有る」と回答した割合が最も高いのは「その他（アルバイト等）」で36.4%、次いで「元請として仕事」で33.9%。

「無い」と回答した割合が最も高いのは「その他（アルバイト等）」で27.3%、次いで「外注常雇（日給制）」で26.4%。

【Q18=1および2】

Q20. 育成期間にかかる費用の負担を行っているか

	合計	Q20. 育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	無回答
全体	1419	28.8	15.6	55.6
あなたの雇用形態				
工務店社員	360	22.5	20.8	56.7
外注常雇(日給制)	72	18.1	26.4	55.6
外注常雇(坪請主体)	171	30.4	14.6	55.0
その都度契約	67	25.4	14.9	59.7
元請として仕事	704	33.9	12.5	53.6
その他(アルバイト等)	11	36.4	27.3	36.4
無回答	34	5.9	5.9	88.2

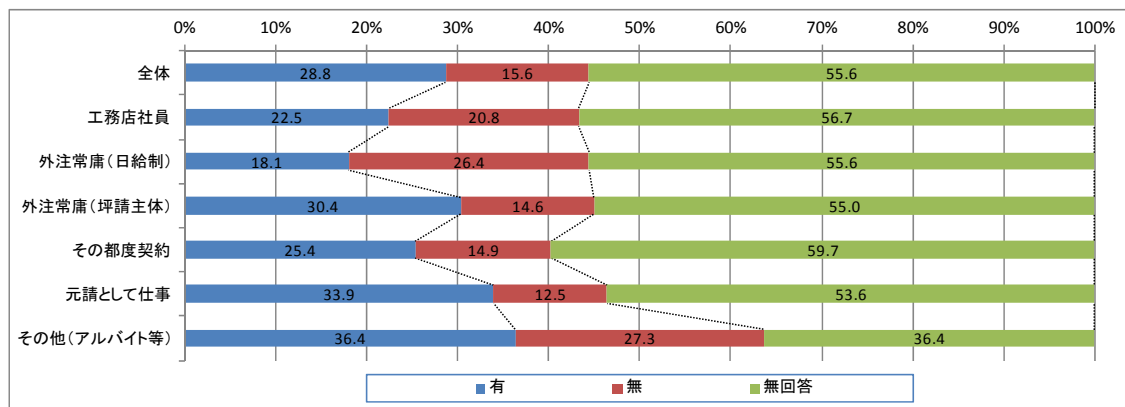


図 6.21 育成期間にかかる費用負担 (H25 年度)

2.5.5.4 2.5.5.1 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答
なぜ育てる予定はないのか。

「将来の保障ができないため」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で52.5%。

「人材がないため」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で26.5%。

「費用がかかるため」の割合が最も高いのは「外注常雇（坪請主体）」で34.2%。

【Q18=4】

Q21. なぜ育てる予定はないのですか(複数回答)

	合計	Q21. なぜ育てる予定はないのですか(複数回答)											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	無回答
全体	1591	7.5	9.4	20.3	2.7	23.1	12.8	41.2	13.7	10.1	18.3	3.6	11.6
あなたの雇用形態													
工務店社員	457	6.8	7.9	14.7	1.5	25.8	17.3	30.2	10.3	8.1	11.6	5.3	13.8
外注常雇(日給制)	258	6.2	6.6	14.3	1.9	19.4	10.5	42.2	15.9	9.7	16.7	5.0	14.3
外注常雇(坪請主体)	234	12.0	15.4	34.2	6.4	21.4	12.4	46.6	14.1	15.4	12.4	2.6	6.8
その都度契約	95	8.4	10.5	33.7	2.1	15.8	11.6	37.9	10.5	7.4	13.7	1.1	14.7
元請として仕事	480	7.1	8.5	20.4	2.5	26.5	11.0	52.5	15.4	9.8	29.8	2.5	8.3
その他(アルバイト等)	21	9.5	23.8	14.3	4.8	19.0	0.0	9.5	23.8	4.8	19.0	4.8	19.0
無回答	46	2.2	10.9	13.0	2.2	8.7	8.7	19.6	17.4	15.2	13.0	2.2	23.9

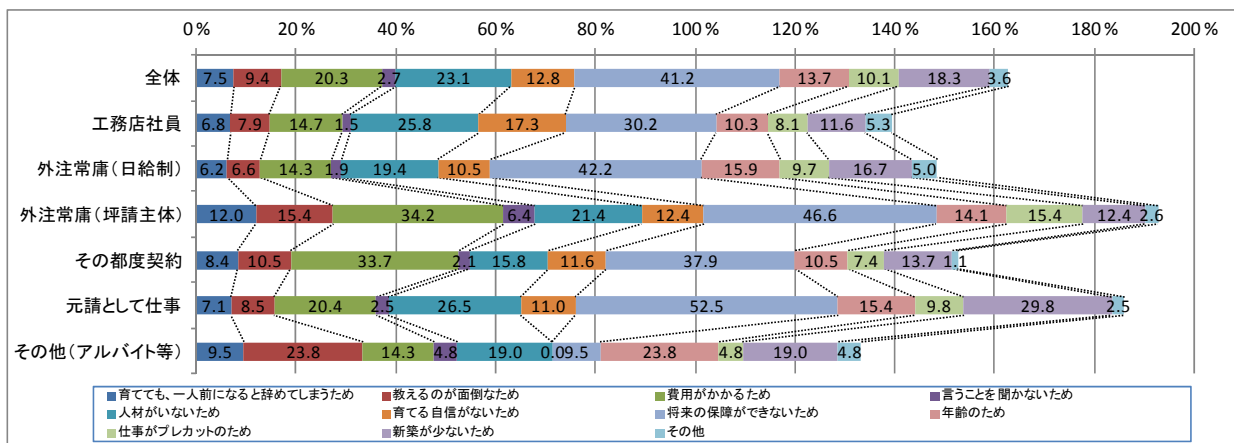


図 6.22 なぜ育てる予定はないのか (H25年度)

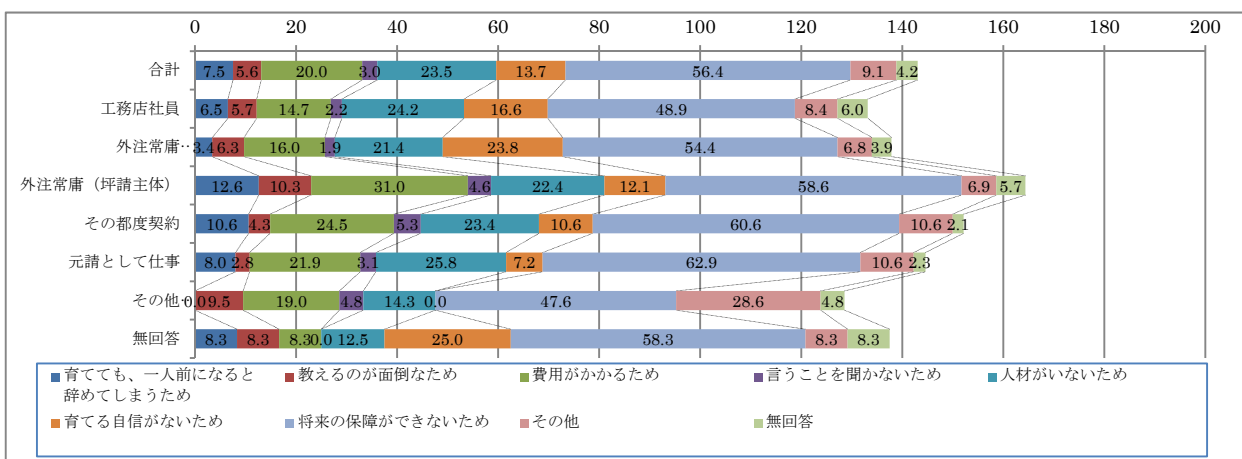


図 6.22# なぜ育てる予定はないのか (H24年度)

2.5 雇用形態別集計

2.5.5.5 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

「3万円/月」の割合が最も高いのは「工務店社員」で5.2%。

「5万円/月」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で18.1%。

「10万円/月」の割合が最も高いのは「外注序用（坪請主体）」で35.0%。

「15万円/月」の割合が最も高いのは「その都度契約」で24.7%。

Q22. 担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か

	合計	Q22. 担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か						
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	無回答	
全体	5753	4.5	14.6	28.9	17.1	3.3	31.7	
あなたの雇用形態	工務店社員	1979	5.2	14.5	24.7	13.7	3.7	38.3
	外注常雇(日給制)	600	2.8	11.0	25.8	19.0	4.3	37.0
	外注常雇(坪請主体)	682	4.0	11.0	35.0	23.2	2.3	24.5
	その都度契約	283	3.2	12.7	29.0	24.7	3.5	26.9
	元請として仕事	1973	4.6	18.1	33.4	17.3	2.7	23.9
	その他(アルバイト等)	81	3.7	11.1	11.1	14.8	6.2	53.1
	無回答	155	5.2	6.5	20.6	9.7	2.6	55.5

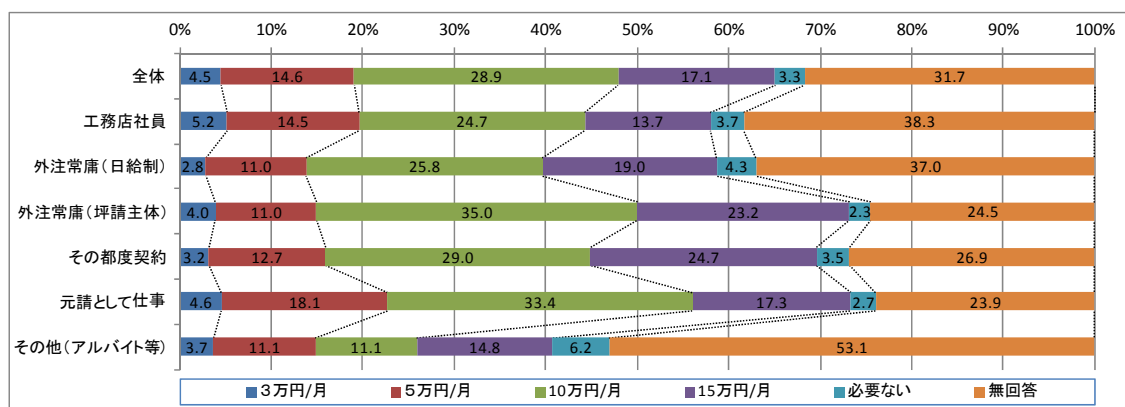


図 6.23 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H25 年度）

2.6 賃金別集計

2.6.1 職業等について

2.6.1.1 職種においてベテランだと思いませんか。

「ベテラン（「ややベテラン」を含む）」が最も高いのは「20,000～25,000円未満」の階級で52.9%。
 「中堅（「やや中堅」を含む）」が最も高いのは「10,000～15,000円未満」の階級で53.0%。
 「見習い」の割合が最も高いのは「8,000円未満」で53.8%だった。

Q5. あなたのベテラン度合いについて

	合計	Q5. あなたのベテラン度合いについて						
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	無回答	
全体	5753	19.0	21.6	33.5	12.8	9.6	3.5	
よそ の 賃 金 の お お	8,000円未満	312	8.7	8.7	13.8	11.9	53.8	3.2
	8,000～10,000円未満	415	7.0	10.6	24.6	25.1	29.2	3.6
	10,000～15,000円未満	2180	15.9	20.7	37.4	15.6	7.3	3.1
	15,000～20,000円未満	2066	24.0	26.7	34.9	8.5	2.3	3.5
	20,000～25,000円未満	456	28.1	24.8	34.2	8.3	1.8	2.9
	25,000円以上	100	30.0	17.0	30.0	12.0	8.0	3.0
	無回答	224	16.5	18.3	25.9	12.9	18.3	8.0

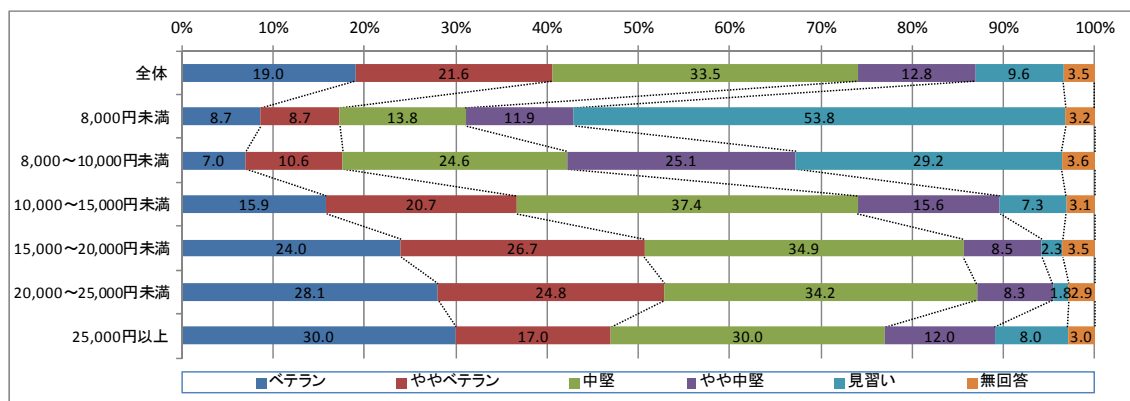


図 7.1 職種のベテラン度合 (H25 年度)

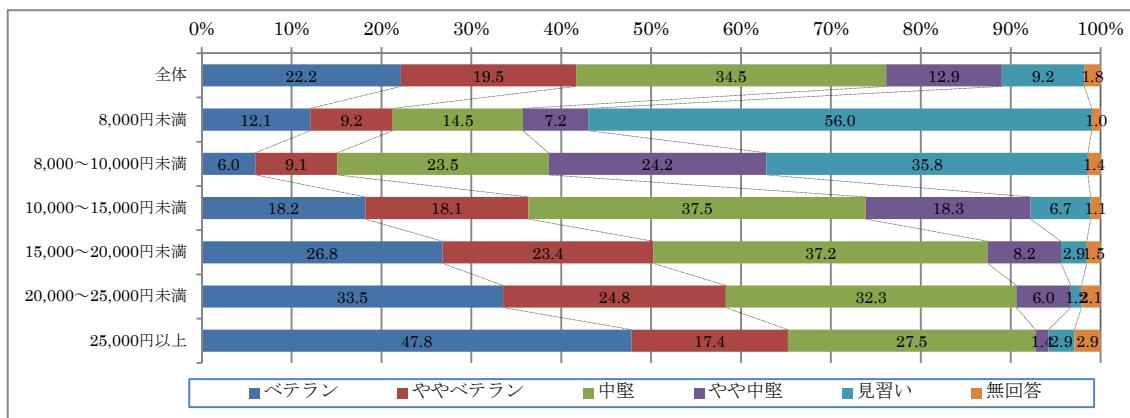


図 7.1# 職種のベテラン度合 (H24 年度)

2.6.2 資格や技能について

2.6.2.1 持っている資格

持っている資格の割合の合計が最も高かったのは「15,000~20,000円未満」の階級で312.0%。
 持っている資格の割合の合計が最も低かったのは「8,000円未満」の階級で、156.7%。

Q13. お持ちの資格(複数回答)

	合計	Q13. お持ちの資格(複数回答)														
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	1級建築大工技能士	2級建築大工技能士	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者
全体	5753	5.9	33.4	3.3	14.2	15.7	12.8	31.5	10.7	39.9	45.5	43.5	18.9	13.4	16.4	
よ1日あたりの賃金																
8,000円未満	312	2.9	14.1	1.3	1.0	7.7	4.8	14.4	1.9	5.1	1.6	23.7	22.4	35.6	15.4	4.8
8,000~10,000円未満	415	3.1	25.5	2.7	3.4	11.6	10.6	14.0	0.5	9.4	5.8	29.2	31.1	41.7	17.8	7.5
10,000~15,000円未満	2180	5.3	34.0	3.5	4.4	12.9	17.0	14.2	2.7	15.0	9.1	41.4	46.3	46.7	20.1	13.0
15,000~20,000円未満	2066	7.2	38.1	4.5	4.9	16.7	18.0	11.7	2.3	19.0	14.1	43.9	51.1	44.7	18.9	16.8
20,000~25,000円未満	456	8.8	32.5	3.9	6.1	17.5	14.9	12.3	1.8	15.4	15.8	39.9	50.2	34.4	16.0	12.7
25,000円以上	100	4.0	31.0	2.0	2.0	14.0	10.0	12.0	5.0	19.0	13.0	44.0	56.0	43.0	19.0	14.0
無回答	224	4.5	27.2	4.0	2.7	10.3	12.1	7.1	2.2	12.9	4.9	29.0	30.4	34.4	18.3	9.8

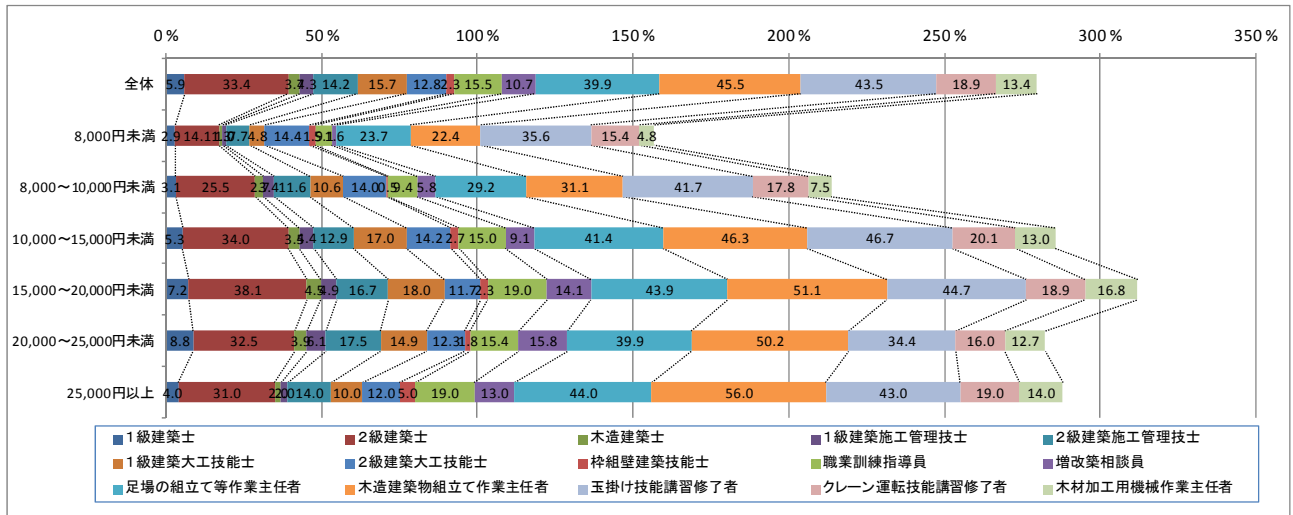


図 7.2 持っている資格 (H25 年度)

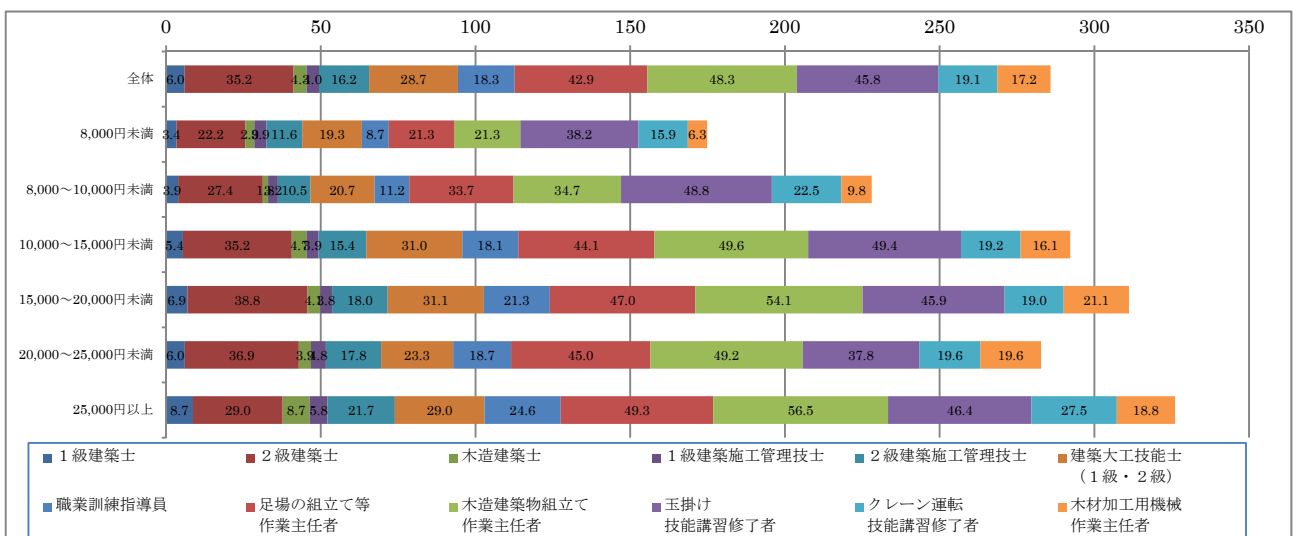


図 7.2# 持っている資格 (H24 年度)

2.6.2.2 **大工職のみ回答** 墨付けができますか。

墨付けができると回答した割合が最も高かったのは「15,000～20,000円未満」の階級で81.5%。
「いいえ」と回答した割合が最も高かったのは「8,000円未満」の階級で43.3%。

大工職限定

Q14①. 墨付けができますか

	合計	Q14①. 墨付けができますか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	5753	73.7	15.1	11.2	
よ そ の 日 あ た り の お お の お お	8,000円未満	312	43.9	43.3	12.8
	8,000～10,000円未満	415	57.6	31.6	10.8
	10,000～15,000円未満	2180	75.5	14.0	10.6
	15,000～20,000円未満	2066	81.5	9.6	9.0
	20,000～25,000円未満	456	78.7	11.2	10.1
	25,000円以上	100	69.0	13.0	18.0
	無回答	224	47.8	16.1	36.2

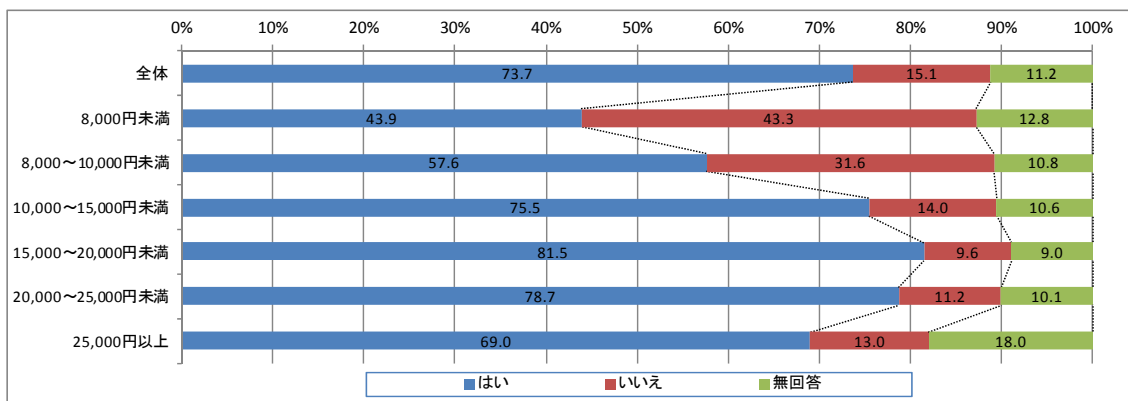


図 7.3 墨付け (H25年度)

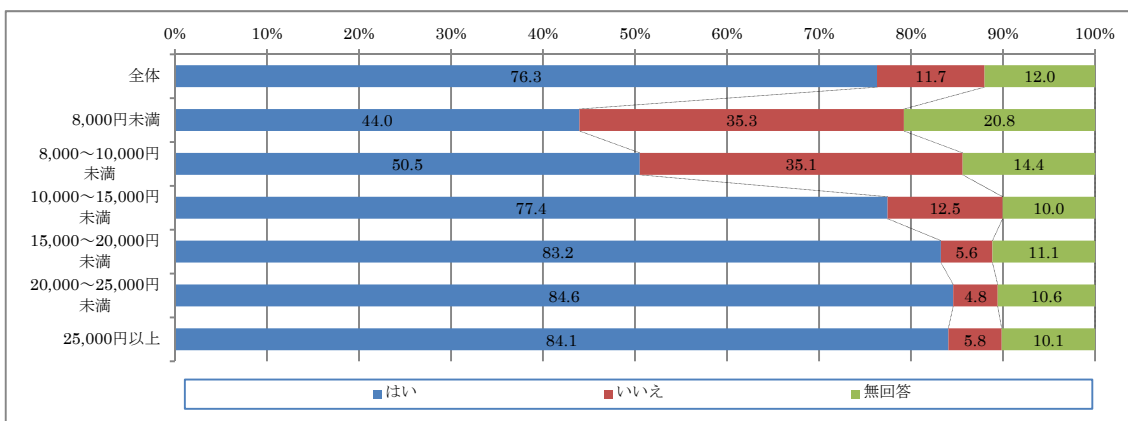


図 7.3# 墨付け (H24年度)

2.6.2.3 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した割合が最も高かったのは「10,000~15,000円未満」の階級で32.0%。また、割合が最も低かったのは「25,000円以上」の階級で22.0%だった。

「いいえ」と回答した割合が最も高かったのは、「15,000~20,000円未満」で63.0%、次いで「20,000~25,000円未満」で62.9%だった。

賃金階級が高くなるほど、新築の手刻み加工の仕事を行っていない。

大工職限定		Q14②. 新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
	合計	Q14②. 新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	5753	28.1	58.7	13.2	
よそ 1日 あたり の賃 金 のお お	8,000円未満	312	28.8	56.7	14.4
	8,000~10,000円未満	415	28.7	59.0	12.3
	10,000~15,000円未満	2180	32.0	55.7	12.3
	15,000~20,000円未満	2066	25.8	63.0	11.2
	20,000~25,000円未満	456	24.8	62.9	12.3
	25,000円以上	100	22.0	56.0	22.0
	無回答	224	20.5	41.5	37.9

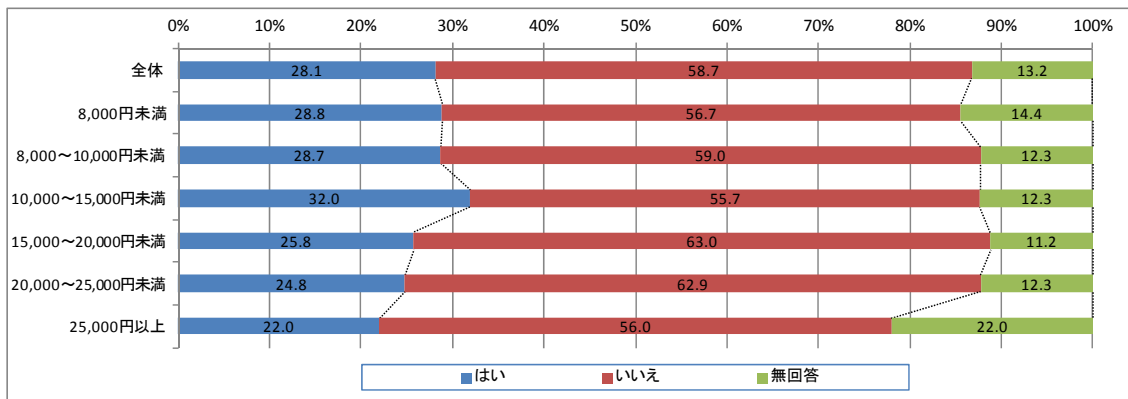


図 7.4 手刻み加工の仕事（新築）（H25年度）

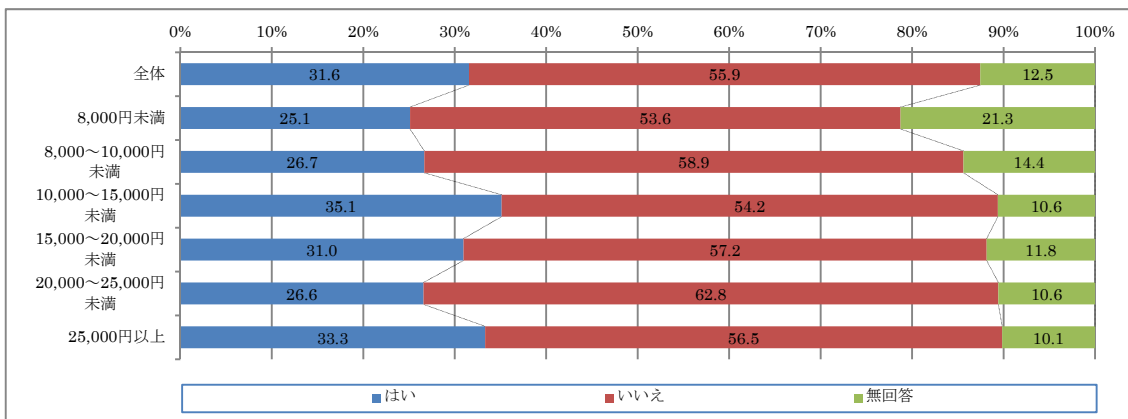


図 7.4# 手刻み加工の仕事（H24年度）

2.6.2.4 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（増改築）

増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した割合が最も高かったのは「10,000~15,000円未満」の階級で53.9%だった。また、割合が最も低かったのは「8,000円未満」の階級で36.5%、次いで「25,000円以上」の階級で45.0%だった。

「いいえ」と回答した割合が最も高かったのは、「8,000円未満」で49.7%、次いで「8,000~10,000円未満」で41.0%だった。

新築と同じく、賃金階級が高くなるほど手刻み加工の仕事をを行う割合が低くなる。また、賃金階級が10,000円未満では、見習いの立場が多いため増改築の仕事に携わる機会が元来少ないことが考えられる。

大工職限定

Q14③. 増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか

	合計	Q14③. 増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	5753	50.7	36.5	12.8	
よそ の 賃 金 の お お	8,000円未満	312	36.5	49.7	13.8
	8,000~10,000円未満	415	46.7	41.0	12.3
	10,000~15,000円未満	2180	53.9	33.8	12.3
	15,000~20,000円未満	2066	53.1	36.3	10.6
	20,000~25,000円未満	456	48.2	40.4	11.4
	25,000円以上	100	45.0	36.0	19.0
	無回答	224	31.7	29.9	38.4

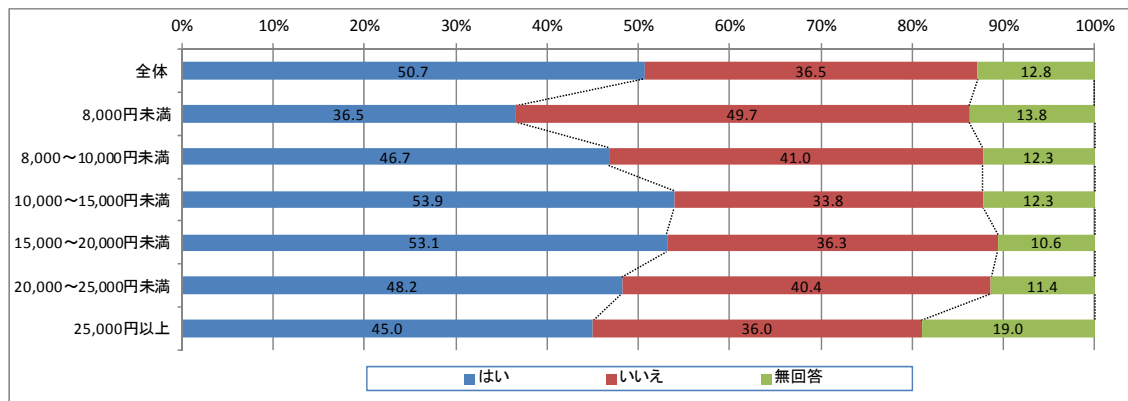


図 7.5 手刻み加工の仕事（増改築）（H25年度）

2.6.2.5 **大工職のみ回答** 和室造作ができますか。

和室造作ができると回答した割合は「15,000~20,000円未満」、「20,000~25,000円未満」の階級で最も高く、81.6%だった。

「いいえ」と回答した割合は「8,000円未満」の階級で最も高く、59.0%だった。

大工職限定		Q14④. 和室造作ができますか			
		合計	はい	いいえ	無回答
全体		5753	70.5	17.7	11.9
よ そ の 日 あ た り の お お の お お	8,000円未満	312	27.9	59.0	13.1
	8,000~10,000円未満	415	44.8	43.6	11.6
	10,000~15,000円未満	2180	71.5	17.2	11.4
	15,000~20,000円未満	2066	81.6	9.0	9.4
	20,000~25,000円未満	456	81.6	7.9	10.5
	25,000円以上	100	69.0	11.0	20.0
	無回答	224	42.9	19.6	37.5

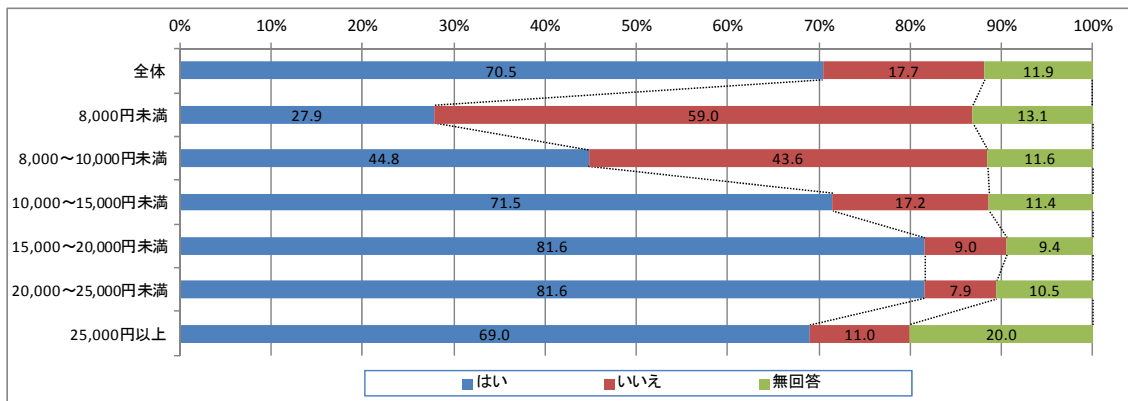


図 7.6 和室造作 (H25 年度)

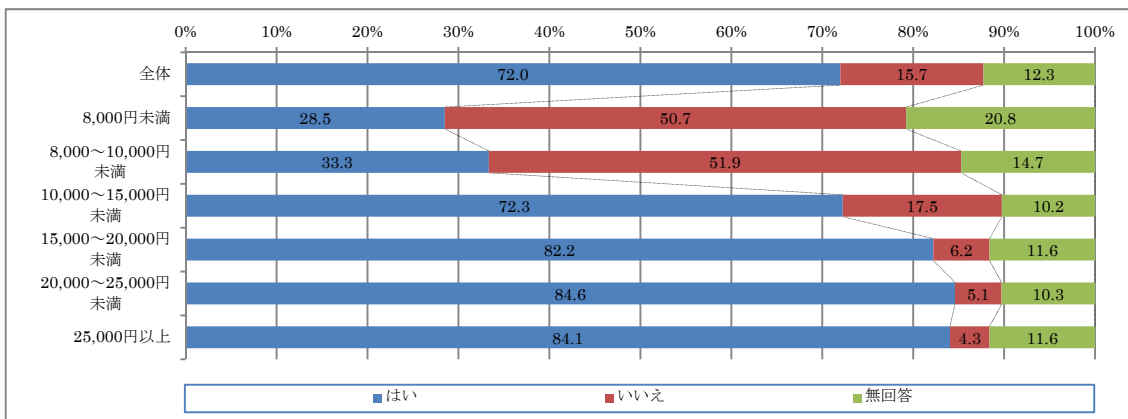


図 7.6# 和室造作 (H24 年度)

2.6.2.6 **大工職のみ回答** 2×4 工法の住宅の施工ができますか。

2×4 工法の住宅の施工ができると回答した割合が最も高かったのは「25,000 円以上」の階級で 40.0%だった。

賃金階級が高いほど、2×4 工法の住宅の施工ができる割合が高い比例関係がみられた。

大工職限定		Q14⑤. 2×4工法の住宅の施工ができますか			
		合計	はい	いいえ	無回答
全体		5753	27.6	59.0	13.4
よ そ の あ た り の お お	8,000円未満	312	14.7	69.2	16.0
	8,000～10,000円未満	415	20.5	67.0	12.5
	10,000～15,000円未満	2180	27.9	59.4	12.6
	15,000～20,000円未満	2066	29.8	59.3	10.9
	20,000～25,000円未満	456	34.0	53.3	12.7
	25,000円以上	100	40.0	37.0	23.0
	無回答	224	16.1	44.6	39.3

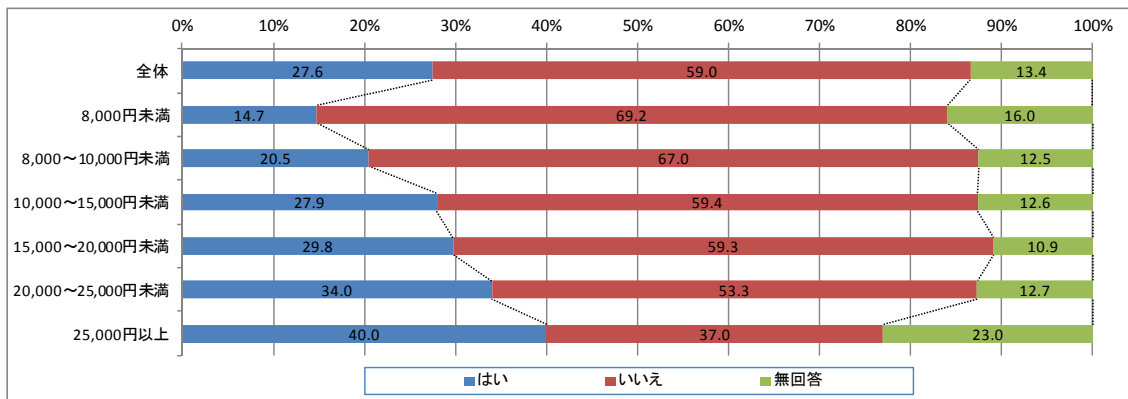


図 7.7 2×4 工法の住宅の施工 (H25 年度)

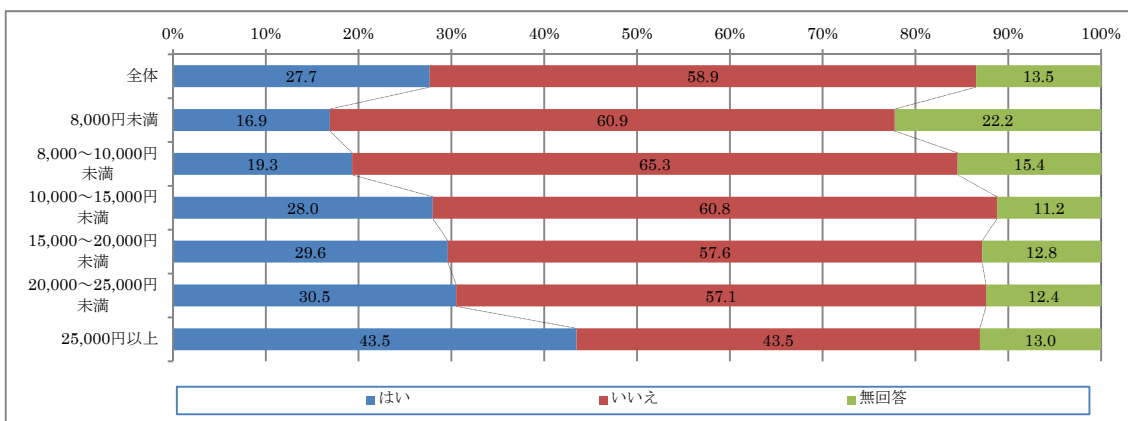


図 7.7# 2×4 工法の住宅の施工 (H24 年度)

2.6.3 仕事に対する満足度や今後の意向について

2.6.3.1 現在の仕事の内容について満足していますか。

仕事の内容について満足している割合が最も高かったのは「25,000円以上」で66.0%だった。満足していない割合が最も高かったのは「10,000~15,000円未満」で33.8%だった。

Q15. 現在の仕事の内容について満足度

		合計	Q15. 現在の仕事の内容について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
全体		5753	8.7	51.1	24.8	6.8	8.6
よ1 その あた り の お お	8,000円未満	312	13.1	48.4	20.8	8.3	9.3
	8,000~10,000円未満	415	7.7	53.0	24.3	8.4	6.5
	10,000~15,000円未満	2180	7.9	50.9	26.5	7.3	7.4
	15,000~20,000円未満	2066	8.2	52.6	25.8	6.0	7.5
	20,000~25,000円未満	456	10.5	51.8	23.5	6.6	7.7
	25,000円以上	100	18.0	48.0	15.0	7.0	12.0
	無回答	224	9.4	39.7	12.1	5.8	33.0

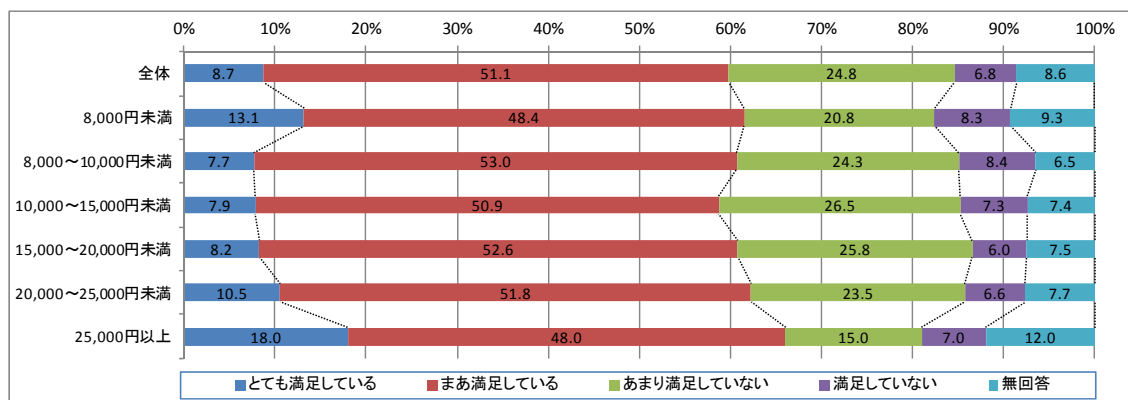


図 7.8 仕事の内容についての満足度 (H25 年度)

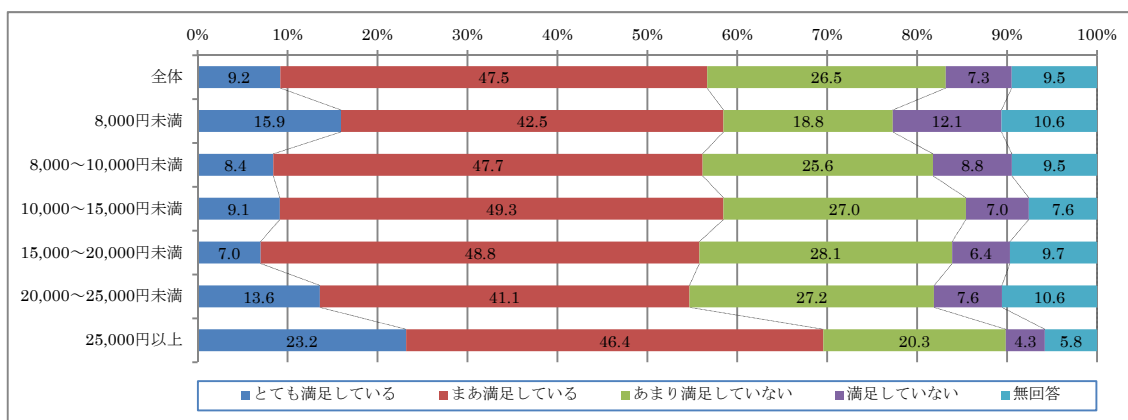


図 7.8# 仕事の内容についての満足度 (H24 年度)

2.6.3.2 現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

仕事で得られる収入等についての満足している割合が最も高かったのは「25,000円以上」の階級で50.0%。

満足していない割合が最も高かったのは「10,000～15,000円未満」で61.4%だった。

Q16. 現在の仕事で得られる収入等について満足度

		合計	Q16. 現在の仕事で得られる収入等について満足度				
			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
全体		5753	3.1	30.6	39.9	17.7	8.8
よ 1 そ の あ た り の お お	8,000円未満	312	6.4	29.2	29.5	26.0	9.0
	8,000～10,000円未満	415	3.9	31.3	37.6	20.5	6.7
	10,000～15,000円未満	2180	2.5	28.1	42.5	18.9	8.1
	15,000～20,000円未満	2066	2.4	31.4	43.2	15.6	7.4
	20,000～25,000円未満	456	3.7	37.1	35.5	15.6	8.1
	25,000円以上	100	11.0	39.0	21.0	17.0	12.0
	無回答	224	3.6	30.8	19.2	12.5	33.9

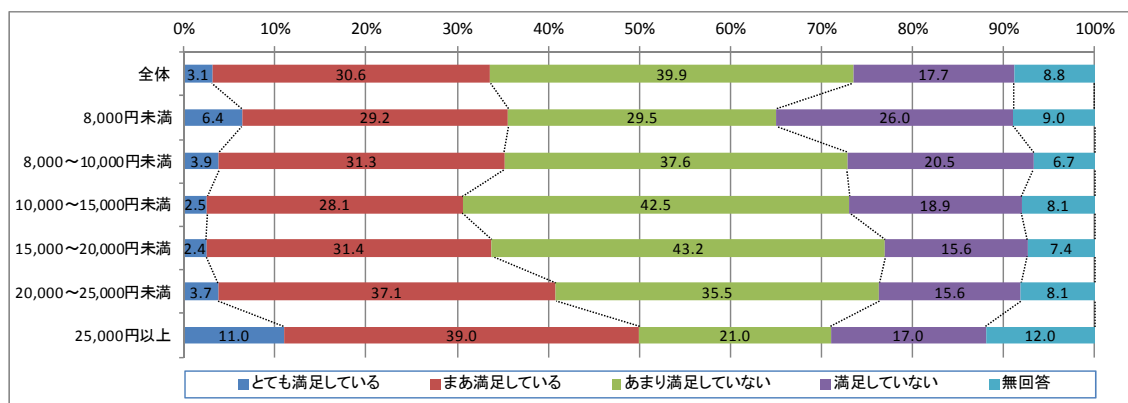


図 7.9 収入等についての満足度 (H25 年度)

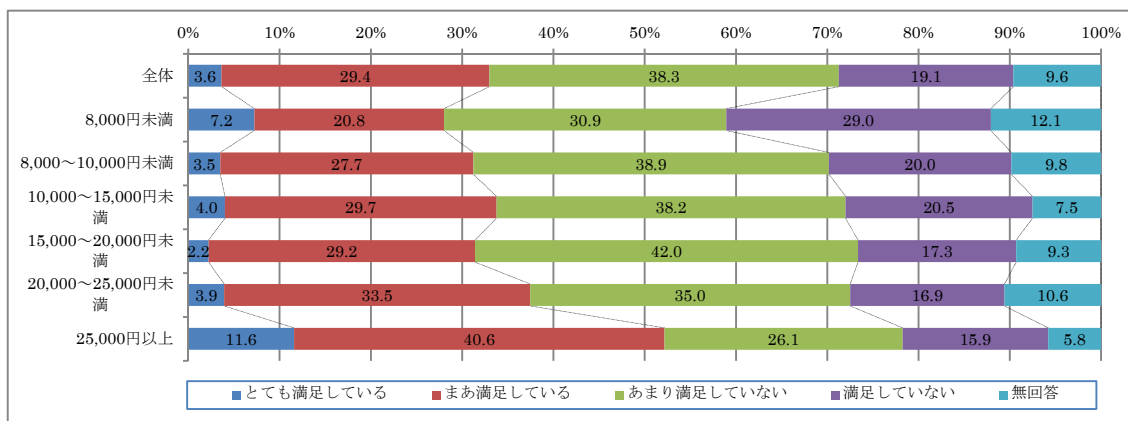


図 7.9# 収入等についての満足度 (H24 年度)

資料編

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

現場管理	657
設計	452
施工管理	196
現場監督	125
営業	122
設計事務所	94
管理	86
建築設計	83
建築士	52
現場監理	50
工務店	47
設計士	42
監督	26
建設会社	26
工務店経営	25
経営者	25
会社員	24
設計管理	23
販売店	18
学生	17
建設業	16
現場管理者	15
電工	14
設計、現場管理	14
設計、管理	13
施工管理者	13
管理者	13
設計監理	12
工事管理	12
設計・現場管理	11
設計・管理	11
会社役員	11
電気工事	10
設計、施工管理	10
現場代理人	10
営業、現場管理	9
建築施工管理	9
資材販売	8
住宅営業	8
建材販売	8
建材メーカー	8
設計、監理	7
現場員	7
総合建設業	6
施工管理、設計	6
団体職員	6
事務	6
販売	6
工務店代表	6
現場施工管理	6
建築設計事務所	6
建築資材販売	6
会社代表	6
現場管理、設計	6
現場	6
工務	5
塗装工	5
塗装	5
代表	5
工務店社員	5
自営	5

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

設計・監理	5
リフォーム	5
建築管理	5
建築会社	5
外装工	5
営業、施工管理	5
営業、設計	5
内装業	4
設計者	4
工務店営業	4
販売業	4
設計、施工	4
左官	4
現場カントク	4
元請	4
外壁工	4
現場代人	4
公務員	4
リフォーム営業	4
一級建築士	4
インテリアコーディネーター	4
設計、工事管理	3
地方公務員	3
事業主	3
住宅設計	3
塗装業	3
設計・施工管理	3
板金	3
木材業	3
断熱材メーカー	3
設計施工	3
設計、現場監理	3
設計施工管理	3
施工管理技士	3
施工	3
配管工	3
板金工	3
代表者	3
住宅会社	3
営業職	3
建設会社社員	3
サービス業	3
意匠設計	3
ゼネコン	3
現場カンリ	3
管理職	3
現場監理、設計	3
行政	2
住宅メーカー	2
積算	2
工事監理	2
雑工	2
住宅資材販売	2
設計・施工	2
設計、営業	2
設備	2
施工監理	2
施工会社社員	2
代理人	2
設計・現場管理	2
販売店営業	2

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

土木	2
断熱業	2
内装工	2
断熱工	2
設計等	2
問屋	2
職業訓練指導員	2
専門学生	2
工務店役員	2
工務店事務	2
不動産業	2
材木屋	2
木材資材販売	2
設計業務	2
設計工	2
役員	2
コーディネーター	2
プランナー	2
屋根工事業	2
サッシ工	2
建築全般	2
建材販売業	2
現場管理・設計	2
ハウスメーカー	2
建築工事	2
建設会社社長	2
企画、営業	2
建設会社設計	2
建築不動産 管理	2
建設業経営	2
屋根	2
管理技術者	2
屋根工事	2
建築会社経営	2
メーカー	2
営業・現場管理	2
金融	2
現場管理・営業	2
型枠大工	2
現場検査員	2
建材	2
現場主任	2
建材営業	2
建材商社	2
設備工事	1
土木建築左官	1
断熱施工業	1
住宅コンサルティング	1
防水士	1
工務店現場管理者	1
施工管理・設計	1
住宅メーカー 設計	1
工務店経営、現場監督	1
住宅メーカー、現場管理	1
事務たまに手伝い	1
住宅メーカー社員	1
設計従事者	1
住宅メンテナンス	1
施工管理・工事監理	1
工務所	1
断熱	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

工事整理	1
電気関連	1
住宅会社管理職	1
塗装業(現場管理)	1
住宅基礎	1
内装仕上、不動産業	1
住宅現場監督	1
評価員	1
住宅資材の営業	1
木材建材販売	1
工務店主	1
施工管理、施工	1
住宅資材販売店	1
工務店営業職	1
住宅受注・施工	1
多能工、現場管理	1
工務店設計	1
大工ではありません	1
住宅設計、施工	1
断熱工事	1
住宅設計施工	1
地方公務員(役場職員)	1
従業員	1
電気工事業	1
商社	1
電力企業	1
小売	1
土工	1
畳屋	1
工務店経営・設計	1
畳工	1
事務、管理見習い、アシスタント	1
職業訓練	1
販売店(内装大工)	1
工務店設計事務所代表取締役	1
自衛	1
図面、積算	1
木材	1
水道設備業	1
木材店営業	1
製材、木材販売	1
施工管理、現場管理	1
請負	1
設備現場管理、設計	1
請負業(工務店)	1
設備設計	1
石材業	1
全般	1
工務店 現場管理	1
総合建築業	1
積算(見積)マルチ創作士	1
代取	1
積算、営業	1
施工管理会社	1
積算管理	1
宅建・管業主任者、マン管理士	1
積算及び現場管理	1
工事業(断熱)	1
積算業務	1
断熱材メーカー 営業	1
工務店代表者	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

暖房設備販売業務	1
設計 工事監理	1
鉄筋工事	1
設計(建築)	1
電気工	1
設計(建築士)	1
電気店	1
設計(住宅)	1
電力関連	1
設計(設備)	1
塗装、防水	1
工務店 設計	1
資材流通営業	1
設計、営業、現場管理	1
土木・現場管理	1
設計、営業、施工管理	1
鳶工	1
設計、会社役員	1
事務(工務店)	1
設計、監督、施工	1
納品業者、小売	1
構造設計事務所	1
板金業	1
設計、監理、営業、積算	1
事務員	1
設計、監理、管理	1
販売店における業務	1
工務店(設計)(管理)	1
不動産会社営業管理職	1
設計、管理、現場管理	1
防蟻施工士	1
設計、鑑理	1
無職	1
設計、現場カンリ	1
木材・建材販売店・設計・現場監理	1
設計、現場監督	1
木材商	1
行政職員	1
主任技術者	1
行政庁	1
設計職	1
設計、工事	1
設計補助CAD	1
設計、工事監理	1
設備機々営業	1
工務店、建設	1
設備工施工者	1
設計、工務	1
設備工事業	1
工務店、建築部	1
設備配管工	1
設計、施工、管理	1
専門職	1
設計、施工監理	1
窓商品開発	1
材木店	1
総合建設業代表	1
設計、施工管理技士	1
総合職	1
設計、施工業者	1
多能工、設計、管理	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

設計、施工現場管理	1
代人	1
設計、施設管理	1
代表及び設計、管理	1
設計、積算、現場管理	1
施工管理外	1
設計、他	1
大工ではない	1
設計、不動産管理	1
工務店会社員	1
材料販売、営業(プレセット)	1
断熱、板金工	1
流通	1
施工業	1
作業主任者	1
施工図作成	1
設計・営業・管理	1
断熱施工会社	1
工務店・企画	1
断熱施工士	1
設計・監理・施工管理	1
施行管理	1
設計・管理	1
張付	1
雑用	1
電化機器メーカー	1
設計・管理・施工	1
電気供給業	1
設計・経理	1
資材営業	1
雑用係	1
電気設備施工管理	1
指定確認検査機関	1
電気店(リフォーム有)	1
設計・工務	1
電力関係	1
設計・工務店	1
電力関連事業営業	1
指導員	1
資材販売店	1
設計・施工管理	1
資材販売等	1
工務店・現場管理	1
塗装業、リフォーム業	1
設計・事務	1
塗装工業土木管理	1
設計・手続き	1
工務店経営、現場管理	1
設計アシスタント	1
土木管理	1
設計の現場管理	1
統括管理(建設会社)	1
設計営業	1
内外板金	1
設計屋	1
内装業(クロス)	1
施工、現場管理	1
内装仕上	1
設計監理、現場管理	1
熱環境設計、施工	1
施工・設計	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

事務、営業	1
設計管理、営業、現場監督	1
板金屋	1
設計管理・設計業務	1
事務、設計等	1
設計器	1
販売／現場管理	1
設計業	1
事務等	1
施工会社	1
販売店・営業	1
設計建築士	1
工務店現場員	1
設計現場管理	1
評価機関	1
工務店かんとく	1
不動産管理塗装	1
施工確認、現場監督	1
不動産業建設業	1
工務店の設計	1
防水工	1
施工監理業	1
民間確認検査機関	1
設計事務	1
木工所	1
工場業務	1
木材、資材販売	1
設計事務所、コンサルタント	1
社員	1
設計事務所、施工監野	1
社長	1
設計事務所主宰	1
木材店	1
設計自営	1
木材販売	1
施工管理、営業	1
住設販売	1
設計者、施工社	1
設計、不動産業	1
流通業	1
設計、木材業	1
設計・営業	1
建設事務所	1
検査・審査	1
建築工事建築士	1
営繕工事	1
現場管理(建設会社)	1
ビルザー役員	1
建築会社役員	1
屋根、外装	1
建築請負業	1
屋根、板金	1
現場監督員	1
屋根、壁施工業者	1
現場技術者	1
サッシ施工	1
建築一式、施工管理	1
プレカット	1
建築業(自営)	1
屋根工事店	1
建築士、施工監理士	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

屋根葺工	1
建築設計監理	1
卸し	1
サッシ、エクステリア	1
卸業	1
現場監理及設計	1
家具企画、施工	1
現場管理・設計	1
家方	1
建設業従業員	1
介護リフォーム	1
建築、営業、資材販売	1
IC	1
ダクト工	1
会社員(営業)	1
建築技術員	1
会社員(建築)	1
建築現場管理	1
会社員(現場監督)	1
建築行政	1
会社員(現場管理)	1
建築資材営業(プレカット)	1
会社員(工務店)	1
建築設計、工務店経営	1
プレカット、建材販売	1
建築土木	1
UB業者	1
元請現場管理	1
会社役員(工務店)	1
現場監とく	1
解体士	1
コンサルタント業	1
外装リフォーム・屋根工事	1
現場管監	1
プレカット業	1
営業など	1
プレカット工場	1
現場管理元大工	1
確認検査員	1
営業事務	1
確認検査機関	1
建設作業員	1
アフター管理	1
建設設計	1
瓦ぶき	1
建築コンサルタント	1
瓦屋根	1
建築営業	1
瓦工	1
建築会社社員	1
官公庁	1
一般財団法人審査・検査機関(県OB)	1
アルミサッシ業、リフォーム業	1
建築業	1
監督業務	1
建築業者	1
監理技師	1
CM	1
監理職	1
建築工務・現場管理	1
管工事業	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

建築士(2級)	1
いろいろ	1
建築施工	1
管理(現場)	1
営業(建材販売店)	1
管理、施工	1
クレーン	1
管理、設計・監理	1
建築設計・営業	1
管理監督	1
建築設備	1
ペンキ	1
営業、雑務	1
管理業	1
ハウズビルダー社員	1
シーリング工	1
営業、事務	1
よろず屋	1
営業、設計、管理	1
管理方	1
現場監督、営業	1
企画	1
現場監督兼設計	1
サッシメーカー	1
営業・販売	1
企画・開発	1
現場監理他	1
基礎工事	1
コンサルティング	1
基礎施工	1
現場管理、加工等	1
技士	1
営業管理	1
技術	1
現場管理その他	1
技術員	1
現場管理者の管理	1
技術営業	1
現場施工(社員)	1
技術校	1
営業他設備組立	1
技術者	1
建設業団体職員	1
給排水設備他全般	1
建設資材卸売	1
協会等団体	1
建設請負	1
教育機関	1
建設塗装	1
業界団体	1
建築、電気	1
金物	1
建築デザイン	1
リフォーム、営業	1
建築一般業	1
空調	1
建築営業兼現場管理	1
リフォームプランナー	1
デベロッパー	1
経営(工務店)、監理技術者	1
建築会社代表	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

経営・管理	1
建築外装	1
経営・現場管理	1
建築管理工務	1
経営と営業	1
建築技術職	1
インテリアプランナー	1
建築業(管理)	1
経理	1
建築業経営、木材販売	1
計画、現場監理	1
建築現場監督	1
計装	1
建築現場管理者	1
計装工	1
建築工事管理職	1
軽天	1
建築工事店	1
建管管理	1
建築工務業	1
建具	1
ガラス・建具工事業	1
建具工事業	1
建築士(設計)	1
ゼネコン営業	1
建築士・設計業務	1
建材、管理	1
ガラス工	1
建材メーカー開発職	1
建築資材卸業	1
建材の卸売業	1
建築事務所	1
工事、設計、営業	1
建築積算	1
CAD	1
建築設計(意匠)	1
リフォーム営業・施工管理	1
建築設計、施工管理	1
建材屋	1
建築設計・施工管理	1
建材卸	1
営業、セールスマン	1
建材卸し	1
CS	1
建材卸問屋	1
建築板金	1
リフォーム会社	1
検査	1
リフォーム監督	1
検査員	1
リフォーム業	1
元請会社	1
公務員(審査)	1
元大工、現場管理	1
サッシ	1
現場(監理)	1
リフォーム業(工務担当)	1
現場カンとく	1
建材問屋(サッシ・ガラス)	1
ハウスメーカー(現場管理)	1
建設	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

営業・工務	1
建設営業	1
現場監督、設計	1
おもにリフォーム工事の設計・工事管理	1
現場監督業	1
建設会社、現場管理	1
現場監督者	1
建設会社、工事管理	1
現場監理、管理	1
建設会社・設計・管理	1
現場監理・設計	1
建設会社員	1
現場監理者	1
建設会社監督	1
現場管	1
建設会社勤務	1
現場管督	1
リフォーム業経営(リフォーム専門)	1
現場管理 設計	1
リフォーム工事	1
現場管理、営業	1
建設会社職員	1
現場管理、監督	1
リフォーム設計	1
現場管理/ 営業	1
建設協同組合、現場管理	1
現場管理・現場作業	1
ガス配管業	1
営業及び全体管理	1
建設業(地方ゼネコン)	1
現場管理外注	1
建設業、管理者	1
サービス	1
建設業、経営	1
現場技術員(設備)	1
リフォーム請負	1
営業工務	1
建設業経営者	1
現場施工(断熱)	1
建設業事業主	1
ハウスメーカー・カインズホーム他	1
建設業自営	1
建設業者	1
現場担当	1
建材製造、サッシ販売	1
公務員(建築技師)	1
建材店	1
公務員OB(建築職)	1
建材店(営業)	1
エンジニア	1
建材メーカー 営業	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

10-3) 加入している健康保険について...(MA)

4. その他の健康保険

社会保険	357
協会健保	11
全国健康保険協会	9
共済	4
建築国保	2
健康保険	1
全国保険協会	1
全国健康保険兵庫支部	1
健康保険協会	1
政府社会保険	1
健保	1
全国健康保険	1
健保協会	1
全国土木建築保険	1
健保組合	1
中建国保	1
建設総合賠償保険	1
生命保険	1
青森県市町村職員協会組合	1
千葉土建	1
全国	1
厚生年金	1
協会	1
市町村、後期	1
全国社会保険協会	1
市町村共済	1
全国保健協会	1
日生協健康保険	1
第一生命	1
土建	1
共済組合	1
簡保	1
民間	1
民間保険	1
新潟県建設国保	1
愛知建連国民健康保険組合	1
政府	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(21) なぜ育てる予定はないのですか...(MA)

11. その他

大工ではない	3
大工ではないため	3
まだ見習いのため	3
自分が見習いのため	2
仕事が少ない	2
立場ではない	2
職人ではない	1
自分が一人前でないから	1
必要なし	1
まだ見習いの為	1
従業員の為	1
まだ不明	1
へりくつばかり言う	1
やりがいがない	1
自身が見習いの為	1
安定がない	1
自分の技術不足	1
育てられる側	1
職種の関係上	1
育てるだけの余裕がない	1
設計事務のため	1
育てる立場でない	1
特になし	1
営業です	1
時間	1
会社が決める	1
自分がまだ未熟の為	1
会社が人材募集しないため	1
すべてお金。すぐやめる	1
会社員として働いているため	1
社員	1
会社員の為	1
状態にない	1
会社全体でやっている	1
職人でないから	1
学生です	1
人がいない	1
学生のため	1
大工ではありません	1
機械化式になってきた	1
大工ではない為	1
技術を伝える仕事が少ない。	1
廃業	1
教えたらヤベーから	1
立場でない	1
教えるだけの技量がない	1
自信が見習いのため	1
見習いだし考えられない	1
自分がまだ担い手だから	1
見習いなので	1
自分が育てられているため	1
見習いのため	1
自分が見習	1
見習いの為	1
自分だけでいっぱい	1
現在見習い	1
自分自身が半人前のため	1
現時点で見習いの為、考えられない	1
住宅大手メーカーに対抗はできない。	1
現場管理だから	1
将来的に部下が入社する予定が考えられない	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(21) なぜ育てる予定はないのですか...(MA)

11. その他

個人経営で仕事が無い	1
職違い	1
個人事業主のため	1
職種外の為	1
後継者がいない	1
職人でない為	1
後継者に興味なし	1
新築がない	1
今の所必要がない	1
人にきょうみがない	1
仕事がない	1
大工でない為	1
仕事がない!	1
なし	1
仕事がない為	1
大工ではないので	1
仕事が少いため	1
弟子だから	1
すぐ辞めてしまう為	1
波があるし	1
1年で辞めるため	1
必要ない	1
1人でするのがいいので	1
本人に大工になる気持がない	1
子供が中卒するまで	1
サラリーマン	1
私自身が企業の営業職	1
仕事量が安定していない	1
仕事量が無い	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-6884	“担い手育成”とばかりとしすぎているのでは？やりたい事をするために集める情報の告知がたんじゅんかつ、ひんどを増せば、育成というより勝手に育つのでは？その場がある事を知らせよう
C-5735	「本人の気持ちを大切にしたい」それに応えたい。
C-5733	「ゆとり教育」の世代は辛いきつい、ですぐに辞めてしまいます。現場での単価も含めて、長期での育成はかなり厳しい状況だと思います。
C-9552	「大工育成塾」は素晴らしい制度ですが、少しカンペキすぎると思います。もっと普通の大工さんが育つよう、カリキュラムを簡単にしてもよい。あと、地場の訓練校や工務店向けの補助金制度は必
C-4643	・現状の仕事内容が、墨付け、キザミの建築物が少なく、ほとんどがプレカットになってきている。このままでは、伝統建築の技術を、若い世代におしえる機会もなくなっている。日本の建築技術は世界と比べても、すごい技術だと思うので、国をあげてこの技術を若い世代に伝えないといずれ、なくなると思います。今の段かいで補助金制度はありますが、もっと補助金の予算わくをとって補助金を使って、本物の木造軸組み工法、墨付け、キザミの技術を後世に伝えていかないといけないと思います。このままでは、宮大工と、プレカット大工(ハウスメーカー)、その間の大工(職人)が仕事がなく、廃業したり、生活の為にハウスメーカーのごとくにはしているのが現状です。もっと建築組合が本気になって国にうったえ、国の考え方を変えさせないといけないと思います。
C-3839	・公的補助を頂けるならば良い傾向です。・伝統的技術を身に付けて、生かせる仕事が増える事が希望です。
C-165	・育てる上で、途中でやめる恐れがある為とまどっている所がある。・全体的に職人になる人がいない。補助等対策が必要ではないか？
C-5809	・中小企業に対しての国のあり方、社会保険等の問題。・見習いでなく、社員としての入社意識が職人不足をまねくと思う。
C-6839	・若い人の中に3Kをきらう人が多い。・ホワイトからよりブルーカラーの人が多く出てほしい。
C-3958	※底年令者への情報提供、3年間の公的補助が必要であります。高齢者現状労務者では5年後は30%は減員心至である。
C-6931	1.3
C-3194	1.実務研修を増やして欲しい。2.建築現場見学。3.材料メーカーからの新商品紹介、制度案内、補
C-5865	1家にたいして、日がないので、ゆっくりおしえれない。
C-9144	1日の作業を4つに分け(8~10時、10~12時、13~15時、15~18時)その際、30分程度自分の作業時間が無くなる→1日当たり2hとすると15万円/日は補助があると助かる。
C-2088	2~3年補助があると個人の大工が育成を始めやすい。
C-2262	22に記入されている公的補助金等があれば良いです
C-1602	22の問いに対して、社会の情勢を知らずとも、今大工等になりたい若者に対して、どう考えるかが先行の上、決めた方がいいのでは？システム(教育)が出来ないのであれば、賃金を上げた方がいい
C-1083	3Kとされている建築に残る魅力は給料。高所得なら誰もやめない
B-273	5~10年後、どんどんいくせいで大変なことになります。
C-9731	OJTが最も効率的である。
C-7754	新しい人材・若い人材を育てていきたい思いは強くあるが、やはり人件費という面でネックとなります。その面での補助を強く要望します。
C-3144	新しい担い手となる人材がなく、この先不安を感じる
C-7712	アドバイスやアルバイトは使うのが毎日となると難しい。
C-7353	安定した仕事量が執拗であると共に、育成に必要な補助利点が不可欠である
C-765	いい場所、親方がいますか？いたら、おしえてください。子供がなりたいた言ってます。子供は、高校2年生です。
C-7618	家の上棟式の公開して家を造るものだと伝える。大工さんは良い職業だと現代の子に伝える。これから必要とされる職業だと思います。
C-10548	家を建てて、継続して使い住み続けることを若い人が望まなくなっているため、技術を持つ必要がなくなっている。プレカットなどプラモデルの家ばかりで施工技術者は、必要なくなっている。国の施策としても、金具使上を望んでいるように思う
C-1995	育成以前に人材が無し
C-7603	育成したいが、仕事が不安定な上に職人になるまでの育成して行く費用がづらい。
B-243	育成していくには、まだまだ自分の勉強が必要だと思う。
C-1633	育成する方に問題があり、今後努力したいと考えています。
C-6109	育成する側への補助金を付与してほしい。
C-4829	育成するにはかなりの時間の束縛が必要とされるのでその経費は、予想しなくてはならなくなって
C-2301	育成になる人に国、県から助成金など希望します
C-3658	育成には時間と費用がかかる。しかし、そんな余裕もない時代です。少しでも多くの公的補助があれば、いい職人も育つと思います。
C-7539	育成補助金が欲しい。
C-1080	育成をした事がないので、公的補助があるかわからないかわからない。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-1986	いずれ単価の値下がり又は各工程に対する工事の分業代、建築作業の簡略化により大工という職種は不用となる。技術を継承しても発揮する場のない状況では淘汰されていくのみで、であれば技を磨く時間は他の将来に廻すべき。
C-6876	以前大工塾からの依頼で最後の弟子になりましたが1年半ほど急に辞めて、それ以後は弟子を育てる気がなくなりました。それ以前は、3人1人前に育て、それぞれ頑張っています。
C-10561	一人前になったとき、もう少し賃金がもらえるようになれば、やる気が出ると思う
B-23	一人前になるには設計事務所でも3年間は掛かると思います。この期間は公的補助をお願いしたいものです。後継者育成の為に必要だと思えます。
C-7341	一人前になる迄に覚える事や時間がかかり、技能も他の職種よりも覚える事が多いと思うけれど、その割には一般的に日当が安いので将来の夢を見ると言えない。
C-89	一人前になるまでの時間は、本当に深い愛情が必要だと思えます。
C-4613	一人前になろう！とやる気のある人材が年々少なくなっている気がする。
C-501	一緒に仕事をしながら育成中
B-280	一般住宅の大工技能者の育成は急務。住宅の質を向上させるには、現場の職人さんのスキルUP
C-1660	今、組み建てて造作するだけの大工しか育たないと思う。そうすると大工の楽しみは少なくなりかわいそう。でも、現場はなくなる一方だから、しょうがないか？みんなで美しい家を建てたい…
C-5906	今現在、若手大工になろうとする者がいるのか？建築、特に大工は賃金が安い。弟子を取りたくてもなかなか自分の生活の安定、ましてや社員の給与を考えると難しい。でもこのままではいけない。早く弟子を取れる様仕事をがんばる。
C-7778	今現在においても職人不足が見受けられます。今後は更に不足するので訓練校につきましては新卒者の採用と育成費用の公的補助が十分に必要だと思えます。
B-219	今頃の子は、今頃の子はとみなさん言われます。以前はそれは育てる側がいかにかその子をやる気にするかだと思っていましたが、段々段々若い子の仕事に対する姿勢が悪化していつている。こっちサイドではどうにもできない様な子が多すぎる。
C-4819	今の現状が続くかぎり無理だと思う。
C-1642	今の現状では、担い手を育てたくても、費用などの問題が有り、むずかしい。22の問いのような補助等があれば、担い手育成をする方も増えると思えますが…
C-312	今の大工職の現状では、個人としては、とても難しい現状だと思えます。(金銭、工期など)
C-4587	今のままでは、大工職人が少なくなり、人手不足になると思えます。若い人を育てる事業所には、補助金も必用かと思えます。
C-5666	今の若手が担い手志望は考えていても、低賃金でやめてしまう。
C-208	今はほとんどがプレカットの為プラモデルの大きいものの様で技術などはあまり必要ではなく、担い手の育成に少し疑問がります。
B-201	今や学校や企業教育など大工の育成は急務であると思えます。
C-5282	いろいろ違った仕事をさせてあげたいが、ある仕事は、ほぼ同じで楽しみが少ない。
C-1543	色々と弊社経営は難しくなり、今限界にきました。育成は無理です。工場生産でのノックダウン式建
C-59	いわゆる3Kの職場なので、本気で一人前の職人を目指す若者でないと、勤まらない。特に収入面で魅力を増さないと、職人になろうとする若者は増えないと思う。今の日本は技術者に対する評価
C-1702	請負金額が安い為給料が払えないのが現状で補助があれば育てたい。
C-6405	請負単価の中で親方として担い手を育成していくのは困難(金銭的に)
C-7569	請負単価の見直しと現場の工期の見直しが必要ではないか。
C-7448	愛媛県にも大工育成学校があればいいと思う。
C-4947	大手、やホームセンターがリフォーム事業に出きている。個人の事業者は、予算など、の兼合がとりずらく、仕事が減るばかりだ。基準をもうけて、ほしい。
C-6152	大手ハウスメーカーに職人がたよりすぎて、これを意識改革しないと担い手育成はむりだと思いま
C-2068	教えるほど仕事が無い
C-6250	親が子にたして雇用保険を。1人親方が入れる雇用保険を。
C-3416	親方を探して弟子入りするのが一般的なのですが、3~6ヶ月ぐらい体験できるようなシステムがあり、複数の親方や他の職人と知り合う機会をとれるといいと思う
C-3091	会社組織にしていなくていろいろと資格費用の補助が受けられないのは疑問に思いますが？
C-4322	会社にして厚生年金にしてやりたい。
C-1295	各地域の建築、建設組合で、担い手の育成に対する、講習会などを年間を通して、1~3回ほど、必ず開いてほしい。そのような内容にして頂きたい。
C-7222	機械仕事が多いので手早い人、人の付き合いの出来る人でないと一人前にならない。
C-7710	技術以外に「人間性の確立」も必要な時代だが、プライベートでの接触も深めたい。それに必要となる資金を出しづらい。(余裕なし)→すぐ簡単に辞めてしまう。
C-3635	技術者(大工)になる人がいなくなるのは、安定性という点ではあまり良くないのでは、ないでしょうか？国からの養生費用補助金が必要だと思えます。
C-389	技術者を育てる国策がない！教育共ホワイトカラーを優遇する事だけで技術立国の日本をだめにする。基本的な対策が必要。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-6559	技術職の地位向上と、スキルアップが必要かと思う
C-7568	技術に対する免許制度が必要
C-275	技術を考えることよりも、指導者側がどうあるべきかの講習が必要
C-855	技術を習得しながら残業代も出ず生活も苦しい…という経験をしました。他業種へ仕事を変えた友人もいます。技術の低下は死亡事故(自殺や欠陥住宅)にもつながると思うので、補助などあれば
C-3951	技術を伝える(教える)方法が、昔と今では大きくかわっているが公的な補助が出来るならば一人親方にすみ付までマンツーマンで教えるのが一番だと思います。
C-3029	きちんと教える人材の確保(仕事のできる人)
C-8371	きつい、きたない、きけん保障がない、不ばらいにあう事も(工事代金)あり、若者からけいえんされ
C-6714	希望が無いので意見はない。
C-6077	希望者が少なく非常に危機感をもっている。
C-4348	義務教育から先生方の指導が重要と考える。
C-7266	求人材を増やしてほしい。
C-397	求人は出していますが、希望者がいない。材料は高騰していますが人件費はなかなかあがらないし、きつい事が原因では？
C-623	求人も不安定であり、希望者が少ない昨今、収入ばかり気にしている世代には担っていけるかどうか不安である
C-7722	給与を上げないと若い人は来てくれないと思います。会社員の(同年代)倍までとは言いませんが、必要と感じます。また、職場環境を良くしていきたいですね。
C-7494	給料がもっと上がれば良い。仕事の確保。
C-3646	教育機関・訓練校との連携が重要。賃金を底上げするための女性精度。
C-7418	業界全体の賃金のベースアップが必要。
C-3830	業会として真剣に考える事と、収入をあげ、魅力ある仕事にしない限り若手は増えない
C-2107	今日の建設業界ではむずかしいr。
C-1737	金銀が安い。労働時間が長い。休日が少ないので育てられない。
B-316	近年、手刻み仕事の受注が少ないため、担い手育成に無理が生じていると思いますが(プレカット時代の大工はしたくないのだが)各工務店さんには頑張ってほしいです。自社の担い手も5年手刻み仕事していましたが、今独立でプレカットの仕事を。
C-3351	勤務している会社が数年に2.3人の職業訓練校卒の正社員を採用している
C-7562	国、県、市、町、全ての公的機関がもう少し若い大工さんの事を考えてくれれば、若い大工さんが育って行くかも。
C-3520	国がゆとり教育をやめない限り、担い手育成はムリ
C-5821	国からのしえんがないと、個人の工務店では育てることはむずかしい。1日もはやいえんじょをお願い
C-3190	国からの補助が必要。
C-7731	国の方も施工基準も大事だから全ての職人の育成にも力を入れてもらいたい。
C-2329	組合などを通して、訓練校卒業生などの、校名、人数などを公表してほしい！
C-1189	車の免許は必要条件
C-6652	訓練校、工業高校の授業を充実してほしい
C-7691	訓練校の校長をしているが、弟子達がわがなって辛抱しきれない。何かすぐ嫌な事があればすぐ辞める。本人もだが、育てた親が全くしかる事をしておらず、こらえる事をしつけていない。日本の
C-4768	訓練中という、本人の自カクにかけている人が多い。
C-9977	ケガ、自動車事故。
C-8232	ケガする事と小さいケガしかし、大きいケガの時が問題です。
C-7486	結局、真のやる気次第だと思うので、やる気のある人にはほとんど教えて行きたいと思う。
C-4429	県からも担い手育成を推進して欲しい。
C-3179	現在大工職人になりたい若者が大変少ないのが現状です。一世代前の不良少年(ガッツがある若者)も少なくなり、外業より内業に進む人が増えてきているのが現在の状況です。
C-4078	現在の受けお金がかくでは育成する事は出来ない
C-3916	現在の環境では、(仕事の将来性・賃金)人材を育てるのは、非常に厳しい。大変な仕事なのに、評価が低すぎる
C-2713	現在の職人の人口・社会保障を上げない限り、新しい担い手は出てこない
C-1684	現在のような仕事(プレハブ、箱)を建てるのなら技術を教える必要は無いと思う。だれでもできるの
C-460	現在は、見習いとして行う人がいない。
B-116	建築が業として魅力がある形にしていけないと担い手になろうとする若い人が出ないため、様々な情報発信や教育とのコラボレーション等が必要になると思う。
C-6432	建築関係はネットワークがなく、弟子をとり仕事がある時はネットワークがあれば、いろいろな形で仕事をさせてあげる事が出来ると思います。
C-4785	建築業(建設業)をもっと等しみややすくする為にもっとメディア、行政プレス等でアピールして人材確保を企業、行政一体で考えていきた。
C-7253	建築業界全体が週休二日、祝日休みでも今の年収ぐらいキープ出来れば可能かも

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-4358	建築業界になかなか若い人達が入って来ない ハウスメーカー等の単純な作業だけで後に大工技術者がいなくなっていくのではないかと心配
C-3682	建築産業のイメージアップが必要だと思います。
C-6371	建築に関連する職人が減少しているので、造る喜び魅力で職人を増やしてほしい。
C-4248	建築の仕事はカッコいいとおもわせる、しかけが必要。(あまちゃんのようなドラマがあるとあまさんが増えたような)
C-6865	現場で親せつ丁寧におしえること。なぜそうなるか理由を話して理解してもらい。怒ってはいけません。大切に育てること。大工仕事が決して悪くない職であることを良く話してやる。大工間の話し合い
C-2794	現場で戦力になるまで5年、半人前で働けるようになるまで1年、怪我せずに現場に慣れるまで3ヶ月とすれば、3ヶ月まで雇うだけ損だが、今の子達は果たして3ヶ月我慢して働き続けられるだろう
C-3364	現場の若年層の人員不足はかなり深刻な問題になっているので、将来のために若い人材の育成は必要不可欠だと思う。
C-3452	現場リーダーにおいては省エネなど、数学・科学の知識が必要であり、給与ベースを見直し、それなりの人材の受け入れ体制が今後は重要
B-59	小泉構造改革以来ずう〜と道半端で、これまでの社会構造が壊れたままである。建築においても次世代の職域がどう変わるか、大工からフレーマーになればいいのか見通せない。結果、何の仕事に就けば良いのかわからない。
C-6955	工業高校、職業訓練校等と連絡し、学生のうちから現場の見学などの実習を行い、大工職に興味をもてる機会を作る。
C-5533	工事全体で育成できる。予算に余裕がないのと仕事がずっと続くとも思えない。
C-6197	工事内容、工事現場の状況、安全作業の仕方等の教育ビデオ又は案内ビデオ、もしくはそういった機関があるといい。
C-3698	公的な育成機関の充実が必要
B-241	公的な助成制度よりも育てる側の工務店の体質強化を計らないと、職人を育てる様な長期の視点に立つ事は難しいでしょう。地域産木材の使用についても同様なのですが、地域の工務店や大工さん、そのものを育成しないと未来はありません。
C-1950	公的補助があれば今すぐにでも育成したい。
C-3674	公的補助がもらえるなら、もっとアピール、周知させてほしい
C-3406	公的補助金がない
C-1639	公的補助年数？5~7年 至急に必要では？
C-6888	公的補助より受注次第！
C-6562	公的補助を悪用する団体もいると思う。
C-5799	広報活動や高校等に訓練校への体験実習を積極的に進める。大工への興味をもたせるしかけがもっと必要だと思う。
C-2222	工務店、個人、ハウスメーカーが協力して、学生などを対象にメリットだけではなくデメリットもしっかりと教える講義などひらく。
C-7795	工務店と職人が協力してでないといろんな面で難しいと思う。
C-2512	工務店に公的補助を適正に豊富に与え、賃金も魅力ある職業にしないとなかなか大工は増えないと思います。
B-80	国土交通省の助成事業を使った担い手育成事業の事務局を昨年担当したが、現在、本県の特殊事情もあり、各工務店が若手の職人を研修や実技指導にあまり参加させていただけなかった。雇用者の意識改革や、参加しやすい環境づくりが必要と感じます。
B-176	個人が育てていくのが大変な時代。ノウハウの蓄積は経験が出来なくてはならない。ほかの業界も同じ悩みをかかえており、国全体で取り組む課題である。
C-5971	国家プロジェクト大工育成塾のような養成学校などふやしてほしい
B-255	子供に仕事をついでほしくないと言う職人がほとんどで、仕事の魅力を発信していかないと技術がすたれてしまう。
C-10312	このアンケートをみて安心しましたが、政府も理解している通り、若い職人さんはほぼいなくなり、団塊の世代も技術を継承したくてもほぼ若手は、いない為、賃金を上げるなり、建設業全体の魅力を出すなり工夫が必要だと思います。
C-6131	この業界で安心して生活出来る水準の単価が必要
C-4738	この仕事も”腕”というより、いかに機械をつつかえるかになってしまったので、腕を磨くという時代ではなくなってしまい、大工の存在意義が低くなったように感じられる
C-7699	このままで行くと建設業界は機械だけで建てていく時代になってしまう。技術者の育成が急務！
C-9167	この先どんどん職人さん(大工さん)が少なくなっていくので育成や公的補助もそうですが、現場環境や賃金改善が出来るといいです。
C-2771	これから大工になる人は可哀想になる気がします。
C-7039	これからは造作大工は必要ないのではないかと？われわれ世代で終わりです。あとはハウスメーカーあるのみ。和室造作できるか？←そんなのいらない。手刻みできるか？←そんなの必要ない。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-1069	今回の講習のようにボトムアップとなるような、技術の啓蒙を図ることにより若い層のモチベーションもあがるのではないのでしょうか。
C-2594	今後機械化、工業化等により現場での省略化が進むので女性の進出も視野に検討したい
C-860	今後建築大工他職人がいなくなる事を大変懸念しています。
C-1879	今後の建築大工の数や、技術力を考えると不安になる。このままではマズイ！でもどうしたら良い
C-3549	今後の人手(職人)不足が心配です。公的補助が必要かと。
C-3645	今後も建築士会をはじめみなさまのご指導よろしくおねがいします。
C-7554	最近の子は仕事が続かずにやめてしまう。
C-2888	最近では電動工具が主流となり(また、そうでないと仕事が進まない)手で作ることが少なく仕事に面白みがない。
C-4812	最低1年間ぐらいはがまんをして、仕事をおぼえることを考えてほしい。できない人間に金ははらえ
C-3133	在来工法が必要な物件が少なく、伝統技術を伝える場がないため、育成を考えてしまう
C-5225	在来工法のうち土壁小まい技術者は市内ではないが、隣市(西海などでも)継承者がまだ10人近くいる。また宮大工の技術をもった人もいますので、そのような技術資源を、ビデオや声などで収集しデータベース化するなど(地域資源)
C-6916	資格を取ってもそれが収入に活かされるような制度を国が作り上げないと育成は不可能だと思う。
C-1406	時間がかかる事を理解し、勉強と、経験を積ませる。出来る様になるとしている事を理解し、しっばいさせて多くを学ばせる。
C-6538	自己責任
C-3290	仕事がこの先減らなければもっと担いを育成したい。すべては景気によると思います。
C-4447	仕事が常事ある保障がなく自分の将来さえ不安がある
C-2656	仕事ができないうちからの給料を払う事が難しいので、補助していただけたらありがたいと思いま
C-5623	仕事がゆとりを持って出来る様でありたい。
C-2399	仕事中育成期間がもらえない
C-6066	仕事としての単価が昔より低くなりすぎているので、なかなかそこまで手が回らないのが現状です
C-2205	仕事に対して愛着を持って施工するよう育成するのは、時間がかかる。
C-5987	仕事に対しての賃金の低さ、将来性等を少しは向上させる。
C-3832	仕事の安定性、一年通して平均して仕事があること。
C-2934	仕事の安定と給料の安定
C-954	仕事の有無、収入、質
C-1961	仕事の工程におわれて、そんな余裕が無いのが実情です
C-342	仕事の将来の見通しがないので現実的に考えられない。(自営、元請)
C-7549	仕事のできない見習いに希望通りの金額を払うのは無理。
C-6615	仕事の量が増えなければ担い手は育成できない
C-3851	仕事も安定していないと出来ない
C-1801	仕事量、物件数の増加など
C-5505	仕事量等にむらがあると思うのでなかなか難しい。収入も安定しないので若者がなかなか育たな
C-3531	自社大工がいない会社でも発注先大工さんに、育成してもらい補助制度があると良い。
C-2619	次世代が大工職をより良い環境で育つ事ができるような形にして欲しい。技術職の地位が下がりつつあるようですので。
C-7290	時代の変化
C-7627	下清では日々工期と手間代におわれる。元消化するには様々なハードルが多い。もっと未来を考えられる業界になれば、物を造るのは楽しい仕事のはずなのに残念だ。
C-621	地場の大工が育てられるほどの時間(予算がない為)ない、また、メーカーでアゴで使われるわりに覚える事が多く、収入にみあっていない
C-553	自分の技術向上にもっと意欲的になってもらえるには…いろいろ研究が必要
C-6317	自分の若い頃と比較するような育てかたはダメ。
C-2526	社会人なのだから自らやらねば技術は身に付かない
C-2718	社会風潮がホワイトカラー指向に偏重しているためこの震災復興の最中でもなり手がいない。
B-293	社会保険が完備されていない業界に人は来ないと思います。
C-4928	収入等が上昇すれば、考えたい
C-7409	収入等の確保が難しい。長続きしない。
C-3785	受注金額の中で人件費・施工費の単価が下がり、会社に余裕がない。
C-6121	小学校、中学校で木に対する教育や体験をもっと行うべきです。
B-122	常識がわかる人間が少なすぎる。
C-7500	将来に不安があるので、保証が出来ない。
C-2059	将来の独立とか、先のやりがいも伝え、アドバイスする事が必要と思う。
C-7187	将来の保障が出来ない
C-381	職業訓練校、保険加入などの助成金を増して、未来の育成に努めてほしい。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-2294	職業訓練で大工の技術をおしえて、尚かつ工務店などをお願いして現場を1ヶ月~2ヶ月ぐらい実習体験をさせること。
C-6306	職業的な魅力が失われた。仕事量が増えているのに対し手間代の据え置になっている(従来型の円/m ² (坪)のままなので)
C-6898	職人がいなくなって大手メーカーetcがこまればいいと思っています。
C-7431	職人が職人ではなくサラリーマン化した。
C-7590	職人が魅力のある仕事のイメージアップを国として実施してほしい
C-1285	職人として一人前になる弟子の時点で、辞めてしまう。職人に憧れる人は多いが、弟子という期間を軽視している。
C-7047	職人になるための学校の数が少ない。専門知識がない人が多い。
C-4201	職人の社会的な地位をもっと上げてもらいたい。仕事量からすれば年収が少ない。
C-5013	職人は現場では、営業でもあるという認識の値付
C-2368	女性にも又年齢がいった者でも受け入れてくれる場が欲しい
C-1627	除染関係の仕事の方が年の割に月給が高いのでガマンして覚えがたいのではないか。このへんをどうにかしないと…。
C-2054	人材が少ない
C-1593	人材しい
C-3560	震災で人材の不足が目立つが技術が不足している業種が目につく。自社も含めて人材育成に力を入れていきたいと思う。
C-7850	人材不足もあるが仕事不足の不安、自分の年齢の不安も。
C-3214	新築と違い、リフォーム・増改築となると、解体工事もある大工の作業のひとつとして行うので、担い手は続かない事が多い
C-4792	すぐあきらめない。
C-9130	すぐ来てもやめてしまうのでこまる。
C-4064	少し仕事ができれば工務店は人がいないのですぐプロとしてあるかってしまう。仕事をこなすため
C-7435	素直に聞く耳をもたない
C-5091	墨付け、手加工の現場が減っているのに対し、担い手に教えていくタイミングと時間があまりない。予算とのかね合いもあり難しい。
C-4252	墨付けが出来る大工さんが少なくなっています(プレカットの為)、左官も少い。基本を教える教育が必要だと思います。
C-7493	施工方法がマニュアル化しており、仕事に奥深さや面白みが無いので若い人が育たないと感じて
C-5541	施工方法を昔にもどす
B-109	設計者(事務所)にも公的補助を!!
B-1	設計料に対して責任が重い。
C-4446	全体的に賃金の見直しがない限り、大工のみならず職人不足が今後加速していくと思う。
C-491	早急に大工の見習いをふやさないと、将来、家を建てる人がいなくなる。賃金UPさせてみりよくをつ
C-7874	そこまで仕事量がない
C-3941	育てがいが無い。工法が変わり技術を必要とする部分が少なくなったから。
C-7866	育てたいが、若者が根性が無い。やる気が無い。
B-143	育てても定着せずステップアップの踏み台にされる。しかし後進の育成はプロの勤めだ。自分(自社)の為にでなく業界の為に育成するのであれば、プロは学校(大学・専門学校等)の教師となって育てるのが合理的であり自らも実行した。
C-6815	育てても長続きしない。やめてしまう。
C-7724	育てる環境を充実して欲しい
C-8014	それぞれの工務店で、伝統や技術が異なるので、一般的な育てられ方をした職人の応用性のなさに落胆する事が多い。昔の様な大工=花形職感がないのでなかなか難しい分野だと思う。
C-2817	大学、工業高校、専門学校との連携をもっとするべきだと思う。学校では木造軸組のことはほとんど何も身に付かない。
C-2337	大工(作業資格等)の免許証があれば、良いと思う(簡単なもの)講習などの資格、年1回くらい考え方の向上意識
B-79	大工、左官といった住宅建築にはかせない技術者が減少している(特に若者)。建築士もそうだが、責任を与えられることがイヤみたくである。
C-5619	大工以外でも賃金の低さが問題になっているので、技術の継承を考慮してベースアップは今後の課題だと思います。
C-3865	大工育成塾がありますよね。認知があまりされていませんが、...
C-1688	大工育成塾などの参加、加入で良いと思います。
B-232	大工外注なので育成機関があれば良いと思うが近くに無い。若い大工を紹介してもらえない所が無いので大工が不足して困っている。年配の大工は新しい施工方法について来られない者がいる。
C-6392	大工が高齢化しているし、大工になりたいという人も減ってきている。根性もあまりない者も多い。すぐにやめていく。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-881	大工が不足しています。若い大工の育成が必要です。
C-5647	大工さんだけではなく、この職種自体がけっこうきつい環境にあると思います。中小は特に、一族等にかたよりのあるような。社員も育ちにくいと思います。
C-7381	大工仕事に興味、熱意がある人がいれば、育ててみたい。
C-5095	大工仕事をあまりにも軽く考えている。仕事をしてお金をもらうわけだから、もっとしんげんに取り組んでもらいたい。日曜大工とちがうのだから。
C-1417	大工じゃない
C-4705	大工職(新築の手刻みなど)の仕事がない、少ない事には育成できないと思う。自分たちの営業努力も必要であるが、仮に現在育てている会社があったとしても、収入がなくなれば(仕事なくなれば)、社員・弟子を辞めさせざるおえない。
C-1537	大工職ではないので、第三者的に意見申しさせていただきました。
C-741	大工職に限らず、左官、板金工もかなり減ってきている
C-2191	大工職の、高齢化に伴い若い人を育成していかないと、今後大工が(職人)いなくなると思います。
C-135	大工職の差別化が必要では。
C-4158	大工職は、ある程度、いると思いますが職人と言われる人が少なくなっている。
C-176	大工職は、助成制度が無いとなり手がなくなり、今後深刻
C-7828	大工職はどんどん減少する一方なので、何らかの育成は必要と思います。しかし、大工になろうとする若者が少なく、もう少しPRが必要と思います。大工になって自分で家を建てたいと思う若者を増やさなければならぬと思います。それには、公的支援も必要かと思えます。
C-5806	大工職を選択する人材が少ない
C-6780	大工人材不足のため、若い大工の賃金を上げることが必要
C-292	大工ではないのでわかりません
B-254	大工という仕事を若い人が理解する環境が必要だと思います。若くて仕事ができる大工もたくさんいますので、大工の魅力を伝えていく必要があると思います。
C-2432	大工とか目指す人たちの環境が悪い。道具は高い。生活がやばいってなってる。
C-2757	大工にあまり魅力が感じられません。収入に対して道具や車、ガソリン等に出費が多く年金や保険にまでお金が掛けられません。作業内容にしてもほとんどが機械ですることが多く、手作業は断熱材入れや石膏ボード貼りがほとんどで、階段でさえもプレカットです。これでは教え甲斐があまり無
C-474	大工になりたい人がいない。メリットがない。
C-1320	大工に成り手の若い者がいない。大工の子供は大工になる事はない。ほとんどが工務店の技師になり大工がそだっていない。残念です。
C-10552	大工に成る意欲のある人は早く身に付きます
C-7830	大工の担い手を育てるには時間がかかります。工期・単価の少ない現場ばかりだと親方は大変です。将来、大工は良い(単価等)と言える(みんなが)ようにならないと一人前になる前にやめてしまいます。とにかく単価ですね。
C-6634	大工ばかりで無く、左官、タイル等建設職人育成に国は補助してほしい
C-4373	大工本来の仕事(手刻み)が、無いに等しく人材の育成は今後、内装大工のみになりそうです。やりがいのある未来が有ると若い者も育つのですが、...資格制度にすれば資の向上もあると思いま
C-7640	大工らしい仕事が無いので、学校なり、寺社建築大工なりに行ってもらうしか無いのか。
C-1328	対象者がいない
B-191	他業界でも言われるが、若い子達とどうやって取り込むかを考えている。一生この業界にいてもいい、と思えるような環境を作してほしい。
C-6249	確かに公的補助があればできるが、審査を厳しくしなければ不正がでるのは確実
C-6523	多能工的な人材の育成が必要。
C-402	多能工を育てていきたい。
C-199	単なる「衣食住」の住という観点でなく、国の文化というものが、こわれていくという意識で、人材育成を考えてもらいたい。これは大工に限らず。
C-2371	断熱材挿入箇所の適・不適切知識(指導する側も)。同上、現場施工技術。断熱材の透湿吸湿(カパー材←メーカー品の不適切)留意(外気側)。ファイバー材の健康被害(グラス、ロックウール等)
C-2601	小さな会社ですが求人募集しているものの面接の応募すら少なく、面接に来てても未経験ばかりで、正規で雇用するには大変厳しい状況です(大きな会社ではないので)から教育という訳にはいかな
C-4170	中・高校等で職人になる道は0と聞くが職業訓練校で職人になる道を学校で作ってほしい。ドイツのマイスター製度を手本に職人の社会的地位を上げる方法を取れないか
C-1825	中学や高校で大工とはどういうものか紹介する必要があると思う。普段の生活と職人の世界は遠いものなのでちゃんと知ってもらわなければいけない。
B-158	中堅からベテラン社員、及び経営者にとっては若手を育成する事は当然の義務だと思います。うけつぐ事の大切さは不変です。
C-10553	賃金、単価を上げないと若手を育てられないし、若い人が夢を持って働けないと思います。若い人がいないと将来災害がおきても、ふっこうすらできないと思います
C-3138	賃金が安くて職人になる若い人たちがいないので残念である

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-6636	賃金上昇が不可欠です
C-6154	賃金と仕事量、仕事内容のバランスが悪く、社会情勢によるもので仕方ないでしょう。「職人」から「作業員」という流れが現状であり、今後も続くでしょう。
C-4570	賃金の50%を公的に負担してもらいたい。
C-3838	使い方や手順を把握した上で実践する。(習うより慣れる。)
C-7182	常に新しい人材育成について公的補助の他職人さんの給与UP年取UPが不可欠だと思います。
C-5012	手刻み加工に関しては現場の数が少ないので難しい。一般のお客さんの理解が重要。
B-222	弟子単身者は少ない給料でも生活出来るが、妻子がいれば安い給料では弟子から育てると負担
C-2022	弟子は仲間がほしいものです。仲間を作る環境をもっと作るべきです。加賀市の青年部はなにもしてないです。青年部ももっと活動してほしいです。飲むほかに。
C-7530	弟子を育てなくても現場が無い。化粧屋や社寺の現場が無さ過ぎる。
C-3268	弟子を育てる余裕が無くなった
C-1740	手数により異なる。人により仕方が違いがあり労働時間を長くするなど対応をしたが、得にはならない事が多いと思う。
C-2324	手道具を使用する。仕事があれば良い。
C-922	手間請けの大工の場合年間1000万以上仕事をしてしまうと消費税を払う必要がでてしまい1000万以下であれば非課税であるため一人親方の方が賃金的に有利であるため複数で仕事をするためにはそれ以上の補助がないと担い手育成にはつなげていけないと思う。
C-4817	手間で受講した場合、手間で育成費までまわらない
C-7292	転職が入り乱れ、本職は何か、大工、左官、葺、誰もが同じような仕事をしている
C-4592	伝統技術職なので国からの補助制度が必要と思います
C-4825	伝統工法の住宅を増やすべき
C-6279	伝統木造の良さをPRする為に、国、県は補助を行ってほしい
C-4041	東京土建の建築カレッジをすすめたいと思います
C-5474	当社に来春新卒(高校)新入社員を迎えるにあたり、普通科卒業生の為、東京土建、東京建築カレッジに入校させる予定です。育成の為ですがもう少し助成金制度が(助成金)いただけると助かります。1名ではなく2名雇用出来る。
C-3521	当社は大工で、お客様の家で作業することが多く、新人作業員を現場にいれたさい、挨拶ができないのがこまります。学校時代に挨拶やせんばいにたいする口ごたえをしっかりとっていただきたい。
C-593	当面の人材が欲しい状態で長期的に見て仕事が続くかが心配なので育成についてはなかなか踏み込めない所がある。生活の保障まで考えると
C-352	特になし
C-969	特になし
C-1550	特になし
C-1645	特になし
C-2137	特になし
C-2597	特にありません
C-3747	特にありません
C-3798	特にありません。
C-6519	特にありません。
C-6258	特にございません。
C-3672	特になし
C-4055	特になし
C-5946	とくになし
C-6010	特になし
C-6506	特になし
C-6656	特になし
C-6847	特になし
C-5567	特になし。
B-182	特になし。
C-4751	特になし。
C-4898	どこに聞けばいいか知りたい
C-2038	どこも同じかと思いますが、欲しいのは即戦力になる人材です。しかし、訓練施設に入れるのは雇用保険をかけていた人だけで、将来欲しい人材を気軽に通わせるような柔軟な制度改革を望みます。そうすれば後継者育成の負担が少なく、もっと若手が育つのではないかと思います。
C-9687	とそうは電気工は多いのですが、そもそも最近の住宅には職入技術が必要なくなりつつある。むしろリフォームの方が技術が活きてる現状。
C-9328	ない
C-4190	中々、若い人材がいないので、人材確保が難しい。
C-6388	なかなか育たないので難しい

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-3307	なかなか若い人たちに伝えていくのは難しいので、基本的なことや工事の意味を分かりやすく教えてくれる講習がもっとあると良くなってくると思います。
C-1325	なし
C-1644	なし
C-2269	なし
C-4321	無し
C-4678	なし
C-5255	なし
C-5366	なし
C-5499	なし
C-5900	なし
C-6006	なし
C-6960	なし
C-8189	なし
C-8289	なし
C-8556	なし
C-8623	なし
C-10241	なし
C-4270	なにも出来ない内より保健及び給料の仕費が有り育成を行なうのはむづかしい仕事ができる様になると外よりの引きねきなどでよいではない
C-2563	何年前かにテレビで見たんですが、造船工場の会社が見習いの育成システムをしっかりと確立し(期間・収入など)昔からの親友・兄弟子・見習いの「仕事は見て盗め」的な発想を排除して、人を使う側も使われる側もスムーズかつ円滑に業務に打ち込めるとの事。町場中小工務店ではそういうシステムを導入することはなかなか難しいと思うので、大手ハウスメーカー各企業がもっと大々的にやる気の有る若手・見習いの募集・育成に「力」を入れるべきだと思う。3棟造ったらもう親方だなんて
C-258	何の職種でも一緒ではあるが特に、一人でできる職、木造軸組工法のみの大工、ラン間等彫刻職人等は、雇用して当分半年～1年以上、賃金分の仕事ができない→賃金が上がらない→おもしろくない→退職と、大体パターン化しているので何かしら手段をとらなければこれから先新しいメーカ工法の物件は、大工でなくとも、建築作業員程度の技量で何とかなる。築20年以上前の物件は、大工
C-2860	日南市には全く担い手育成の受け皿が無い
C-6184	日給月給の制度が確立されている。休めば給料が減るから、若い人が来ない。
C-1007	担い手(若い大工)紹介するしくみをつくってほしい(情報もふくめ)
C-6134	担い手＝若い人材になると考えますが、昔の様な弟子入りの様な育て方は現在適用せず、給料、休業体系など、魅力を感じる職場環境とは言えません。サラリーを高く、将来は地方公務員同等の安定がなければ続かないと思います。むしろ外国人労働者に移行していくと思われま
C-2364	担い手育成期間2年位の補助が必要と考える
C-1770	担い手育成って何ですか？
C-3596	担い手育成出きない人が多く職業訓練校のみになるでしょう。
C-5496	担い手育成に対しての行政支援が必要だと思う。一人当り10万/月程度の育成補助金を願いたい
C-4392	担い手育成について、自分は今まで諸費等や資格手当などいっさいなかったため、担い手には、手当や保険などがあるようにしたい。
C-1631	担い手育成にはお金がかかるので補助が必要。職業訓練校で夜間でも良いので、手刻み加工が
C-4045	担い手育成の環境の変化(仕事量・内容の変化)により訓練校にたよる様になってしまった
C-1977	担い手育成のためにもっと補助金を出してもらいたい
C-644	担い手育成は、日本の地域文化の問題でもあるので民間任せにせず、公的な機関が入口から出口までを補償し、後世を伝えていくべきである。そのような視点がない現状では、文化財の保護や、〇〇神社、〇〇寺を扱う職員さんしか残ることしかできない。担い手を育てる環境になっていないので視点を変えて考えなければならない。
C-6293	担い手育成は重要なので公的補助は必要だと思います。
C-777	担い手希望者が少ない。技術継承の為に希望者が増える為の対策はないのか？
C-6986	担い手自身が高学歴→高齢化→学びながらでも家庭を守る必要が生じているので、ある程度の収入が必要になっている。対して業界の施工単価は高くなく、しかも全体量も減り、育成の体力と時間が減っている。職人の高齢化、減少が心配です。
C-4241	担い手自力のUPが必要
C-4066	担い手等若い世代がやらないとなると、伝統工法や作り手がいなくなり企業やサラリーマンしかいなくなる。やはり収入が沢山あればやりたい人などが出ると思う。
C-6906	担い手にしたい子どもが少ないし、将来保障できないなど色々考えてしまう。
C-4347	担い手について、補助金等の活用がない 専従者のためたとえば訓練校の通学費用等(授業料)
C-2057	担い手の生活ができる様仕事の確保の安定の必要性

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-5948	担い手は最初に給与を考えている人が多すぎる。技術を身につけながら年々給与が上がっていく方がよいと思う。
C-7235	担い手見習いの意識による
C-3509	担い手を育成したいのは山々だが、仕事のサイクルが掴めないのではなかなか難しい消費税増税で、またわからなくなってしまった!
C-5249	担い手を育成する企業がほとんどない
C-1425	担い手を育成するにあたり、仕事があまり前に進まない。しかたないか、(そんな徳とれ)ってある
C-3495	担い手を育成するのは費用的にもきびしい。
C-3743	担いて育てるには、今の時代は、きびしいと思う 今、現在建築の技術のすいたい向かっている!! 技術なくして未来はないと思う
C-3809	担い手を本気で増やすのであれば、職人当りの、日当の、UPが必要だと考えます。
C-5171	日本には古来よりすばらしい伝統技術、数寄屋建設等が建てられましたが、現在では建築に対して、より安くという傾向になってしまい、技術の向上、伝統が断たれてしまっている。
B-168	日本にもドイツの様なマイスター制度を造るべき。もの造り日本あやうし。
C-4042	日本の大工を使用しすぎ!
C-7515	人間としての自覚を持ってほしい
C-6254	忍耐力のみ
C-5554	認定証がどういった利便が有るのかわからない。手数料3,000が高すぎる。1,000円が程度。
C-811	年間を通して、安定した仕事を確保しにくい。十分な施工時間を取りにくい。
C-3105	年々職人の数が減ってしまい、どのような作業をするにしても老練者による施工になってきている。今後とも建築を続けるにはどうしても必要。
C-3584	ハウスメーカー思孝の中で苦戦しています。大工に限らず手仕事の業種の今後は心配。主流でないのはコスト重視のせい
C-8974	ハウスメーカーが単価をくずしすぎている為、育ってもすぐ独立してしまう。
C-4962	ハウスメーカー等に仕事が流出し仕事も減り資金的に余裕がなくなった。
C-6016	ハウスメーカーとのコスト等の競争で安定した生活の給料を支払えないため若人を育成で
C-8949	ハウスメーカーに押され、在来工法が減っているので担い手を育てるには難しい状況にあると思ひ
C-4771	ハウスメーカーの大幅な進出により、後継者の育成は困難になっている 自分自身だけで大変で育成は、ハウスメーカーを押えなければ無理と思う(在来構法の育成)
C-4616	ハウスメーカーのボード仕事ばかりでは技術が覚えられない。
C-4924	ハウスメーカーの理解がない
C-9163	ハウスメーカーの組立工では大工の担い手は育たない。職業訓練校に通わせると良いと思う。
C-8927	ハウスメーカーの様な仕事を中心ですと、応用のきかない職人になってしまうので、自場の工務店が忙しくならないと育成は難しいのではないのでしょうか。
C-5524	初めての人を育成する時、約3年程は金銭的に負担が大きい
C-6669	早く手を打たないと、大変なことになると思います
C-6535	早く手を打たないと、若い人がなくなり、技術が伝承しなくなる。
C-5611	人づきあひすら不透明?な昨今、やる気持ちを持つ人材と出会える事も困難。また、そもそも育て方にも困惑がかなりある。
C-1838	人を育てるのはとても大変な事です。僕には無理だと思います。
C-953	日雇いのイメージが強いので、若い人はなかなか大工を志すのが少ないと思う。組織が会社で、社会保険などの裏付けができる事業場でもっと積極的に人材を育ててもらいたいと思う。
C-6577	費用云々の前に社会人としての育成の準備(学校、親、友人)の方が大事
C-2467	不景気で若い人材を育てる余裕は無い。しっかりとした育成プログラムの補助を受けたい。消費税増税など論外。
C-5387	部材を組み立てる「作業員」が大量に増えた。一方、木造のプロである「大工」は、ほぼいなくなっ
C-7622	プラモデルのような家が増え、手間ヒマかかる家が少なくなる事に不安。
C-7286	フリーター、バイトの金額が多い為、賃金等での金額があわない。
C-4938	プレカット、新建材ではなく、大工が本来すべき仕事の伝承に努めたいです。(刃物研ぎ、木組
C-2951	プレカット・既製品の製品など大工の技能をあまり必要としない時代になってきました。加えて、職人に対する優遇も考えると若者に勧められない職種となっているような気がします。
C-5825	プレカットが多いため育成はむずかしいと思います。
C-832	プレカットが多いので昔ながらの技術の向上につながらない。家造りは利益をもとめるのではなく、技術の伝達を、100年~200年とつたえる方が大事であると思います。
C-7108	プレカット加工の時代黒付の必要はないのでは。
C-7700	プレカットがなくなると育成は無理。
C-4167	プレカット化粧枠などの普及により2、3年で職人になれたつもりになり、手間受けをしたがつたり出ていってしまう。
C-1589	プレカットしかできないのは大工じゃない。日本の建築文化を守るためにも私は、手刻みを続けます。弟子も育てます。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-1309	プレカット主流となっていますが、手刻みのできる若手の職人さんの育成を、国で行ってほしい。大工が夢や希望のもてる職種にしてほしい。
C-1601	プレカットの時代になってしまいましたが、手仕事を時を見ながらおしえないと改造仕事に対応できないと思います。
C-9833	プレカットの単価が安いので墨付け、刻みが割に合わない。墨付け、刻みが出来ないので弟子が一人前に出来ない。
C-1282	プレカット費用木工賃金が移行したため、大工の日当が下がって、大工の腕の良い悪いの差が無
C-3802	プレカットを少しやめて、昔の在来工法に補助金をだしてもらおう。
C-2466	プレハブメーカーが強すぎる。本当の大工職のチャンスがない。
C-5968	文化財等の仕事(木造)地元の業者に配分して下さい。
C-3043	平均賃金が安すぎるので若い人が入ってこない
C-6750	平成生れの若手が大工にならないケースが多い。又、途中で辞めるパターンがかなり多い。30代でもなかなか和室造作が出きず、人材育成はむずかしい。若い大工を育てる訓練所がほしい。
C-211	別になし
C-1781	別になし
C-2522	法人5人以上でも建設国保は入れるようにすべきだ。社会保険未加入ゆえに助成が受けられない事が多すぎる
C-5361	保険、保証がしっかりしていないと育成はできない。(仕事はあっても)我々、小さい会社では最初からの育成は厳しい。手助けして頂きたいと思います。大工さんも育成が急務ではないかと思いま
C-2876	補助金があれば助かります
C-7663	補助金があれば助かります。
C-7879	補助金制度の拡充
C-5102	補助金等があれば利用したい
C-1557	補助よりも手刻みの現場、仕事が少ない方が問題。手刻みに補助があると、変わるかも
C-1287	本気でやる気がある人を育ててみたい。
C-7858	本当に大工仕事を担う方がいたら、出来るかぎり勉強する共に。
C-3758	マイスター精度でないと育たないと思う。人材が集まらない
C-4858	前が見えない部分で、あまり思いきって行動できないのが本根。
C-5317	まじめな人間がいればなお良い
C-10077	まず、労働時間、手間等をハウスメーカーが改善しないと若手は集まらないと思う。
C-7719	まず個人宅の注文がなく、建材等が近代化されたため、小物等の加工がなく、教えようがない現状。小さい改装工事も少ない。
C-9807	まず担い手の情報を入手しにくいと思います。
C-5147	まだまだ見なraiです
C-4654	町場のしごとをしている親方大工は経験豊富で教える事が多いが、建築メーカーの仕事ばかりしている大工は教える事柄も少なく、又賃金が安いので、人材育成にける手間がおいしいのではない
C-7481	見習いと考えると職につける人が少ない。将来、仕事がどのようになるか不安。
C-7093	見習いなので初めは単仕事ができずそのため日当が8000~10000円がいいところ。ですが20万前後の月給できつい仕事がつづかないのが多い。育成補助があれば少しは改善できると思う。
C-2450	見習いに教える現場(仕事)が無い
C-7527	見習いのやる気と育てる側の我慢。
C-1863	未来がわかりません。先がよめません。大工としての地位が下がって、職人として一般社員と同等の収入がかせぐことができなくなっています。
C-3154	昔の職人さんほどの技術を求められる住宅が少なくなっているのが現状だと思う。お客様自体がブランド・デザイン・価格重視で、技術を持っていても十分に発揮できない住宅が多い。また、色々な規制・保障など勉強する事が多すぎて、今現在現場で腕を振るっている職人さんでは対応しきれない時代となっている。このような業界では若手も育たない。
C-3181	昔のような良い時代が来るのか不安です。工場で働くほうが気楽で稼げる気がするので育成意欲
C-4639	昔のようにどんどん家の建つ時代ではないので若年者向けの参加しやすい講習会、研修会、イベントがあればいいとは思いますが。
C-7339	昔は工務店でも日本中の求人(中高卒者)の手続きが簡単だった。今は個々に求人に応募するには手間ヒマがかかりすぎるし、手続きが面倒。
C-5073	昔は育てても余るほど収入(単価)があった。住宅もデフレ化していて、とても育てられないので、一人前の人を雇った方が効率的になってしまう。
C-1551	むずかしい
C-4724	息子を、私の所で3年間育成塾で3年間今は独立して1人で仕事をしています。学生と同じで現在は教えてもらうものもお、個人負担があっても良いと思います。
C-9567	メーカー等の価格競争に巻き込まれ、工事単価は抑えられ、育成に掛ける余裕がない。
C-4460	もうすこし安定な、職場になれば、若い人もふえてくると思うし、手間受け仕事が多く弟子を育成するよゆうがないのが現状だとおもいます。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-5788	木造在来工法人材育成に、時間をようします。日本全体で国産材使用進めなければ人材は育ちま
C-547	木造設計、断熱設計できる人も必要です。
C-459	木造建物従事者について国として現場の声(職人の保護)聞かせたい、聞いてもらいたい。もっと高い賃金や、技術の価値観。
C-1464	木造の仕事が少なくなりました
C-5050	木造の墨付けがない為(プレカット)今後どうするか?和室の仕事が少ない為、手仕事が今後のか
C-3815	もっと技能士の位置を高めてほしい
C-1573	もっと地場の仕事があれば
C-134	もっと所得が上がって、ドイツのマイスター制度のように地位が確定しないと、担い手はふえないと思う。メーカーの下請けだけでは、はんぱな大工しかできないと思う。
C-10544	もっと魅力ある仕事に出来ないか、日々悩んでおります
C-10323	もっと日数と費用がほしい。
C-4809	元、大工でしたが今は会社員ですが建築関係の仕事をしているので墨付、キザミ(手加工)をまもって行きたいです
C-313	元請会社の施工単価を下げること
C-6248	元請が育てる井意識をみにつける
C-2410	元請からの金額だと若手育成の為に費用を出す事ができない。何かの補助があれば技術を伝えていきたいと思えます。
C-7835	元請仕事(新築、リフォーム共)が少なくなり、担い手育成がむずかしい?
C-8501	もらってない!
C-481	安くさえすれば良いという風潮をなくし、お互いさまの社会にする
C-7907	やはり、公的補助があれば、それだけ多くの賃金が払えるので見当して欲しい。
C-10479	やりたい人はいるが、続かない人が多い。
C-5309	やる気のある若い人がいたら一人親方にあずけて育てたいと思っている。
C-7270	やる気のある若者を紹介してくれるシステムがあったら良いと思えます。
C-3581	やる気はあるが続かない様子
C-3582	やる気を出さないと覚えない仕事です。だから本気でやらないといけない。失敗だらけの人生です。ガンバルしかありません
C-9092	やる気がないものに無理をさせる必要はない。
C-3896	ゆとり教育の為か若人は自分で考えようとしないので、ベテラン職人とのコミュニケーションがとれず、すぐ休みがちになりいずれやめる人が多い為、自分は育成しない。
C-9874	ゆとり世代にさらに補助金というのはどうかと。この業界は厳しさもあって、その子が「あの頃は親方恐かったなあ」と耐えぬいた思い出の方が価値があると思えます。今の自分が先輩・後輩と笑っ
C-5424	よい人材があれば、紹介をお願いします。
C-6503	良く理解できないので今回はありません。
C-3800	世の中がもう少し景気になって仕事に余裕があれば考えても良いと思えます。
C-9060	より高度な技術を得る為ではなく、ただ収入を得る為に仕事をしている若者が多い様に思える。
C-637	労働環境が悪すぎる。特に金銭面で!!
C-6065	労働に対してきちんと費用を出す文化をつくってほしい。(子供からの教育)
B-108	ローコスト+住宅メーカー、ハウスメーカーの職人とは別に大工として分けるべき。ローコスト、ハウスなどの職人と同じくしてほしくない。
C-1575	若い方で自分の周りに大工になりたい人がいない
C-2259	若い職人がいない
C-5616	若い職人の雇用を希望していますが、なかなか人材が見つかりません。又、すぐに辞めてしまうのが悩みです。
C-2094	若い人材がいない
C-2417	若い人材が少ない。(大工)見習い。
C-3441	若い大工がいないので育てる社策をしてほしい
C-3827	若い大工が減っている。当社も60才台以上が多い。小さい子供達に期待します
C-4624	若い大工さんたちが育つような、かんきょうにしていかなければいけないと思えます。
C-164	若い大工の技術の向上の為に、墨付けを行った建物に公的な補助があれば助かります。
C-252	若い大工の紹介システムがあるといい。新築の工事はあっても、若い大工がいないため、技術の伝承ができない。
C-2330	若い大工は、加工キザミがなかなか出来ず、リフォーム大工は新築が難しい。新築専門の大工はリフォームが難しい!!
B-300	若い担い手養成にしっかりした補助と安定した仕事確保が必要。国内産材を用いた伝統技能の継
C-3984	若い人がすぐやめてしまうので長く続く人にあいたいです。
C-5223	若い人が大工職、現場管理職にいないと感じます。キツイ、キタナイ、キケンな仕事かもしれませんが「ものづくり」のすばらしい所をあつめた仕事だと思っています。施工者の安全・地位向上が必要かと思えます。カッコイイ仕事になる努力が必要かもしれません。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-5152	若い人が大工という職業につきたがる(あこがれる)ような教育(社会的コマーシャル)のような仕か
C-7636	若い人達が木造住宅に目を向けて頑張ってもらえば、現場が増えるように、木の良さをPRしていき
C-3388	若い人たちに頑張ってもらいたい
C-7488	若い人の根性があるならば、今後1~2名養成しておきたい
C-266	若い人はむずかしい
C-7683	若くてやる気のある大工が増えると嬉しいが、賃金が低い。
C-3130	若手が少なく大工にならない
C-7198	若手の職人が不足している。このままでは業界が成り立たなくなるので見習いでも高い賃金を払っていけるシステムが必要
B-178	若手を育てないと現場が進まない。建築(建設)は人の手によるものなので、もっと若手が入りやすくなる職場を。
C-6832	私の会社は宮大工ですが、大工を育成するエネルギーは大変な事です。棟梁に若い職人を指導経験させますが、その仕事を受注し継続出来なければ、良い経験をさせられないのが現実です。
C-7393	私は現場監督なのでよく分かりませんが、若い担い手さんがもっと増えれば良いと思います。
C-72	和風住宅がもっとふえるといいと思う。
C-7902	安すぎる。
C-9914	育成については特に意見はない。育成は行うが、職人は自から向上心を持ってとりむべき。
C-9182	育成の為に補助金がないとかなり厳しいと思います。
C-9190	育成の程度はどこまでか？
C-9237	育成間は賃金8000円からで、25~30才でも少ですが育成間不満が多い、半年で5000千円上
C-8434	育成出来る仕事(住まい造りをさせてほしい)、大工の墨付けくらいは若い人に教えてあげたい。
C-8571	会社で育成すべきです。
C-9813	技術に関心を持つ様に小・中学校の授業の中に職場体験を多くとり入れ、技術の仕事に興味を持ってもらう様に努力が今まで以上に必要。
C-8844	業界の労働体制の改善、イメージアップが必要。若い人が入ってこない。
C-8650	経営改善プランの手を貸してほしいと思う。人材の確保、育成と同時に売上・集客目的の増加のプラン作成などアドバイスをしてほしい。
C-8277	経営側は既戦力を求めているので、育成する機会がない。新卒の方を採用する資金面で補助があれば、実現の可能性があるのではないかと思います。
C-8077	建設業が良くなり、建設職人の担い手をきたいする。
C-9314	建築の楽しさを伝えられる様な仕組みを築いていけたらと考えています。
C-8387	建築の量が増して、建築業界が活性化する事が望ましいが。
C-10325	建売や2×4なら、今の30~50代でも教えられるかもしれないが、伝統工法や墨付け、刻み、造作材加工、和室等は、やってきた60代以上の大工がいる工務店で少なからず今もやっている所で
C-10250	見て覚える的な古い考えはやめて、きちんと説明して教える方がいいと思う。
C-10165	見習いでもサラリーマンの初任給程度の給料が払えないと人材は集まらないと思うが、現状では難し
C-10125	現在の施主が求める水準の建物を指導する為には、より細部にわたった指導をしなければ、リスクが高くて小さな会社では大工の育成は困難。
C-9459	現在の住宅に技術・技能が必要としなくなって来たのではないかとと思う。
C-10078	現在の職種からあまり参考にできる項目がないのでチェックしませんでした。
C-9591	現在は、道具の種類、値段等が多すぎて用意しあげられない。メーカー等は指定があるので、流用出来ない時もあり。
C-10475	個人事業でも担い手育成に参入していけるようにして頂きたいです。
C-9336	公共事業及び、お客様の理解(坪単価等)がなければ何々難しいと思う。賃金等、競争社会の中で人材育成をもっと考えなければならない。
C-9815	公共的な建築実務学校があればよいのでは。
C-9269	公的補助は必要無い。社員もしくは弟子として雇うのだから自己負担するべき。その分収入が増えるように働きかけるべきと思う。
C-8702	公的補助を作ってもらいたい。
C-8420	公的補助金当の補助を取りながらも、見習い等の育成をしなければ在来工法の墨付け出来る職人が育たない。
C-10493	工期及び賃金が少なすぎるので、育成などできない。
C-8997	工務店の役割を、行政が認識して頂き、住宅メーカーの下請をする人(職人)と、工務店の設備投資の違いがわからない限り、人材育成はできないのではないのでしょうか。育成なのかこようなのか明確にしないとニート(職人)が増えてしまう。
C-9502	国や省庁の政策によって、仕事量や収入の安定が計れない業種になっている。その為、先を読んだ技術習得に生きがいを持ってない若者が多い。30年40年技量を積んだ職人が不景気でやめた後に仕事が増えても、すぐ育てるのは不可能。
C-9710	今の若い子達はしんぼう強さがない。
C-10425	今は施工管理・設計の仕事をしている。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-9148	在来工法の職人を育てる事が、地域を造る事が出来る。規制が強くなる程、メーカーノミが成長する事になる。その事により、日本文化が無くなる。
C-8956	仕事が安定して続かない。
C-9480	仕事が安定しない為と大工職としての一人立するまでに時間がかかりすぎる。
C-8993	仕事が少なくて育てられない。
C-9878	仕事の量が少なかった為、担い手を育てる事がなかなか難しかった。
C-9361	仕事確保が難しいので育成が出来ない。
C-9719	仕事減の現状においてなかなか後進の育成にまで行き届かない所がある。工事収入と職人手当てとのジレンマがある。
C-9983	仕事不足、先行不安。
C-9439	仕事量は現在十分あるが、単価が低い為、担い手を育成する事は不可能である。
C-9474	試用期間や就業前にテストするなどが必要だと思います。メンタルが弱く、一つの事を一生懸命続ける意志がない子が多い。
C-8004	自社物件2割、1次下請8割の状況です。下請は大手の工事を行っているが、単価と工期が切りつめられているので、人を育てる余裕がない現状です。せめて工期にゆとりがあればと考えています。10~15年後には相当な大工不足が起こると考えています。
C-9778	自分だけでせいっぱい。
C-8202	自分らの世代が子方がいないのは問題だ。
C-9834	社会的地位の向上、資格を厳格化し、誇りの持てる職種になりたい。
C-9045	社会保険、公的補助が必要。
C-7975	若い希望者がいない。
C-8605	若い人ががんばってもらいたい。自分が持っている技術は、若い人へ伝え残すべきだ。
C-8589	若い人間(いしきの高い)を増して大工としてよい時代に変えていきたい。
C-8833	若い大工さん不足は考える所です。
C-8892	若い大工職人が年々減っています。工務店を存続していく為にはやはり担い手が必要。公的補助を是非お願いしたいと思います。
C-10466	若手(なりて)がいない。
C-8885	若手が大工に限らず建設業務につかない。現場を管理する現場管理人も少ない。仕事時間が長く、休日も少ないので他業種にくらべて、給料を上げ、休日を増していく必要がある。
C-10296	若手の考え方に育成する側がついて行く状態でないとだめなのかな？昔風のやり方だと若手はついてこない。
C-9627	手間代を上げるか、大工の仕事を減らし分業化を進めて木工事に集中させて、担い手を早く育てる
C-9979	手刻み加工が少ない(プレカットが多い)ので助成制度がほしい。
C-10431	住宅に関わる職人の手間をもう少し上げて、若手に夢のある職という認識がもってもらえるような時がくれば、にない手が増えると思う。工期も単価もないような職人時代では、誰もやりたがら
C-10012	将来の保障がほしい。
C-9414	小さい企業の担い手(設計・大工)は少ない為、当人達は孤独を感じていると思う。職人カタギの上司ともうまく付き合いができない若手も少なくないのではないかな。若手同士の交流の機会が少ないので新しい技術も生まれにくい伝わらないのでは。
C-9353	職業訓練校の復活を望む！
C-8000	職業訓練校卒業者は頭でっかちで苦手です。
C-8107	職場環境の改善、賃金、就業時間、労働内容。
C-9445	職人の手間が安すぎる。1人工2万位もらえるようになると後継い者も出てくるのではないかなと思
C-10101	職人達が仕事に誇りが無い。また社会全般が職人達を大切に、尊敬する風潮がない。各職種を段階毎に評価して格付し、レベルアップに行くシステムを造らない限り、職人不足は解決しない。現在、職人を使い捨てしている。
C-9852	親方が自営業で子方が会社員であったりして、立場がどっちつかずの所がある。
C-8459	身内やマゴなので仕方なくやっている。
C-8761	人を道具ぐらいしか見ない今の国のやり方がかわらないかぎりむりだと思う。
C-8757	人材がいない。
C-8695	人材が増える様な環境になってくれれば景気は加速するのではないのでしょうか。
C-8953	人材育成は急務だと思う。
C-9689	昔と違って仕事を覚えようという意欲がない。楽でカッコいい所へ行く。
C-9943	早く次の方へ教えて50才で退職したい。
C-9537	他の仕事よりきついし、時間が長い、外の仕事の割には収入が少ないので、なかなか育成出来ない。時間がいる。補助がどうしても要る。
C-9745	他業種に比べて不安定な立場を改めれる様に大工を正規雇用して、まともな職業にする工務店が増えなければならない。
C-9859	大工さんの育成方法は「盗んで覚える」と言う感じで、昔のイメージがそのまま残っている。外人を安い賃金で使うより、素直に教えた方が夢を与えるような塾を作った方がいい。大工塾みたいなの。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
C-9520	大工さんは減ってきますが、ガン保険や今回の様な事を推進してゆくと、日本建築の手きざみで建てられるような建築が減ってしまい、より本物の大工さんの育成ができなくなると思います。
C-7957	大工として1人前になるまで10年かかる。でも10年かけて、ものになるかどうか分からない。
C-8983	大工の仕事を覚えるのには日数がかかると思います。
C-8859	大工の賃金が安すぎて若い人にこの仕事を進めない。
C-8053	大工の魅力をアップするようなCMをして下さい。
C-8334	大工一人だけとか、一工務店だけの問題ではなく、技能伝承、業界の活性化の為に、業界自体で担い手育成を考えなければならないと思います。(高校→訓練校→受皿となる企業)
C-8239	大工仕事以外の事も多くなり、自分の子すら大工にはしなないと言う人が増えている。
C-7988	大工手間が下がってきている。
C-9462	大工職の社会的地位の向上(子供のあこがれの職業となる様な活動)
C-9377	大変必要な事だと思います。工務店側からしても近い将来戻って来て、同じ会社で働いてくれる事がどちらにしても利益になると思います。
C-7908	単価が上がらない限り無理。
C-8976	担い手といっても、結果仕事がメーカーの仕事ばかりでは、人材が育たない。今のままでは、仕事のできない人ばかり増えて、日本の建築は先行不安。
C-9362	担い手育成に補助金が出れば、いつでもやりたい。
C-9623	担い手育成の子の勉強代(建築工の試験の技能士の資格等への補助)が受けやすい制度にしてほ
C-10030	担い手育成の前に、地元工務店の活性が必至、自社努力と共に大手メーカーに対抗するための結
C-8555	担い手費用が出れば良いな。
C-10213	探しているけど見つからない。
C-8049	地域工務店の育成・経営等の勉強会等があればよいと思います。全体的に現場技能者が不足して
C-10112	中堅の大工が少ない。もっと国の補助育成が必要。
C-8789	賃金が低すぎる。
C-9315	定期的に受けられる講座等があれば良いと思う。
C-9957	伝統工法(木造)に対して建築法規が厳しい方に向いている様に感じる。
C-8054	道具を持っている人がいい。
C-8721	特にありません。
C-8832	特になし
C-8934	特になし
C-9642	特になし
C-9663	特になし
C-10223	特になし
C-10454	特になし
C-8468	特になし。
C-8783	特になし。
C-8021	特に無い。
C-8330	日本の物づくりを伝承していく為にある程度、公費で助成を強化していくべき。
C-3176	必要な事だと思います。できるだけ多くの公的補助があった方がよいと思います。
C-9454	募集するのにどこに募集したら良いかわからない。ハローワークぐらい?労働基準に週休2日制があるため、公的機関がつかえない。若手はほしい。
C-9483	本当の大工仕事はとてつもなくおもしろいものなので、年収が上がれば、誰でもやりたくなる仕事で
C-9437	本当は育成したいのですが、(21)(22)の事を考えると難しい。
C-9183	魅力的な(楽しい)仕事、やりがい、達成感の大きな仕事である事を伝えられたら担い手の心配はないと思うが、手間請け仕事では難しいでしょう。皆で作る事の楽しさを伝えていきたい。
C-7906	木造りをしたいが、プレカットの坪単価(材工込)が安すぎて、手刻みが困難。あと10年後位手刻みができない大工が増え、プレカット単価が足元を見て高くなるとは手遅な様な気がする。
C-10094	良い人材がいましたら育てたいと思います。
C-9194	老後問題、収入安定(増収)

平成25年度国土交通省補助事業
住宅市場技術基盤強化推進事業
大工・職人の実態に関するアンケート調査 報告書

平成26年3月
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F
TEL:03-3560-2882 FAX:03-3560-2878 URL: <http://www.kiwoikasu.or.jp>
